

SC-T7255 / SC-T5255 / SC-T3255 SC-T7255D / SC-T5255D

ユーザーズガイド

本製品の基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe RGB (1998)、Lightroom、Photoshop、PostScript、PostScript®3™、ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Android は、Google Inc. の商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

ご使用の前に 6

マニュアルの種類と使い方 6

- マニュアルの構成 6
- マークの意味 6
- 掲載画面 6
- OS の表記 7
- 掲載イラスト 7
- PDF マニュアルの見方 7

各部の名称と働き 9

- 正面 9
- 背面 11
- ロール 2 ユニット (SC-T7255D/SC-T5255D) 12
- ロール紙アダプター 12
- 操作パネル 13
- 画面の見方 14

特長 16

- 高生産性を実現 16
- 高画質を実現 17
- 使いやすさへのこだわり 17

使用・保管時のご注意 18

- 設置スペース 18
- 使用時のご注意 19
- 使用しないときのご注意 19
- インクカートリッジ取り扱い上のご注意 20
- 用紙取り扱い上のご注意 20

添付ソフトウェアの紹介 22

- ソフトウェアディスクの内容 22
- 内蔵ソフトウェアの概要 23
- プリンタードライバーの概要 24
- Remote Manager の使い方 25

基本の操作 27

ロール紙のセットと取り外し 27

- ロール紙アダプターの取り付け方 27
- ロール紙/ロール 1 のセット方法 29
- ロール 2 のセット方法 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ) 31
- ロール紙のカット設定 33
- ロール紙/ロール 1 の取り外し方 34
- ロール 2 の取り外し方 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ) 36

単票紙のセットと取り外し 37

- 単票紙のセット方法 37
- 単票紙の取り外し方 39

ボード紙のセットと取り外し 39

- ボード紙のセット方法 39
- ボード紙の取り外し方 42

用紙設定の確認と設定変更 43

用紙の交換 44

排紙バスケットの使い方 (SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255) 45

- 収納と開き方 45
- ポジションの変更方法 46

大容量排紙バスケットの使い方 (SC-T7255D/SC-T5255D) 48

- 収納とポジション変更の方法 48

自動巻き取りユニットの使い方 (SC-T7255 のみ) 50

- 操作パネルの使い方 50
- 用紙の取り付け 51
- 巻き取った用紙の取り外し 54

基本的な印刷方法 (Windows) 55

基本的な印刷方法 (Mac OS X) 58

印刷可能領域 61

- ロール紙の印刷可能領域 61
- 単票紙の印刷可能領域 62

電源オフタイマーによる電源の切断 63

印刷の中止方法 63

ハードディスクドライブへの保存と再印刷 (オプション) 65

機能概要 65

印刷ジョブを保存 66

保存したジョブの確認・印刷・削除 67

コピーとスキャン 69

大判複合機用スキャナーを使った大判コピーと大判スキャン (オプション) 69

機能概要	69
Copy Manager の起動方法	70
スキャン前の準備	71
原稿セット時のご注意	72
原稿のセット方法	73
原稿排出方向やスキャン精度の変更方法	74
大判コピーの手順	75
大判スキャンの手順	76
スキャン/受信した画像ファイルの操作	77
A3、A4 スキャナーを使った拡大コピー	78
スキャナーの接続	78
拡大コピーの手順	79
原稿セット時のご注意	80
フォルダー印刷	81
機能概要	81
フォルダー印刷の準備	81
フォルダー印刷の手順	82
いろいろな印刷方法	83
拡大/横断幕/垂れ幕印刷	83
ロール紙の幅に合わせて印刷	83
サイズを指定して印刷	85
出力サイズに合わせて印刷	86
定形外サイズの印刷	87
CAD 図面の印刷	89
プリンタードライバーの CAD/線画モードで印刷する	89
HP-GL/2、HP RTL をエミュレーションして印刷する	90
ロール紙を自動で切り替えて印刷する (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)	90
用紙種類に応じてロール 1/ロール 2 を切り替える	90
原稿サイズに応じてロール 1/ロール 2 を切り替える	92
用紙がなくなったらロール 1/ロール 2 を切り替えて、残量が多い方で印刷する	93
フチなし印刷	95
フチなし印刷方法の種類	95
フチなし印刷対応用紙サイズ	96
ロール紙カット動作について	97
印刷の設定手順	98
色補正して印刷	100

割り付け印刷/分割印刷	103
折り返し両面印刷 (Windows のみ)	103
割り付け印刷	104
分割印刷 (Windows のみ)	105
まとめて印刷 (レイアウトマネージャー) (Windows のみ)	109
印刷の設定手順	110
設定の保存と呼び出し	111

カラーマネジメント印刷 112

カラーマネジメントについて	112
カラーマネジメント印刷の設定	112
プロファイルの設定方法	113
アプリケーションソフトでカラーマネジメント設定を行う	113
プリンタードライバーでカラーマネジメント設定を行う	114
ホスト ICM 補正によるカラーマネジメント印刷 (Windows)	114
ColorSync によるカラーマネジメント印刷 (Mac OS X)	115
ドライバー ICM 補正によるカラーマネジメント印刷 (Windows のみ)	116

プリンタードライバーの便利な使い方 (Windows) 118

設定画面の表示	118
コントロールパネルから表示する	118
ヘルプの表示方法	119
ヘルプボタンをクリックして表示する	119
確認したい項目上で右クリックして表示する	119
プリンタードライバーのカスタマイズ	120
各種設定をお気に入りとして保存	120
メディア種類の追加	120
表示項目の整理	121
ユーティリティ画面の概要	122
プリンタードライバーの削除	124

プリンタードライバーの便利な使い方 (Mac OS X) 125

設定画面の表示	125
ヘルプの表示方法	125
Epson Printer Utility 4 の使い方	125
Epson Printer Utility 4 の起動方法	125
Epson Printer Utility 4 の機能	126
プリンタードライバーの削除	127
LFP リモートパネル 2 の削除	127

操作パネルのメニューの使い方 128

メニューの操作	128
メニュー一覧	130
メニューの説明	138
印刷ジョブメニュー	138
用紙メニュー	140
メンテナンスメニュー	143
セットアップメニュー	144
拡大コピーメニュー	160
大判コピー・大判スキャンメニュー	161

メンテナンス 165

プリントヘッドの調整	165
ノズルの目詰まりチェック	165
プリントヘッドのクリーニング	166
印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）	168
消耗品の交換	171
使用済み消耗品の処分	171
インクカートリッジの交換	171
メンテナンスボックスの交換	172
カッターの交換	173
本機のお手入れ	175
外装のお手入れ	175
内部のお手入れ	175
大判複合機用スキャナーのお手入れ（オプション）	177

困ったときは 178

メッセージが表示されたとき	178
メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは	182
トラブルシューティング	183
印刷できない（プリンターが動かない）	183
プリンターは動くが印刷されない	185
印刷品質/印刷結果のトラブル	185
給紙ミス/排紙のトラブル	189
その他	192
大判複合機用スキャナー接続時のトラブル	192
お問い合わせいただく前に	195
エプソンのウェブサイトの Q&A	195
プリンタードライバーのバージョンアップ	195
ファームウェアのバージョンアップ	195
トラブルが解消されないときは	195

付録 196

消耗品とオプション	196
使用可能な用紙	198
エプソン製専用紙一覧	198
使用可能な市販用紙サイズ	208
エプソン製以外の用紙に印刷する前に	209
移動・輸送時のご注意	209
移動時のご注意	209
輸送時のご注意	210
使用再開前のご注意	211
システム条件	212
プリンタードライバーのシステム条件	212
Copy Manager のシステム条件	212
仕様一覧	213
サービス・サポートのご案内	216
各種サービス・サポートについて	216
保守サービスのご案内	216
お問い合わせ先	218
製品に関する諸注意と適合規格	219

ご使用の前に

マニュアルの種類と使い方

マニュアルの構成

本機には以下のマニュアルが付属しています。
PDF マニュアルは、本機付属のソフトウェアディスクに収録されています。PDF マニュアルは、Adobe Reader や
プレビュー (Mac OS X) などをご覧ください。

セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。
クイックガイド (冊子)	用紙のセット・交換方法や拡大印刷の方法など日常行う作業や機能をすぐに確認できるように抜粋してまとめました。いつでもご覧になれるように、本機の近くに置いてお使いください。
ユーザーズガイド (本書)	本機の基本的な操作方法や日常お使いいただく上で必要な事項、プリンタードライバーの使い方、さまざまな目的ごとの印刷方法、エプソン製専用紙についてのご案内、困ったときの対処方法などを説明しています。
ネットワークガイド (PDF)	ネットワークプリンターとして使用するための情報を記載しています。
EpsonNet Print の使い方 (PDF)	EpsonNet Print を使用するための情報を掲載しています。EpsonNet Print は、Windows 標準のネットワーク印刷以外で印刷するときに使用するソフトウェアです。ソフトウェアディスクに収録されています。

製品マニュアルの最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。

www.epson.jp/support/

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X Lion の画面を使用しています。

OS の表記

Windows の表記

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
 Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
 Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
 Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
 Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
 Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
 Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
 Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
 Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
 本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」、「Windows 10」、「Windows Server 2003」、「Windows Server 2008」、「Windows Server 2008 R2」、「Windows Server 2012」と表記しています。またこれらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

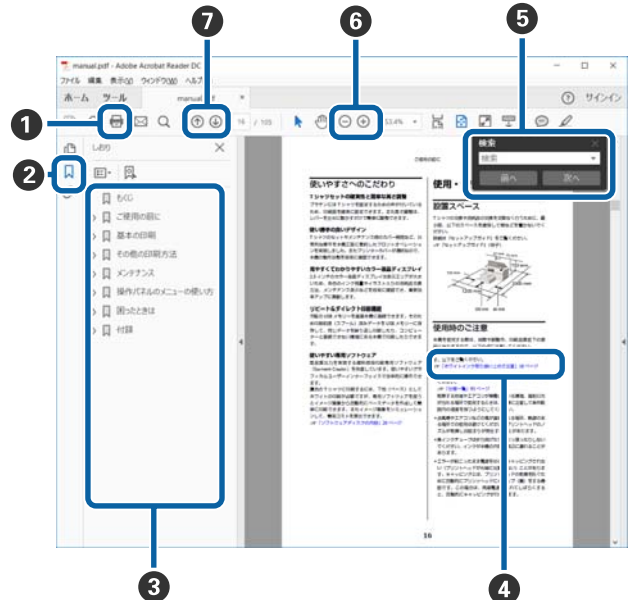
Mac OSX v10.5.8 以降
 本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

掲載イラスト

本書では、特に記載がない限り SC-T7255 のイラストを掲載しています。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
 [+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。
- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。
 元のページに戻るときは、以下のようになります。

Windows の場合

【Alt】キーを押したまま【←】キーを押します。

Mac OS X の場合

【command】キーを押したまま【←】キーを押します。

- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac OS X の場合

「編集」メニューで「簡易検索」を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーキーズーム] を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac OS X の場合

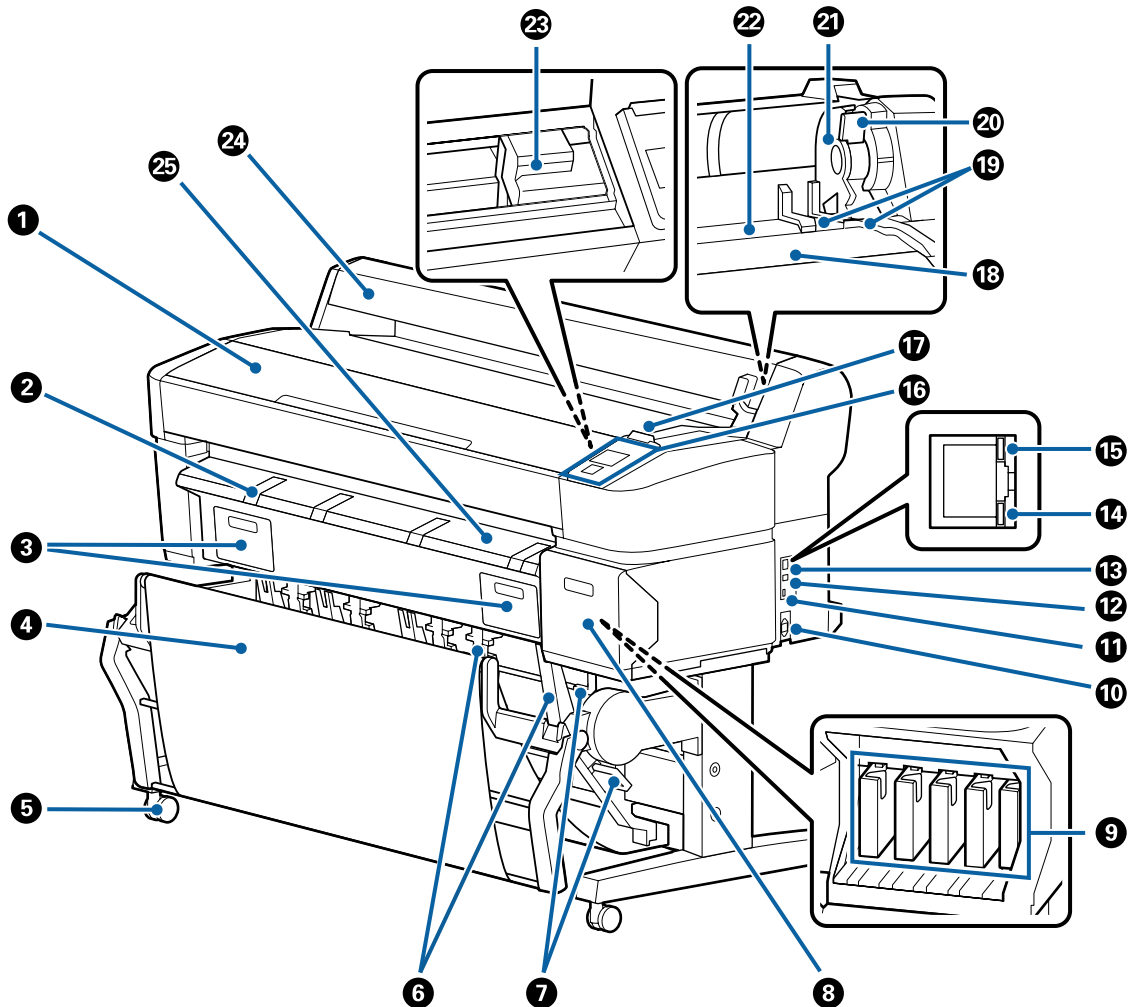
[表示] メニュー - [ズーム] - [マーキーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

各部の名称と働き

正面

SC-T7255 のイラストで説明します。排紙バスケットなど、形状が異なっても同じ働きをします。



① プリンターカバー

内部の清掃、紙詰まり時などに開けます。

② ボード紙サポート

ボード紙印刷時に起こしてボード紙をセットします。
ボード紙が円滑に給排紙できるようにサポートします。

☞ 「ボード紙のセットと取り外し」 39 ページ

③ メンテナンスボックスカバー

メンテナンスボックス交換時に開けます。
お使いの機種によっては、右側 1 つだけのものがあります。

☞ 「メンテナンスボックスの交換」 172 ページ

④ 排紙バスケット/大容量排紙バスケット

排紙された用紙を収容し、汚れや折れを防ぎます。
SC-T3255 は、オプションの専用スタンド (24) または大判複合機用スタンド (24) に排紙バスケットが付属しています。

☞ 「排紙バスケットの使い方 (SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255)」 45 ページ

☞ 「大容量排紙バスケットの使い方 (SC-T7255D/SC-T5255D)」 48 ページ

⑤ キャスター

左右のスタンドに 2 つずつ付いています。本機を設置後はキャスターを常にロックした状態でお使いください。

⑥ スタックガイド (SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のみ)

排紙バスケットに収容する排紙のサイズに応じてガイドを切り替えます。

☞ 「[排紙バスケットの使い方 \(SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255\)](#)」 45 ページ

⑦ スタックガイド切り替えレバー (SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のみ)

スタックガイドの切り替え操作をするレバーです。

⑧ カートリッジカバー

インクカートリッジ交換時に開けます。

☞ 「[インクカートリッジの交換](#)」 171 ページ

⑨ インクカートリッジ

インクカートリッジは、全スロットに装着してください。

⑩ 電源コネクタ

付属の電源コードを接続します。

⑪ Option ポート

大判複合機用スキャナーなどのオプションを接続します。

⑫ USB ポート

USB ケーブルでコンピューターと接続します。

⑬ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

⑭ データランプ

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 接続状態です。

点滅 : データ受信中です。

⑮ ステータスランプ

ネットワークの通信速度が色で示されます。

消灯 : 10Base-T

赤色 : 100Base-T

緑色 : 1000Base-T

⑯ 操作パネル

☞ 「[操作パネル](#)」 13 ページ

⑰ 大型アラートランプ

エラーが発生すると、点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。エラーの内容によって、点灯/点滅が異なります。エラーの内容は、操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

⑱ ロール紙仮置き台

ロール紙をセットする際に、仮置き台に置いてロール紙アダプターを取り付けます。

☞ 「[ロール紙アダプターの取り付け方](#)」 27 ページ

⑲ アダプターガイド

ロール紙を装着するときのガイドです。ロール紙をこのガイドに沿って移動させ、アダプターホルダーに装着します。

☞ 「[ロール紙アダプターの取り付け方](#)」 27 ページ

⑳ ロール紙ロックレバー

アダプターホルダーに装着したロール紙を固定するレバーです。

㉑ アダプターホルダー

ロール紙をセットしたロール紙アダプターを装着します。

㉒ 給紙口

ロール紙や単票紙を印刷するときの給紙口です。単票紙は手差しで 1 枚ずつ挿入します。

㉓ プリントヘッド

左右に移動しながら、高密度化ノズルでインクを吐出して印刷します。

㉔ ロール紙カバー

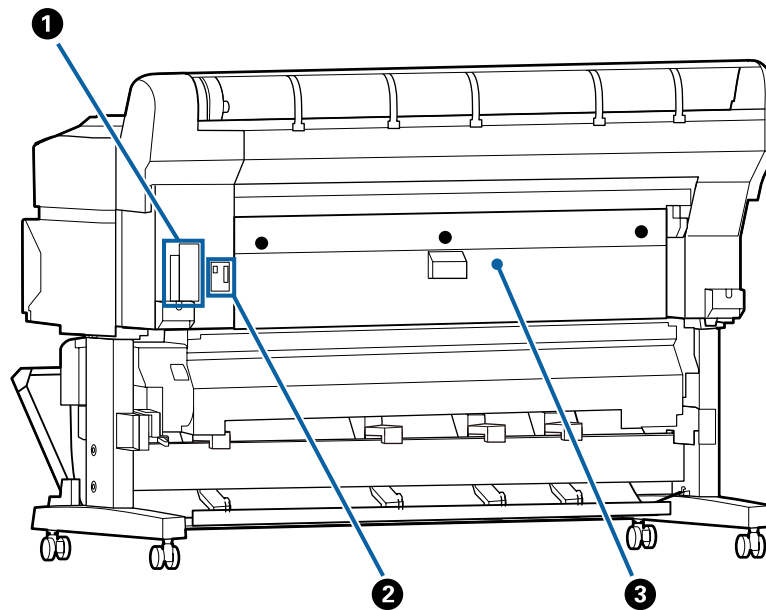
ロール紙を保護するカバーです。ロール紙のセットと取り外しを除いて閉めた状態でお使いください。

㉕ 排紙ガイド

排紙された用紙が排紙バスケットにスムーズに収納されるように誘導します。

背面

SC-T7255D のイラストで説明します。



① Option スロット

オプションのハードディスクユニット、または Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着するスロットです。

② ロール 2 ユニット接続コネクター (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)

ロール 2 ユニットの接続ケーブルを接続します。
通常は、必ずケーブルを接続した状態でお使いください。

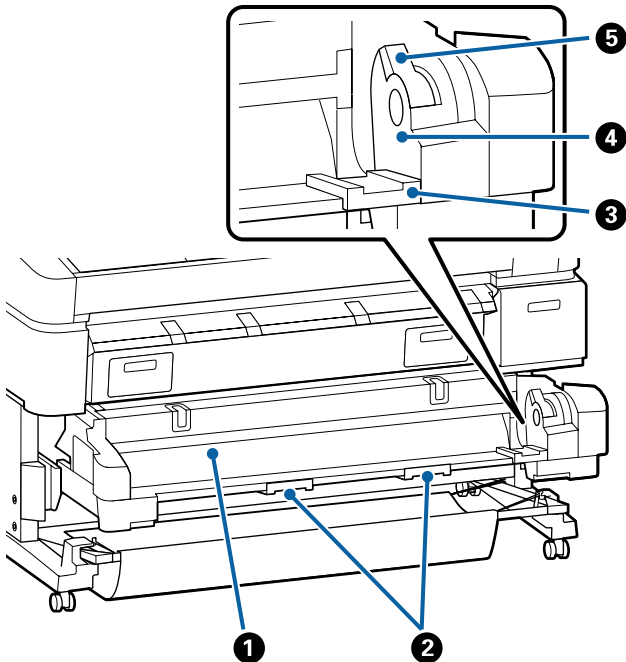
③ 背面カバー (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)

ロール 2 ユニットに装着しているロール紙が詰まったときに開けて詰まった用紙を取り除きます。
通常は、必ず閉めた状態でお使いください。

🔗 [「ロール紙が詰まった」189 ページ](#)

ロール 2 ユニット (SC-T7255D/SC-T5255D)

SC-T7255D のイラストで説明します。



① 給紙口

ロール紙を給紙するときの差し込み口です。

☞ 「ロール 2 のセット方法 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)」 31 ページ

② 引き出し手掛け

ロール紙のセット/取り外し時には、ここに手を掛けてロール 2 ユニットを出し入れます。

☞ 「ロール 2 のセット方法 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)」 31 ページ

③ アダプターガイド

ロール紙をセットしたロール紙アダプターをこのガイドに沿って移動させ、アダプターホルダーに装着します。

☞ 「ロール 2 のセット方法 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)」 31 ページ

④ アダプターホルダー

ロール紙をセットしたロール紙アダプターを装着します。

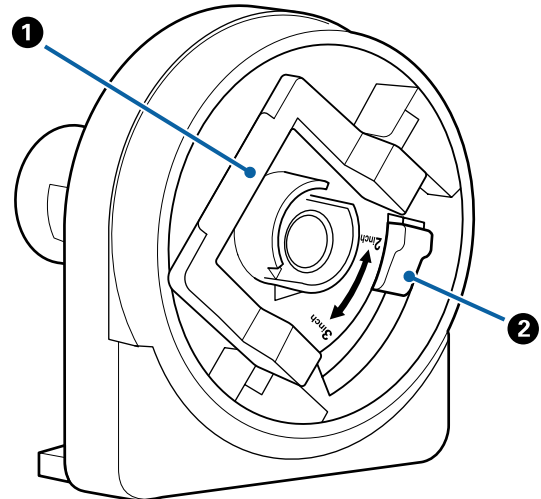
⑤ ロール紙ロックレバー

アダプターホルダーに装着したロール紙を固定するレバーです。

ロール紙アダプター

付属のロール紙アダプターは、ロール紙を本機にセットする際に使用します。

☞ 「ロール紙アダプターの取り付け方」 27 ページ



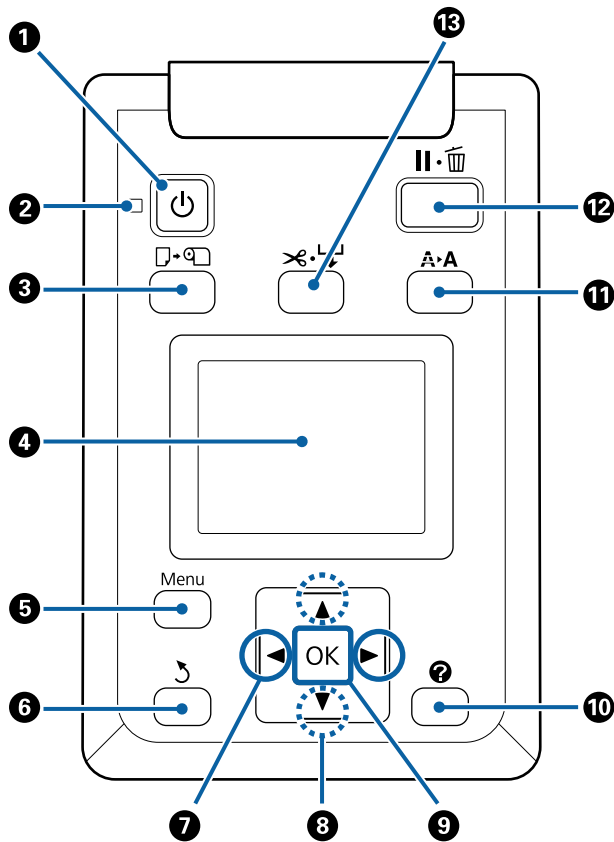
① アダプターロックレバー

レバーを起こすとロックが外れ、倒すとロックされます。ロール紙に取り付けるときはロックを外し、取り付けた後でロックします。

② サイズ切り替えレバー

取り付けるロール紙の紙管サイズに応じて切り替えます。

操作パネル



① 【】 ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入れたり、切ったりします。

② ランプ (電源ランプ)

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 電源が入っています。

点滅 : データ受信中または本機の電源を切る、ヘッドクリーニングなどの処理中です。

消灯 : 電源が入っていません。

③ 【・】 ボタン (用紙セット/取り外しボタン)

ボタンを押すと、画面に用紙セット/取り外しメニューが表示されます。取り付ける用紙タイプ、または「用紙取り外し」を選択して【OK】ボタンを押すと、セット方法や取り外し方が表示されます。画面に従ってセット、取り外しをしてください。

④ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。☞「画面の見方」14 ページ

⑤ 【Menu】 ボタン

ボタンを押すと現在、画面で選択されているタブのメニューが表示されます。(と タブを除く)

☞「操作パネルのメニューの使い方」128 ページ

⑥ 【】 ボタン (戻るボタン)

メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに押します。☞「メニューの操作」128 ページ

⑦ 【】 / 【】 ボタン (左右ボタン)

- タブ選択時に押します。選択されたタブは反転表示され、状態表示エリアが選択されているタブに応じた内容に変わります。

☞「画面の見方」14 ページ

- メニュー表示中に、「設定名の登録」や「IP アドレス」など、文字入力が必要な項目で入力する文字位置の指定や1文字消去するときに押します。

⑧ 【】 / 【】 ボタン (上下ボタン)

メニュー表示中にメニュー項目や設定値を選択するときに押します。☞「メニューの操作」128 ページ

⑨ 【OK】 ボタン

- ボタンを押すと現在、画面で選択されているタブのメニューが表示されます。

☞「操作パネルのメニューの使い方」128 ページ

- メニュー表示中に、項目を選択した状態で押すと、そのメニューのひとつ下の階層に進みます。

- メニューで設定値を選択した状態で押すと、その設定値が有効に設定されるか、あるいは実行されます。

⑩ 【】 ボタン (ヘルプボタン)

印刷を行っていない状態でボタンを押すとヘルプメニューが表示されます。確認したい項目を選択し、【OK】ボタンを押すとヘルプが表示されます。

⑪ 【A・A】 ボタン (メンテナンスボタン)

画面にメンテナンスメニューが表示され、ノズルチェックとヘッドクリーニングが行えます。

☞「プリントヘッドの調整」165 ページ

⑫ 【・】 ボタン (ポーズ/キャンセルボタン)

- 印刷中に押すと、一時停止 (ポーズ) 状態になります。ポーズ状態を解除するには、再度【・】ボタンを押すか、画面の「ポーズ解除」を選択して【OK】ボタンを押します。画面で「ジョブキャンセル」を選択して【OK】ボタンを押すと処理中の印刷をキャンセルできます。

- メニューやヘルプを表示中に押すと、メニューやヘルプを終了し印刷可能状態に戻ります。

⑬ 【】 ボタン (用紙送り/カットボタン)

- このボタンはロール紙がセットされているときに限り有効です。単票紙やボード紙がセットされているときに押しても機能しません。
- ロール紙を内蔵カッターで手動カットするときに押します。
[🔗「手動カットの方法」 33 ページ](#)
- 印刷を行っていない状態でロール紙がセットされているときに、このボタンを押し、次に【▼】ボタンを押すとロール紙が送られます。【▲】ボタンを押すと戻ります。【▼】ボタンを押し続けるとロール紙を最大 3m まで送ることができます。
【▲】ボタンを押し続けるとロール紙を最大 20cm まで戻すことができます。
なお、【▲】ボタンでロール紙を戻したとき、用紙先端が印刷開始位置に達すると巻き戻しが停止します。一旦ボタンから指を離して再度押すと停止が解除されます。

画面の見方



① メッセージ

- 本機の状態や操作、エラーメッセージが表示されます。
[🔗「メッセージが表示されたとき」 178 ページ](#)

② タブ・情報表示エリア

以下の 7 種類のタブが表示されます。

【◀】 / 【▶】 ボタンでタブを選択できます。

情報表示エリアには選択されているタブに応じた情報が表示されます。

🖨️ : スキャンファイルの操作タブ

オプションのハードディスクドライブや Adobe PostScript3 拡張ユニット (総称してハードディスクと記載します) 装着時に限りタブが表示されます。

以下の通り、スキャンファイルの操作が行えます。

- オプションの大判複合機用スキャナーを装着しているプリンターから送信されたスキャンファイルの受信。
- ハードディスクに保存されているスキャンファイルの印刷や転送。

[🔗「スキャン/受信した画像ファイルの操作」 77 ページ](#)

🖨️ : 大判コピータブ

オプションの大判複合機用スキャナー接続時に限り表示されます。

このタブが選択された状態で、実行する作業を選択し【OK】ボタンを押します。オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着しているとスキャン機能も使用できるようになります。

[🔗「大判複合機用スキャナーを使った大判コピーと大判スキャン \(オプション\)」 69 ページ](#)

🖨️ : 印刷ジョブタブ

印刷ジョブの情報が情報表示エリアに表示されます。

【Menu】ボタンを押すと、印刷ジョブメニューが表示されます。

[🔗「印刷ジョブメニュー」 138 ページ](#)

情報表示エリアの表示

プリンタードライバーを介して印刷しているときは、印刷中のジョブの名前が表示されます。オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着時に、保留ジョブがあればその数が表示されます。

！重要

■が点滅しているときは、オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットが通信中です。アイコン点滅中は、電源コードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。ハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットのデータが破損するおそれがあります。

🖨️：用紙タブ

セットしている用紙の情報が情報表示エリアに表示されます。

【Menu】ボタンを押すと、用紙メニューが表示されます。

🔗「用紙メニュー」140 ページ

情報表示エリアの表示

セットしている用紙の給紙方法と用紙種類が表示されます。

ロール紙セット時は、ロール紙幅も表示されます。[ロール紙残量管理] を [ON] に設定していると、セットしているロール紙の残量が表示されます。この残量が、[ロール紙残量警告] で設定した長さ以下になると、タブのアイコン上に ⚠️ が表示され、以下のような残量表示でロール紙が残り少ないことをお知らせします。



SC-T7255D/SC-T5255D でロール 1/ロール 2 にロール紙をセットしているときは、どちらが操作対象（使用中）かを、アイコンで確認できます。



印刷対象（使用中）のロールです。番号で、ロール 1、ロール 2 を示しています。



待機状態のロールです。自動切り替え指示があると印刷対象に切り替わります。

ロール紙の自動切り替え 🔗「ロール紙を自動で切り替えて印刷する（SC-T7255D/SC-T5255D のみ）」90 ページ

💧：インクタブ

インクカートリッジの状態の目安が情報表示エリアに表示されます。

情報表示エリアの表示

インクカートリッジの状態により、以下のようにアイコンが変わります。

正常時



警告・エラー発生時



1 状態表示



問題ありません。インジケーターの高さはカートリッジ内のインクの量に応じて変わります。



インクが残り少ないため、新しいインクカートリッジの準備が必要です。



インク残量が限界値以下のため、新しいインクカートリッジと交換してください。



エラーが生じています。画面のメッセージを確認し、エラーを解除してください。

2 インク色の略号

C : シアン

Y : イエロー

M : マゼンタ

MB : マットブラック

BK : フォトブラック

🔧 : メンテナンスタブ

メンテナンスボックスの状態が情報表示エリアに表示されます。

【Menu】ボタンを押すと、メンテナンスメニューが表示されます。

📖 「メンテナンスメニュー」 143 ページ

情報表示エリアの表示

メンテナンスボックスの状態により、以下のよう
にアイコンが変わります。



1 状態表示

 : 問題ありません。インジケータ
の高さは空き容量に応じて変わ
ります。

 : 空き容量が残り少ないため、新
しいメンテナンスボックスの準備が
必要です。

 : メンテナンスボックスの空き容量
が限界値以下になりました。新し
いメンテナンスボックスと交換し
てください。

⚙️ : セットアップタブ

設定している IP アドレスが情報表示エリアに
表示されます。

【Menu】ボタンを押すと、セットアップメ
ニューが表示されます。

📖 「セットアップメニュー」 144 ページ

🔍 : 拡大コピータブ

スキャナーが接続されているときに限り表示さ
れます。

このタブが選択された状態で【OK】ボタンを
押すと、拡大コピーメニューが表示されます。

📖 「拡大コピーメニュー」 160 ページ

特長

本機的主要な特長は以下の通りです。

高生産性を実現

高速印刷を実現

プリントヘッドのキャリッジの移動速度と用紙送りの速
度を高速化し、高速印刷を実現しました。

高速ロータリーカッター搭載により、用紙をすばやくカッ
トでき生産性が大幅に向上します。

連続収容に対応した排紙バスケット

(SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255)

排紙バスケットは、A2/A1/A0 サイズの普通紙を 20 枚ま
で連続して収容できますので、作業の自動化促進により
生産性が向上します。

SC-T3255 では、オプションの専用スタンド (24) に排紙
バスケットが付属しています。

📖 「排紙バスケットの使い方 (SC-T7255/SC-T5255/SC-
T3255)」 45 ページ

様々なサイズの用紙を混在して連続収容できる大 容量排紙バスケット

(SC-T7255D/SC-T5255D)

A1 縦長サイズ以下の様々な用紙サイズを混在して複数枚
収容できます。

また、省スペースポジションにすることで、排紙バスケット
の飛び出しを少なくできるので、狭い場所でも邪魔にな
りません。

📖 「大容量排紙バスケットの使い方 (SC-T7255D/SC-
T5255D)」 48 ページ

見やすくわかりやすいカラー液晶パネルで操作性 を向上

大きく明るいカラー液晶パネルに、直感的に操作できる
画面デザインでわかりやすく、操作しやすくなりました。
表示エリアが大きいので、エラーメッセージなども丁寧
でわかりやすく、用紙のセット方法もイラスト入りで確
認できます。

📖 「画面の見方」 14 ページ

大型アラートランプで離れた位置からも稼動状態 を確認

エラーが生じたときに、視認性の良い大型アラートラン
プで離れた位置からも状態が確認できます。うっかりイ
ンクや用紙が終わっていて印刷が止まっていた、そんな
無駄を防止できます。

2本のロール紙がセットでき、生産性が向上 (SC-T7255D/SC-T5255D)

ロール1(上段)とロール2(下段)の2ヵ所にロール紙をセットできます。これにより、以下の通り生産性が向上します。

- ロール1とロール2に異なる用紙種類のロール紙をセットして、印刷時にプリンタードライバーから用紙種類を指定してロール1とロール2を切り替えて印刷できるため、用紙種類を変えるたびに用紙をセットし直す手間がかかりません。

📖「用紙種類に応じてロール1/ロール2を切り替える」90ページ

- ロール1とロール2に異なる幅のロール紙をセットしておくと、印刷ジョブの原稿サイズに応じて、自動で余白が少なくなる方のロール紙に切り替わり印刷されます。このため、簡単に用紙の節約ができます。📖「原稿サイズに応じてロール1/ロール2を切り替える」92ページ

- ロール1とロール2に同じ用紙種類・幅のロール紙をセットしておくと、印刷を続けるうちに、ロール紙残量が印刷長よりも短くなったと予測すると、自動で印刷長よりも長い方のロール紙に切り替わり印刷を継続します。このため、連続無人稼働が可能となります。

📖「用紙がなくなったらロール1/ロール2を切り替えて、残量が多い方で印刷する」93ページ

高画質を実現

新開発のEPSON UltraChrome XD Inkテクノロジーで、高品質なCAD図面やポスターを印刷できます。

くっきり鮮明で耐水性に優れたCAD図面

新開発の濃度の高いマットブラックインクにより、非常に見やすい図面印刷を実現しました。

全色顔料インクを使用しているため、耐水性に優れており、屋外へも安心して持ち出せます*1。

プリンタードライバーでは、簡単に最適な図面印刷ができる線画モードを搭載しており、線のつながりや斜線・曲線などの線画や細線の出力に優れた、図面に最適な印刷ができます。

ビビッドで、耐光性に優れたポスター/掲示物*2

新マゼンタインクによりポスターで大切な赤色が改善され、より高いアイキャッチ効果が生まれます。

プリンタードライバーでは、簡単にビビッドなポスター印刷ができるポスターモードを搭載しています。ポスターモードを選択するだけで、鮮やかな色合いのポスター印刷ができます。

全色顔料インクを使用しているため、耐水性に優れており、短期屋外掲示にも対応できます。また、耐光性にも優れているため、色あせしにくく、光の当たる場所でも安心して掲示できます。

*1 屋外用途では、ラミネート加工をしてお使いください。

*2 すべての用紙において同様の効果が得られるものではありません。

使いやすさへのこだわり

ロール紙のセットが簡単なスピンドルレス型のロール紙アダプター

スピンドルを必要としないため、狭い場所でも容易にロール紙の交換ができます。

本機のロール紙仮置き台にロール紙を載せて両端にロール紙アダプターを取り付けるだけでセットできます。ロール紙仮置き台の高さが低いので、背の低い方でも容易にセットできます。

📖「ロール紙アダプターの取り付け方」27ページ

メンテナンスの容易さ

ロール紙のセット、インクカートリッジ・メンテナンスボックス・カッターの交換など、全ての消耗品交換作業を本機の前面から行えますので、本機を壁に寄せたままお使いいただけます。背面に回りこむために、本機を移動する必要はありません。

使用用途で3種類の容量から選べるインクカートリッジ

使用頻度に合わせて110/350/700mlの3種類のインクカートリッジから選択できます。大量のポスターを印刷するときは、印刷コストを下げられる700mlのインクカートリッジを、モノクロ図面の印刷では110/350mlのインクカートリッジをと、色ごとに選択できます。

使い勝手を大幅に改善したプリンタードライバー

用途や目的を選択するだけで、最適な印刷設定で印刷できます。個々に面倒な印刷設定をする必要はありません。プリンタードライバー起動時に、自動的にプリンターの用紙セット状態を取得し、その結果が「用紙設定」に表示されますので、用紙のセットミスによる印刷の失敗を軽減できます。

また、設定した状態がプリンタードライバー上のイラストで確認できるので、設定ミスによる印刷の失敗を軽減できます。

一体型設置が可能な大判複合機用スキャナー

オプションの大判複合機用スキャナーは、大判複合機用スタンドを使用すると本機の上部に装着できます。このため、設置スペースを取らず、原稿のセット、コピー印刷がその場で行えます。

また、コピー実行後、高速で印刷が開始されるため、ストレスなくお使いいただけます。

🔗「大判複合機用スキャナーを使った大判コピーと大判スキャン（オプション）」69 ページ

使用・保管時のご注意

設置スペース

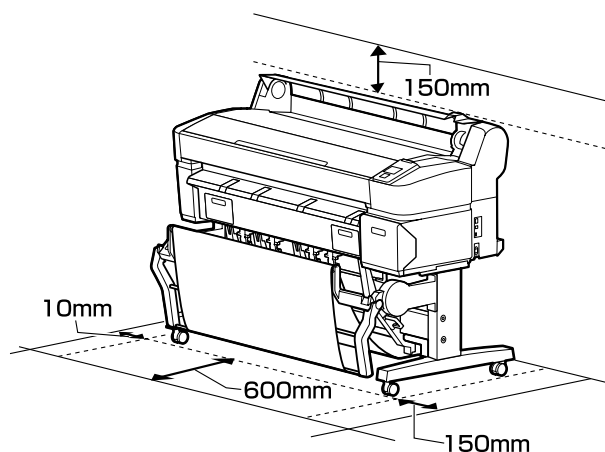
排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。

🔗「仕様一覧」213 ページ

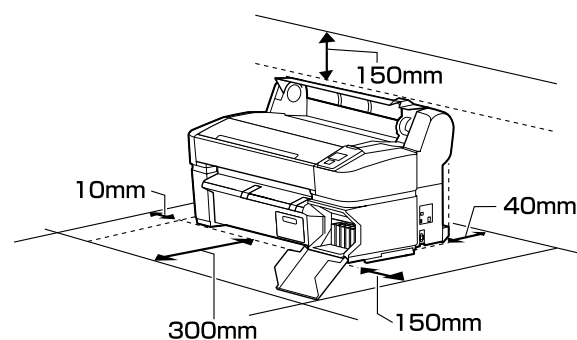
* ボード紙に印刷するときは、本機の前面と背面にスペースを確保してください。

🔗「ボード紙のセットと取り外し」39 ページ

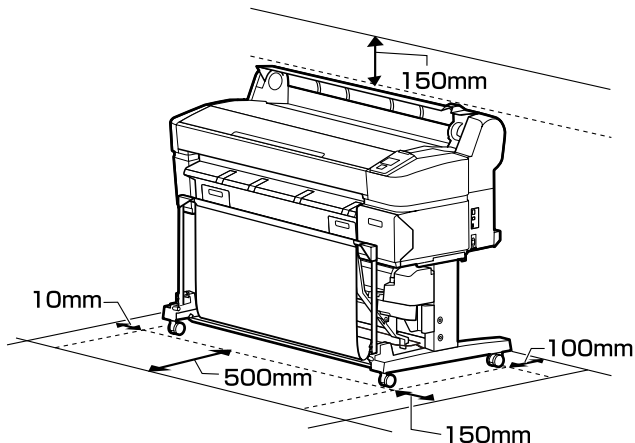
SC-T7255/SC-T5255



SC-T3255



SC-T7255D/SC-T5255D

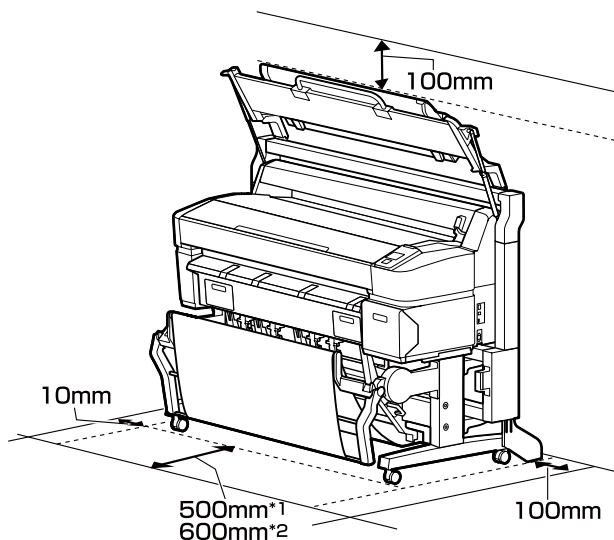


大判複合機用スキャナー装着時

オプションの大判複合機用スタンドを使用して大判複合機用スキャナーを装着したときの設置スペースです。

* セットする原稿の厚さが 0.25mm 以上のときは、本機の前面と背面にスペースを確保してください。

🔗 [「厚さ 0.25mm 以上の原稿をセットするとき」](#)
72 ページ



*1 SC-T7255D/SC-T5255D のとき

*2 SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のとき

使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。

• 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。🔗 [「仕様一覧」 213 ページ](#)

ただし、上記の条件を満たしていても使用する用紙の環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことが

あります。必ず用紙の環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、用紙のマニュアルをご覧ください。

また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- エラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（ふた）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが消費されます。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

- 印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、1 週間に 1 度は印刷することをお勧めします。
- 用紙を本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。また、用紙が波打ったり、反ったりして給紙不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。保管時は用紙を取り外してください。
- プリントヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右端に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

参考

キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度切ってください。

- ホコリが入らないようカバーなどを全て閉めて保管してください。
また、長期間使用しないときは、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。
プリンターのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。
- 本機を長期間使用しなかったときは、電源を入れると良好な印刷品質を保つために、自動でヘッドクリーニングが実施されることがあります。
ヘッドクリーニングが終了するまでに 10～15 分程かかります。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

インクカートリッジは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

- 付属のインクカートリッジおよびメンテナンスボックスは初回充填用です。交換用のインクカートリッジおよびメンテナンスボックスをお早めにご準備ください。
- インクカートリッジは直射日光を避けて常温で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、装着から 1 年以内に使い切ることをお勧めします。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、4 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジ上の IC チップは触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。
- インクカートリッジを取り外した状態で本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクカートリッジは全スロットに装着したままにしてください。
- インクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- 使用中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内にインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

用紙取り扱い上のご注意

用紙の取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。用紙の状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。

必ず各用紙のマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- エプソン製の専用紙は一般室温環境下（温度 15～25℃、湿度 40～60%）でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- 用紙の端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 用紙は、温度や湿度などの環境の変化により、波打ったり、反ったりすることがあります。用紙を傷付けたり汚したりしないように、手で平らな状態に修正してからセットしてください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますので、捨てないでください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の単票紙を保管する際は、個装袋に戻して個装箱に入れて水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙は、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。

出力紙取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こすったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれることがあります。
- 印刷後の用紙は、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡はすぐに用紙を剥がして乾燥させればなくなります。そのままだと跡が消えなくなります。
- 十分乾燥させずにアルバムなどに保存すると、にじむことがあります。
- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐために用紙のマニュアルの指示に従って展示/保存してください。

参考

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製の専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。

- 各エプソン製専用紙の詳しい印刷後の取り扱い方法は、専用紙のマニュアルをご覧ください。
- 写真やポスターなどの印刷物は照明（光源*）の違いなどによって、色の見え方が異なります。本機の印刷物も光源の種類によって色が異なって見えることがあります。
* 光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

添付ソフトウェアの紹介

本機で使用するソフトウェアは、次の 2 通りの方法で提供されます。

- 付属のソフトウェアディスクに収録
収録されているソフトウェアの内容は次項をご覧ください。
- 本機に内蔵
ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。
収録されているソフトウェアの内容は以下をご覧ください。
[🔗 「内蔵ソフトウェアの概要」 23 ページ](#)

ソフトウェアディスクの内容

付属のソフトウェアディスクには、以下のソフトウェアが収録されています。必要に応じてインストールしてください。各ソフトウェアの詳細は『ネットワークガイド』（PDF）、または各ソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

！重要

ソフトウェアは、随時バージョンアップを行い利便性の向上や機能強化をしています。最新版は、エプソンのウェブサイトでご確認ください。
www.epson.jp

Windows の場合

ソフトウェア名称	概要
ドライバーとユーティリティ	以下のソフトウェアがインストールされます。 プリンタードライバー 本機を使用するには、プリンタードライバーをインストールしてください。 セットアップ時にインストールを実行していれば、プリンタードライバーはインストールされています。 🔗 「プリンタードライバーの概要」 24 ページ LFP リモートパネル 2 ユーザー用紙設定などを行うソフトウェアです。
ネットワークユーティリティ	コンピューターと本機をネットワーク接続するときは、チェックを付けた状態でインストールしてください。インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単にできます。 また、EpsonNet Print がインストールされます。EpsonNet Print は、コンピューターと本機をネットワーク接続して、TCP/IP 直接印刷をするときに使うソフトウェアです。🔗 『EpsonNet Print の使い方』（PDF）
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。
LFP Print Plug-In for Office	Microsoft Office アプリケーション（Word、Excel、PowerPoint）用のプラグインソフトウェアです。インストールすると、Office アプリケーションの画面上にリボンが表示され、簡単な操作で横断幕や垂れ幕、拡大印刷ができます。 インストールするときは、事前に以下の点を確認してください。 • Office 2003/Office 2007/Office 2010/Office 2013 をインストールしていること。 • Office 2003/Office 2007/Office 2010/Office 2013 を起動していないこと。

Mac OS X の場合

ソフトウェア名称	概要
ドライバーとユーティリティー	以下のソフトウェアがインストールされます。 プリンタードライバー 本機を使用するには、プリンタードライバーをインストールしてください。 セットアップ時にインストールを実行していれば、プリンタードライバーはインストールされています。 🔗 「プリンタードライバーの概要」 24 ページ LFP リモートパネル 2 ユーザー用紙設定などを行うソフトウェアです。
ネットワークユーティリティー	コンピューターと本機をネットワーク接続するときは、チェックを付けた状態でインストールしてください。インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単にできます。
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

内蔵ソフトウェアの概要

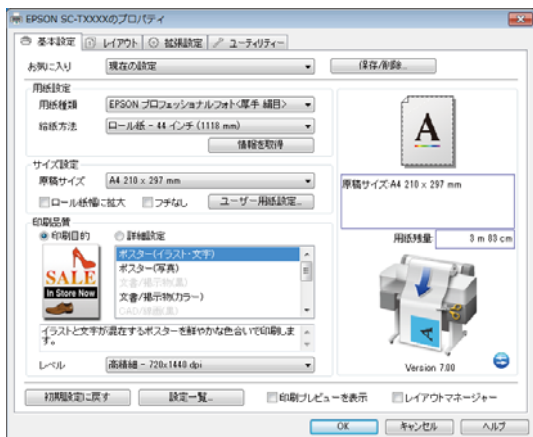
ソフトウェア名称	概要
Remote Manager	本機の状態の確認やネットワーク設定、セキュリティ設定などが行えます。 また、オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript3 拡張ユニットに保存した印刷ジョブの操作などもできます。 🔗 「ハードディスクドライブへの保存と再印刷（オプション）」 65 ページ Remote Manager の起動方法や使い方は、以下をご覧ください。 🔗 「Remote Manager の使い方」 25 ページ
Copy Manager	オプションの大判複合機用スキャナーを使った大判コピーや大判スキャンの操作ができます。 タブレットなどから起動して使うと、大きな画面でコピー設定やスキャン設定ができ操作性良く作業できます。使い方の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。 起動方法 🔗 「Copy Manager の起動方法」 70 ページ

プリンタードライバーの概要

プリンタードライバーの主な機能は以下の通りです。

- アプリケーションソフトから受け取った印刷データを、プリンターで印刷できるデータに変換してプリンターに送ります。
- 設定画面で原稿サイズや印刷品質などを設定できます。

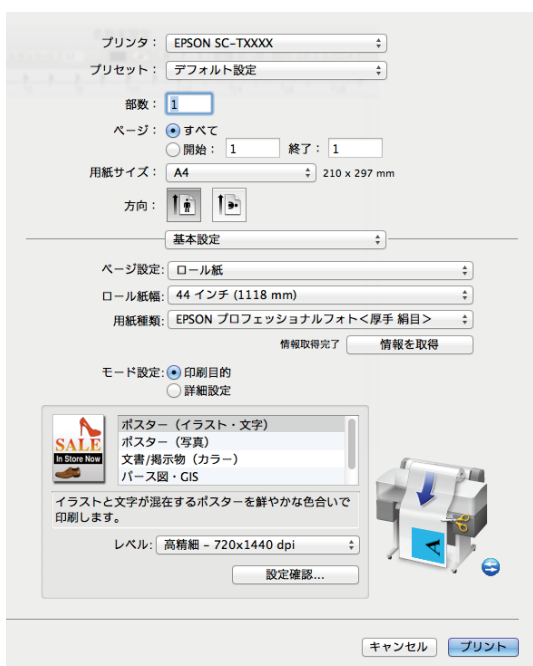
Windows



設定した印刷条件は保存できます。また、保存した設定の書き出しや取り込みができます。

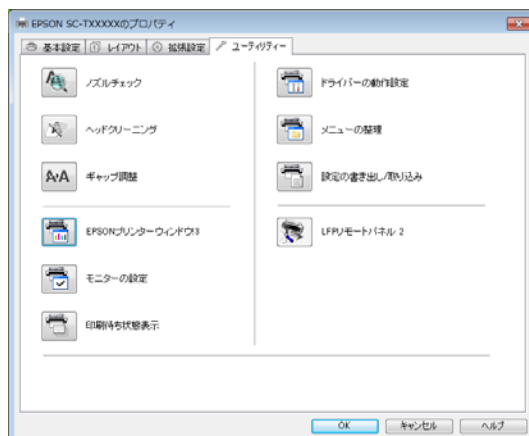
☞「プリンタードライバーのカスタマイズ」120 ページ

Mac OS X



- 本機の印刷品質を保つための各種メンテナンス機能の実行と、本機の状態確認などができます。

Windows



プリンタードライバーの全設定の書き出しや取り込みができます。

☞「ユーティリティ画面の概要」122 ページ

Mac OS X

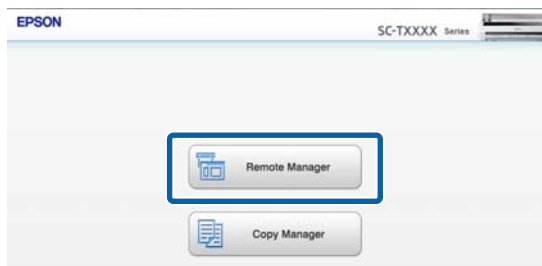


Remote Manager の使い方

本機とネットワークで接続されているコンピューターやタブレット端末の Web ブラウザーで起動して使用します。本機の状態確認やネットワークなどの設定以外に、アップロード印刷やフォルダー印刷が行えます。

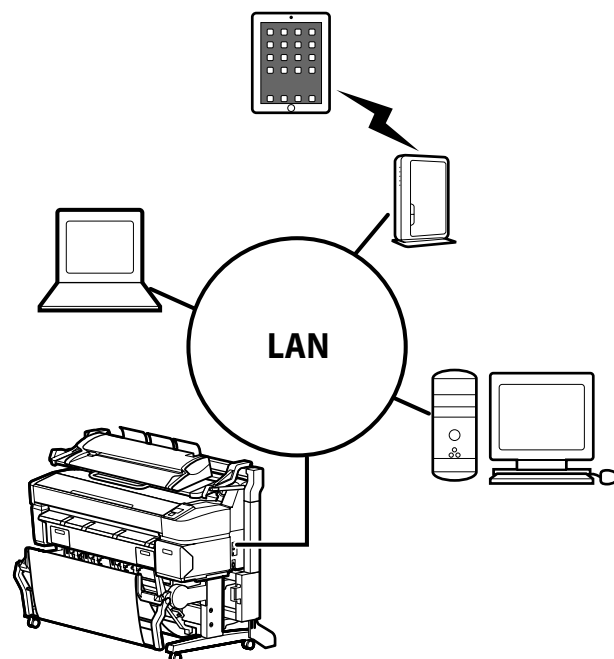
起動方法

- 1 ネットワークを介して本機と接続されているタブレット端末やコンピューターで **Web ブラウザー** を起動します。
- 2 本機に設定されている **IP アドレス** をアドレスバーに入力して、**【Enter】** または **【return】** キーを押します。
以下のいずれかのオプション装着時は、手順 3 に進みます。
 - 大判複合機用スキャナー
 - ハードディスクユニット
 - Adobe PostScript 3 拡張ユニット非装着時は、Remote Manager が起動します。
- 3 表示された画面で、**【Remote Manager】** をクリックします。



本機は無線 LAN 機能を搭載していません。本機とタブレット端末をネットワーク接続するには、無線 LAN ルーターまたは無線 LAN アクセスポイントが必要です。

例



対応 OS やブラウザは、以下をご覧ください。

 [「システム条件」212 ページ](#)

アップロード印刷とフォルダー印刷の概要

アップロード印刷とフォルダー印刷は、プリンタードライバーをインストールしていないコンピューターやタブレット端末から Remote Manager を起動して印刷する機能です。

アップロード印刷

印刷したいファイルを選択して本機にアップロードするだけで印刷できます。お使いのブラウザがドラッグ&ドロップに対応していれば、複数のファイルを一括してアップロードして順次印刷できます。

フォルダー印刷

あらかじめ設定した共有フォルダーのファイルを選択して印刷できます。

対応ファイル

アップロード印刷、フォルダー印刷できるファイルは以下の通りです。対応ファイルは、オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着しているかどうかで異なります。

ファイルフォーマット	非装着	装着
HP-GL/2	○	○
HP RTL	○	○
PDF	-	○
PostScript	-	○
EPS	-	○
TIFF	-	○
JPEG	-	○
CALS G4(type 1)	-	○

HP-GL/2、HP RTL フォーマットのファイルは、本機の設定メニューの [HP-GL/2 設定] に従って印刷されます。

🔗 [「プリンター設定」144 ページ](#)

それ以外のファイルは、本機の設定メニューの [PS3 拡張ユニット] の設定に従って印刷されます。

🔗 [「オプション設定^{*4}」152 ページ](#)

操作の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

基本の操作

ロール紙のセットと取り外し

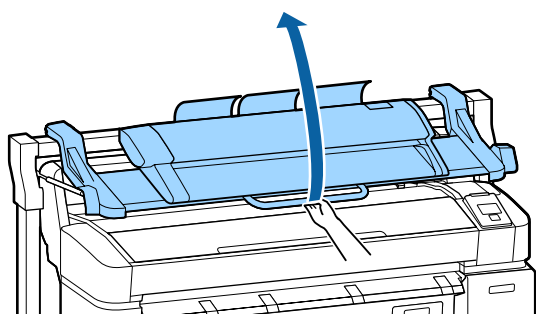
ロール紙は、付属のロール紙アダプターに取り付けてから本機にセットします。

！重要

用紙は印刷直前にセットしてください。本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。

参考

- 本機で使用できる用紙の詳細は、以下をご覧ください。
🔗 [「使用可能な用紙」198 ページ](#)
- オプションの大判複合機用スキャナーを専用スタンドで本機に装着しているときは、スキャナーを「カチッ」と音がするまで上げてから作業してください。



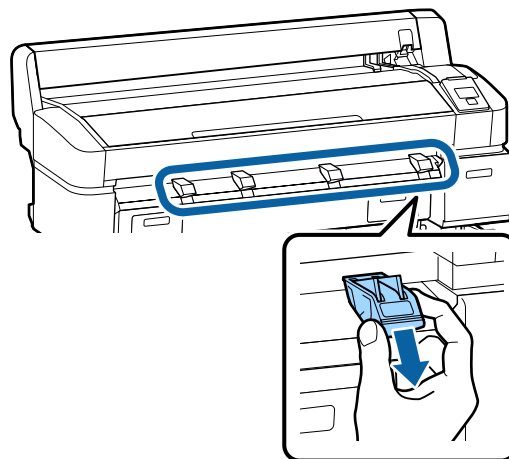
SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのときは、ロール 1 とロール 2 でロール紙のセット方法が異なります。ロール紙アダプター取り付け後は、以下をご覧ください。
ロール 1 のセット方法 🔗 [「ロール紙/ロール 1 のセット方法」29 ページ](#)
ロール 2 のセット方法 🔗 [「ロール 2 のセット方法 \(SC-T7255D/SC-T5255D のみ\)」31 ページ](#)

ロール紙アダプターの取り付け方

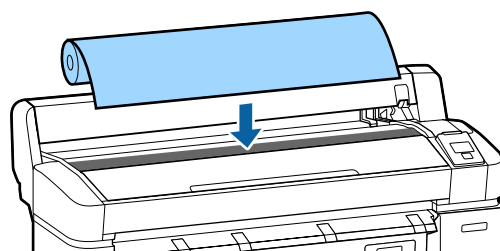
- 1 【⏻】 ボタンを押して本機の電源を入れます。

参考

- 排紙バスケットを閉じると、作業がしやすくなります。
SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 🔗 [「収納と開き方」45 ページ](#)
SC-T7255D/SC-T5255D 🔗 [「収納方法」48 ページ](#)
- ボード紙サポートが上がっていると、紙詰まりの原因となりますので、全て下げます。下げるには、ボード紙サポートをつまんで、斜め下に引っ張り、手を放します。

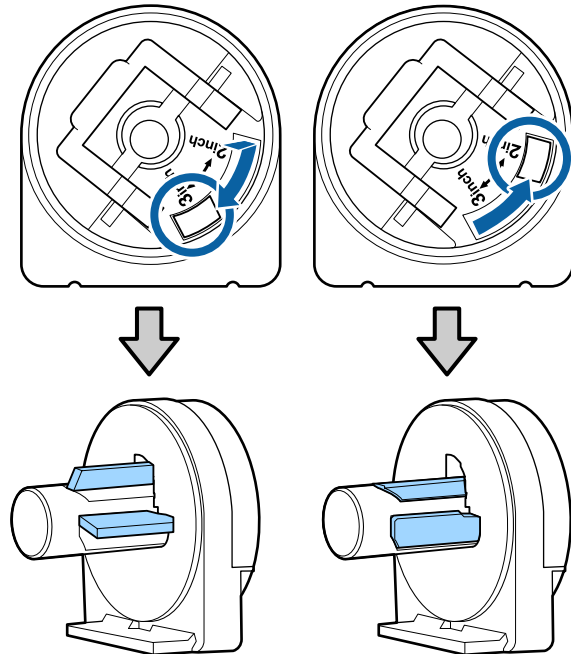


- 2 ロール紙を本機上面のロール紙仮置き台に置きます。

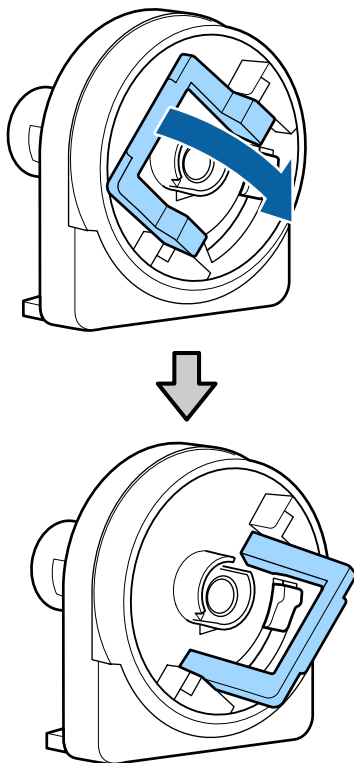


- 3** 付属の2つのロール紙アダプターのサイズ切り替えレバーを、セットするロール紙の紙管サイズに応じて切り替えます。

3インチ紙管のとき 2インチ紙管のとき

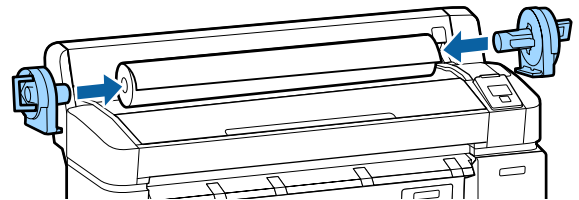


- 4** ロール紙アダプターは2つとも、アダプターロックレバーを起こしてロックを解除します。

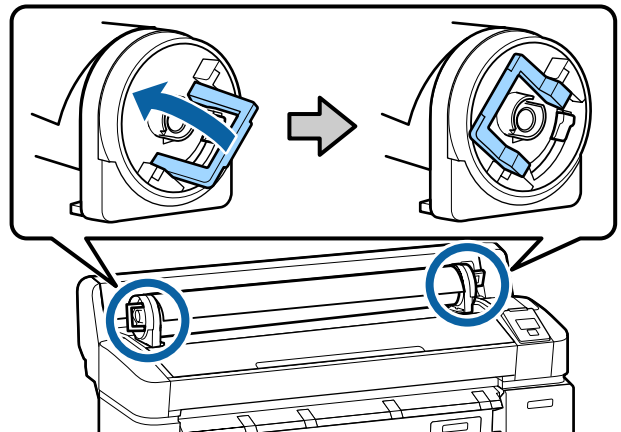


- 5** ロール紙の両端にロール紙アダプターを取り付けます。

ロール紙とロール紙アダプターが隙間なくぴったりと付くまで押し込みます。

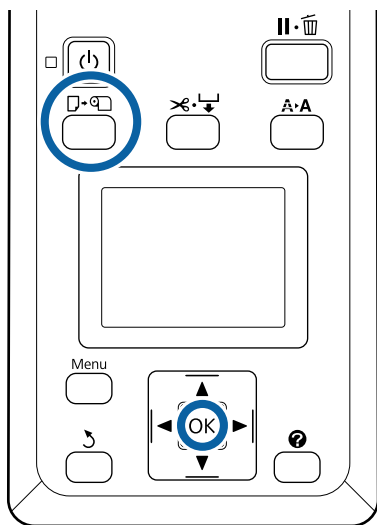


- 6** アダプターロックレバーを両側とも倒してロックします。

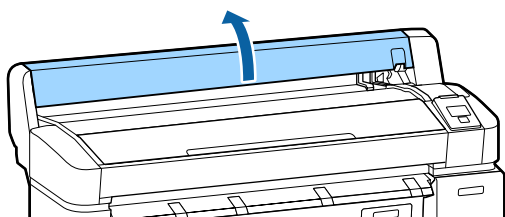


ロール紙/ロール 1 のセット方法

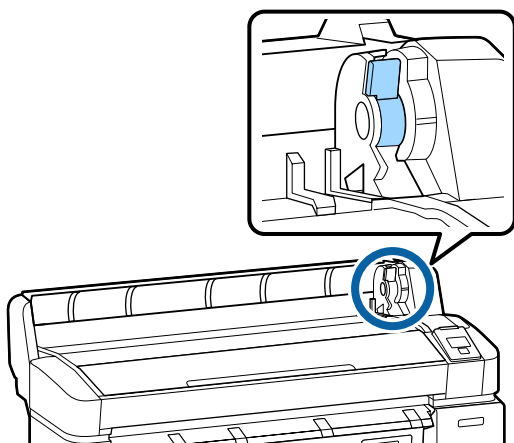
以下の操作で使用するボタン



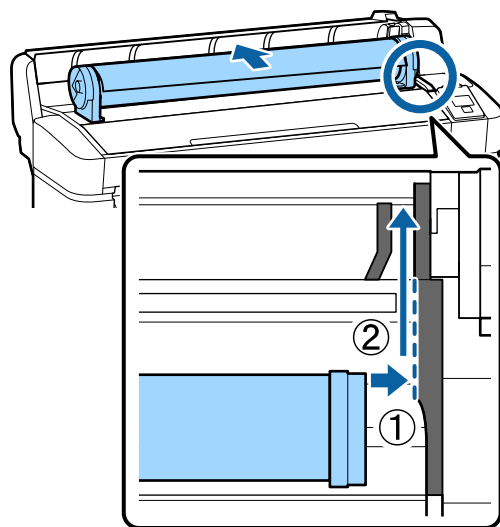
- 1** ロール紙カバーを開けます。



- 2** アダプターホルダーのロックレバーが上がっていることを確認します。



- 3** アダプターガイドに当たるまでロール紙を右に寄せ、次にアダプターガイドに沿わせて、ゆっくりと奥に滑らせて押し込みます。



- 4** 操作パネルの【】ボタンを押します。画面で、[ロール紙] または [ロール 1] が選択されていることを確認して【OK】ボタンを押します。

- 5** ロール紙がたるんだり、先端が折れたりしていないことを確認して、給紙口に挿入します。

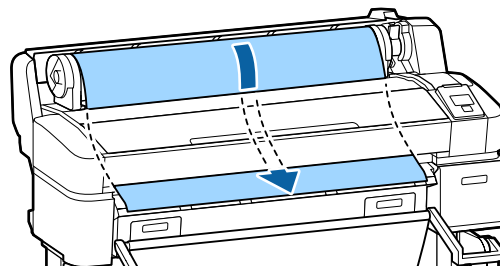
SC-T7255D/SC-T5255D で【自動給紙設定】を【ON】に設定しているとき

ロール紙を挿入していくと「ピッピッ」と鳴ります。音が鳴ったら、手順6に進んでください。

**SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 使用
時、SC-T7255D/SC-T5255D で【自動給
紙設定】を【OFF】にしているとき**

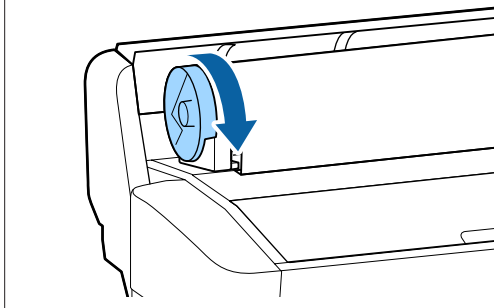
挿入したロール紙の先端を図のように、本体の外までまっすぐに引き出します。

ロール紙の先端が水平になっていないときやきれいにカットされていないときは、手順 6 の操作時に内蔵カッターでカットできます。

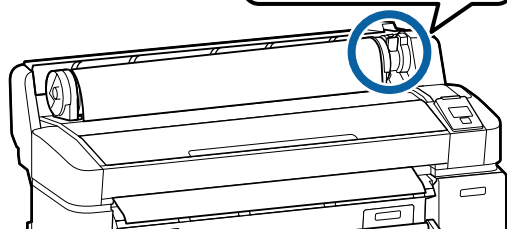
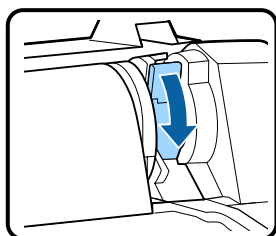


参考

ロール紙の印刷面に触れないようにセットしてください。ロール紙挿入後は、図のようにロール紙アダプターを回してロール紙を送り出してください。

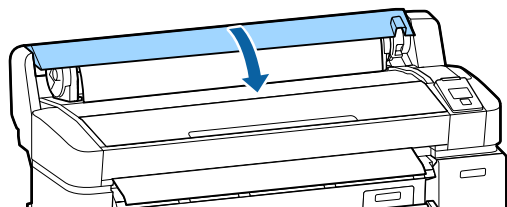


- 6 ロール紙ロックレバーを下げて【OK】ボタンを押します。



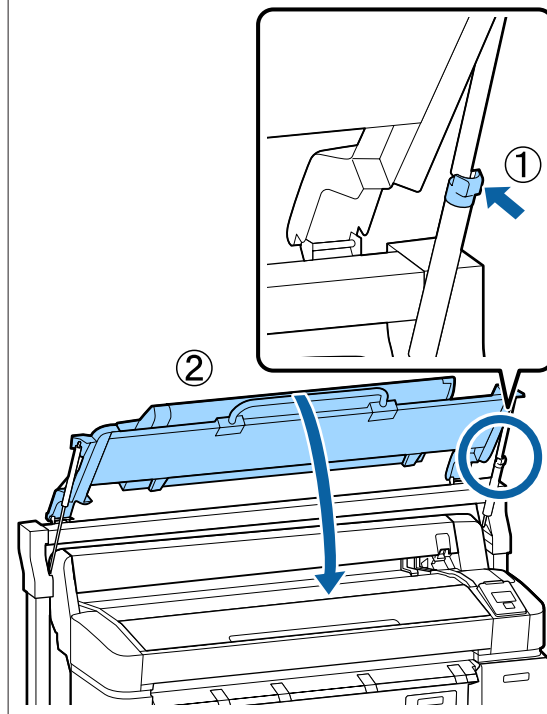
SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 使用時、SC-T7255D/SC-T5255Dで【自動給紙設定】を【OFF】にしているときは、【OK】ボタンを押してから、5 秒以内に【】ボタンを押すとロール紙先端を内蔵カッターでカットできます。

- 7 ロール紙カバーを閉めます。



参考

ロール紙セット開始前に、オプションの大判複合機用スキャナーを上げたときは、スキャナーを使用できる状態に戻してください。



- 8 用紙種類を確認します。

セットしたロール紙に用紙情報のバーコード印刷があるとき

給紙時にバーコードを自動的に読み取り、自動で用紙種類とロール紙残量管理の設定が行われます。

【印刷可能】と表示されたら、印刷を実行できます。

セットしたロール紙に用紙情報のバーコード印刷がないとき

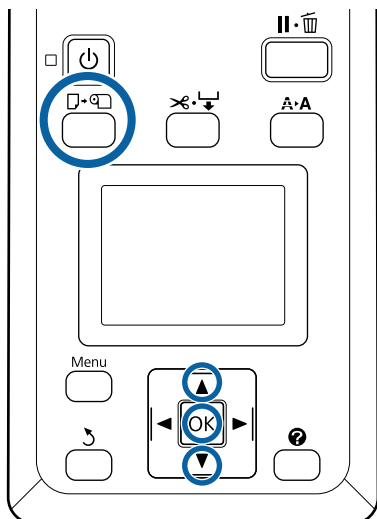
画面に現在本機で設定されている用紙種類が表示されます。

表示された設定のまま印刷するときは【▼】 / 【▲】ボタンを押して【上記設定で決定する】を選択し、【OK】ボタンを押します。

設定を変更するときは、【設定を変更する】を選択し、【OK】ボタンを押します。 [「用紙設定の確認と設定変更」43 ページ](#)

ロール 2 のセット方法 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)

以下の操作で使用するボタン



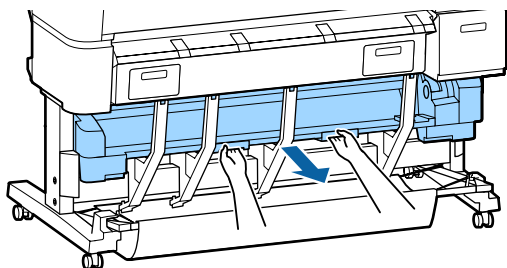
- 1 排紙バスケットを水平ポジションまで倒します。

☞ 「ポジションの変更方法」 48 ページ

- 2 操作パネルの【□・○】ボタンを押します。

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[ロール 2] を選択し、【OK】ボタンを押します。

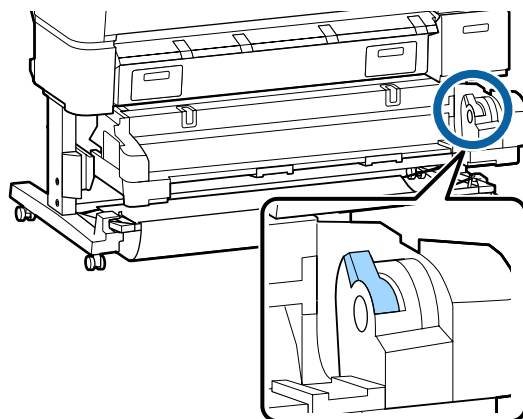
- 3 ロール 2 ユニットの引き出し手掛けに手を掛けて、引き出します。



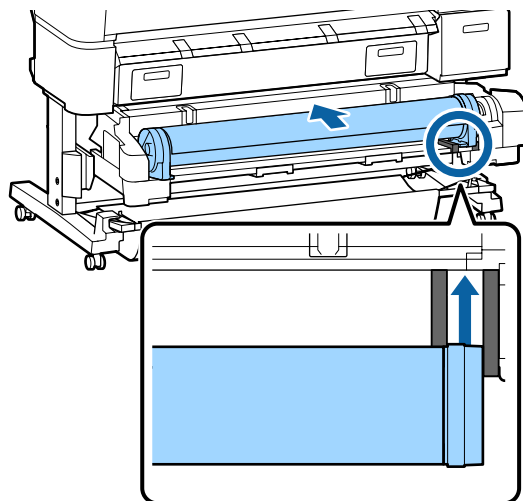
!重要

ロール 2 ユニットは、操作パネルの画面で指示されたとき以外は、引き出さないでください。用紙がセットされた状態で不用意に引き出すと、用紙詰りや用紙が傷つく原因となります。

- 4 ロール紙ロックレバーが上がっていることを確認します。

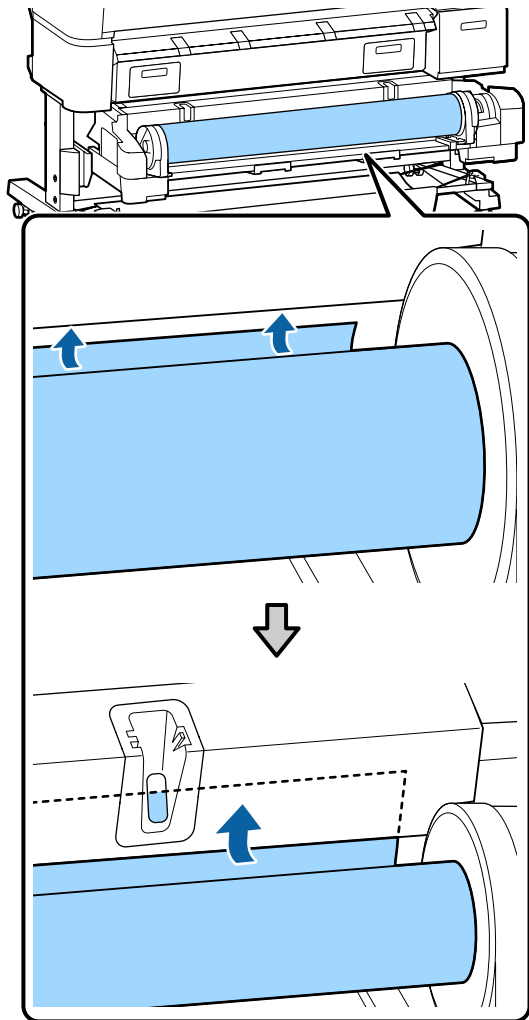


- 5 ロール紙アダプターの平らな面が下を向くようにしてアダプターガイドに置き、次にアダプターガイドに沿わせて、ゆっくりと奥に滑らせて押し込みます。

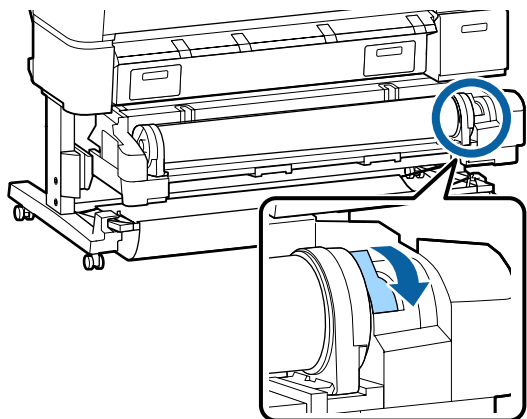


- 6** ロール紙がたるんだり、先端が折れたりしていないことを確認して、給紙口に挿入します。

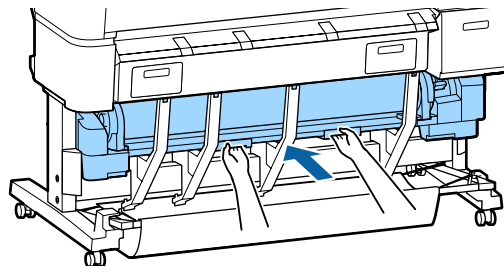
ロール紙を挿入していくと、自動給紙され「ピッピッ」と鳴ります。



- 7** ロール紙ロックレバーを下げます。



- 8** ロール 2 ユニットを押し込み【OK】ボタンを押します。



- 9** 用紙種類を確認します。

セットしたロール紙に用紙情報のバーコード印刷があるとき

給紙時にバーコードを自動的に読み取り、自動で用紙種類とロール紙残量管理の設定が行われます。

「印刷可能」と表示されたら、印刷を実行できます。

セットしたロール紙に用紙情報のバーコード印刷がないとき

画面に現在本機で設定されている用紙種類が表示されます。

表示された設定のまま印刷するときは【▼】 / 【▲】ボタンを押して「上記設定で決定する」を選択し、【OK】ボタンを押します。

設定を変更するときは、「設定を変更する」を選択し、【OK】ボタンを押します。🔗 [「用紙設定の確認と設定変更」43 ページ](#)

ロール紙のカット設定

本機は内蔵カッターを装備しています。印刷後のロール紙を以下のどちらかでカットできます。

- 自動カット：
プリンタードライバーや操作パネルのメニューでの設定に従って、1 ページ印刷することになった位置で自動的にカットされます。
- 手動カット：
操作パネルでカット位置を設定してカットします。手動カット時は、切り取り線が印刷されますので、切り取り線を目安に内蔵カッターでカットできます。

！重要

以下のような市販の用紙種類を内蔵カッターでカットすると、きれいにカットできないことがあります。また、内蔵カッターの損傷や寿命を縮めるおそれがあります。

- ファインアート紙系
- キャンバス系
- 塩ビ系
- マットボード紙系
- のり付き用紙

- ターボリン

これらの用紙は、市販のカッターやはさみを使って以下の手順でカットしてください。

【><】ボタンを押します。【▼】ボタンを押し続けて、用紙のカット位置を排紙ガイドの下まで排出します。市販のカッターやはさみを使ってカットします。

SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのときは、これらの用紙はロール 1 にセットすることをお勧めします。

自動カットの設定方法

設定は、操作パネルとプリンタードライバーの両方で行えます。ただし、プリンタードライバーを介して印刷するときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。

参考

- オプションの自動巻き取りユニットは、[オートカット] または [自動カット] の設定を無効にしてお使いください。
- カットするまでに時間が掛かることがあります。
- カット時の音が気になるときは、[カット動作モード] を [静音] に設定してください。

☞ 「セットアップメニュー」 144 ページ

コンピューターでの設定方法

プリンタードライバーの [プロパティ] (または [印刷設定]) - [拡張設定] - [ロール紙オプション] の [オートカット] で設定します。

本機での設定方法

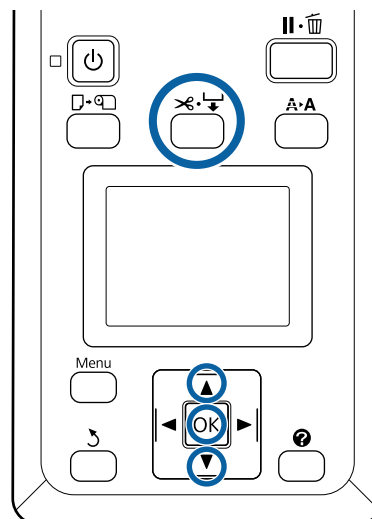
操作パネルの【<】 / 【>】 ボタンを押してタブを選択し、【OK】または【Menu】 ボタンを押します。表示されたセットアップメニューで [プリンター設定] - [ロール紙設定] - [自動カット] で [ON] に設定します。[OFF] に設定すると手動カットモードになります。メーカー設定値は [ON] に設定されています。

☞ 「セットアップメニュー」 144 ページ

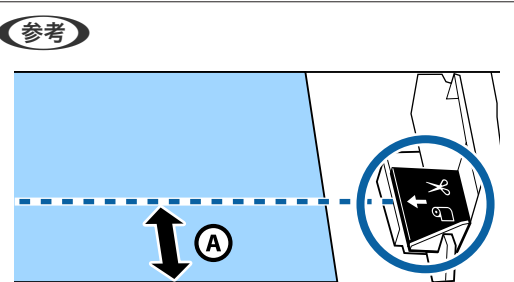
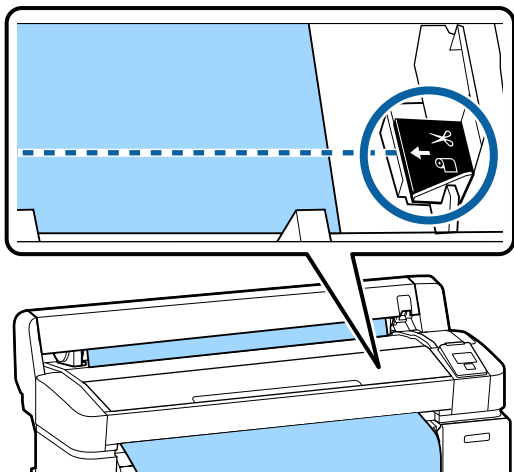
手動カットの方法

プリンタードライバーや操作パネルで [カットなし] または [自動カット] を [OFF] に設定しているときは、印刷後に次の手順で、任意の箇所をカットできます。

以下の操作で使用するボタン



- 1 【✂️】 ボタンを押します。プリンターカバーを閉めた状態で内部を見ながら【▼】 ボタンを押して、ロール紙のカットする位置を内部の右側にあるマークの ← に合わせます。



① 参考

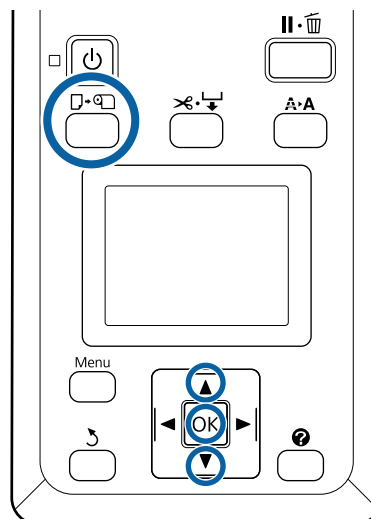
① ① の最短値は、50～127mm に設定されています。
 ① がこの値より短いときは、カットできる長さまで自動で用紙を送ってからカットします。
 最短の値は、用紙種類によりあらかじめ決まっており変更はできません。

- 2 【OK】 ボタンを押します。
 内蔵カッターでカットされます。

ロール紙/ロール 1 の取り外し方

印刷終了後、ロール紙を本機から取り外して保管する手順を説明します。ロール紙をセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。

以下の操作で使用するボタン



- 1 印刷可能な状態であることを確認し、【✂️】 ボタンを押します。
 用紙セット/取り外しメニューが表示されます。
- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[用紙取り外し] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

SC-T7255D/SC-T5255D をお使いで、ロール 2 にもロール紙をセットしているときは、続いて [ロール 1] を選択して、【OK】 ボタンを押します。

[ロール紙残量管理] を [ON] に設定しているときは自動的にバーコードが印刷されます。

- 3** セットされているロール紙が自動的に巻き取られます。

SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255

巻き取りが完了すると、画面に「を押して用紙をセットしてください。」と表示されます。

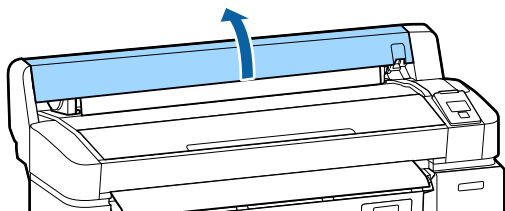
SC-T7255D/SC-T5255D

巻き取りが完了すると「ピッピッ」と鳴ります。

参考

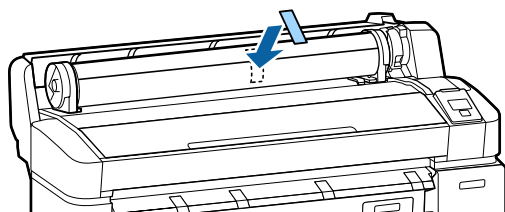
「ロール紙アダプターを回してロール紙先端が給紙口から完全に出るまで巻き戻します」と、画面に表示されたときは、ロール紙カバーを開けて手でロール紙を巻き戻してください。

- 4** ロール紙カバーを開けます。

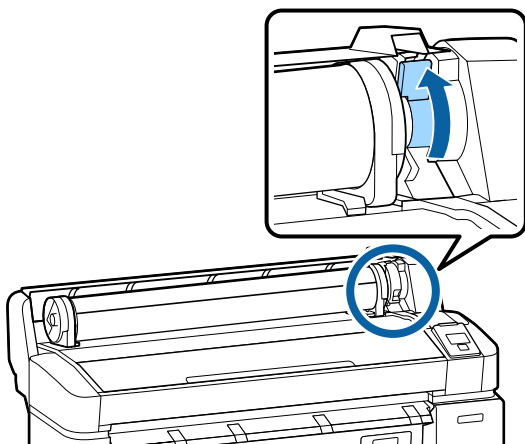


参考

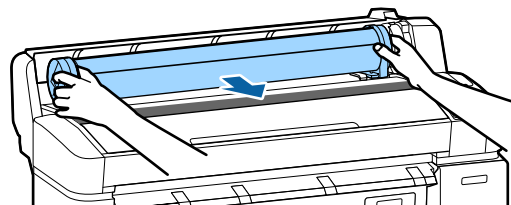
ロール紙を取り外す際は、オプションのロール紙固定ホルダーを巻いておくと、巻きほぐれを防止できます。



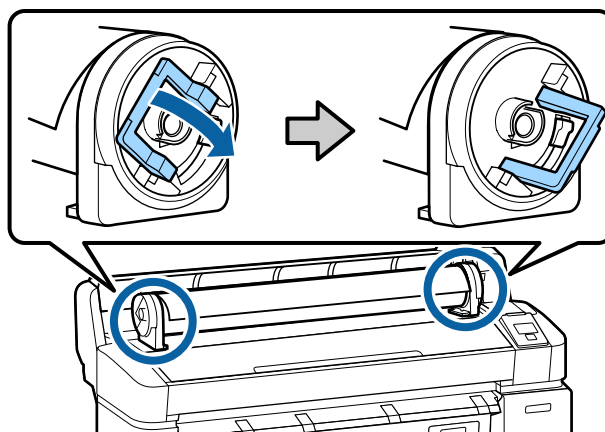
- 5** ロール紙ロックレバーを上げます。



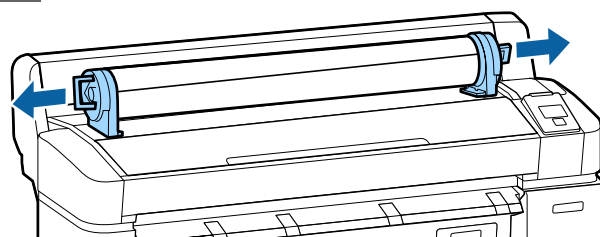
- 6** 両側のロール紙アダプターを持って、ロール紙をロール紙仮置き台に移します。



- 7** 両側のロール紙アダプターのアダプターロックレバーを起こしてロックを解除します。



- 8** ロール紙アダプターを取り外します。



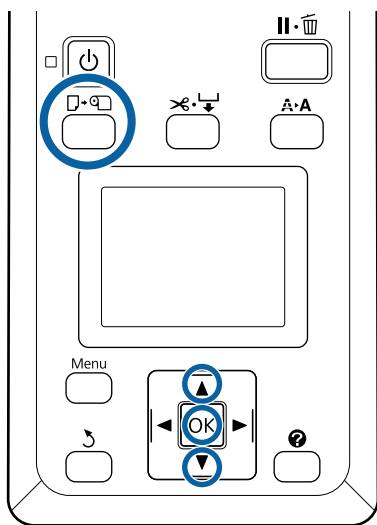
ロール紙はきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

ロール紙カバーを閉めてください。

ロール 2 の取り外し方 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)

印刷終了後、ロール 2 ユニットのロール紙を取り外して保管する手順を説明します。ロール紙をセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。

以下の操作で使用するボタン



- 1 印刷可能な状態であることを確認し、【】ボタンを押します。

用紙セット/取り外しメニューが表示されます。

- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[用紙取り外し] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

ロール 1 にもロール紙をセットしているときは、続いて [ロール 2] を選択して、【OK】 ボタンを押します。

ロール紙残量管理を ON に設定しているときは自動的にバーコードが印刷されます。

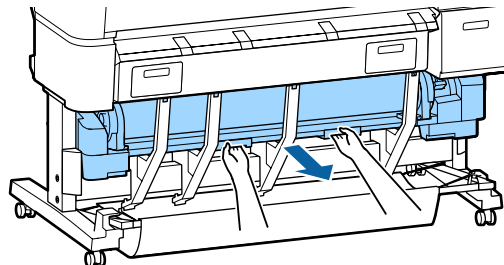
- 3 セットされているロール紙が自動的に巻き取られます。

巻き取りが完了すると「ピッピッ」と鳴ります。

- 4 排紙バスケットを水平ポジションまで倒します。

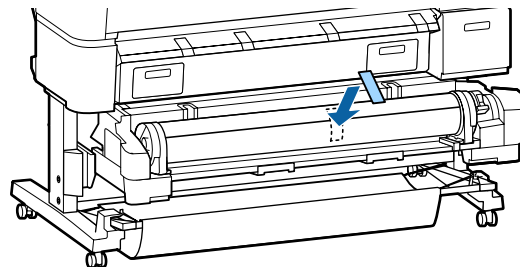
「ポジションの変更方法」 48 ページ

- 5 ロール 2 ユニットの引き出し手掛けに手を掛けて、引き出します。

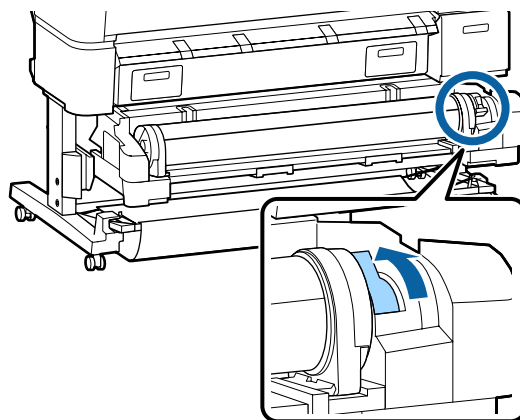


参考

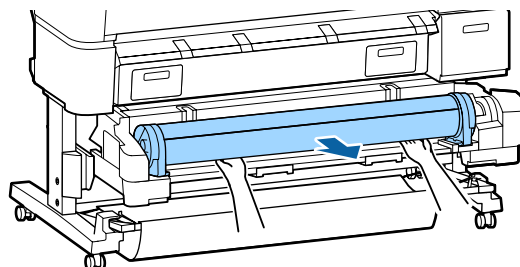
ロール紙を取り外す際は、オプションのロール紙固定ホルダーを巻いておくと、巻きほぐれを防止できます。



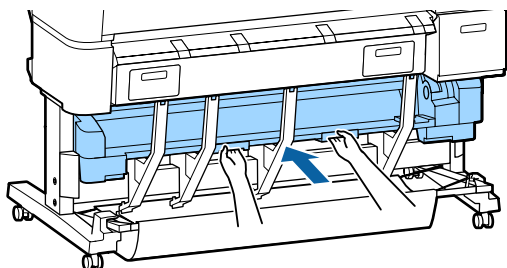
- 6 ロール紙ロックレバーを上げます。



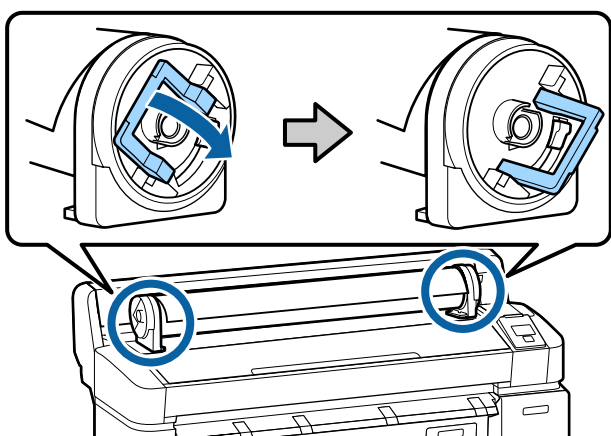
- 7 ロール紙をロール紙仮置き台に移します。



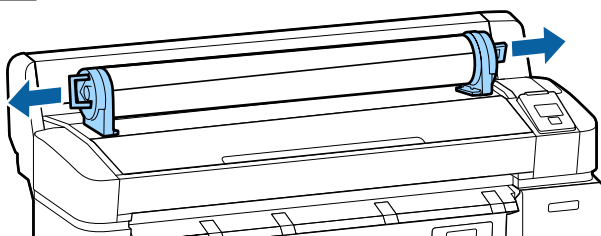
8 ロール 2 ユニットを押し込みます。



9 両側のロール紙アダプターのアダプターロックレバーを起こしてロックを解除します。



10 ロール紙アダプターを取り外します。



ロール紙はきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

単票紙のセットと取り外し

単票紙は用紙の厚さによりセット位置と手順が異なります。

用紙厚 0.08～0.8mm 「単票紙のセット方法」 37 ページ

用紙厚 0.8～1.5mm 「ボード紙のセット方法」 39 ページ

！重要

用紙が波打ったり、反ったりしているときは平らな状態に修正してから本機にセットするか、あるいは新しい用紙をお使いください。波打ったり、反ったりしている用紙をセットすると、用紙サイズの検知や給紙、印刷が正しく行えないことがあります。開封後の用紙は個装袋に戻して水平な状態で保管し、印刷の直前に袋から取り出して使うことをお勧めします。

単票紙のセット方法

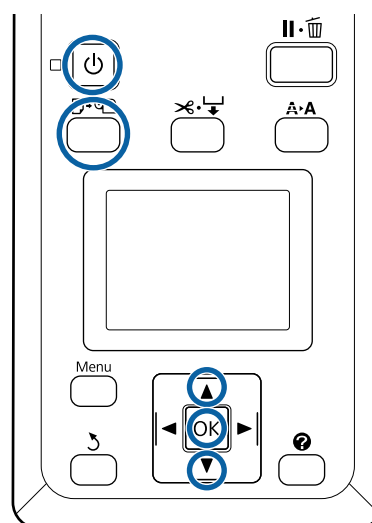
！重要

用紙は印刷直前にセットしてください。本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。

参考

本機で利用できる用紙の詳細は、以下をご覧ください。
 「使用可能な用紙」 198 ページ

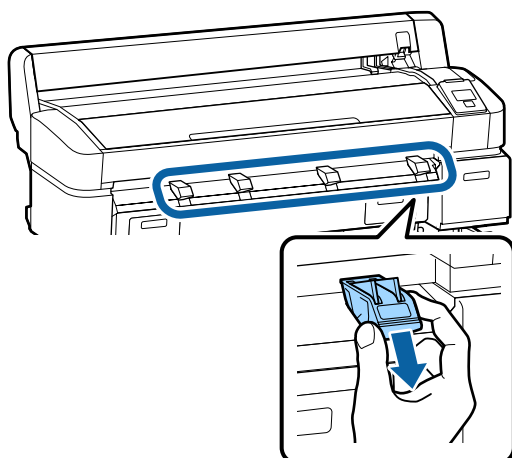
以下の操作で使用するボタン



1 【】 ボタンを押して本機の電源を入れます。

参考

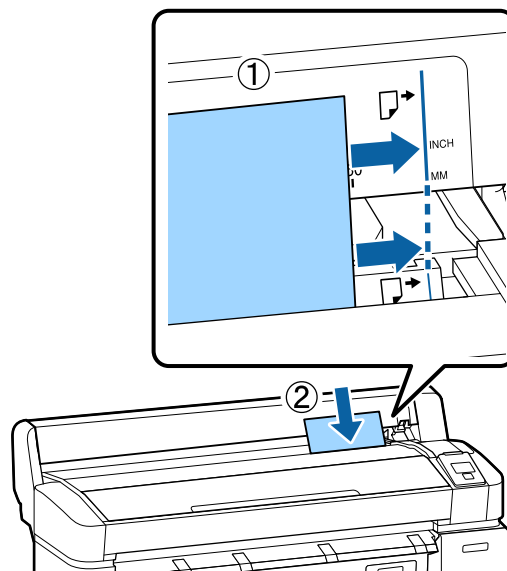
- 排紙バスケットを閉じると、作業がしやすくなります。
SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255  「[収納と開き方](#)」
45 ページ
- SC-T7255D/SC-T5255D  「[収納方法](#)」 48 ページ
- ボード紙サポートが上がっていると、紙詰まりの原因となりますので、全て下げます。下げるには、ボード紙サポートをつまんで斜め下に引っ張り、手を放します。



2 操作パネルの【・】 ボタンを押します。【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[単票紙] を選択し【OK】 ボタンを押します。

3 用紙を、印刷する面を手前にして給紙口に挿入します。

用紙右端をロール紙カバーのセット位置に合わせて、給紙口に挿入します。用紙先端が突き当たるまで差し込みます。



！重要

用紙は必ず縦長にセットしてください。横長にセットすると印刷品質が低下することがあります。

4 画面に【[OK] を押します。】と表示されていることを確認し、【OK】 ボタンを押します。

給紙が始まります。

5 用紙種類を確認します。

画面に、現在本機で設定されている用紙種類が表示されます。表示された設定のまま印刷するときは【▼】 / 【▲】 ボタンを押して[上記設定で決定する]を選択し、【OK】 ボタンを押します。設定を変更するときは、[設定を変更する]を選択し、【OK】 ボタンを押します。  「[用紙設定の確認と設定変更](#)」 43 ページ

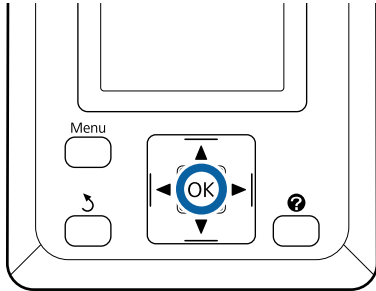
単票紙の取り外し方

印刷が終了した、単票紙を取り外す手順を説明します。

参考

セットしただけで印刷していない用紙を取り外すときは、**【・】** ボタンを押して、**【用紙取り外し】** を選択します。

以下の操作で使用するボタン



- 1 操作パネルの画面に**【用紙排出】** のメッセージが表示されていることを確認します。

単票紙を落ちないように手で支えてから、**【OK】** ボタンを押します。

- 2 最後まで排紙されますので、取り外します。

ボード紙のセットと取り外し

厚さが0.8～1.5mmの用紙のセット方法と取り外し方を説明します。

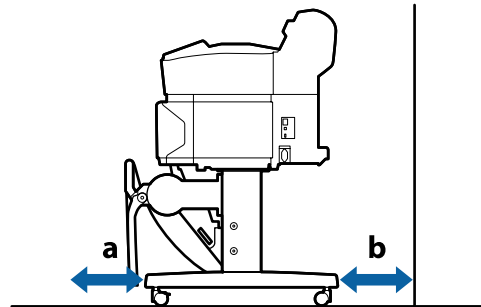
印刷できるサイズは以下の通りです。

A2/A1/B2/B1^{*}/B1 横^{*}/24×30 インチ/30×40 インチ^{*}

^{*} SC-T3255 では、対応していません。

ボード紙のセット方法

ボード紙に印刷するときは、本機の前方と後方に用紙を突き出して印刷します。必要なスペースの目安は、下表の通りです。本機を壁際に設置しているときは、後方スペースを確保してください。



用紙サイズ	前方(a)	後方(b)
A2	444mm	135mm
A1	691mm	382mm
B2	578mm	269mm
B1	880mm	571mm
24×30 インチ	612mm	303mm
30×40 インチ	866mm	557mm

！重要

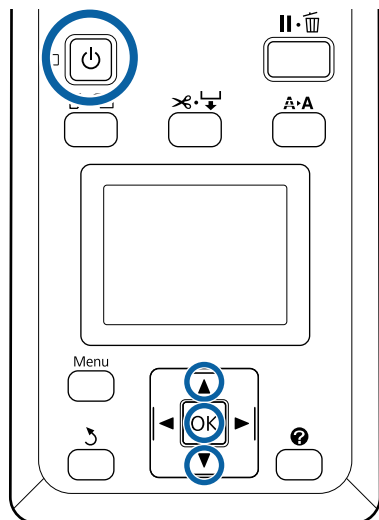
用紙は印刷直前にセットしてください。本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。

参考

本機で使用する用紙の詳細は、以下をご覧ください。

【使用可能な用紙】 198 ページ

以下の操作で使用するボタン



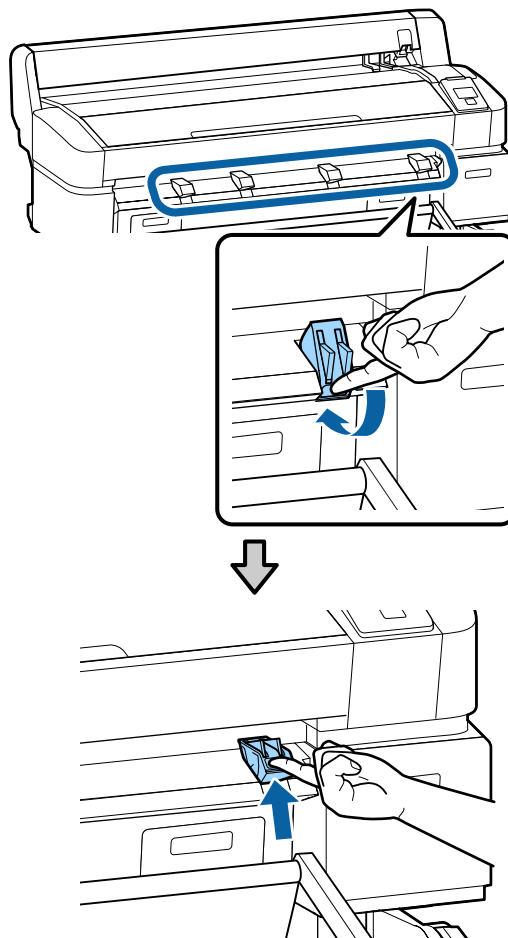
- 1 【】 ボタンを押して本機の電源を入れます。

参考

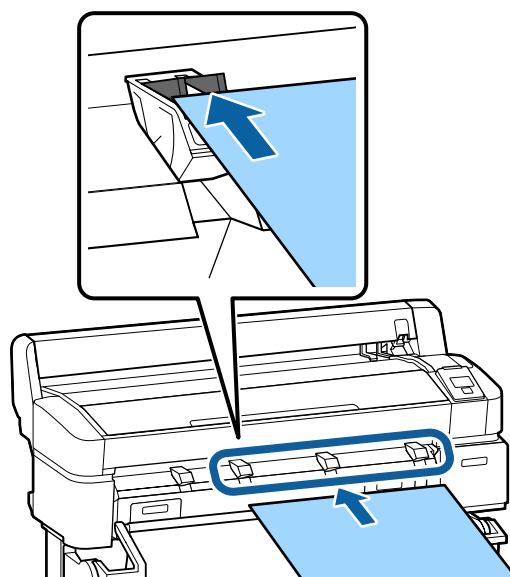
排紙バスケットを閉じると、作業がしやすくなります。
SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255  「[収納と開き方](#)」
[45 ページ](#)
SC-T7255D/SC-T5255D  「[収納方法](#)」 [48 ページ](#)

- 2 操作パネルの【・】 ボタンを押します。【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[ボード紙] を選択し【OK】 ボタンを押します。

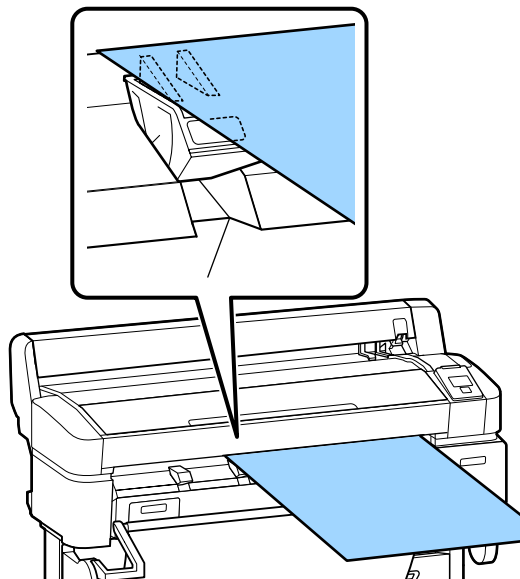
- 3 ボード紙サポートを全て上げます。
斜め下に押し下げて、そのまま上げます。



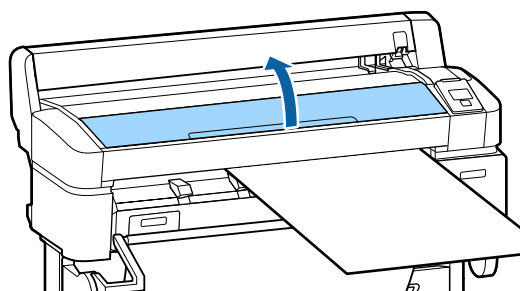
- 4 印刷する面を上にして、図のようにボード紙サポートの突起の手前に用紙先端を合わせます。



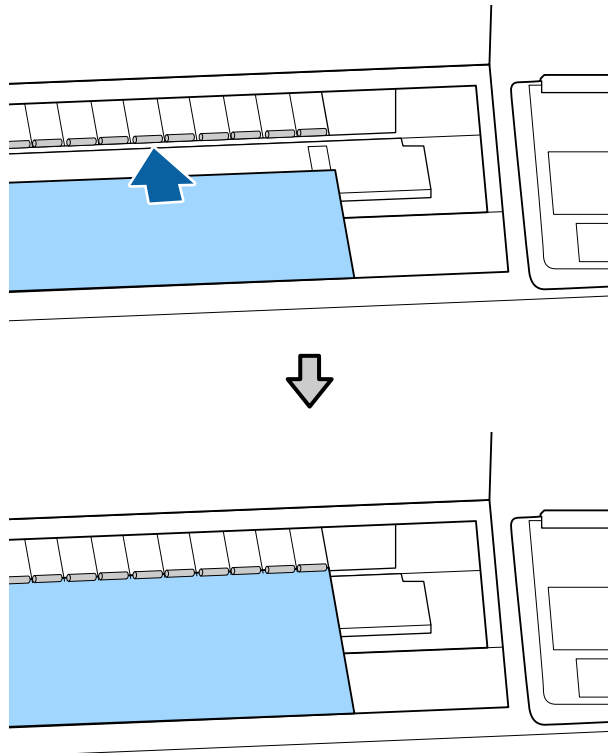
- 5** 用紙先端でボード紙サポートの突起を押し倒しながら挿入します。



- 6** プリンターカバーを開けます。



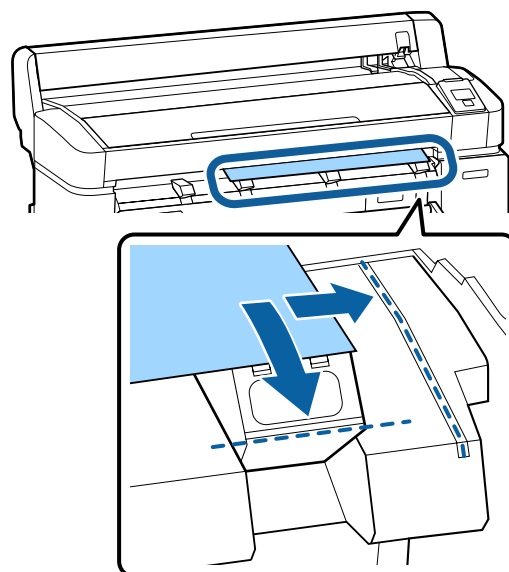
- 7** 用紙が内部のローラーの下を通ったことを確認しながら、挿入します。



- 8** プリンターカバーを閉めます。

- 9** 用紙の末端と右端をセット位置に合わせます。

図のように、用紙右端を排紙ガイド右側の溝の中央に合わせ、末端を全てのボード紙サポートの線に合わせます。



- 10** 用紙の位置合わせが終了したら、【OK】ボタンを押します。

給紙が始まります。

- 11** 用紙種類を確認します。

画面に、現在本機で設定されている用紙種類が表示されます。表示された設定のまま印刷するときは【▼】 / 【▲】ボタンを押して「上記設定で決定する」を選択し、【OK】ボタンを押します。設定を変更するときは、「設定を変更する」を選択し、【OK】ボタンを押します。🔗「用紙設定の確認と設定変更」43 ページ

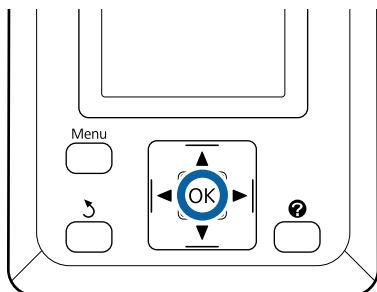
ボード紙の取り外し方

印刷が終了した、ボード紙を取り外す手順を説明します。

参考

セットしただけで印刷していない用紙を取り外すときは、【🔍🗑️】ボタンを押して、「用紙取り外し」を選択します。

以下の設定で使用するボタン



- 1** 操作パネルの画面に「用紙排出」のメッセージが表示されていることを確認します。

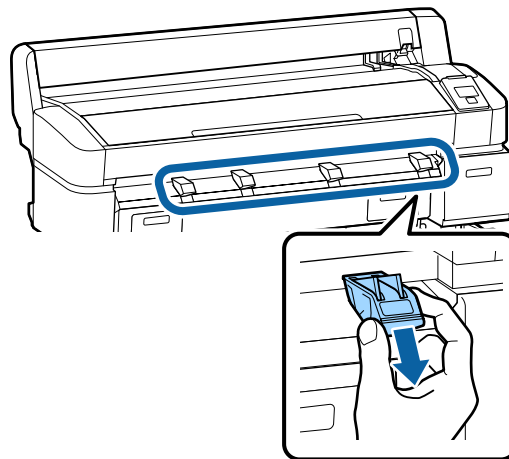
ボード紙を落ちないように手で支えてから、【OK】ボタンを押します。

- 2** 操作パネルの画面の指示に従って、ボード紙を手前に引き抜きます。

ボード紙を取り外したら、【OK】ボタンを押します。

！重要

引き続き、ボード紙以外の用紙で印刷をするときは、ボード紙サポートを全て下げます。ボード紙サポートが上がっていると、紙詰まりの原因となります。ボード紙サポートは、図のようにつまんで斜め下に引っ張り、手を放すと下がります。



用紙設定の確認と設定変更

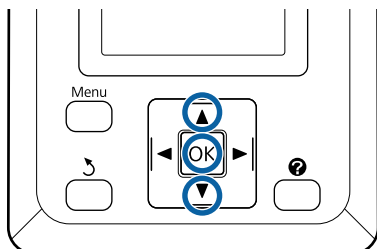
用紙のセットが終了すると、操作パネルの画面に、現在設定されている用紙種類が表示されます。

参考

【ロール紙残量管理】で【ON】を選択し、ロール紙情報のバーコードが印刷されたロール紙をセットしたときは、自動的にバーコードを読み取り、用紙の設定がされます。

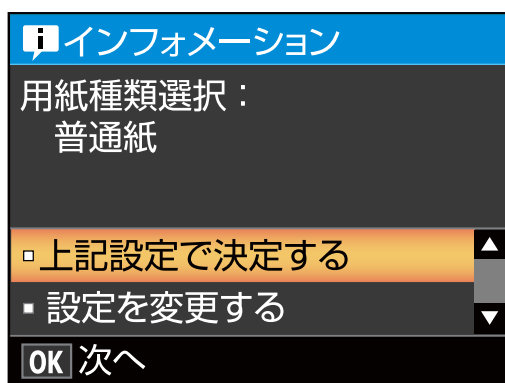
表示されている内容から設定を変更する手順は、以下の通りです。SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのときは、セットしたロール紙（ロール 1/ロール 2）ごとに、設定が保持されます。

以下の設定で使用するボタン



- 1 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して「設定を変更する」を選択し、【OK】 ボタンを押します。

表示されている用紙種類で印刷するときは、【上記設定で決定する】を選択して、【OK】 ボタンを押します。続いて、手順 5 に進みます。



- 2 用紙種類を選択して【OK】 ボタンを押します。

- 3 用紙名を選択して【OK】 ボタンを押します。

- 4 ロール紙セット時で、【ロール紙残量管理】を【ON】にしているときは、セットしたロール紙の長さを入力する画面が表示されます。

【▼】 / 【▲】 ボタンを押してロール紙の全長を 5.0～150m の範囲で設定し、【OK】 ボタンを押します。設定は 0.5m 単位で行えます。

【▶】 ボタンを押すと、【ロール紙残量管理】を【OFF】に変更できます。再び【ON】に変更するときは、用紙メニューの【ロール紙残量管理】で行います。🔗 [「用紙メニュー」140 ページ](#)

しばらくして画面に【印刷可能】と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

ロール紙残量管理とは

本機は、【ロール紙残量管理】を【ON】に設定していると、ロール紙に関する以下の管理が行われます。

- ロール紙交換時の残量管理
次の設定値をバーコード化して印刷し記録できます。
ロール紙の残量、ロール紙残量警告の限界値、用紙種類

バーコードはロール紙取り外し時に、ロール紙先端に自動的に印刷されます。次回、このロール紙をセットすると自動的にバーコードが読み取られ用紙設定がされるので、何種類かのロール紙を使用する際に、効率良く交換できます。

- タブの情報表示エリアでの残量管理
セットされているロール紙の残量が表示され、確認できます。残量が限界値を切ると、警告表示に変わり用紙が残り少ないことをお知らせします。
🔗 [「画面の見方」14 ページ](#)

- 印刷可否予測
途中まで印刷したらロール紙が終わってしまい印刷できなかった、というような無駄が起きないように印刷の前に現在の残量で印刷が可能かどうかを予測し、結果を表示します。これにより、用紙を交換してから印刷するか、そのまま印刷できるかがわかるので、無駄な印刷を防げます。

SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 では、オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時に限り予測が行えます。

🔗 [「ハードディスクドライブへの保存と再印刷（オプション）」65 ページ](#)

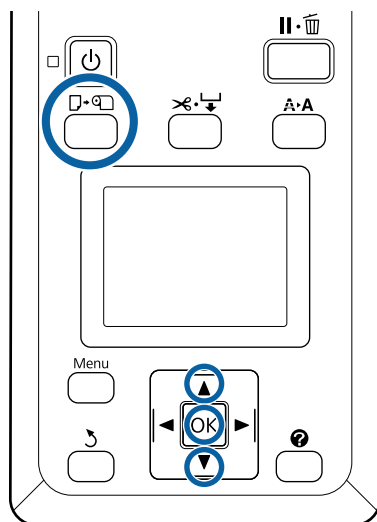
SC-T7255D/SC-T5255D では、予測に基づき用紙がなくなったらロール 1/ロール 2 を自動で切り替えて印刷を続けることができます。

🔗 [「用紙がなくなったらロール 1/ロール 2 を切り替えて、残量が多い方で印刷する」93 ページ](#)

用紙の交換

用紙を交換する手順を説明します。現在セットされている用紙により取り外し方が異なりますが、操作パネルの画面に作業手順が表示されますので、画面の指示に従ってください。

以下の操作で使用するボタン



- 1 印刷可能な状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。

用紙セット/取り外しメニューが表示されます。

- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、どの用紙と交換するかを選択し、【OK】 ボタンを押します。

- 3 セットされている用紙が排出されます。

排紙動作は、セットされている用紙によって、次のように異なります。

ロール紙で【ロール紙残量管理】が【ON】のとき

バーコード印刷が開始され、印刷が終了すると自動的にロール紙が巻き戻ります。

ロール紙で【ロール紙残量管理】が【OFF】のとき

自動的にロール紙が巻き戻ります。

参考

【ロール紙アダプターを回してロール紙先端が給紙口から完全に出るまで巻き戻します】と、画面に表示されたときは、ロール紙カバーを開けて手でロール紙を巻き戻してください。

単票紙のとき

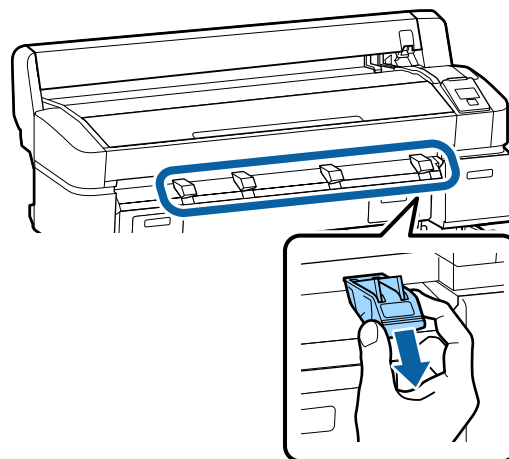
自動的に後方に排紙されますので、取り除きます。

ボード紙のとき

途中まで前面に排紙されます。排紙されたボード紙が落ちないように手で支えてから【OK】ボタンを押して、ボード紙を引き抜きます。

ボード紙以外の用紙と交換するときは、ボード紙サポートを全て下げます。ボード紙サポートが上がっていると、紙詰まりの原因となります。

ボード紙サポートは、図のようにつまんで、斜め下に引っ張り、手を離すと下がります。



- 4 画面の指示に従って、次に使う用紙をセットします。

排紙バスケットの使い方 (SC-T7255/SC-T5255/ SC-T3255)

排紙バスケットを使うと、排紙された用紙が床と接触して汚れたり折れたりせずに収容できます。
SC-T3255 は、オプションの専用スタンド (24) または大判複合機用スタンド (24) に排紙バスケットが付属しています。

1 枚収容時は、用紙種類に関わらず、以下のサイズまで収容できます。

1 枚収容時の最大サイズ

	用紙幅	用紙長
SC-T7255	約 1,118mm/44 インチ	約 1,189mm
SC-T5255	約 914mm/36 インチ	
SC-T3255	約 610mm/24 インチ	

1 枚収容時は、排紙バスケットを標準ポジションでお使いください。

ポジションの変更方法 [☞ 「ポジションの変更方法」 46 ページ](#)

参考

長尺印刷など最大収容用紙長を超えて印刷をするときは、排紙バスケットを収納した状態で印刷します。排紙された用紙が床と接触する前に、排紙ガイド付近で用紙両端を手で持ち、そのまま軽く持ち上げた状態で印刷が終了するまで保持することをお勧めします。

エプソン製専用紙の普通紙ロール〈薄手〉に以下のサイズで線画モードの印刷をしたときは、同一サイズを 20 枚まで連続して収容できます。

連続収容する際は、収容する用紙サイズにより、排紙バスケットのポジション変更してください。

ポジションの変更方法 [☞ 「ポジションの変更方法」 46 ページ](#)

連続収容時の用紙サイズとポジション

用紙サイズ	ポジション
A1 縦長 (594×841mm)	標準ポジション (スタックガイド倒す)
A0 縦長 (841×1189mm) *	標準ポジション (スタックガイド起こす)
A2 縦長 (420×594mm)	水平ポジション
A1 横長 (841×594mm) *	

* SC-T3255 では、対応していません。

！重要

普通紙に上記サイズで印刷をしたとき以外は、連続収容すると印刷結果の汚れや用紙の折れ、傷の原因となります。連続して印刷するときは、1 枚ずつ取り出してから次の用紙を収容してください。

収納と開き方

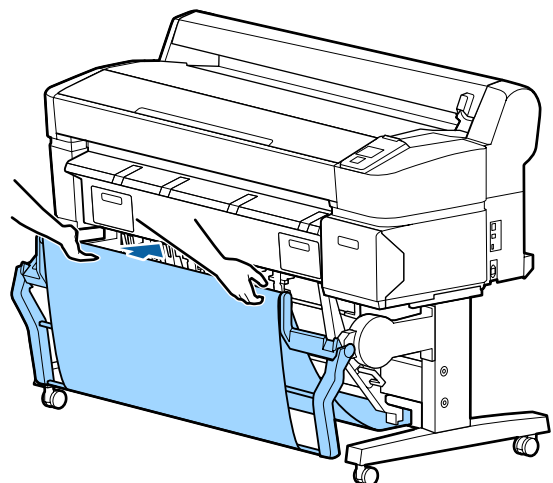
収納方法

用紙をセットするときや本機を移動するときは、排紙バスケットを閉じます。

排紙バスケットを向こう側に押します。

排紙バスケットが水平ポジションになっているときは、収納できません。標準ポジションにしてから収納してください。

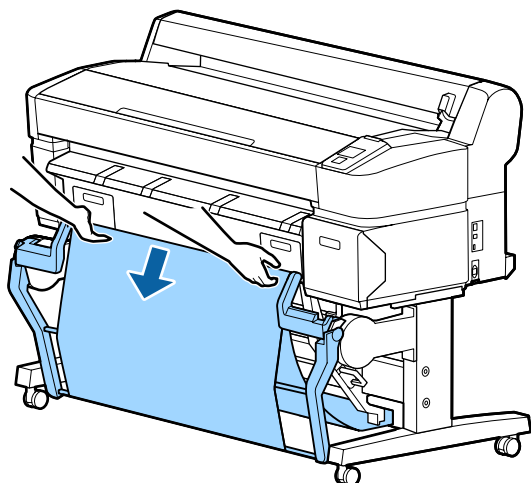
[☞ 「ポジションの変更方法」 46 ページ](#)



開き方

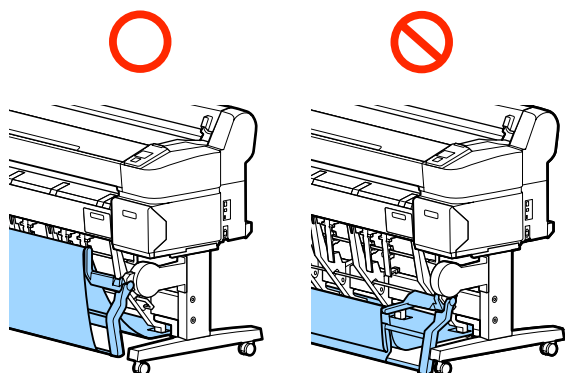
排紙バスケットが収納状態になっているときは、以降の手順で排紙バスケットを広げ使用できる状態にします。

排紙バスケットを軽く引き下げます。



！重要

排紙バスケットを以下の右図の位置まで開くと、正しく収容できません。
左図の位置まで引き上げてください。



ポジションの変更方法

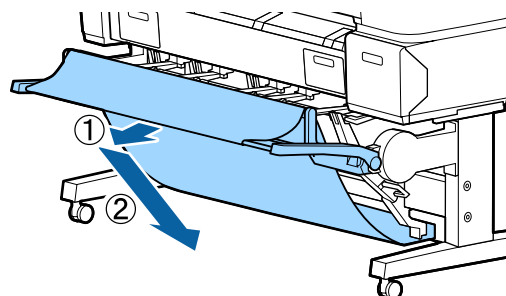
収容する用紙サイズに応じてポジションを切り替えます。

参考

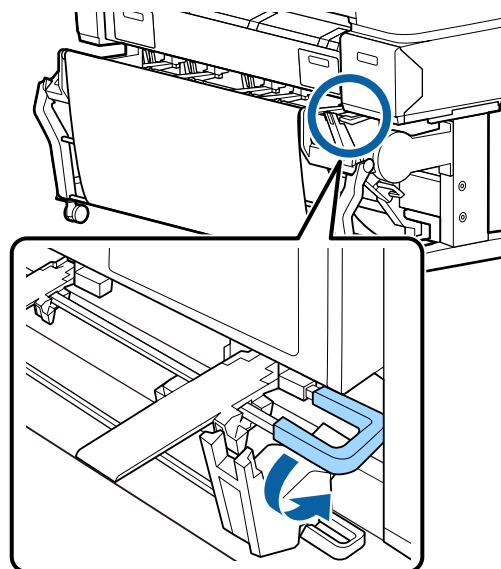
印刷するデータや使用環境によっては、正しく排紙バスケットに収容できずにしわが寄ったり折れたりすることがあります。

標準ポジション

- 1 少し手前に引いてから、下げます。

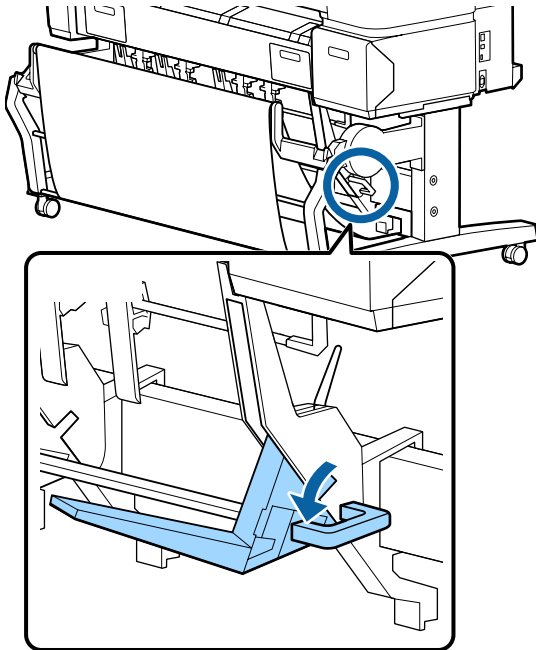


- 2 上側のスタックガイド切り替えレバーを操作して、上側のスタックガイドを下げます。

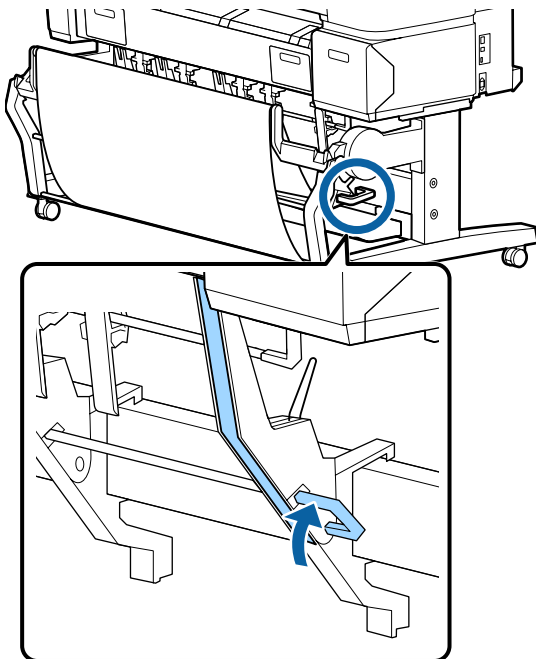


以下の通り、収容する用紙サイズによって、下側のスタックガイドを切り替えます。

A1 縦長サイズ用紙を連続収容するとき

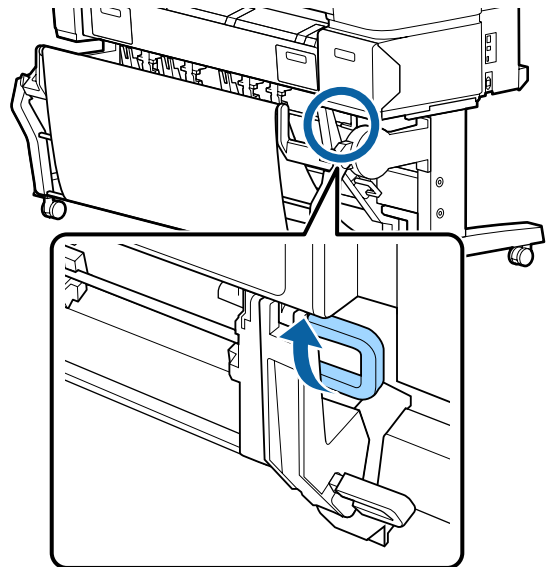


上記以外の場合

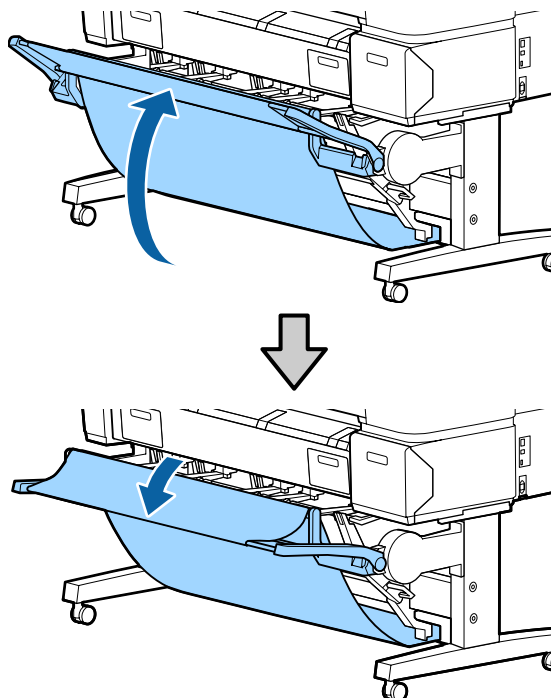


水平ポジション

- 1 上側のスタックガイド切り替えレバーを操作して、上側のスタックガイドを上げます。



- 2 上に持ち上げて、軽く下げます。



参考

水平ポジションにならず、標準ポジションになってしまうときは、上に持ち上げて、軽く押しながら下げてください。

大容量排紙バスケットの使い方 (SC-T7255D/SC-T5255D)

大容量排紙バスケットを使うと、排紙された用紙が床と接触して汚れたり折れたりせずに収容できます。

1 枚収容時は、用紙種類やサイズに関わらず印刷後の用紙を収容できます。

収容できる最大用紙長は以下の通りです。

1 枚収容時の最大用紙長

大容量ポジション	約 1,580mm
省スペースポジション	約 1,189mm

参考

長尺印刷など最大収容用紙長を超えて印刷をするときは、排紙バスケットを収納した状態で印刷します。排紙された用紙が床と接触する前に、排紙ガイド付近で用紙両端を手で持ち、そのまま軽く持ち上げた状態で印刷が終了するまで保持することをお勧めします。

エプソン製専用紙の普通紙ロール＜薄手＞に以下のサイズで線画モードの印刷をしたときは、A1 縦長サイズ以下の様々な用紙サイズを混在して複数枚*収容できます。複数枚収容時は、大容量ポジションでお使いください。ポジションの変更方法 [「ポジションの変更方法」48 ページ](#)

* 常温環境下で 20 枚まで。ただし、作業環境や印刷する画像により、収容できる枚数は減少します。たくさん収容しすぎると、用紙詰りの原因となります。

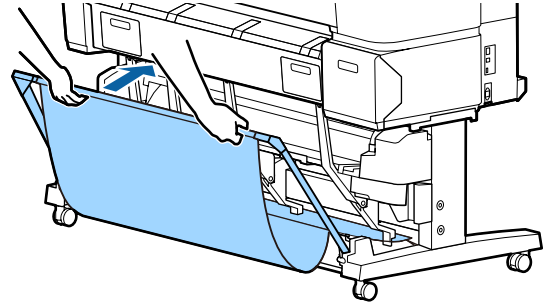
重要

普通紙の A1 縦長サイズ以上の用紙を複数枚収容すると、印刷結果の汚れや用紙の折れ、傷の原因となります。

収納とポジション変更の方法

収納方法

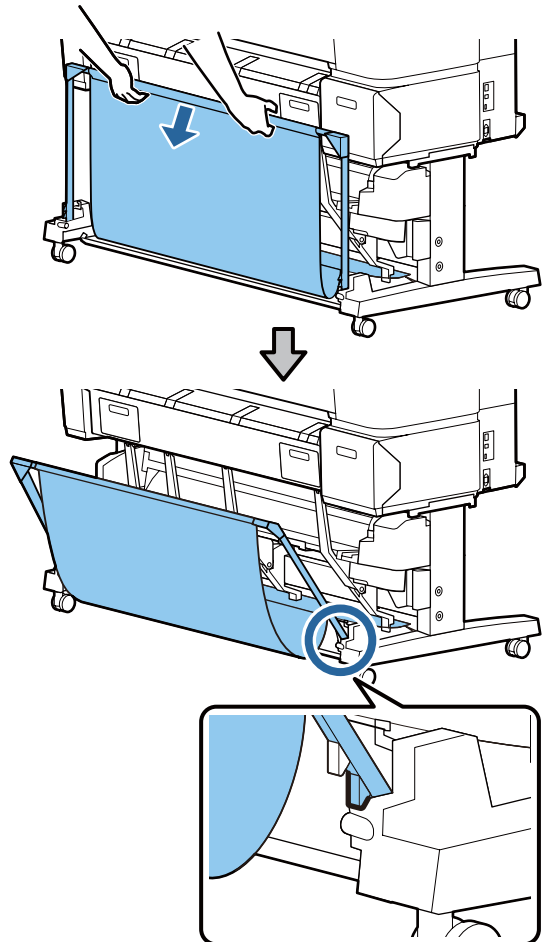
用紙をセットするときや本機を移動するときは、大容量排紙バスケットを閉じます。



ポジションの変更方法

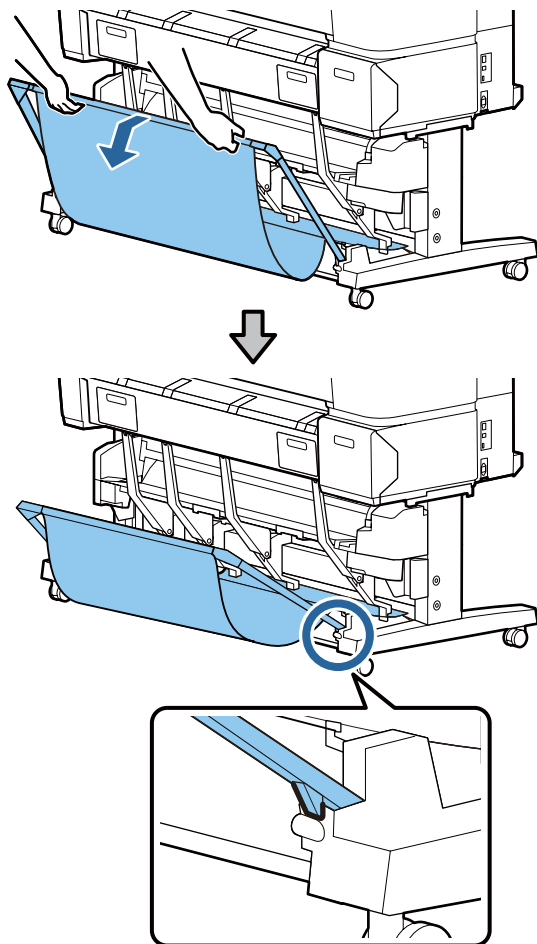
省スペースポジション

左右のフレームの下側の突起で固定された状態まで倒します。



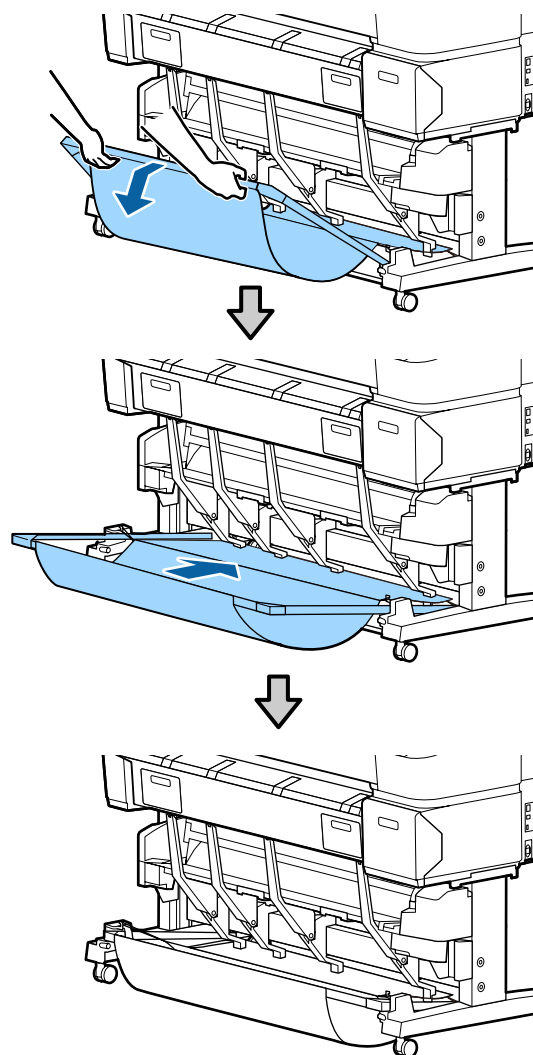
大容量ポジション

少し手前に引いてから下げます。
左右のフレームの上側の突起で固定された状態まで倒します。



水平ポジション

少し手前に引いてから下げます。
その後、まっすぐ押し込みます。



水平ポジションから別のポジションに変更するときは、
上記の手順を逆に行ってください。

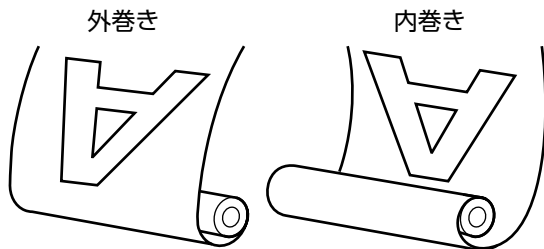
自動巻き取りユニットの使い方（SC-T7255 のみ）

オプションの自動巻き取りユニットを使うと、印刷後の用紙を自動で巻き取りながら印刷できます。ロール紙に連続して大量の印刷するときや長尺印刷をするときに効率の良い作業ができます。

本機の自動巻き取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。用紙によっては、巻き取り非対応のものや巻き取り方向が制限されるものがあります。

用紙の巻き取り対応や巻き取り方向は、以下をご覧ください。

📄 「エプソン製専用紙一覧」 198 ページ



外巻き(Forward)は、印刷面を外側にして巻き取ります。
内巻き(Backward)は、印刷面を内側にして巻き取ります。

⚠ 注意

- 自動巻き取りユニットの紙管は、マニュアルをご覧になり正しく固定してください。
紙管が落下すると、けがをするおそれがあります。
- 自動巻き取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

❗ 重要

ロール紙の先端部が垂直にカットされていることを確認してください。先端部が波打っていたり、曲がってカットされていると、正しく巻き取れません。

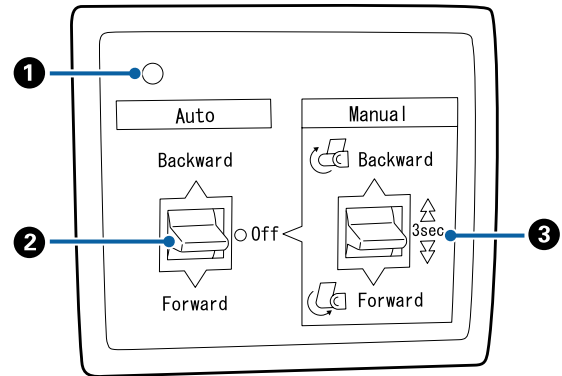
📄 「手動カットの方法」 33 ページ

📖 参考

自動巻き取りユニットの取り付け方は、自動巻き取りユニット用アタッチメントに付属のマニュアルをご覧ください。

操作パネルの使い方

自動巻き取りユニットの操作パネルの使い方を説明します。



① 電源ランプ

自動巻き取りユニットの状態を示します。

- 点灯 : 使用可能な状態です。
- 速めの点滅 : 動作中です。
- 遅めの点滅 : 省電力状態です。
- 間隔の長い点滅 : エラーが発生しています。
- 消灯 : 電源が入っていません。

② Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。

- Backward : 印刷面を内側にして巻き取ります。
- Forward : 印刷面を外側にして巻き取ります。
- Off : 巻き取りません。

③ Manual スイッチ

手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。

Auto スイッチが Off のときに機能します。

- Backward : 印刷面を内側にして巻き取ります。
3 秒以上押し続けると速くなります。
- Forward : 印刷面を外側にして巻き取ります。
3 秒以上押し続けると速くなります。

用紙の取り付け

ここでは、ロール紙を自動巻き取りユニットの紙管に取り付ける手順を説明します。

巻き取り方向により、取り付け方が異なります。

！重要

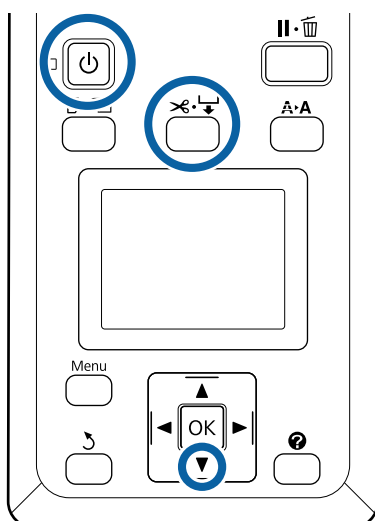
取り付け作業をする前に、本機メニューの「自動カット」の設定を「OFF」にしてください。[ON] にしたまま自動巻き取りユニットを使用すると、エラーになります。

🔗 「ロール紙のカット設定」 33 ページ

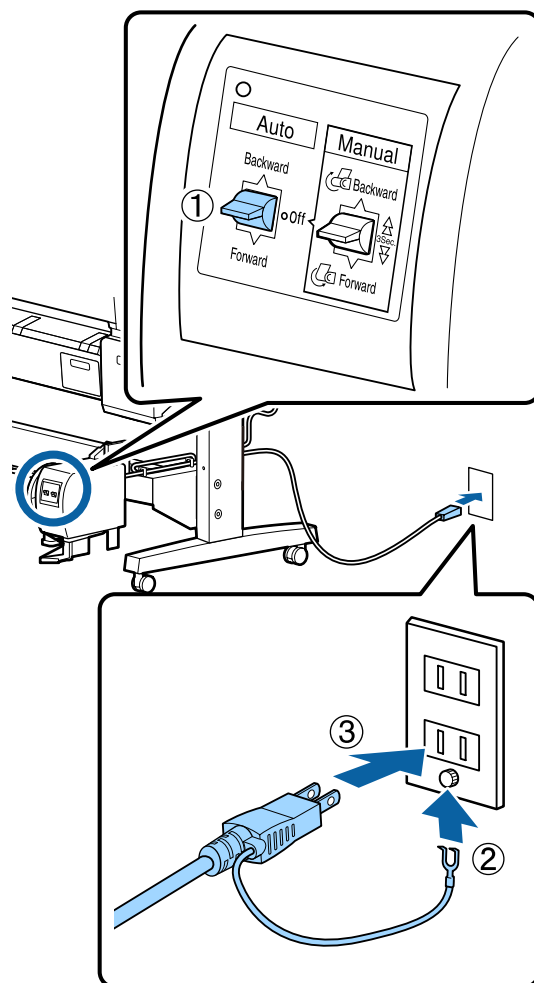
外巻きでの巻き取り

紙管の取り付け方法は、オプションの自動巻き取りユニット用アタッチメントに付属の『セットアップガイド』をご覧ください。

以下の操作で使用するボタン

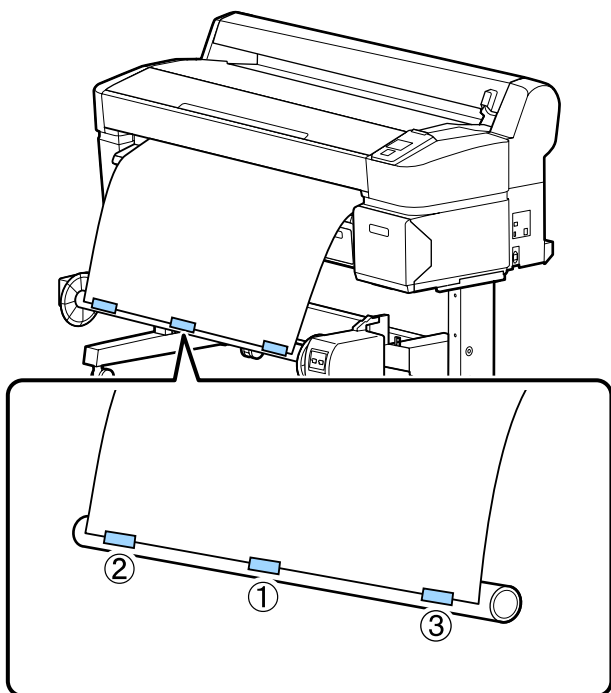


- 1 自動巻き取りユニットの **Auto** スイッチを **Off** にします。コンセントに電源コードのプラグを差し込み、電源ランプが点灯したことを確認します。



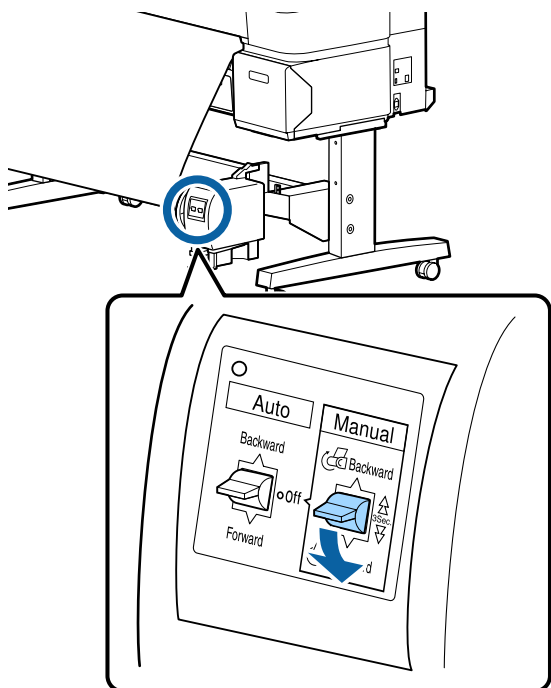
- 2 【⏻】 ボタンを押して本機の電源を入れます。
- 3 ロール紙が本機に正しくセットされていることを確認します。
- 4 操作パネルの【📄】 ボタンを押します。【▼】 ボタンを押し続けて用紙の先端を紙管の位置まで送り出します。

- 5** 用紙の先端を紙管に貼り付けます。
市販のテープで中央、左右の順に貼り付けます。



- 6** 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、紙管 3 周分程度用紙をたるませます。

- 7** **Manual** スイッチを **Forward** 側に押し続け、用紙を紙管に 3 周巻き取らせませす。

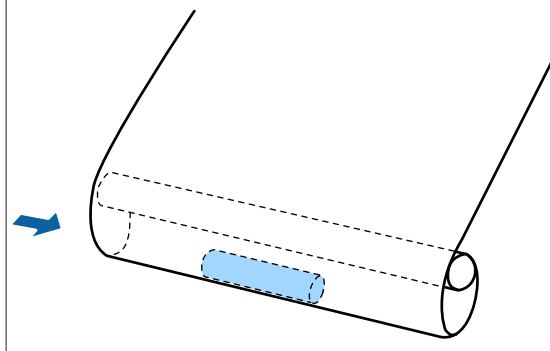


巻き付け後に、用紙と紙管の間に十分なたるみを持たせてください。

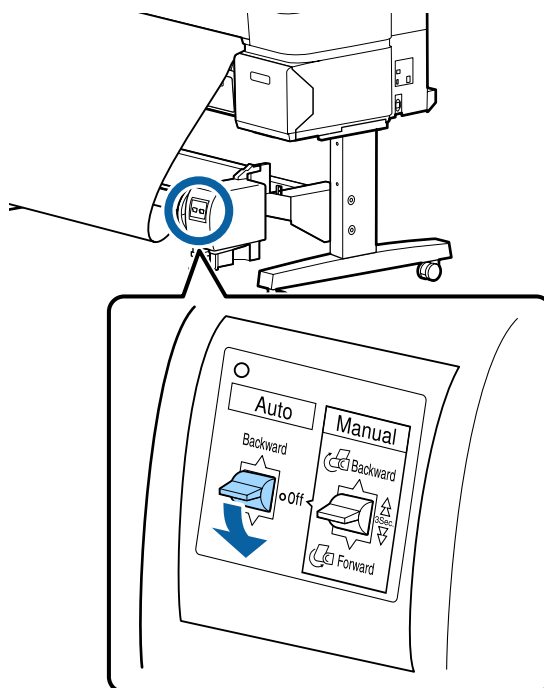
参考

用紙によっては、自動巻き取りユニットに付属のテンショナーを使用します。テンショナーは図のように、ロール紙をたるませた中央付近に入れてください。テンショナーが必要な用紙は、以下をご覧ください。

📄 [「エプソン製専用紙一覧」198 ページ](#)



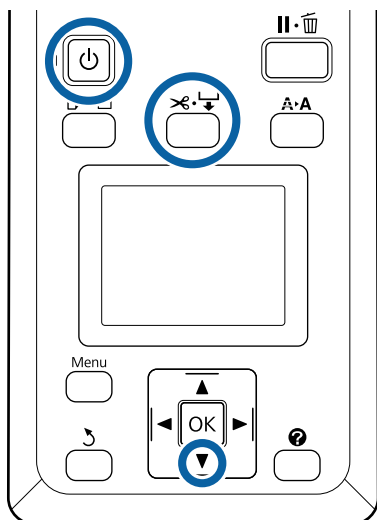
- 8** **Auto** スイッチを **Forward** 側にセットします。



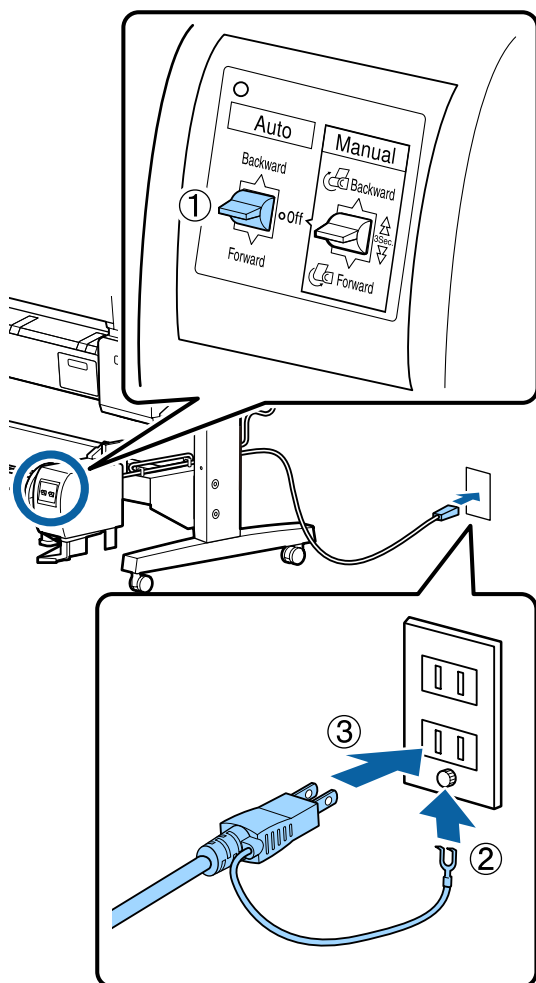
内巻きでの巻き取り

紙管の取り付け方法は、オプションの自動巻き取りユニット用アタッチメントに付属の『セットアップガイド』をご覧ください。

以下の操作で使用するボタン



- 1 自動巻き取りユニットの **Auto** スイッチを **Off** にします。コンセントに電源コードのプラグを差し込み、電源ランプが点灯したことを確認します。

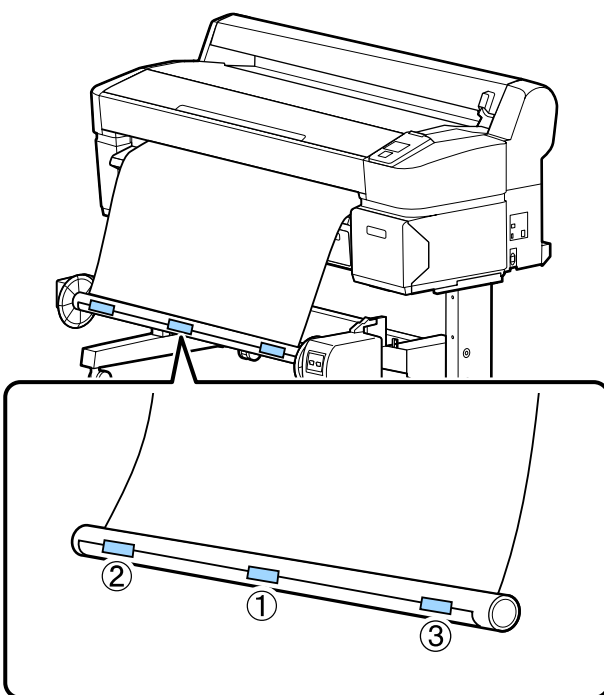


- 2 【】 ボタンを押して本機の電源を入れます。

- 3 ロール紙が本機に正しくセットされていることを確認します。

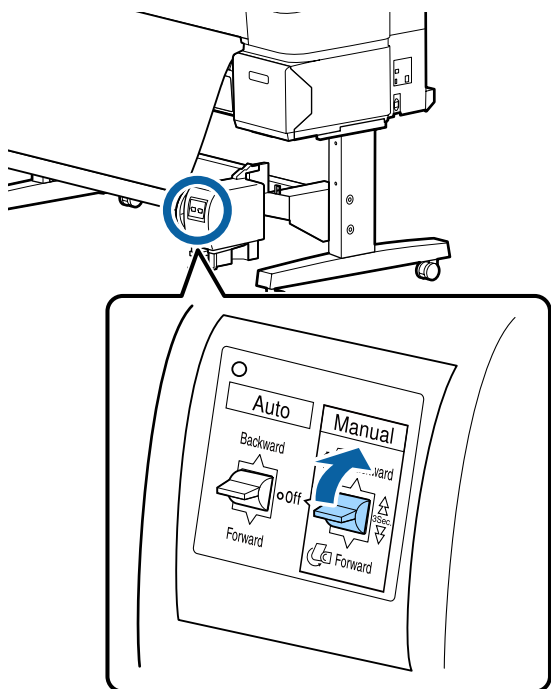
- 4 操作パネルの【】 ボタンを押します。【】 ボタンを押し続けて用紙の先端を紙管の位置まで送り出します。

- 5 用紙の先端を紙管に貼り付けます。
市販のテープで中央、左右の順に貼り付けます。



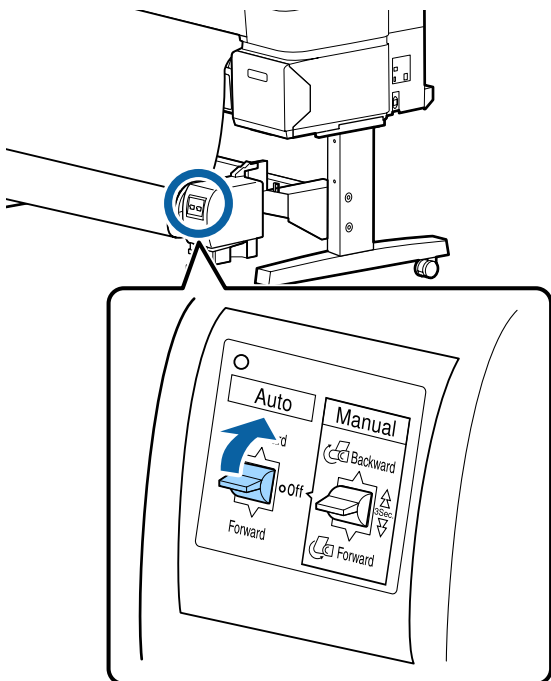
- 6 操作パネルの【】 ボタンを押し続けて、紙管 3 周分程度用紙をたるませます。

- 7** **Manual** スイッチを **Backward** 側に押し続け、用紙を紙管に 3 周巻き取らせます。



巻き付け後に、用紙と紙管の間に十分なたるみを持たせてください。

- 8** **Auto** スイッチを **Backward** 側にセットします。



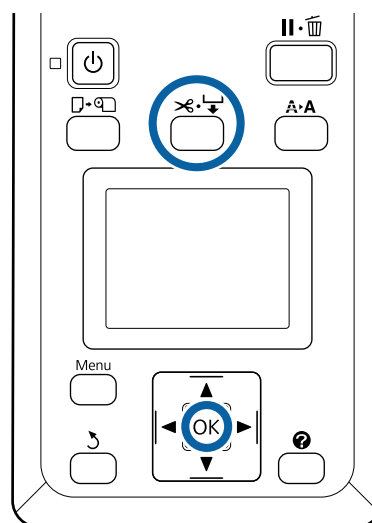
巻き取った用紙の取り外し

巻き取り終わった用紙の取り外し方を説明します。

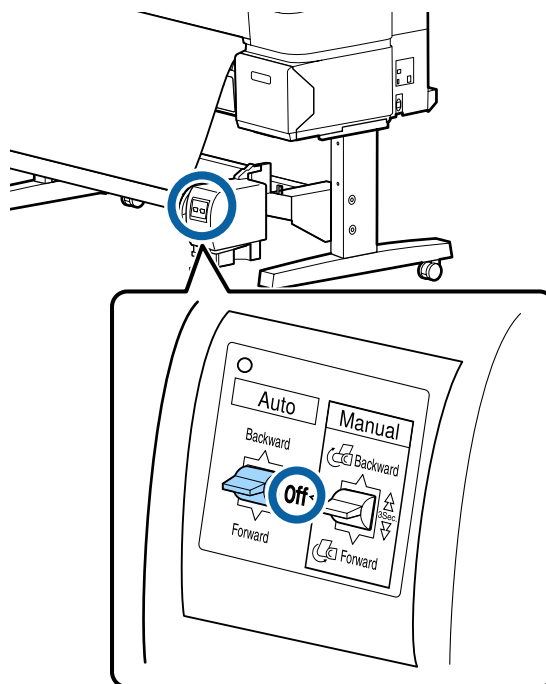
⚠ 注意

自動巻き取りユニットから巻き取った用紙を取り外す作業は、左右をそれぞれ 1 人で持って行ってください。
1 人だけで行くと、巻き取り後の用紙が落下してけがをすることがあります。

以下の操作で使用するボタン



- 1** **Auto** スイッチを **Off** にします。



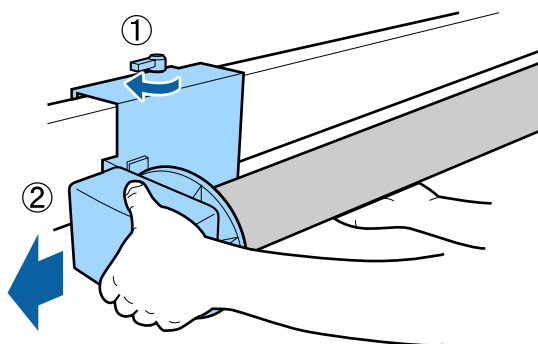
- 2** 用紙をカットし、切り離した用紙を最後まで巻き取ります。

🔗 [「手動カットの方法」 33 ページ](#)

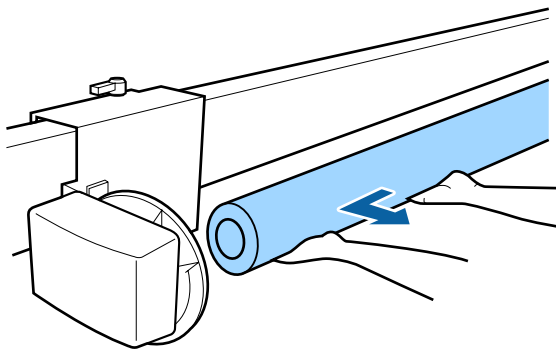
カット後は、印刷面が床に接触しないように手で支えながら用紙を最後まで巻き取ります。Manual スイッチを巻き取りの方向に応じて Forward 側または Backward 側に押し続けてください。

- 3** 可動ユニットのロックを解除し、可動ユニットを紙管から取り外します。

可動ユニットを取り外すときは、紙管を落とさないように片手で支えてから行ってください。



- 4** 紙管を自動巻き取りユニットから取り外します。



基本的な印刷方法 (Windows)

印刷は、印刷するデータを作成したアプリケーションソフトから実行します。印刷の基本的な操作手順は、以下の通りです。

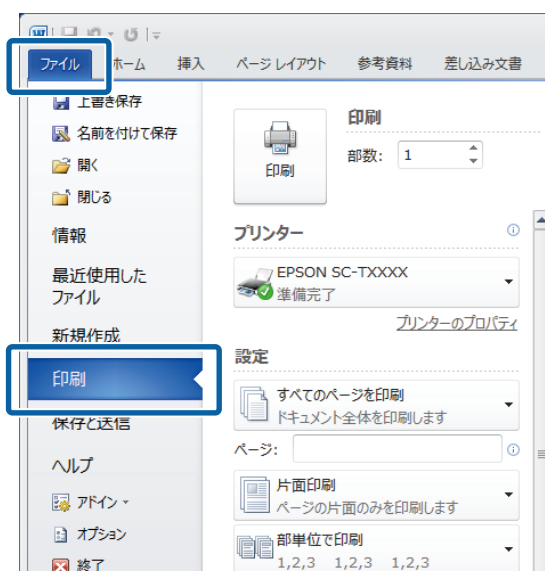
- 1** 本機の 電源を入れて、印刷する用紙をセットします。

🔗 [「ロール紙アダプターの取り付け方」 27 ページ](#)

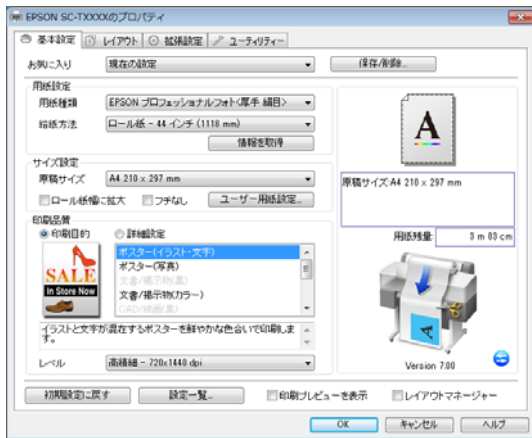
🔗 [「単票紙のセット方法」 37 ページ](#)

🔗 [「ボード紙のセット方法」 39 ページ](#)

- 2** データを作成したら [ファイル] メニューの [印刷] (または [プリント]) をクリックします。



- 3 本機が選択されていることを確認し、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックして基本設定画面を表示させます。



- 4 [用紙設定] の設定内容を確認します。

SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 をお使いのとき

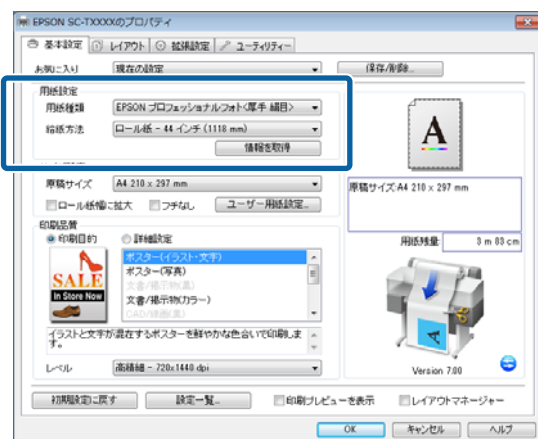
プリンタードライバー起動時に、自動的にプリンターの用紙セット情報を取得し、その結果が[用紙設定]に表示されます。

表示された内容で印刷を実行するときは、次のステップに進みます。

SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのとき

プリンタードライバー起動時に[ロール自動 - ** mm]が選ばれているときは、プリンターで現在使用中のロール紙の用紙種類と幅になっています。印刷を実行すると、プリンターのセットアップメニューの[ロール切替条件]の設定に従って印刷するロール紙が切り替わります。

🔗「ロール紙を自動で切り替えて印刷する (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)」 90 ページ



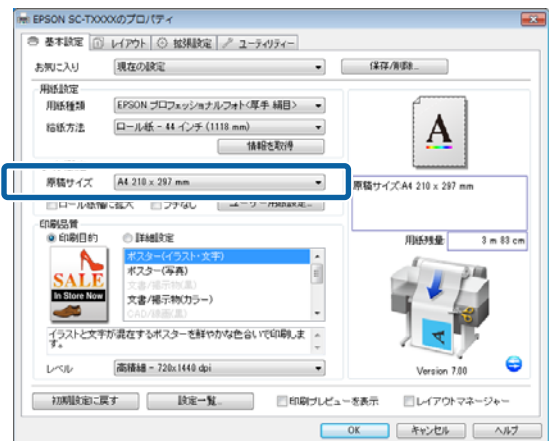
表示された内容が、目的の設定でないときは、プリンターの用紙を目的のものに変更してから、[情報を取得] ボタンをクリックします。プリンターの情報が再取得され、[用紙設定] の設定内容が更新されます。

参考

[情報を取得] ボタンをクリックすると、プリンターにセットされている用紙の情報が表示されます。

- 5 [サイズ設定] の[原稿サイズ]を設定します。

[原稿サイズ] では、アプリケーションソフトで印刷データ作成時に設定した用紙サイズを選択します。



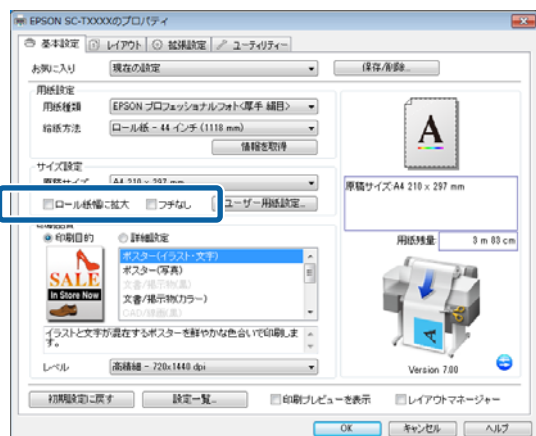
プルダウンメニューに目的のサイズがないときは、[ユーザー用紙設定] で独自のサイズを設定して保存できます。🔗「[定形外サイズの印刷](#)」 87 ページ

6 拡大・フチなし設定をします。

ロール紙をセットしているときは、[ロール紙幅に拡大] にチェックを付けるだけで、簡単にロール紙幅いっぱいには拡大印刷できます。

フチ(余白)のない印刷を行うときは、[フチなし] にチェックを付けます。

原稿サイズよりも大きい用紙にフチなし印刷するときは、拡大とフチなしの両方の設定をしてください。



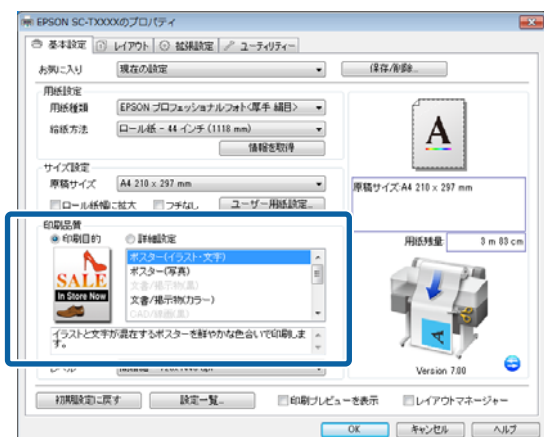
拡大やフチなしを詳細に設定するには、レイアウト画面で行います。

🔗 [「拡大/横断幕/垂れ幕印刷」 83 ページ](#)

🔗 [「フチなし印刷」 95 ページ](#)

7 「印刷品質」で「印刷目的」を選択します。

印刷物の用途や目的に応じてリストから目的を選択します。

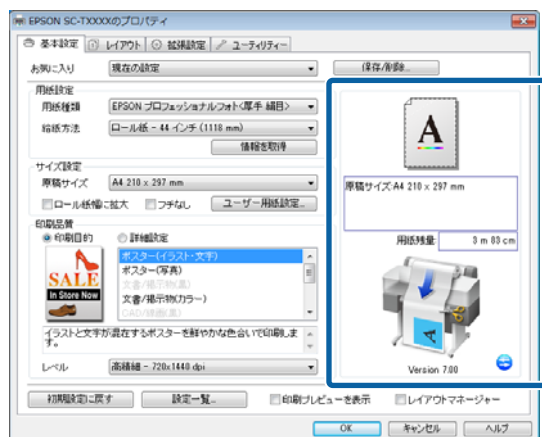


色補正の方法やカラー調整をお好みに応じて詳細に設定するときは、[詳細設定] を選択します。

🔗 [「色補正して印刷」 100 ページ](#)

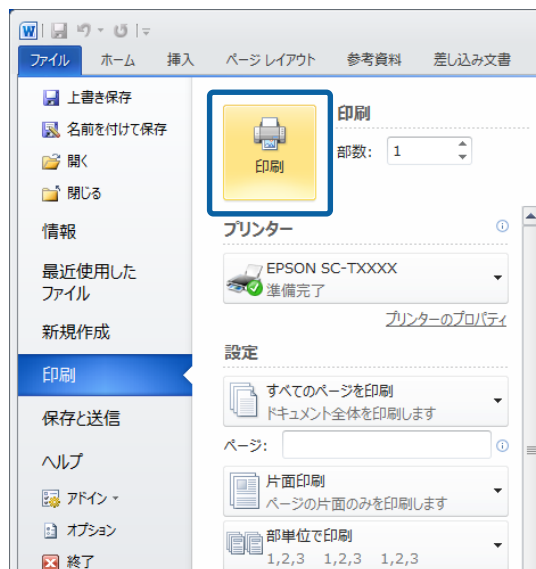
8 設定した内容を確認します。

設定した内容が右側のイラストに反映されているので、問題ないか確認します。



9 「OK」 ボタンをクリックします。

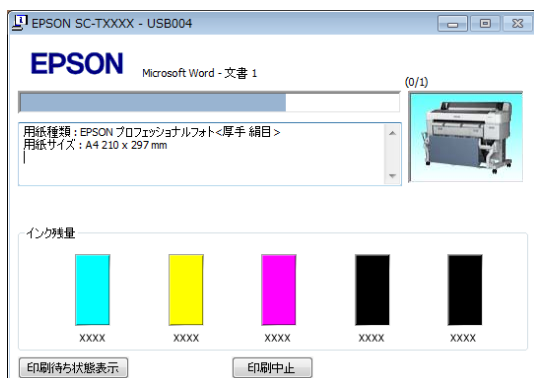
10 設定が完了したら、「印刷」 をクリックして印刷を実行します。



画面上にプログレスバーが表示され、印刷が始まります。

印刷中の画面

印刷を開始すると以下の画面が表示され、進行状況（コンピュータの処理状況）を示すプログレスバーが表示されます。この画面ではインク残量の目安/型番情報なども確認できます。



印刷中にエラーが生じたときやインクカートリッジの交換が必要なときは、エラーメッセージが表示されます。



基本的な印刷方法 (Mac OS X)

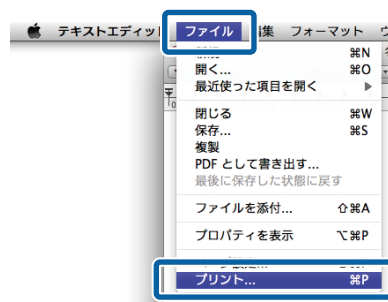
1 本機の電源を入れて、印刷する用紙をセットします。

☞ 「ロール紙アダプターの取り付け方」 27 ページ

☞ 「単票紙のセット方法」 37 ページ

☞ 「ボード紙のセット方法」 39 ページ

2 データを作成したら、アプリケーションソフトで、[ファイル] メニュー- [プリント] などをクリックします。



3 プリント画面が表示されます。

Mac OS X Lion 以降

画面下の「詳細を表示」をクリックしてください。



Mac OS X v10.6、v10.5 では、さらに矢印 (▼) をクリックするとページ設定画面の項目が設定できます。



参考

プリント画面にページ設定画面の項目が表示されないときは、アプリケーションソフトで、[ファイル] メニュー- [ページ設定] などをクリックします。



4 本機が選択されていることを確認し、用紙サイズの設定をします。

「用紙サイズ」で以下のいずれかを選択します。実際は、XXXX には A4 など用紙サイズが表示されます。

XXXX: ロール紙にフチありで印刷します。本機のメニューの「ロール紙余白」で設定した余白で印刷されます。🔗「印刷ジョブメニュー」138 ページ

XXXX (単票紙): 単票紙にフチありで印刷します。左右上 3mm 余白、下 14mm 余白で印刷されます。



フチなしや長尺印刷を行うとき 🔗「フチなし印刷」95 ページ、🔗「拡大/横断幕/垂れ幕印刷」83 ページ

5 一覧から「基本設定」を選択し、印刷用紙設定の設定内容を確認します。

Mac OS X v10.6 以降 (SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 をお使いのとき)

プリンタードライバー起動時に、自動的に本機の用紙セット情報を取得し、その結果が「ページ設定」と「用紙種類」に表示されます。表示された内容で印刷を実行するときは、次のステップに進みます。

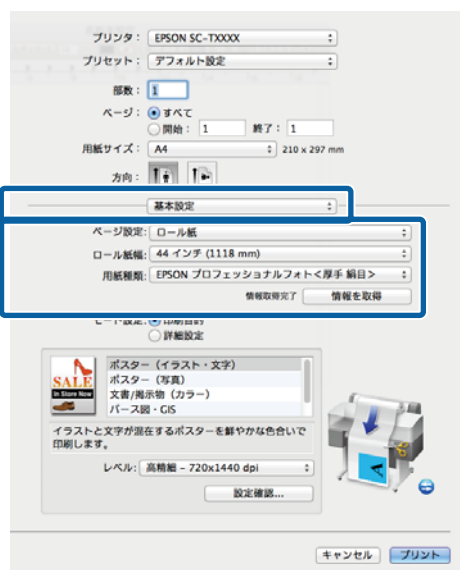
Mac OS X v10.6 以降 (SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのとき)

プリンタードライバー起動時に「ロール切替」で「自動」が選ばれているときは、プリンターで現在使用中のロール紙の用紙種類と幅になっています。印刷を実行するとプリンターのセットアップメニューの「ロール切替条件」の設定に従って印刷するロール紙が切り替わります。

🔗「ロール紙を自動で切り替えて印刷する (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)」90 ページ

Mac OS X v10.5

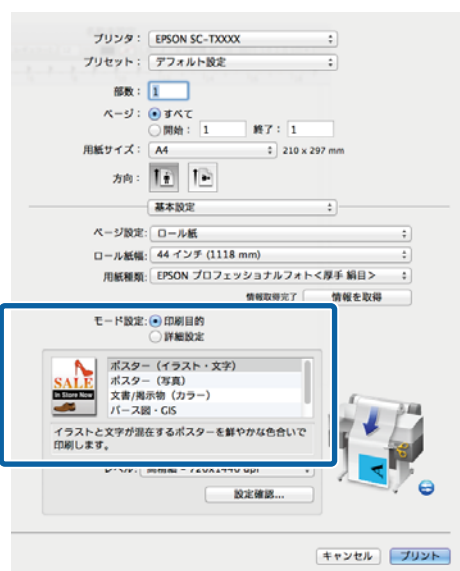
セットした用紙に合わせて [ページ設定] と [用紙種類] を設定します。



表示された内容が、目的の設定でないときは、プリンターの用紙を目的のものに変更してから、[情報を取得] ボタンをクリックします。プリンターの情報が再取得され、設定内容が更新されます。

6 印刷物の使用目的を選択します。

印刷物の用途や目的に応じてリストから目的を選択します。



色補正の方法やカラー調整をお好みに応じて詳細に設定するときは、[モード設定] で [詳細設定] を選択します。

[「色補正して印刷」100 ページ](#)

7 設定した内容を確認します。

設定した内容が右側のイラストに反映されているので、問題ないか確認します。

8 設定が完了したら、[プリント] をクリックして印刷を実行します。

印刷中は Dock 内にプリンターアイコンが表示されます。プリンターアイコンをクリックすると進行状況が表示されます。印刷データの情報や印刷待ちデータなどが確認できるほか、印刷の中止などもできます。また、印刷中にエラーが発生すると通知のメッセージが表示されます。



印刷可能領域

本機で印刷できる領域の説明をします。

以下の設定値を越える値でアプリケーションソフトの余白設定をしているときは、はみ出す部分は印刷されません。例えば、本機のメニューで左右余白を 15mm に設定しているときに、アプリケーションソフトで用紙幅いっぱいを作成したデータを印刷すると左右 15mm 分は印刷されません。

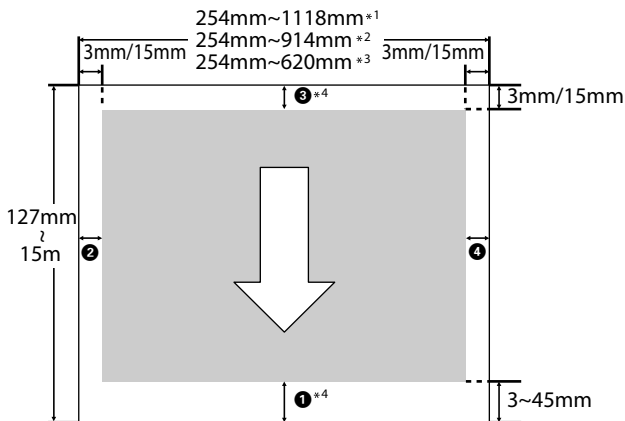
ロール紙の印刷可能領域

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。

左右フチなし印刷時は、左右余白が 0mm になります。

四辺フチなし印刷時は、四辺の余白が 0mm になります。

イラスト内の矢印は、排紙方向を示しています。



*1 SC-T7255/SC-T7255D

*2 SC-T5255/SC-T5255D

*3 SC-T3255

*4 プリンタードライバーの[拡張設定]タブで[ロール紙オプション]の[長尺モード]を選択すると、用紙上下の余白が 0mm になります。

ロール紙の余白は、メニューの[ロール紙余白]の設定値によって下表のように異なります。

[ロール紙余白]の設定 「セットアップメニュー」
 144 ページ

はメーカー設定値です。

ロール紙余白の設定値	余白の値
標準	①,③=15mm*
	②,④=3mm
先端 15mm/後端 15mm	①,③=15mm
	②,④=3mm
先端 35mm/後端 15mm	①=35mm
	③=15mm
	②,④=3mm
先端 45mm/後端 15mm	①=45mm
	③=15mm
	②,④=3mm
四辺 3mm	①,②,③,④=3mm
四辺 15mm	①,②,③,④=15mm

* [標準] を選択し、以下の用紙を使用するときは ①の値が 20mm になります。

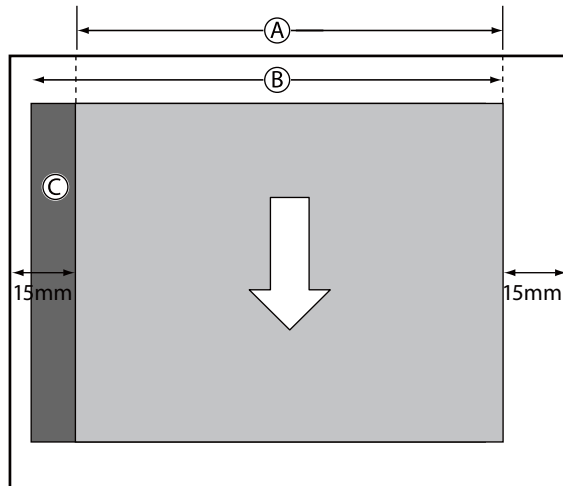
EPSON プロフェッショナルフォト<厚手光沢>/<厚手半光沢>/<厚手絹目>/<厚手微光沢>

また、以下の用紙を [CAD/線画] モードで印刷するときは、①③ の値が 3mm になります。

普通紙ロール<薄手>/PX マット紙ロール<薄手>

！重要

- ロール紙の最終端が芯から外れるときは印刷が乱れます。最終端が印刷領域に掛からないようにしてください。
- 印刷可能領域の幅（**①**）が印刷データの幅（**②**）よりも小さいときは、印刷可能領域の幅からはみ出す部分（**③**）は印刷されません。



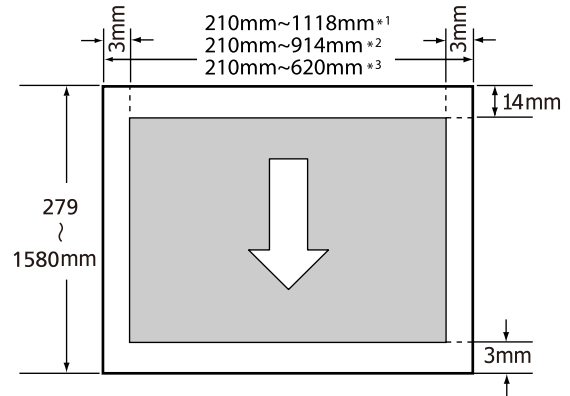
全て印刷するには左右余白を変更して狭くするか、印刷データの幅を印刷可能領域内に収まるように変更します。先端/後端余白を広く変更したときは、印刷領域の長さは変わらず印刷長が長くなります。

単票紙の印刷可能領域

左右フチなし印刷時は、左右余白が 0mm になります。

（ボード紙はフチなし印刷できません）

イラスト内の矢印は、排紙方向を示しています。



* 1 SC-T7255/SC-T7255D

* 2 SC-T5255/SC-T5255D

* 3 SC-T3255

電源オフタイマーによる電源の切断

本機には、以下の2種類の省電力設定が装備されています。

•スリープモード

エラーが発生していない状態で印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続いたときは、スリープモードに移行します。スリープモードになると操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。印刷ジョブを受信したり、操作パネルの任意のボタンを押すと解除されます。

スリープモード移行時間は、5～210分の中から選択して設定できます。メーカー設定値は、何も操作しない状態が15分続くとスリープモードになります。スリープモードに移行するまでの時間はセットアップメニューで変更できます。🔗 [「セットアップメニュー」144ページ](#)

参考

スリープモードになると、本機の電源を切ったときのように操作パネルの画面表示が消えますがランプは点灯しています。

•電源オフタイマー

電源オフタイマー機能が装備されており、エラーが発生していない状態で、設定した時間を越えて印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続いたときは、自動で本機の電源が切れます。自動で電源を切るまでの時間は、1～24時間の範囲を1時間単位で設定できます。

メーカー設定値は、[OFF]になっています。電源オフタイマーの設定はセットアップメニューで行います。

🔗 [「セットアップメニュー」144ページ](#)

印刷の中止方法

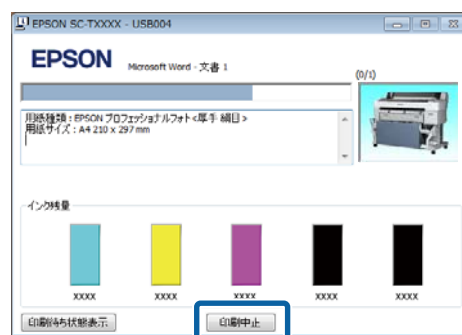
印刷を中止するには、状況に応じて以下の手順で行います。

コンピューターから本機へのデータ転送が終了しているときは、コンピューターから印刷を中止することはできません。本機で中止してください。

コンピューターから中止（Windows）

プログレスバーが表示されているとき

【印刷中止】をクリックします。



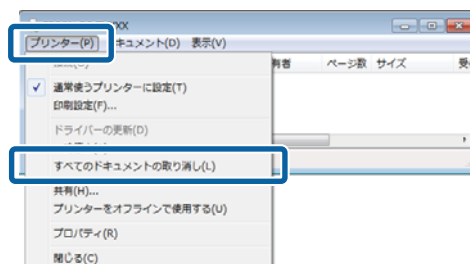
プログレスバーが表示されていないとき

1 印刷中、タスクバーに表示されるプリンターのアイコンをクリックします。

アイコンが表示される、されないは Windows での設定によります。

2 中止したい印刷データ名上で右クリックしドキュメントメニューを表示させて、【キャンセル】をクリックします。

全ての印刷データを中止するときは、【プリンタ】メニューの【すべてのドキュメントの取り消し】をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

コンピューターから中止 (Mac OS X)

- 1 Dock 内のプリンターアイコンをクリックします。



- 2 中止したい印刷データをクリックして、[削除]をクリックします。



本機へのデータ転送が終了していると、上記画面に印刷データは表示されません。

本機から中止

【】ボタンを押し、画面で[ジョブキャンセル]を選択して、【OK】ボタンを押します。

印刷途中であっても、印刷をキャンセルします。キャンセル後、印刷可能状態になるまでに時間が掛かることがあります。

参考

上記の操作では、コンピューターの印刷待ちデータは削除できません。印刷待ちデータを削除するときは前項の「コンピューターから中止」をご覧ください。

ハードディスクドライブへの保存と再印刷（オプション）

機能概要

オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニット（以降、総称してハードディスクと呼びます。）を装着すると、以下の方法で印刷ジョブの確認や操作ができます。

重要

本機には、SC-T7050/SC-T5050/SC-T3050 用オプションのハードディスクユニットは装着できません。必ず本機専用オプションのハードディスクユニットをお使いください。

🔗 [「消耗品とオプション」 196 ページ](#)

拡張される機能

以下のように印刷ジョブの確認や操作ができます。

• 印刷待ちジョブの確認

印刷ジョブが多数あり、順番待ち状態の印刷ジョブがあるときは、その印刷待ちジョブの以下の情報を確認できます。

- 予測印刷開始時間
- 印刷に要する予測時間
- 現在の消耗品の残量で印刷可能かなど

• 保留ジョブの確認 / 再開（SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のみ）

給紙方法などの設定が本機と印刷ジョブで違っていると、エラーになり印刷が中断されます。

エラーになると、本機にセットされている用紙を交換するなど、印刷できる状態にしないと印刷再開できません。

しかし、ハードディスクに以下の印刷ジョブを保留ジョブとして一時的に保存できます。

このため、セットされている用紙で印刷できる印刷ジョブを全て印刷し終えてから、用紙を交換して保留ジョブを一括して印刷再開でき、効率の良い作業ができます。

- 給紙方法の設定が本機設定と異なる印刷ジョブ
- 用紙種類が本機設定と異なる印刷ジョブ
- 出力用紙サイズ(幅)が本機設定よりも大きな印刷ジョブ

参考

保留ジョブは、操作パネルのセットアップメニューで「保留ジョブの保存」を [ON] にすると保存できるようになります。

メーカー設定値は [OFF] になっています。

🔗 [「セットアップメニュー」 144 ページ](#)

• 保存ジョブの確認/再印刷

ハードディスクに印刷ジョブを保存して、あとから再印刷できます。

再印刷する際は、ハードディスクから直接印刷できますので、お使いのコンピューターには負荷を与えません。

印刷ジョブの保存は、プリンタードライバーで設定します。🔗 [「印刷ジョブを保存」 66 ページ](#)

参考

- 本機にオプションの大判複合機用スキャナーや市販のスキャナーを接続して行う、大判コピーや拡大コピー印刷の印刷ジョブはハードディスクには保存できません。

- 以下のソフトウェアを使用して印刷したときは、必ずハードディスクに印刷ジョブが保存されます。その他のソフトウェアに関しては、ソフトウェアに付属のマニュアルやヘルプでご確認ください。

- LFP Print Plug-In for Office
- EPSON CopyFactory5

印刷ジョブの操作手段

- **操作パネルの印刷ジョブメニューから**
詳細な手順 ➡ 「保存したジョブの確認・印刷・削除」 67 ページ

- **Remote Manager から**

Remote Manager は、本機のネットワークインターフェイスに標準で搭載されており、ハードディスクに保存した印刷ジョブを操作する以外に、本機の状態の確認やネットワーク設定が行えるユーティリティです。お使いのコンピューターの Web ブラウザーのアドレスバーに本機に設定されている IP アドレスを入力して起動します。



Remote Manager から操作するときは、印刷待ちジョブの個別キャンセルや、保留ジョブの個別キャンセル・再開ができます。

使い方の詳細は、Remote Manager のヘルプをご覧ください。

Remote Manager の起動方法 ➡ 「Remote Manager の使い方」 25 ページ

- **LFP HDD ユーティリティから（Windows のみ）**

ハードディスクに保存した印刷ジョブを操作するユーティリティです。本機とコンピューターを USB 接続しているときは、このユーティリティをお使いください。

エプソンのウェブサイトからダウンロードしてお使いください。

www.epson.jp

ハードディスク内のデータについて

ハードディスク内のデータは、コンピューターなどにコピーできません。ハードディスクに印刷ジョブを保存しても、元データはコンピューターで保管してください。ハードディスク内のデータは、次のようなときに消失または破損する可能性があります。

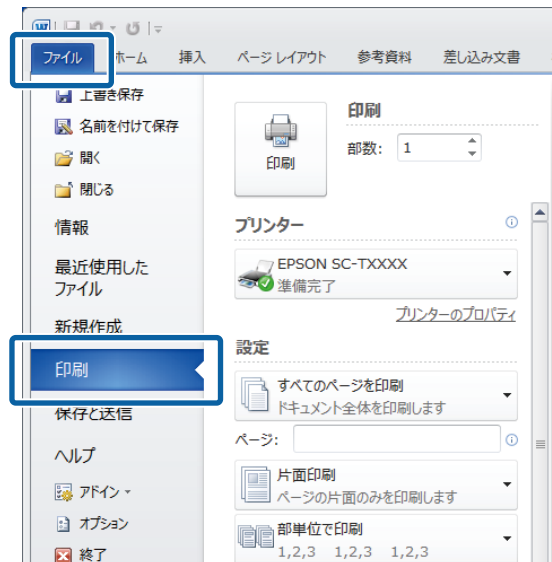
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災による被害を受けたとき

上記に限らず、また保証期間内であってもデータ消失・破損等の責任は負いかねます。消失・破損したデータの復旧も責任を負いかねます。ご了承ください。

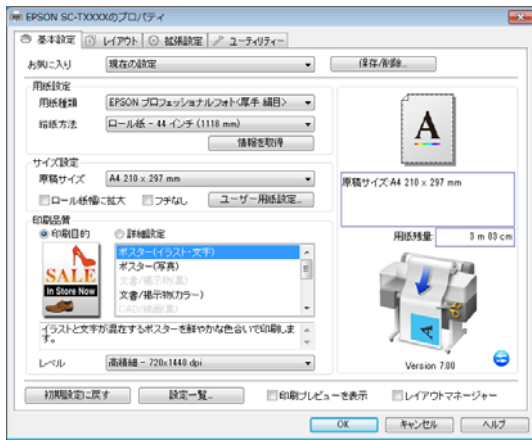
印刷ジョブを保存

ここでは、プリンタードライバーで印刷ジョブを保存する設定手順を説明します。

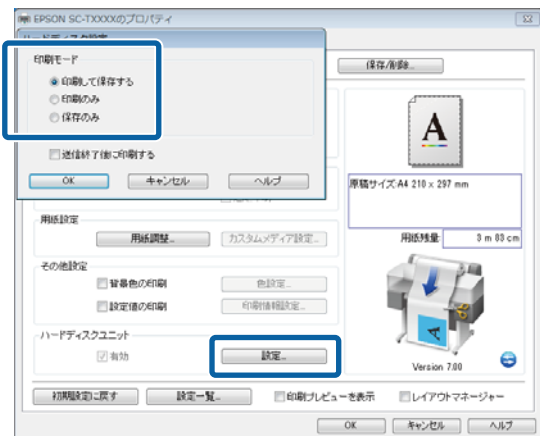
- 1 データを作成したら [ファイル] メニューの [印刷]（または [プリント]）をクリックします。



- 2** 本機が選択されていることを確認し、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックして設定画面を表示させます。



- 3** 拡張設定画面でハードディスクユニットの「設定」ボタンをクリックして、[印刷して保存する] または [保存のみ] を選択します。

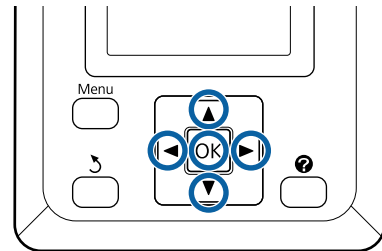


- 4** このあとは、通常通り印刷を行います。
[保存のみ] を選択したときは、保存されるだけで印刷は行われません。

保存したジョブの確認・印刷・削除

ここでは、保存したジョブを操作パネルで確認・印刷・削除する手順を説明します。

以下の操作で使用するボタン



- 1** 印刷可能な状態であることを確認します。【◀】 / 【▶】 ボタンを押して、 を選択して、【OK】 ボタンを押します。

印刷ジョブメニューが表示されます。

- 2** 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[保存ジョブの確認/再印刷] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

保存されている印刷ジョブの名前が表示されます。

- 3** 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して印刷、削除するジョブ名を選択し、【OK】 ボタンを押します。

ファイル名を選択後に【▶】 ボタンを押すと、サムネイルを確認できます。

ファイル名だけでは不安なとき、サムネイルで目的のファイルか確認できます。サムネイル表示画面で【OK】 ボタンを押すと選択したファイルの詳細情報が表示されます。

ファイルによってはサムネイルを保持していないことがあります。この場合は、選択したファイルの詳細情報が表示されます。

- 4** 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、[印刷] または [削除] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

[削除] 選択時は、確認画面が表示されます。
【OK】 ボタンを押すと削除されます。

再印刷をするときは、印刷部数入力画面が表示されます。手順 5 に進んでください。

- 5 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、印刷部数を入力し、【OK】 ボタンを押すと印刷が始まります。

コピーとスキャン

大判複合機用スキャナーを使った大判コピーと大判スキャン（オプション）

機能概要

主な機能

オプションの大判複合機用スキャナーを接続すると、以下の機能を実行できます。

大判コピー

接続している大判複合機用スキャナーのモデルにより、36 インチまたは 25 インチまでの原稿をセットして大判コピーができます。

大判スキャン

大判スキャンを行うには、大判複合機用スキャナーの装着に加えて、別オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット（以降、総称してハードディスクと呼びます）が必要です。

スキャンした画像の保存形式は、以下から選択できます。

- JPEG ファイル
- PDF ファイル
- TIFF ファイル

送信または保存先は、以下から選択できます。

- 電子メールに添付して、別のプリンター*に送信。（スキャンしてメール送信）
- ネットワーク上の共有フォルダーに保存。（スキャンして共有フォルダーへ）
- スキャンを行った大判複合機用スキャナーを接続しているプリンターに装着しているハードディスクに保存。（スキャンしてハードディスクへ）

* 送信先のプリンターには、大判複合機用スキャナーとハードディスクが装着されている必要があります。本機能に対応しているかは、プリンターに付属のマニュアルでご確認ください。

操作手段

大判コピーや大判スキャンの操作、スキャンした画像ファイルの操作は、以下のどちらかで行えます。

- 操作パネルの大判コピー/大判スキャン画面から
詳細な手順は、以降をご覧ください。
- Copy Manager から
Copy Manager は、ネットワークを介して本機と接続されているタブレット端末やコンピューターからコピーやスキャンの操作を行うソフトウェアです。
起動方法  「Copy Manager の起動方法」70 ページ

機能対応表

どちらで操作するかにより、行える機能が下表の通り異なります。

	操作パネル	Copy Manager
大判コピー	○	○
大判スキャン*1	○	○
スキャンしてメール送信	○	○
メール受信	○	○
スキャンして共有フォルダーへ	○	○
スキャンしてハードディスクへ	○	○
スキャン/メール受信した画像ファイルの操作*2、*3		
印刷*4	○	○
サムネイル表示	○	○
メールに添付して送信	○	○
フォルダーに転送	○	○
ファイルダウンロード	-	○
削除	○	○
メール送信先アドレスの登録・編集	-*5	○
共有フォルダーアドレスの登録・編集	-*5	○
ファイル操作履歴の確認	-	○

	操作パネル	Copy Manager
スキャナーメンテナンス		
原稿排出方向	○	-
キャリブレーション	○	-
原稿送り補正	○	-
スキャン速度	○	-

- *1 オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時に限り有効です。
- *2 「スキャンしてメール送信」と「スキャンして共有フォルダーへ」も、スキャンした画像ファイルは本機のハードディスクに保存されます。
- *3 オプションの大判複合機用スキャナーの装着/非装着に関わらず操作できます。
- *4 PDF ファイルと TIFF ファイルは、オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時に限り印刷できます。
- *5 設定メニューの [管理者メニュー] で [全設定の初期化] または [HDD フォーマット] の [セキュア (高速)]、[セキュア (サニタイジング)] を行うとアドレス帳に登録した内容は全て消去されます。

Copy Manager の起動方法

Copy Manager は、本機のネットワークインターフェイスに搭載されており、本機に以下のオプションがどれか装着されていると機能します。

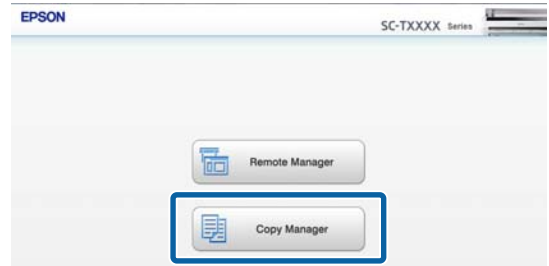
- 大判複合機用スキャナー
- ハードディスクユニット
- Adobe PostScript 3 拡張ユニット

ただし、大判複合機用スキャナーが装着されていないと、大判コピー、大判スキャン機能は使えません。
起動方法は以下の通りです。

- 1 ネットワークを介して本機と接続されているタブレット端末やコンピューターで **Web ブラウザー** を起動します。

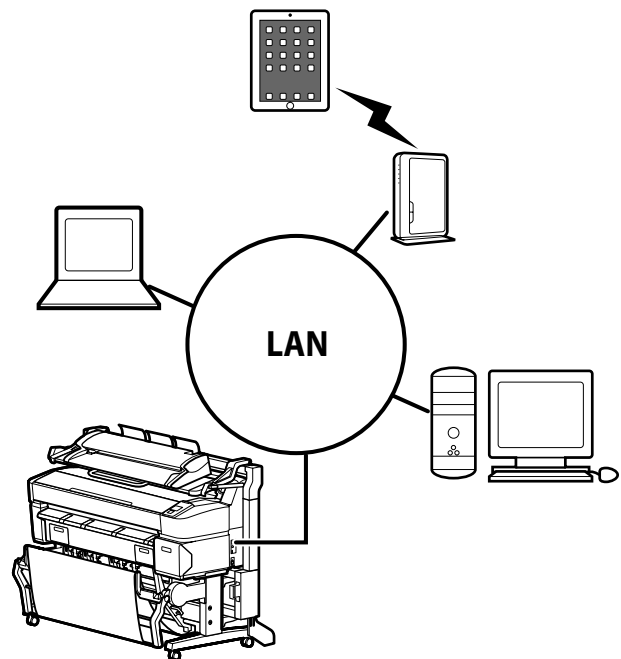
- 2 本機に設定されている **IP アドレス** をアドレスバーに入力して、**[Enter]** または **[return]** キーを押します。

- 3 表示された画面で、**Copy Manager** をクリックします。



本機は無線 LAN 機能を搭載していません。本機とタブレット端末をネットワーク接続するには、無線 LAN ルーターまたは無線 LAN アクセスポイントが必要です。

例



対応 OS やブラウザーは、以下をご覧ください。

📄 [「システム条件」212 ページ](#)

スキャン前の準備

「スキャンしてメール送信」や「スキャンして共有フォルダーへ」を行うには、事前に以下の設定を済ませてください。

- メールサーバーの設定
Remote Manager で設定します。
🔗 [「メールサーバーの設定」 71 ページ](#)
- メール送付先アドレス、共有フォルダーアドレスの登録
Copy Manager で設定します。
🔗 [「アドレス帳の作成・編集」 71 ページ](#)

！重要

「スキャンしてメール送信」や「スキャンして共有フォルダーへ」を行うときや Copy Manager から操作するときは、セキュリティに関する設定を行っていないと、情報の盗み見や改ざんなどの問題が発生する可能性があります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

メールサーバーの設定

メールサーバー（SMTP・POP3）の設定は Remote Manager で行います。Remote Manager は、Copy Manager と同様に本機のネットワークインターフェイスに搭載されているソフトウェアです。

起動方法は以下の通りです。

- 1 ネットワークを介して本機と接続されているタブレット端末やコンピュータで **Web ブラウザー** を起動します。
- 2 本機に設定されている **IP アドレス** をアドレスバーに入力して、**[Enter]** または **[return]** キーを押します。
- 3 表示された画面で、**[Remote Manager]** をクリックします。
- 4 **Setup** タブ画面を表示し、画面左のメニューで **[メール]** をクリックします。

Remote Manager の機能の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

アドレス帳の作成・編集

メール送付先、共有フォルダーのアドレスを登録するアドレス帳の作成・編集は、Copy Manager で行います。

1

Copy Manager を起動します。

2

画面上部の **[設定]** アイコンをクリックします。

Copy Manager の機能の詳細は、ヘルプをご覧ください。

参考

アドレス帳に登録したメール送付先、共有フォルダーのアドレスは、アドレス帳の編集で 1 件ずつ削除してください。アドレス帳を全て削除するときは、本機の設定メニューの **[管理者メニュー]** で **[全設定の初期化]** または **[HDD フォーマット]** の **[セキュア（高速）]**、**[セキュア（サニタイジング）]** を行います。

原稿セット時のご注意

セットできる原稿の幅と用紙種類、セットできない原稿は、以下の通りです。

！重要

ホコリの付いた原稿をセットすると、ホコリが大判複合機用スキャナー内部に付着して、コピーやスキャンした画像の品質を低下させる原因となります。原稿をセットする前に、原稿のホコリを払ってください。

セットできる原稿の幅

大判複合機用スキャナー（25）：152～635mm（6～25 インチ）

大判複合機用スキャナー（36）：152～914mm（6～36 インチ）

セットできる原稿の用紙種類

- 普通紙
- 再生紙
- トレーシングペーパー
- マットフィルム
- 青焼きコピー ジアソタイプ（白地に青線）
- 青焼きコピー 陰画タイプ（青地に白線）
- インクジェットプリンター用マット紙
- 合成紙
- 新聞紙
- 広告紙
- フォト紙

* デリケートな原稿は、クリアホルダーなどにはさんでセットすることをお勧めします。

セットできない原稿

以下のような原稿はセットしないでください。紙詰りや故障の原因となります。

- 折り目やしわがある
- とじてある
- 反っている
- 裏がカーボンになっている
- ステープラーやクリップ、のりなどが付いている
- ルーズリーフなど多数の穴がある
- 不規則な形状・直角に裁断されていない
- 写真・シール・ラベルなどが貼ってある
- 透明
- 光沢がある
- 用紙が劣化している
- 破れている

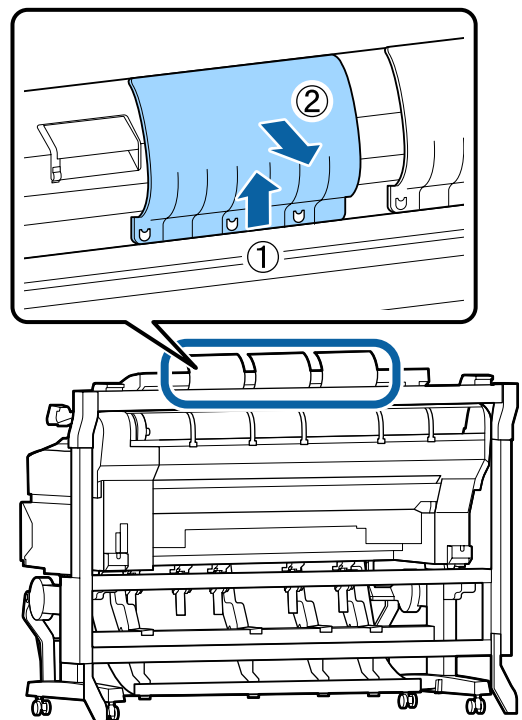
厚さ 0.25mm 以上の原稿をセットするとき

原稿をセットする前に、以下の 3 項目を対応してください。

排紙ガイドを取り外す

排紙ガイドが付いたままだと、原稿が突き当たり、排紙できません。

排紙ガイドの枚数は、お使いのモデルにより異なります。



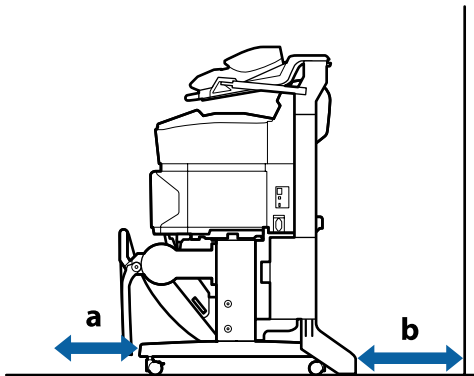
原稿排出方向を前方にする

排紙ガイドを取り外した状態で、原稿を後方に排出すると原稿が背面に落下し折れたり、潰れたりして破損することがあります。

🔗 [「原稿排出方向やスキャン精度の変更方法」74 ページ](#)

前方、後方スペースの確保

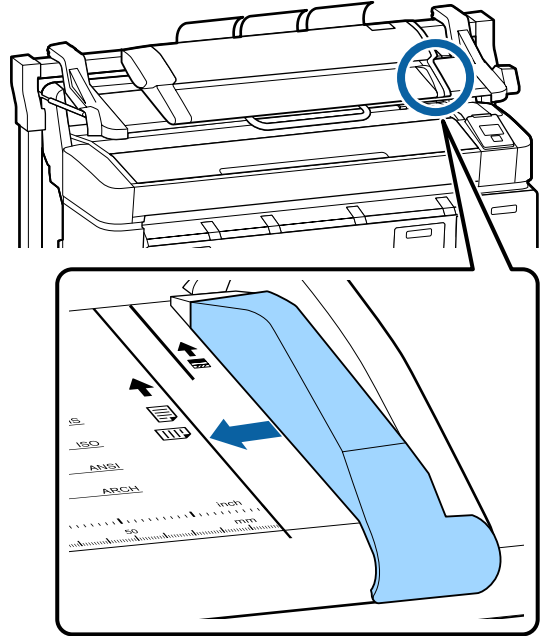
原稿読み取り時に前方と後方に原稿が突き出します。必要なスペースの目安は、下表の通りです。本機を壁際に設置しているときは、後方スペースを確保してください。



用紙サイズ	前方 (a)	後方 (b)
A2	185mm	220mm
A1	432mm	467mm
B2	319mm	354mm
B1	621mm	656mm
24×30 インチ	353mm	388mm
30×40 インチ	607mm	642mm

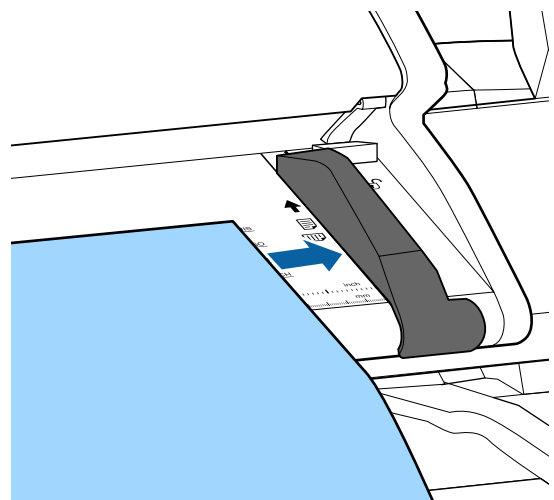
原稿のセット方法

- 1 給紙ガイドを原稿セット位置に合わせます。



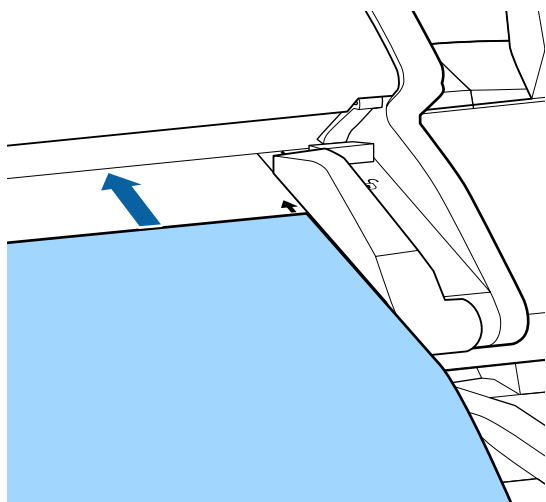
- 2 原稿の読み取り面を上にして、原稿の右端を給紙ガイドに合わせます。

原稿が斜めにならないように給紙するには、原稿の長い辺を挿入して給紙することをお勧めします。



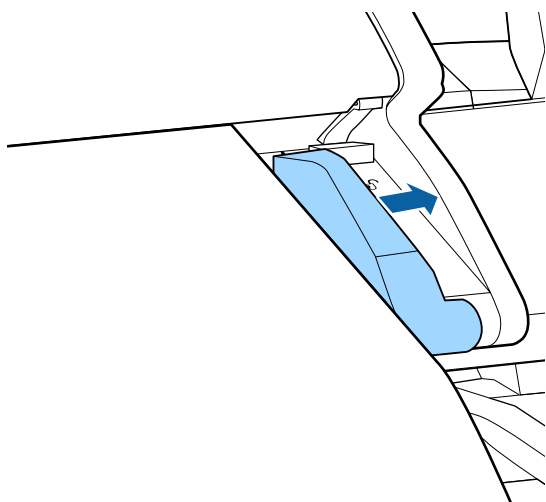
- 3** 原稿の先端が、内部の全てのローラーに揃って触れるように水平に挿入します。

先端がローラーに触れると、自動的に原稿が読み取り開始位置まで給紙されます。自動給紙が始まったら手を放して、原稿の引き込み動作を妨げないでください。



- 4** 給紙後は、給紙ガイドを取り外し、原稿の右端とガイドの線が揃っていることを確認します。

給紙ガイドをセットしたままコピーやスキャンをすると、原稿の端を傷めることがあります。



！重要

原稿がガイドの線よりも大きく傾いていると、傾いてはみ出た部分はコピー/スキャンされません。【▶】ボタンを押して原稿を排紙し、原稿を再セットしてください。

参考

1m 以上の長い原稿は、読み取り中に原稿が傾かないように、手で支えてください。

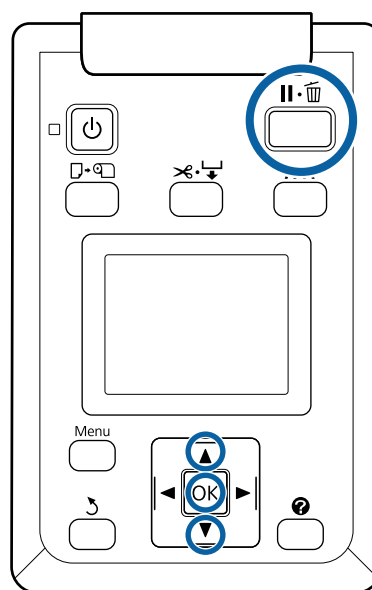
原稿排出方向やスキャン精度の変更方法

原稿排出時の排出方向の変更やより高いスキャン精度に変更する手順は、以下の通りです。

参考

原稿排出方向を後方に変更したときは、排紙ガイドを装着してお使いください。排紙ガイドを装着しないと原稿が背面に落下して折れたり、潰れたりして破損することがあります。

以下の操作で使用するボタン



- 1** 大判コピー/大判スキャン画面で【▼】/【▲】ボタンを押して【スキャナーメンテナンス】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 2** 【▼】/【▲】ボタンを押して【原稿排出方向】または【スキャン速度】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3** 【▼】/【▲】ボタンを押して設定したい項目を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 4** 【⏏】ボタンを押すとメニューが終了します。

大判コピーの手順

ここでは、本機の操作パネルからコピーを行う手順を説明します。

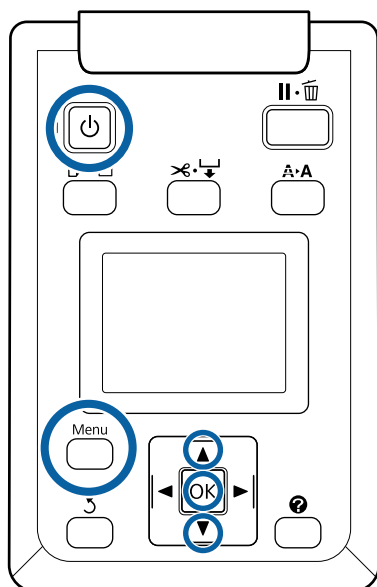
コピーの印刷は、お使いの機種により以下の給紙経路で行われます。

- SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255
セットされているロール紙または単票紙

- SC-T7255D/SC-T5255D

【コピー設定】の【給紙方法】から、【ロール 1】 / 【ロール 2】 / 【ロール自動】 / 【単票紙】のどれかを選択して印刷

以下の操作で使用するボタン



- 1 【】 ボタンを押して本機の電源を入れます。

本機の電源を入れると、連動してスキャナーの電源が入ります。

- 2 大判コピーに対応した用紙を本機にセットします。

「エプソン製専用紙一覧」 198 ページ

- 3 スキャナーに原稿をセットします。

「厚さ 0.25mm 以上の原稿をセットするとき」 72 ページ

- 4 大判コピー/大判スキャン画面が表示されていることを確認します。

別の画面が表示されているときは、【】 / 【】 ボタンを押して、 タブを選択します。

- 5 大判コピー/大判スキャン画面で 【】 / 【】 ボタンを押して【コピー】を選択し、【OK】ボタンを押します。

大判コピー画面が表示されます。

- 6 大判コピー画面で 【】 / 【】 ボタンを押すと、コピー部数を設定できます。
【OK】ボタンを押すとコピーが始まります。

コピー設定や拡大率を変更するときは、【Menu】ボタンを押すとコピー設定メニューが表示されます。SC-T7255D/SC-T5255D に大判複合機用スキャナーを装着しているときは、印刷する用紙（ロール 1/ロール 2/ロール自動/単票紙）もコピー設定メニューで指定できます。

コピー設定メニューの操作方法 「メニューの操作」 128 ページ

設定内容 「大判コピー・大判スキャンメニュー」 161 ページ

- 7 コピーが完了すると手順 6 の画面に戻ります。
【】 ボタンを押すと原稿が排出されます。原稿をセット後【OK】ボタンを押すと続けてコピーできます。

コピーが完了したら、必ず原稿を排出してください。先の原稿が入った状態で、次の原稿をセットすると正しく給紙できません。

原稿の排出方向は変更できます。排出方向の変更方法 「原稿排出方向やスキャン精度の変更方法」 74 ページ

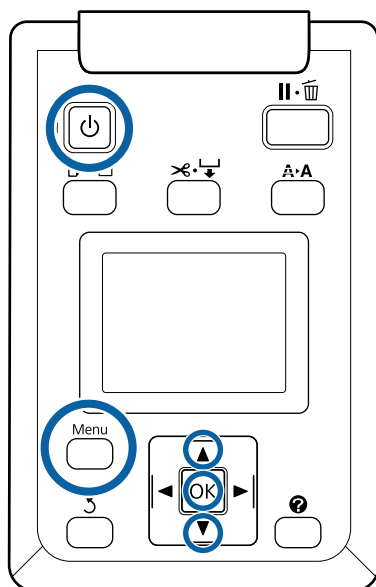
大判スキャンの手順

「スキャンしてメール送信」や「スキャンして共有フォルダーへ」を行うには、事前に設定が必要です。

☞ [「スキャン前の準備」71 ページ](#)

ここでは、本機の操作パネルからスキャンを行う手順を説明します。

以下の操作で使用するボタン



1 【⏻】ボタンを押して本機の電源を入れます。

本機の電源を入れると、連動してスキャナーの電源が入ります。

2 大判スキャン機能に対応した用紙を本機にセットします。

☞ [「エプソン製専用紙一覧」198 ページ](#)

3 スキャナーに原稿をセットします。

☞ [「厚さ 0.25mm 以上の原稿をセットするとき」72 ページ](#)

4 大判コピー/大判スキャン画面が表示されていることを確認します。

別の画面が表示されているときは、【◀】 / 【▶】 ボタンを押して、 タブを選択します。

5 大判コピー/大判スキャン画面で【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【スキャン】を選択し、【OK】 ボタンを押します。

スキャンファイルの保存/送付先を選択する画面が表示されます。

6 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して保存/送付先を選択し、【OK】 ボタンを押します。

【ハードディスク】を選択したときは、手順 8 に進んでください。

【共有フォルダー】や【メールで送信】を選択したときは、手順 7 に進んでください。

7 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して保存先フォルダーまたは宛先を選択し、【OK】 ボタンを押します。

8 主なスキャン設定の内容が表示されています。【OK】 ボタンを押すとスキャンが始まります。

設定を変更するときは、【Menu】ボタンを押すとスキャン設定メニューが表示されます。

スキャン設定メニューの操作方法 ☞ [「メニューの操作」128 ページ](#)

設定内容 ☞ [「大判コピー・大判スキャンメニュー」161 ページ](#)

9 スキャンが完了すると手順 8 の画面に戻ります。【▶】 ボタンを押すと原稿が排出されます。原稿をセット後【OK】 ボタンを押すと続けて同じ保存/送付先にスキャンファイルを保存または送付できます。

スキャンが完了したら、必ず原稿を排出してください。先の原稿が入った状態で、次の原稿をセットすると正しく給紙できません。

原稿の排出方向は変更できます。排出方向の変更方法 ☞ [「原稿排出方向やスキャン精度の変更方法」74 ページ](#)

スキャン/受信した画像ファイルの操作

スキャンしたファイルや別のプリンターからメールで送信されたスキャンファイルに対して、以下の操作が行えます。

この機能は、オプションの大判複合機用スキャナーの装着/非装着に関わらず実施できます。

• 印刷

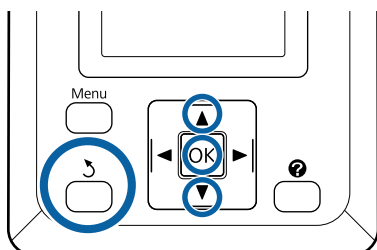
PDF ファイルと TIFF ファイルは、オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時に限り印刷できます。また、お使いの機種により以下の給紙経路で印刷されます。

- SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255
セットされているロール紙または単票紙
- SC-T7255D/SC-T5255D
スキャン印刷の設定の [給紙方法] から、[ロール 1] / [ロール 2] / [ロール自動] / [単票紙] のどれかを選択して印刷

• メールに添付して送信

- ネットワーク上の共有フォルダーに転送
- ファイル削除

以下の操作で使用するボタン



1 タブアイコンの または を選択します。

本機にオプションの大判複合機用スキャナーを接続していないときもオプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着していると、タブに が表示されます。コピーやスキャンはできませんが、以下の操作は行えます。

- 受信スキャンファイルの操作*
- 新規スキャンファイル受信
- スキャンファイルの操作*

* ハードディスクに受信スキャンファイルやスキャンファイルが保存されていると表示されます。

【受信スキャンファイルの操作】に (3) のように数字が表示されているときは、印刷可能な受信ファイルで未印刷のファイルの数を示しています。

2 大判コピー/大判スキャン画面で / ボタンを押して【受信スキャンファイルの操作】または【スキャンファイルの操作】を選択し、**【OK】** ボタンを押します。

選択したファイルの一覧が表示されます。ファイル名横のアイコンの意味は次の通りです。

【受信スキャンファイルの操作】を選択したとき

	未印刷のファイルです。一度でも印刷すると、以降は に変わります。
	印刷できないファイル*です。
	印刷済みのファイルです。

【スキャンファイルの操作】を選択したとき

	共有フォルダーに転送した画像ファイルです。印刷できないファイル*です。
	共有フォルダーに転送した画像ファイルです。印刷可能なファイルです。
	ハードディスクに保存した画像ファイルです。印刷できないファイル*です。
	ハードディスクに保存した画像ファイルです。印刷可能なファイルです。
	メール送信した画像ファイルです。印刷できないファイル*です。
	メール送信した画像ファイルです。印刷可能なファイルです。

* PDF ファイルと TIFF ファイルは、オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時に限り印刷できます。

- 3** 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して操作するファイルを選択します。

ファイル名だけではわかりにくいときは、【▶】 ボタンを押してください。

スキャンした画像のサムネイルが表示され内容を確認できます。

参考

- 画像のサイズによっては、画像上部だけのサムネイル表示になることがあります。
- サムネイル画面で【▶】 ボタンを押すと、選択したファイルの詳細情報が表示されます。

- 4** 【OK】 ボタンを押します。

【受信スキャンファイルの操作】で  が表示されたファイルを選択したときは、【OK】 ボタンを押すと印刷が始まります。

それ以外のファイルを選択したときは、手順 5 に進みます。

- 5** 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して実行したい操作を選択し、【OK】 ボタンを押します。

【印刷】、【削除】を選択したときは、画面の表示を確認して操作してください。

【共有フォルダーに転送】や【メール送信】を選択したときは、保存先フォルダーや送信先を選択する画面が表示されますので、スキャン時と同様に操作してください。

- 6** 操作が完了するとファイル一覧画面に戻ります。
【↵】 ボタンを押すとメニューが終了します。

A3、A4 スキャナーを使った拡大コピー

本機にエプソン製 A3、A4 スキャナーを接続すると、コンピューターを介さずに原稿を簡単に拡大コピーできます。対応スキャナーは、エプソンのウェブサイトでご確認ください。

www.epson.jp

対応サイズ

スキャン原稿サイズ：L 判～A3^{*1}

出力サイズ：A2～36 インチ（約 914mm）^{*2}

^{*1} 接続するスキャナーの仕様により異なります。

^{*2} SC-T3255 では、24 インチ（約 610mm）までです。

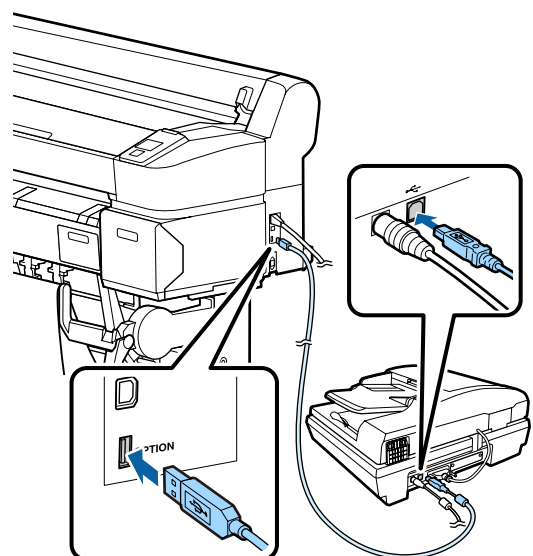
スキャナーの接続

- 1** 本機とスキャナーをそれぞれ使用できる状態にします。

スキャナーのセットアップは、スキャナーに付属のマニュアルをご覧ください。

- 2** 本機とスキャナーの電源を切ります。

- 3** スキャナーに付属の接続ケーブルで、スキャナーと本機を接続します。



！重要

スキャナーは直接本機に接続してください。直接接続しないと、拡大コピー機能は使用できません。

拡大コピーの手順

コピー結果の印刷は、お使いの機種により以下の給紙経路で行われます。

- SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255

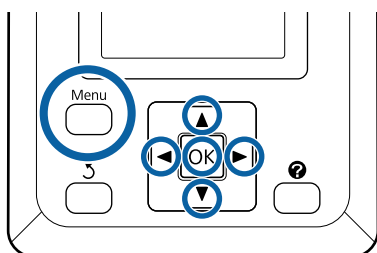
セットされているロール紙または単票紙

- SC-T7255D/SC-T5255D

現在、選択されているロール紙または単票紙

現在、選択されている用紙は、**●**タブを選択して確認できます。

以下の操作で使用するボタン



- 1 本機とスキャナーの電源を入れます。

電源を入れる順番は問いません。

- 2 拡大コピー機能に対応した用紙を本機にセットします。

☞ [「エプソン製専用紙一覧」 198 ページ](#)

- 3 スキャナーの原稿台または ADF（オートドキュメントフィーダーの略）に原稿をセットします。

☞ [「原稿セット時のご注意」 80 ページ](#)

スキャナーの使い方は、スキャナーに付属のマニュアルをご覧ください。

- 4 印刷可能な状態であることを確認し、【◀】 / 【▶】 ボタンを押して、**⏏**を選択して、【OK】 ボタンを押します。

拡大コピー画面が表示されます。

- 5 拡大コピー画面で【▲】 / 【▼】 ボタンを押し、コピー部数を設定し、【OK】 ボタンを押すとコピーが始まります。

コピー設定や拡大率を変更するときは【Menu】 ボタンを押します。拡大コピー設定メニューが表示されます。

【OK】 ボタンの代わりにスキャナーの【⏏】 ボタンを押してもコピーが始まります。

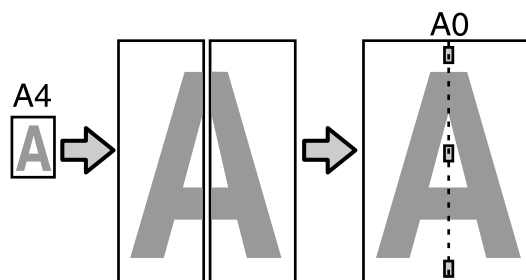
拡大コピー設定メニューの操作方法 ☞ [「メニューの操作」 128 ページ](#)

設定内容 ☞ [「拡大コピーメニュー」 160 ページ](#)

参考

SC-T3255 をお使いのときは、[自動拡大] で [その他の倍率] を選択し、[出力サイズを選択] で [A0 (2 枚出力)] を選択すると、図のように 2 枚に分かれて印刷されます。

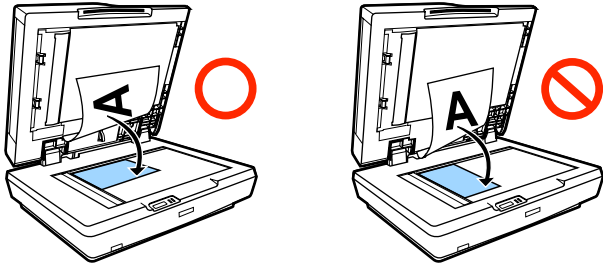
A2 幅サイズのロール紙に印刷すると、2 枚をテープなどで貼り合わせるだけで A0 サイズの印刷物が完成します。A2 幅以上のサイズのロール紙に印刷したときは余分を切り取ります。



原稿セット時のご注意

スキャナーに拡大コピー対象の原稿をセットする際は、印刷品質低下や正しくスキャンされない原因となりますので、以下の点に注意してください。

- 原稿は必ず横置きでセットしてください。



- 原稿台と ADF の両方に原稿があるときは、ADF に置いた原稿をスキャンします。

原稿台使用時は ADF には用紙を置かないでください。

- 以下のときは、ADF は使用できません。

- [自動拡大] で [A4/2→長尺 (自動)] を選択したとき
- [出力サイズを選択] で [B1]、[A0] を選択し複数枚コピーを実行したとき、または [A0 (2 枚出力)] を選択したとき
- 原稿が L 判またはハガキ、KG サイズのとき
- 原稿がハガキや写真などの厚手の用紙のとき

- 原稿台に原稿をセットして、複数部数コピーすると、原稿スキャンが毎回入ることがあります。

複数部数コピーするときは、指定した部数分の印刷が終了するまで原稿カバーを開けないでください。

- 何枚も続けてコピーするときは、ADF に原稿をセットしてください。この場合、原稿をスキャンするたびに印刷されますので、複数部数コピーは部単位で印刷されません。

例) 2 枚の原稿を 2 部コピーしたときの出力順



フォルダー印刷

機能概要

あらかじめ設定した、ネットワーク上の共有フォルダーのファイルを選択して印刷できます。

共有フォルダーの設定は、Remote Manager で行います。

🔗 [「フォルダー印刷の準備」 81 ページ](#)

操作手段

ファイルを選択して印刷する操作は、本機の操作パネルからと Remote Manager からの 2 通りの方法で行えます。

操作パネルの操作方法 🔗 [「フォルダー印刷の手順」 82 ページ](#)

Remote Manager での操作方法は、オンラインヘルプをご覧ください。

対応ファイル

フォルダー印刷できるファイルは以下の通りです。対応ファイルは、オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着しているかどうかで異なります。

ファイルフォーマット	非装着	装着
HP-GL/2	○	○
HP RTL	○	○
PDF	-	○
PostScript	-	○
EPS	-	○
TIFF	-	○
JPEG	-	○
CALS G4(type 1)	-	○

HP-GL/2、HP RTL フォーマットのファイルは、本機の設定メニューの [HP-GL/2 設定] に従って印刷されます。

🔗 [「プリンター設定」 144 ページ](#)

それ以外のファイルは、本機の設定メニューの [PS3 拡張ユニット] の設定に従って印刷されます。

🔗 [「オプション設定*4」 152 ページ](#)

フォルダー印刷の準備

以下の通り、Remote Manager で共有フォルダーの設定を行います。

Remote Manager は、本機のネットワークインターフェイスに搭載されているソフトウェアです。

1 ネットワークを介して本機と接続されているタブレット端末やコンピューターで **Web** ブラウザーを起動します。

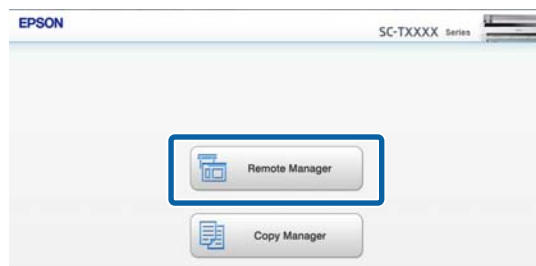
2 本機に設定されている **IP アドレス** をアドレスバーに入力して、**[Enter]** または **[return]** キーを押します。

以下のいずれかのオプション装着時は、手順 3 に進みます。

- 大判複合機用スキャナー
- ハードディスクユニット
- Adobe PostScript 3 拡張ユニット

非装着時は、手順 4 に進みます。

3 表示された画面で、**Remote Manager** をクリックします。



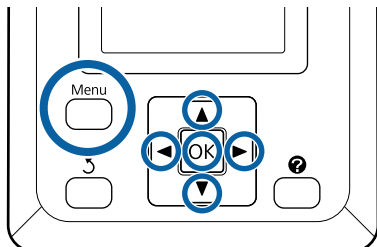
4 **Setup** タブ画面を表示させて画面左のメニューで **[共有フォルダー]** をクリックします。

Remote Manager の操作の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

フォルダー印刷の手順

操作パネルからフォルダー印刷する手順は、以下の通りです。

以下の操作で使用するボタン



- 1 印刷可能な状態であることを確認します。【◀】 / 【▶】 ボタンを押して■を選択し、【OK】 ボタンを押します。

印刷ジョブメニューが表示されます。

- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【フォルダー印刷】を選択し、【OK】 ボタンを押します。

オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着していないときは、【フォルダー印刷】 だけが表示されます。

しばらくして、共有フォルダー内のファイルのリストが表示されます。

- 3 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して印刷するファイルを選択し、【OK】 ボタンを押します。

印刷設定の画面が表示されます。

- 4 【▼】 / 【▲】 ボタンを押すと、印刷部数を設定できます。【OK】 ボタンを押すと印刷が始まります。

オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット未装着時は、印刷部数は 1 枚固定になります。

給紙方法などを変更するときは、【Menu】 ボタンを押すと設定メニューが表示されます。SC-T7255D/ SC-T5255D は、【ロール 1】 / 【ロール 2】 / 【ロール自動】 / 【単票紙】 から選択できます。

【印刷プレビュー】 を【する】 に設定しているとプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面で【OK】 ボタンを押すと印刷が始まります。

印刷プレビューを途中でやめるときは【⏏】 ボタンを押します。

いろいろな印刷方法

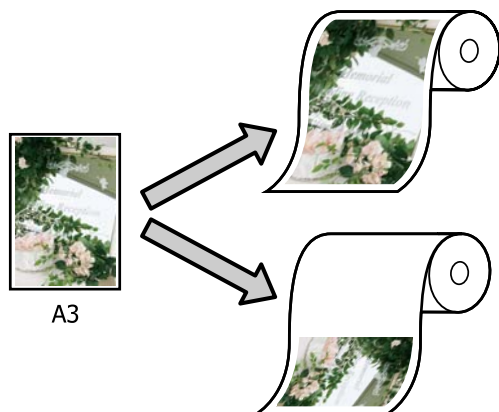
拡大/横断幕/垂れ幕印刷

原稿の用紙サイズをプリンタードライバーで拡大または縮小して印刷します。設定方法には以下の3通りの方法があります。

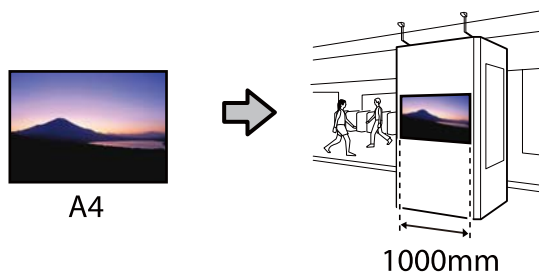
横断幕や垂れ幕、あるいは正方形などの定形外サイズの印刷をするときは、あらかじめ原稿の用紙サイズをプリンタードライバーに登録してください。

☞「定形外サイズの印刷」87ページ

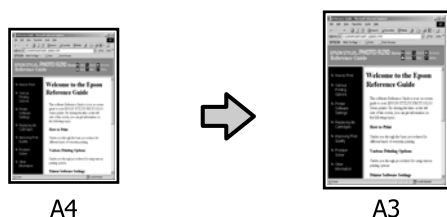
- ロール紙の幅に合わせる
印刷するロール紙の幅に合わせて自動的に拡大/縮小して印刷します。



- サイズを指定する
拡大/縮小率を任意に設定して印刷します。定形外の用紙サイズのときなどに設定します。



- 出力サイズに合わせる
印刷する用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小して印刷します。



参考

- 横断幕や垂れ幕などを制作するための長尺印刷専用のアプリケーションソフトで印刷するときは、長尺印刷専用アプリケーションソフトのマニュアルに従ってプリンタードライバーを設定してください。
- Windows 版の拡張設定画面にある「長尺モード」は、長尺印刷専用アプリケーションソフトの使用時に必要に応じてチェックします。

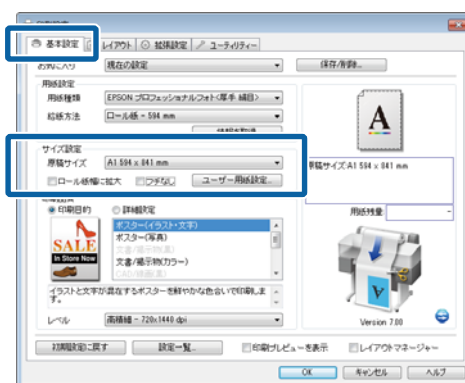


ロール紙の幅に合わせて印刷

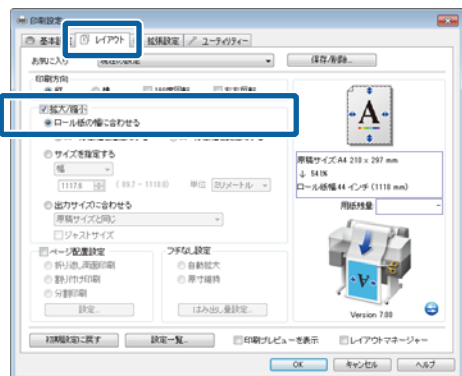
Windows での設定

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、「[原稿サイズ]」でデータの用紙サイズと同じサイズを選択します。

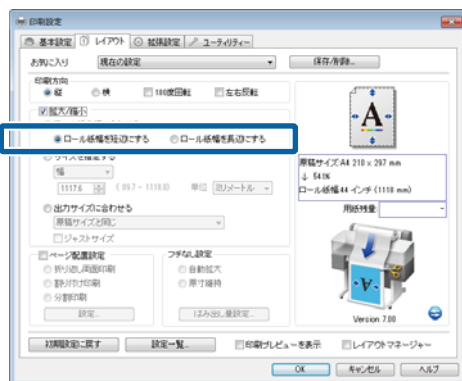
☞「基本的な印刷方法 (Windows)」55ページ



- レイアウト画面で「拡大/縮小」をチェックし、「ロール紙の幅に合わせる」をクリックします。

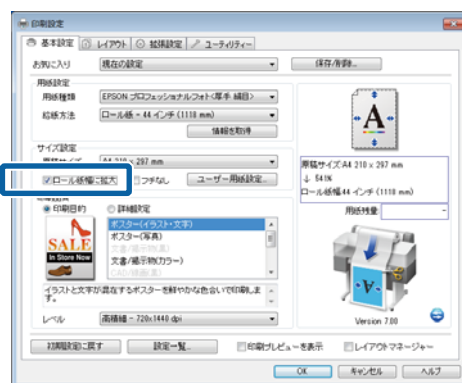


- 原稿の短辺をロール紙幅に合わせるか、長辺をロール紙幅に合わせるのかを選択します。



参考

出力サイズをロール紙の幅に合わせることは、基本設定画面の「ロール紙幅に拡大」をチェックしても行うことができます。



- その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac OS X での設定

- プリント画面を表示し、一覧から「ページレイアウト設定」を選択し、「拡大/縮小」をチェックします。

「基本的な印刷方法（Mac OS X）」58 ページ

- 「ロール紙の幅に合わせる」をチェックし、原稿の短辺をロール紙幅に合わせるか、長辺をロール紙幅に合わせるのかを選択します。



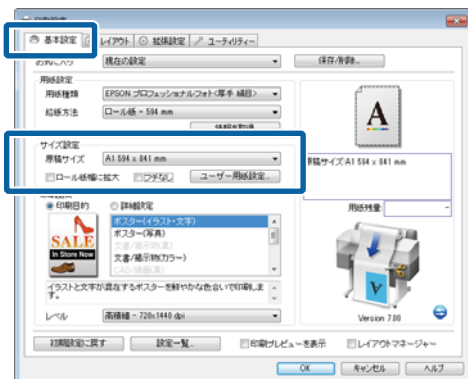
- その他の設定を確認して印刷を行います。

サイズを指定して印刷

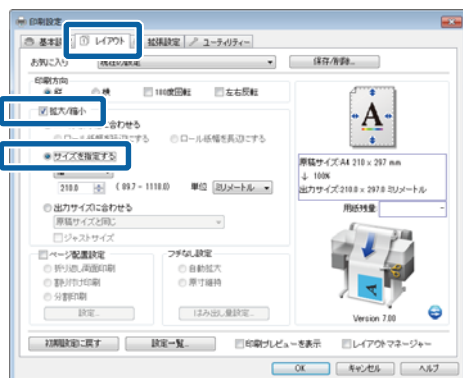
Windows での設定

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、**【原稿サイズ】** でデータの用紙サイズと同じサイズを選択します。

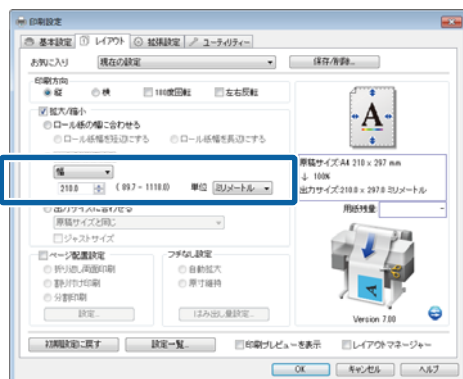
🔗 [「基本的な印刷方法（Windows）」55 ページ](#)



- 2 レイアウト画面で**【拡大/縮小】** をチェックし、**【サイズを指定する】** をクリックします。



- 3 サイズ指定の方法とサイズを設定します。
設定値は直接入力するか、右側の三角マークをクリックして設定します。



- 4 その他の設定を確認して印刷を行います。

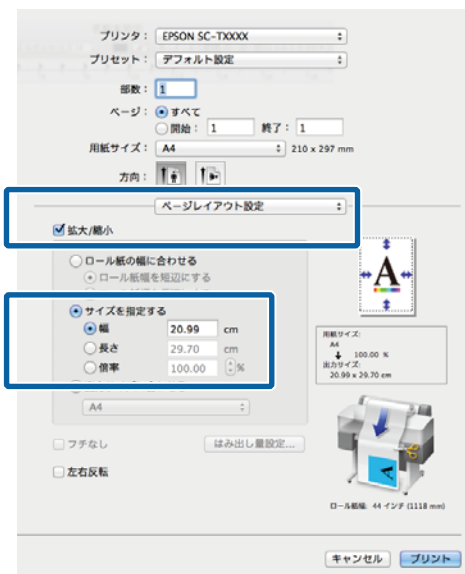
Mac OS X での設定

- 1 プリント画面を表示し、一覧から**【ページレイアウト設定】** を選択し、**【拡大/縮小】** をチェックします。

🔗 [「基本的な印刷方法（Mac OS X）」58 ページ](#)

- 2 **【サイズを指定する】** をチェックし、サイズ指定の方法を選択してサイズを設定します。

設定値は直接入力するか、右側の三角マークをクリックして設定します。



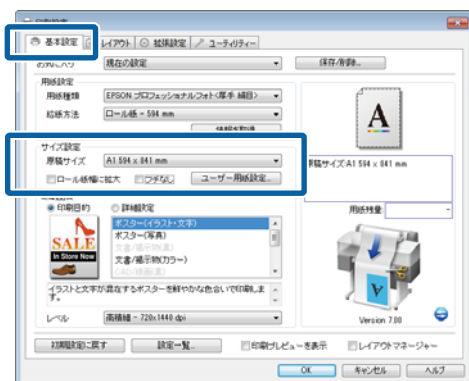
- 3 その他の設定を確認して印刷を行います。

出力サイズに合わせて印刷

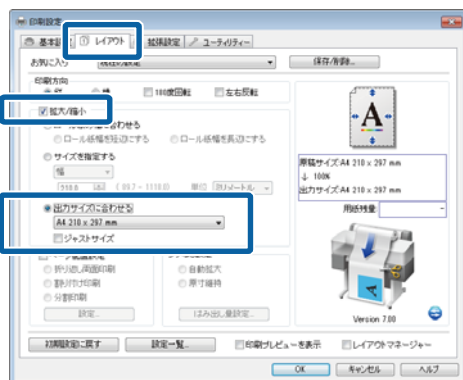
Windows での設定

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、**【原稿サイズ】** でデータの用紙サイズと同じサイズを選択します。

🔗 [「基本的な印刷方法（Windows）」55 ページ](#)



- 2 レイアウト画面で**【拡大/縮小】** をチェックし、**【出力サイズに合わせる】** をクリックします。



- 3 印刷する用紙サイズを選択します。

【ジャストサイズ】 をチェックすると、原稿の余白を除いた印刷領域を、指定した出力サイズぴったりに拡大します。

参考

【ジャストサイズ】 にチェックを付けたときは、【出力サイズ】 で指定したサイズに本機が必要とする余白を足した大きさの用紙をセットしてください。
本機の余白 🔗 [「印刷可能領域」61 ページ](#)

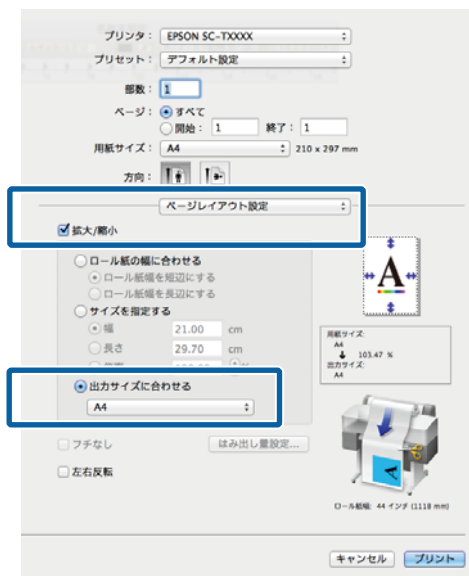
- 4 その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac OS X での設定

- 1 プリント画面を表示し、一覧から**【ページレイアウト設定】** を選択し、**【拡大/縮小】** をチェックします。

🔗 [「基本的な印刷方法（Mac OS X）」58 ページ](#)

- 2 **【出力サイズに合わせる】** をチェックし、本機にセットした用紙サイズを選択します。



- 3 その他の設定を確認して印刷を行います。

参考

出力サイズに合わせた印刷は、プリント画面の**【用紙処理】**にある**【用紙サイズに合わせる】**をチェックしても行うことができます。

定形外サイズの印刷

横断幕や垂れ幕、あるいは正方形のサイズといった定形外用の紙サイズに印刷するときのために、あらかじめこれらの用紙サイズをプリンタードライバーに登録することができます。登録した用紙サイズはアプリケーションソフトの「ページ設定」などから選択できるようになります。



設定できる用紙サイズは下表の通りです。

用紙幅	SC-T7255/SC-T7255D	89～1118mm
	SC-T5255/SC-T5255D	89～914mm
	SC-T3255	89～620mm *1
用紙長さ*2	Windows: 127～15000mm Mac OS X: 127～15240mm	

*1: 最大印字幅は、610mm になります。

*2: 長尺印刷対応のアプリケーションソフトを使用すると、用紙長さ以上の印刷ができます。ただし、実際に印刷可能な長さは、アプリケーションソフトの仕様、本機にセットした用紙の長さ、コンピューターの環境などにより変わります。

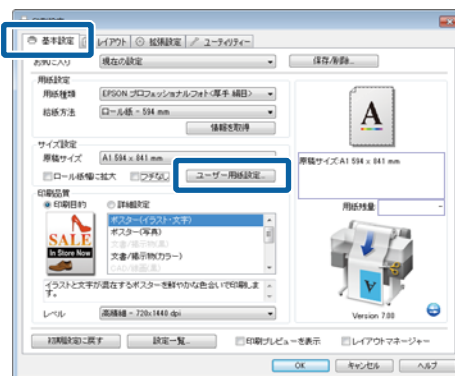
！重要

- 本機で印刷できる最小用紙サイズは、用紙幅 254mm×用紙長 127mm です。プリンタードライバーの「ユーザー用紙設定」でこれより小さな値を設定したときは、不要な余白は切ってお使いください。
- Mac OS X のカスタム用紙サイズでは、本機にセットできない大きな用紙サイズを設定できますが、正常に印刷できません。
- アプリケーションソフトによって出力可能サイズに制限があります。

Windows での設定

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、**「ユーザー用紙設定」**をクリックします。

☞「基本的な印刷方法（Windows）」55 ページ

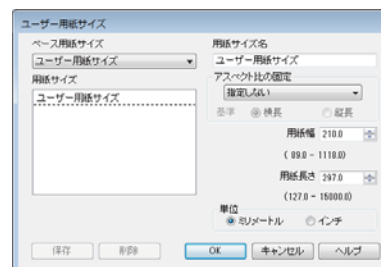


！重要

「給紙方法」で「前面手差し（ボード紙）」が選択されていると「ユーザー用紙設定」は選択できません。

- 2 ユーザー用紙サイズ画面で、使用する用紙サイズを設定し、**「保存」**をクリックします。

- ・「用紙サイズ名」の入力可能文字数は、全角 12 文字（半角 24 文字）です。
- ・「ベース用紙サイズ」で、使用する用紙に近い定形サイズを選択すると、「用紙幅」/「用紙長さ」にその数値が表示されます。
- ・「アスペクト比の固定」で縦横の比率を選択して、「基準」で「横長」か「縦長」を選択すると、「用紙幅」か「用紙長さ」の入力だけでサイズが設定できます。



参考

- 保存した内容を変更するときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存した用紙サイズを削除するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「削除」をクリックしてください。
- 保存できる用紙サイズは 100 個です。

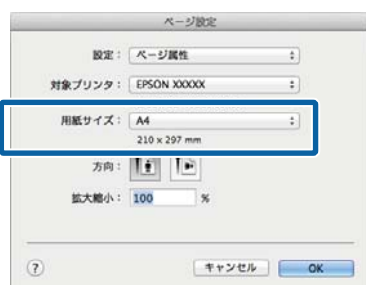
3 [OK] をクリックします。

これで基本設定画面の「原稿サイズ」から、保存した用紙サイズを選択できるようになりました。
この後は、通常通り印刷を行います。

Mac OS X での設定

1 プリント画面を表示し、「用紙サイズ」で「カスタムサイズを管理」を選択します。

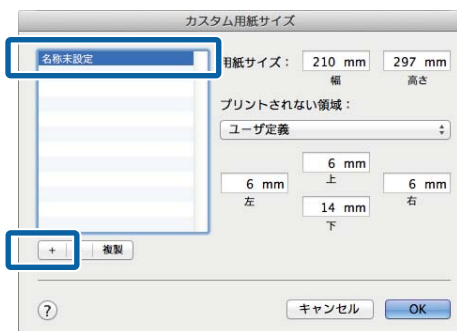
🔗「基本的な印刷方法 (Mac OS X)」58 ページ



参考

お使いのアプリケーションによってプリント画面にページ設定画面の項目が表示されないときは、ページ設定画面を表示して設定します。

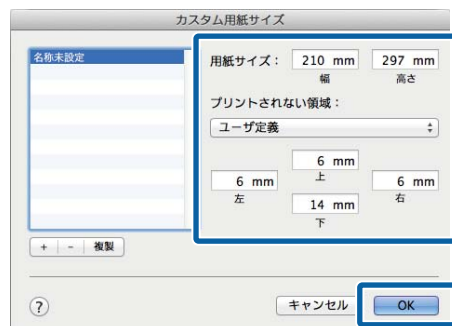
2 [+] をクリックし、用紙サイズ名を入力します。



3 「用紙サイズ」の「幅」と「高さ」、余白を入力して、[OK] をクリックします。

指定できるページサイズの範囲と余白の大きさは、プリンターの機種やプリンター本体の設定値により異なります。

🔗「印刷可能領域」61 ページ



参考

- 保存した内容を変更したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックしてください。
- 保存されている用紙サイズを複製するときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「複製」をクリックしてください。
- 保存されている用紙サイズを削除したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して「-」をクリックしてください。
- OS のバージョンにより、カスタム用紙の設定方法が異なります。OS 付属のマニュアルやヘルプなどでご確認ください。

4 [OK] をクリックします。

これで用紙サイズのポップアップメニューから、保存した用紙サイズを選択できるようになりました。
この後は、通常通り印刷を行います。

CAD 図面の印刷

本機は、プロッター印刷で使われる HP-GL/2 と HP RTL をサポートしています。本機で、CAD 図面を印刷するときは、以下のどちらかの方法で印刷できます。

- 付属のプリンタードライバーの CAD/線画モードで印刷する。
- プロッター印刷で使われる HP-GL/2、HP RTL をエミュレーションして印刷する。

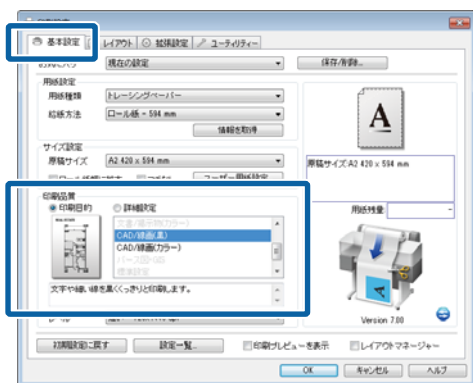
通常の印刷が HP-GL/2 または HP RTL をエミュレーションして印刷するかは、送られた印刷データを判別して自動で切り替わります。ただし、動作モードの切り替えが正しく行われずに印刷が正常に実行されないときは、セットアップメニューの [プリンターモード] で [HP-GL/2] に設定してください。

プリンタードライバーの CAD/線画モードで印刷する

Windows のアプリケーションソフトから CAD 図面を印刷するときは、プリンタードライバーの CAD/線画モードで印刷することをお勧めします。

Windows

- 1 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、[印刷品質] で [印刷目的] を選択し、[CAD/線画 (黒)] または [CAD/線画 (カラー)]、[CAD/線画 (モノクロ 2 階調)] を選択します。



参考

[CAD/線画 (黒)] または [CAD/線画 (カラー)]、[CAD/線画 (モノクロ 2 階調)] は、CAD 図面印刷に適した用紙種類が選択されているときに、[印刷目的] の選択項目として表示されます。

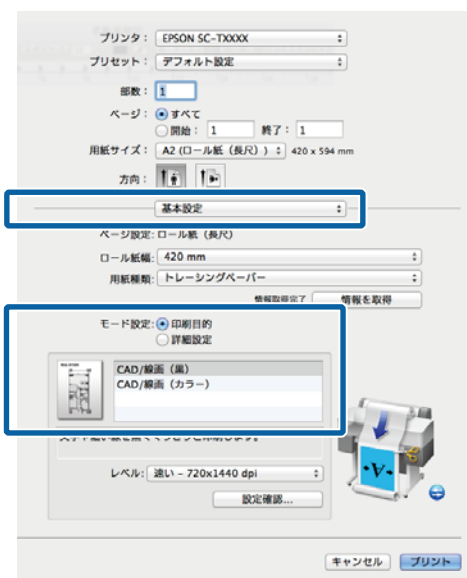
- 2 その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac OS X

- 1 プリント画面を表示し、一覧から [基本設定] を選択します。

📄 [「基本的な印刷方法 \(Mac OS X\)」58 ページ](#)

- 2 [モード設定] で [印刷目的] を選択し、[CAD/線画 (黒)] または [CAD/線画 (カラー)]、[CAD/線画 (モノクロ 2 階調)] を選択します。



参考

[CAD/線画 (黒)] または [CAD/線画 (カラー)] は、CAD 図面印刷に適した用紙種類が選択されているときに、[印刷目的] の選択項目として表示されます。

- 3 その他の設定を確認して印刷を行います。

HP-GL/2、HP RTL をエミュレーションして印刷する

本機は、HP-GL/2（HP Designjet 750C 準拠）、HP RTL をエミュレーション*できます。

アプリケーションソフトから HP-GL/2 または HP RTL 出力で印刷したいときは、お使いの機種により以下の通り、出力機器の設定をしてください。

- SC-T7255/SC-T7255D/SC-T5255/SC-T5255D
HP Designjet 750C C3195A

- SC-T3255
HP Designjet 750C C3196A

* 全ての機能には対応していません。動作確認されていないアプリケーションソフトで使用する際は、事前の出力検証をお願いします。

動作確認済みアプリケーションの情報は、エプソンのウェブサイトでご確認ください。

www.epson.jp/support/

！重要

印刷データが非常に大きい場合、正常に印刷できないことがあります。

HP-GL/2、HP RTL をエミュレーションして印刷するとき、以下の点に留意してください。

• 用紙種類選択の設定

本機の【用紙種類選択】で以下のいずれかに設定してください。以下以外の用紙種類では、印刷品質が低下するものがあります。

PX マット紙＜薄手＞/普通紙/普通紙＜薄手＞/トレーシングペーパー/トレーシングペーパー＜薄手＞

• HP-GL/2 設定

HP-GL/2、HP RTL をエミュレーションして印刷する際の印刷設定は、本機のセットアップメニュー-【プリンター設定】-【HP-GL/2 設定】で行います。

🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

ロール紙を自動で切り替えて印刷する（SC-T7255D/SC-T5255D のみ）

印刷ジョブに適したロール紙に自動で切り替えて印刷する方法を代表的な使われ方を例に説明します。

用紙種類に応じてロール 1/ロール 2 を切り替える

例えば、次のような使い方が多いときは、以降の設定で使用すると、用紙種類に応じて自動でロール 1 とロール 2 を切り替えて印刷できます。

使用例

内部確認用の図面は普通紙に印刷し、プレゼン用やクライアント提出用図面はカラー印刷用紙で印刷するなど、用途に応じて用紙種類を使い分けているとき。

以降では、用紙が次の通りセットされているものとして説明します。各用紙の幅は同一とします。

ロール 1：普通紙

ロール 2：PX マット紙＜薄手＞

Windows での設定

- 1 本機の操作パネルで、セットアップメニューの【プリンター設定】-【ロール紙設定】-【ロール紙切替条件】-【用紙種類】が【種類一致】に設定されていることを確認します。

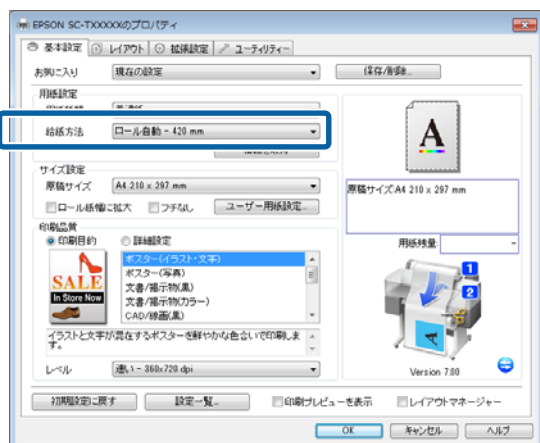
【用紙種類】のメーカー設定値は、【種類一致】です。設定を変更していないときは、【種類一致】に設定されています。

🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

- 2 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、
[給紙方法] に [ロール自動 - XXXXX] と表示
されていることを確認します。

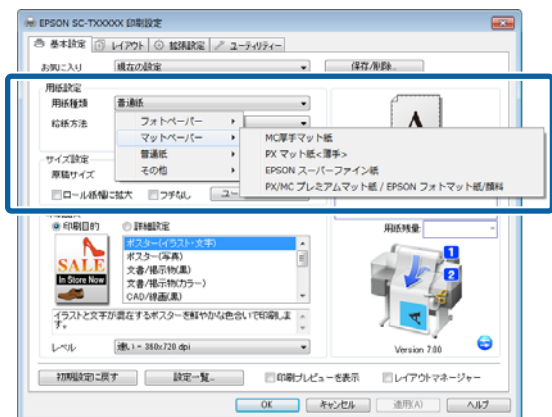
XXXXX には、プリンターで現在使用中のロール紙の
幅が表示されます。

[ロール自動 - XXXXX] となっていないときは、ク
リックして [ロール自動 - XXXXX] を選択してくだ
さい。



- 3 [用紙種類] で印刷したい用紙種類を選択しま
す。

今回の例では、用途に応じて [普通紙] または [PX
マット紙<薄手>] を選択します。



- 4 [原稿サイズ] や [印刷品質] など、その他必要
な設定をして、印刷を行います。

[ドライバーで設定した用紙種類が、プリンターの
用紙種類選択と異なります。] とメッセージが表示
されたときは、[無視] をクリックしてください。

Mac OS X での設定

- 1 本機の操作パネルで、セットアップメニューの
[プリンター設定] - [ロール紙設定] - [ロール
紙切替条件] - [用紙種類] が [種類一致] に設
定されていることを確認します。

[用紙種類] のメーカー設定値は、[種類一致] で
す。設定を変更していないときは、[種類一致] に
設定されています。

☞ [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

- 2 コンピューターでプリント画面を表示して、[用
紙サイズ] でロール紙が選択されていることを確
認し、一覧から [基本設定] を選択します。

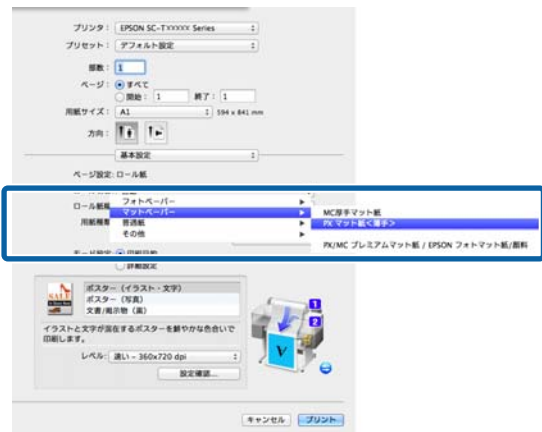
- 3 [ロール切替] に [自動] と表示されていること
を確認します。

[自動] となっていないときは、クリックして [自
動] を選択してください。



4 「用紙種類」で印刷したい用紙種類を選択します。

今回の例では、用途に応じて「普通紙」または「PX マット紙<薄手>」を選択します。



5 「印刷品質」など、その他必要な設定をして、印刷を行います。

「[ドライバーで設定した用紙種類が、プリンターの用紙種類選択と異なります。]とメッセージが表示されたときは、[無視]をクリックしてください。

原稿サイズに応じてロール 1/ロール 2 を切り替える

例えば、次のような使い方が多いときは、以降の設定で使用する印刷ジョブの原稿サイズに応じて自動でロール 1 とロール 2 を切り替えて印刷できます。

使用例

A0、A1、A2、A3 といった多様なサイズの図面を、余白が少なくなる方のロール紙に自動で切り替えて印刷したいとき。

以降では、用紙が次の通りセットされているものとして説明します。用紙種類は同一とします。

ロール 1：A2 幅

ロール 2：A0 幅

Windows での設定

1 本機の操作パネルで、セットアップメニューの「プリンター設定」-「ロール紙設定」-「ロール紙切替条件」-「用紙幅」が「余白最適」に設定されていることを確認します。

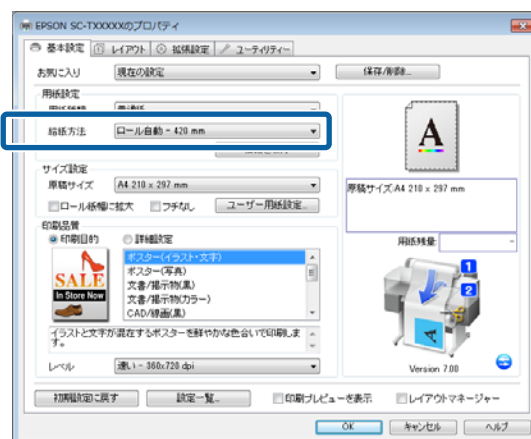
「用紙幅」のメーカー設定値は、「余白最適」です。設定を変更していないときは、「余白最適」に設定されています。

☞「セットアップメニュー」144 ページ

2 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、「給紙方法」に「ロール自動 - XXXXX」と表示されていることを確認します。

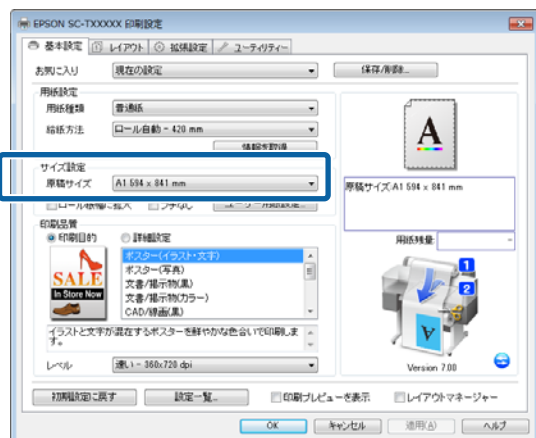
XXXXX には、プリンターで現在使用中のロール紙の幅が表示されます。

「ロール自動 - XXXXX」となっていないときは、クリックして「ロール自動 - XXXXX」を選択してください。



- 3** 【原稿サイズ】で、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを選択します。

今回の例では、[A1 594x841mm] を選択します。



- 4** 【印刷品質】など、その他必要な設定をして、印刷を行います。

ロール 2 (A0 幅) のロール紙に印刷されます。

手順 3 で、[A3] や [A2] を選択すると、ロール 1 (A2 幅) のロール紙に印刷されます。

Mac OS X での設定

- 1** 本機の操作パネルで、セットアップメニューの【プリンター設定】 - 【ロール紙設定】 - 【ロール紙切替条件】 - 【用紙幅】が【余白最適】に設定されていることを確認します。

【用紙幅】のメーカー設定値は、【余白最適】です。設定を変更していないときは、【余白最適】に設定されています。

[「セットアップメニュー」144 ページ](#)

- 2** コンピューターでプリント画面を表示し、【用紙サイズ】でロール紙が選択されていることを確認します。

今回の例では、[A1] を選択します。

- 3** 【ロール切替】に【自動】と表示されていることを確認します。

【自動】となっていないときは、クリックして【自動】を選択してください。



- 4** 【印刷品質】など、その他必要な設定をして、印刷を行います。

ロール 2 (A0 幅) のロール紙に印刷されます。

手順 2 で、[A3] や [A2] を選択すると、ロール 1 (A2 幅) のロール紙に印刷されます。

用紙がなくなったらロール 1/ロール 2 を切り替えて、残量が多い方で印刷する

例えば、次のような使い方が多いときは、以降の設定で使用すると、自動でロール 1 とロール 2 を切り替えて残量が多い方のロール紙で印刷します。

使用例

無人連続稼働で大量に印刷中に、ロール紙残量が印刷ジョブより少ないかどうか予測して、自動でもう一方のロール紙に切り替えて、中断することなく印刷を継続したいとき。

以降では、用紙が次の通りセットされているものとして説明します。

ロール 1：普通紙 A1 幅

ロール 2：普通紙 A1 幅

Windows での設定

- 1 本機の操作パネルで、用紙メニューの【ロール紙残量管理】を【ON】に設定し、ロール 1、ロール 2 ともセットしているロール紙長を設定します。

ロール紙セット時にロール紙長を設定したときやロール紙情報のバーコードが印刷されたロール紙をセットしたときは、手順 2 に進みます。

🔗 [「用紙メニュー」140 ページ](#)

- 2 本機の操作パネルで、セットアップメニューの【プリンター設定】 - 【ロール紙設定】 - 【ロール紙切替条件】 - 【用紙長】が【印刷長優先】に設定されていることを確認します。

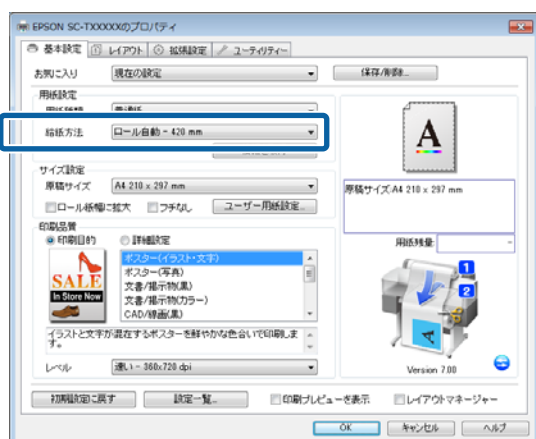
【用紙長】のメーカー設定値は、【印刷長優先】です。設定を変更していないときは、【印刷長優先】に設定されています。

🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

- 3 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、【給紙方法】に【ロール自動 - XXXXX】と表示されていることを確認します。

XXXXX には、プリンターで現在使用中のロール紙の幅が表示されます。

【ロール自動 - XXXXX】となっていないときは、クリックして【ロール自動 - XXXXX】を選択してください。



- 4 【原稿サイズ】や【印刷品質】など、その他必要な設定をして、印刷を行います。

印刷を続けるうちに、ロール紙残量が印刷長よりも短くなると予測すると、自動でロール紙残量が印刷長よりも長い方のロール紙に切り替わり印刷を継続します。

Mac OS X での設定

- 1 本機の操作パネルで、用紙メニューの【ロール紙残量管理】を【ON】に設定し、ロール 1、ロール 2 ともセットしているロール紙長を設定します。

ロール紙セット時にロール紙長を設定したときやロール紙情報のバーコードが印刷されたロール紙をセットしたときは、手順 2 に進みます。

🔗 [「用紙メニュー」140 ページ](#)

- 2 本機の操作パネルで、セットアップメニューの【プリンター設定】 - 【ロール紙設定】 - 【ロール紙切替条件】 - 【用紙長】が【印刷長優先】に設定されていることを確認します。

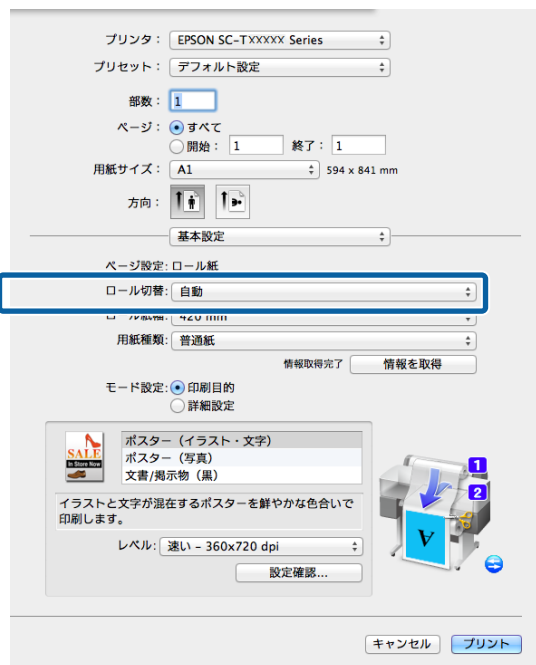
【用紙長】のメーカー設定値は、【印刷長優先】です。設定を変更していないときは、【印刷長優先】に設定されています。

🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

- 3 コンピューターでプリント画面を表示して、【用紙サイズ】でロール紙が選択されていることを確認し、一覧から【基本設定】を選択します。

4 「ロール切替」に「自動」と表示されていることを確認します。

「自動」となっていないときは、クリックして「自動」を選択してください。



5 「印刷品質」など、その他必要な設定をして、印刷を行います。

印刷を続けるうちに、ロール紙残量が印刷長よりも短くなると予測すると、自動でロール紙残量が印刷長よりも長い方のロール紙に切り替わり印刷を継続します。

フチなし印刷

フチなし印刷機能によりフチ（余白）のない印刷ができます。

使用する用紙形態により、選択できるフチなし印刷の種類が以下のように異なります。

ロール紙：四辺フチなし、左右フチなし

単票紙：左右フチなしのみ

（ボード紙はフチなし印刷できません）

四辺フチなし印刷では、さらにカット動作を設定できます。[「ロール紙カット動作について」 97 ページ](#)

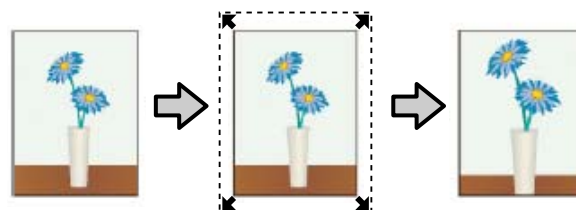
左右フチなし印刷では、用紙の上下に余白が生じます。

上下余白の値 [「印刷可能領域」 61 ページ](#)

フチなし印刷方法の種類

フチなし印刷を行うには、以下の2通りの方法があります。

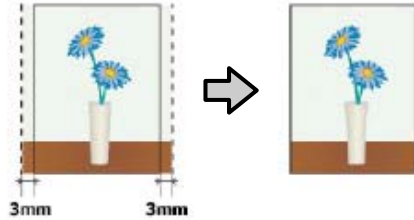
- 自動拡大
プリンタードライバーで画像データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。用紙からはみ出した部分は印刷されませんので、結果としてフチのない印刷になります。
アプリケーションソフトのページ設定などで画像データのサイズを以下のように設定します。
 - ・印刷する用紙サイズとページ設定を同じサイズに合わせます。
 - ・余白設定できるときは、余白を「0mm」に設定します。
 - ・画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成します。



- 原寸維持
アプリケーションソフトで実際的用紙サイズより大きな印刷データを作成しておくことにより、フチなし印刷を実現します。プリンタードライバーでは画像データを拡大しません。アプリケーションソフトのページ設定などで画像データのサイズを以下のように設定します。
 - ・実際的用紙サイズより左右各 3mm（合計 6mm）はみ出すように印刷データを作成します。
 - ・余白設定できるときは、余白を「0mm」に設定します。

- ・画像データを、用紙サイズいっぱいになるように作成します。

プリンタードライバーによる画像の拡大を避けたいときに使用します。



フチなし印刷対応用紙サイズ

フチなし印刷可能な用紙サイズは以下の通りです。
お使いの機種によって対応する用紙サイズが異なります。

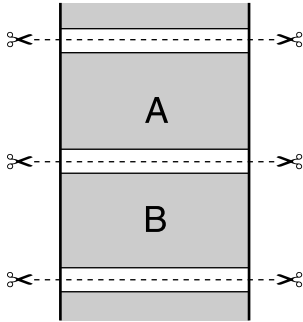
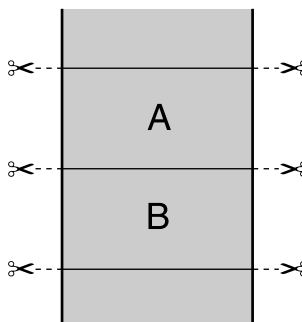
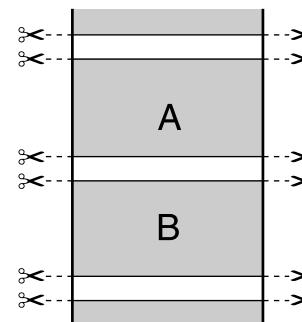
対応用紙幅	SC-T7255 SC-T7255 D	SC-T5255 SC-T5255 D	SC-T3255
四切/ 254mm/ 10 インチ	○	○	○
30cm	○	○	○
A3 ノビ/ 329mm/ 13 インチ	○	○	○
406mm/ 16 インチ	○	○	○
US C/ 432mm/ 17 インチ	○	○	○
B2/515mm	○	○	○
A1/594mm	○	○	○
610mm/ 24 インチ	○	○	○
B1/728mm	○	○	—
A0/841mm	○	○	—
914mm/ 36 インチ	○	○	—
B0/1030mm	○	—	—
1118mm/ 44 インチ	○	—	—

用紙の種類によっては印刷品質が低下するものや、フチなし印刷を選択できないものがあります。

📄 [「エプソン製専用紙一覧」198 ページ](#)

ロール紙カット動作について

ロール紙にフチなし印刷するときは、プリンタードライバーの【ロール紙オプション】で左右フチなしか四辺フチなしかとカット動作を設定します。各設定値のカット動作は下表の通りです。

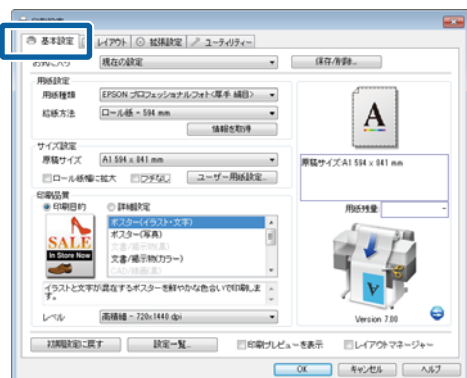
プリンタードライバーの設定	左右フチなし	四辺フチなし 1 カット	四辺フチなし 2 カット
カット動作			
備考	プリンタードライバーの初期設定は【左右フチなし】です。	- 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色ムラが発生することがあります。 - カット位置がずれていると連続するページの画像がわずかに上下端に残ることがあります。この場合は、【カット位置調整】を行ってください。 🔗 「メンテナンスメニュー」143 ページ 1 枚だけ印刷したとき、または 1 枚を複数印刷したときは、【四辺フチなし 2 カット】と同じ動作をします。複数枚を連続印刷するときには 1 枚目の上端と連続部の下端のみ、余白が残らないように 1mm 内側をカットします。	- 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色ムラが発生することがあります。 - 上下端に余白が残らないように、画像の内側でカットしますので指定サイズより 2mm 程度短くなります。 - 前ページの終端をカットした後、紙送りしてから次ページの上端をカットするため、60～127mm 程度の切れ端が発生しますが、より正確にカットできます。 - 上端に余白が出るときは、カット位置調整を行ってください。 🔗 「メンテナンスメニュー」143 ページ

印刷の設定手順

Windows での設定

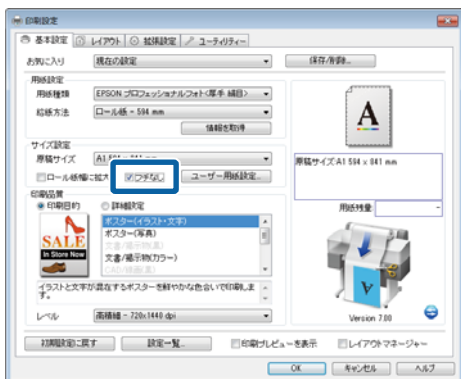
- 1 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、必要な設定を行います。

☞「基本的な印刷方法（Windows）」55 ページ

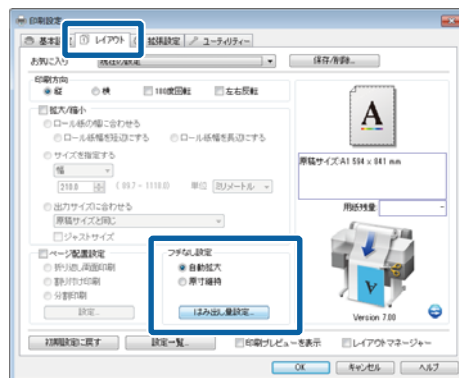


- 2 [サイズ設定] で [フチなし] をチェックします。

ロール紙幅に合わせて自動拡大して印刷するとき、[ロール紙幅に拡大] を先にチェックします。



- 3 レイアウト画面の [フチなし設定] で、[自動拡大] と [原寸維持] のどちらかを選択します。



[自動拡大] を選択したときは、[はみ出し量設定] をクリックしてはみ出し量を以下から選択します。

参考

基本設定画面の [ロール紙幅に拡大] またはレイアウト画面の [拡大/縮小] をチェックしたときは、[原寸維持] を選択することはできません。

多い : 左 3mm、右 5mm (画像の左右方向の中心軸は右に 1mm 偏ります)

標準 : 左右 3mm

少ない : 左右 1.5mm



参考

はみ出し量を [少ない] にすると画像データの拡大率が下がります。このため、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

- 4 ロール紙に印刷するときは、拡張設定画面の [ロール紙オプション] で、[オートカット] の設定をします。

☞「ロール紙カット動作について」97 ページ

- 5 その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac OS X での設定

- 1 プリント画面を表示し、[用紙サイズ] で印刷する用紙サイズとフチなし印刷の方法を選択します。

📖 「基本的な印刷方法 (Mac OS X)」 58 ページ

フチなし印刷の方法、選択肢が以下のように表示されます。

xxxx (ロール紙 (フチなし、自動拡大))

xxxx (ロール紙 (フチなし、原寸維持))

xxxx (単票紙 (フチなし、自動拡大))

xxxx (単票紙 (フチなし、原寸維持))

xxxx には実際は A4 など用紙サイズが表示されます。



参考

お使いのアプリケーションによってプリント画面にページ設定画面の項目が表示されないときは、ページ設定画面を表示して設定します。

- 2 用紙サイズで [自動拡大] を選択したときは、一覧から [ページレイアウト設定] を選択し、[はみ出し量設定] をクリックします。

はみ出し量の値は、以下の通りです。

多い : 左 3mm、右 5mm (画像の左右方向の中心軸は右に 1mm 偏ります)

標準 : 左右 3mm

少ない : 左右 1.5mm



参考

はみ出し量を [少ない] にすると画像データの拡大率が下がります。このため、印刷する用紙や使用環境によっては用紙の端に余白が残ることがあります。

- 3 ロール紙に印刷するときは、一覧から [拡張設定] を選択し、[オートカット] の設定をします。



📖 「ロール紙カット動作について」 97 ページ

- 4 その他の設定を確認して印刷を行います。

色補正して印刷

プリンタードライバーがカラー空間にマッチするように自動的に内部で色補正を行う機能です。以下の色補正方法を選択できます。

- EPSON 基準色 (sRGB)
sRGB 空間に最適化して色補正を行います。
- あざやかな色あい
sRGB 空間をベースにメリハリのある色補正を行います。
- 線画
線と背景との境界を不連続な部分として処理することで、線画への最適化を行います。
- ICM
画像データと印刷結果の色合わせのためのカラーマネジメントを行います (Windows のみ)。
[「カラーマネジメント印刷」112 ページ](#)
- オフ (色補正なし)
プリンター・ドライバーによる色補正を行いません。アプリケーションソフトでカラーマネジメントを行うときなどに使用します。
[「カラーマネジメント印刷」112 ページ](#)

なお、[色補正] で [EPSON 基準色 (sRGB)] / [あざやかな色あい] / [線画] の [設定] を選択したときは、[設定] ボタンが表示されます。

[設定] ボタンをクリックするとガンマ、明度、コントラスト、彩度、カラーバランスの微調整などができます。お使いのアプリケーションソフトに色補正機能がないときなどに使います。

参考

色補正方法として表示される項目は、使用している OS や選択している用紙によって異なります。

Windows での設定

- 1 カラーマネジメント機能を持つアプリケーションソフトを使用するときは、アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始めてください。

アプリケーションソフトの種類によって、下表の通りに設定してください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

OS	カラーマネジメントの設定
Windows 10、 Windows 8.1、 Windows 8、 Windows 7、 Windows Vista	プリンタによるカラー管理
Windows XP (Service Pack2 以降) かつ .NET3.0 以降)	
Windows XP (上記以外)	カラーマネジメントなし

その他のアプリケーションソフトでは、[カラーマネジメントなし] に設定してください。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CS5 の設定例

プリント画面を開きます。

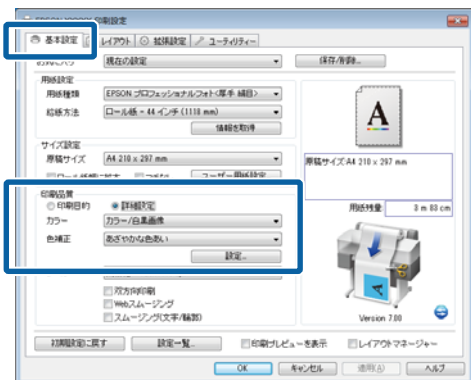
[カラーマネジメント] を選択して、[ドキュメント] を選択します。[カラー処理] で [プリンタによるカラー管理] を選択して、[プリント] をクリックします。



- 2 プリンタードライバーの基本設定画面を表示し、
「印刷品質」を「詳細設定」に切り替えて、色補
正の方法を選択します。

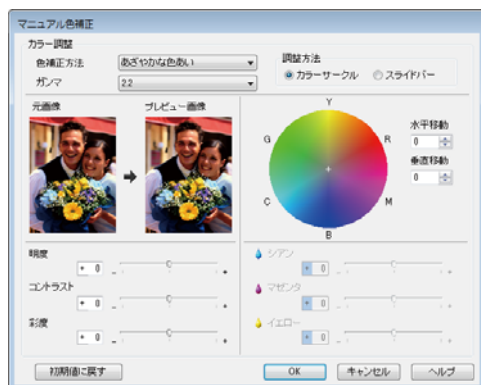
「基本的な印刷方法 (Windows)」55 ページ

さらに、微調整するときは「設定」をクリックしま
す。



- 3 「設定」をクリックしたときは、「ガンマ」、「明
度」、「コントラスト」、「彩度」、カラーバランス
などを調整します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを
ご覧ください。



参考

画面左側のサンプル画像で確認しながら補正值の調整
ができます。また、「調整方法」の「カラーサークル」
または「スライドバー」を選択してカラーバランスの
微調整ができます。

- 4 その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac OS X での設定

- 1 カラーマネジメント機能を持つアプリケーション
ソフトを使用するときは、アプリケーションソフト
でカラー処理の方法を設定します。

カラーマネジメント機能に対応していないアプリ
ケーションソフトを使用するときは、手順 2 から始
めてください。

以下のアプリケーションソフトでは、カラーマネジ
メントの設定を「プリンターによるカラー管理」に
してください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

その他のアプリケーションソフトでは、「カラーマ
ネジメントなし」に設定してください。

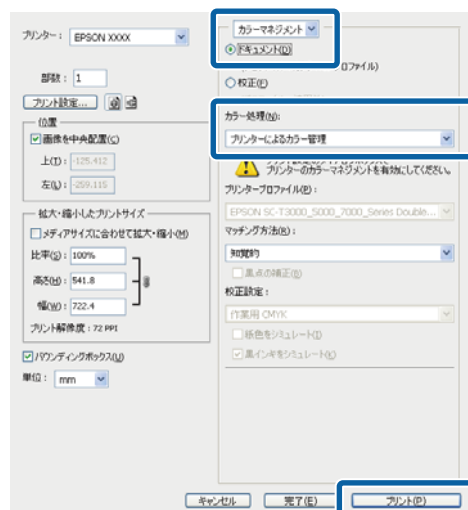
参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元の
ウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CS5 の設定例

プリント画面を開きます。

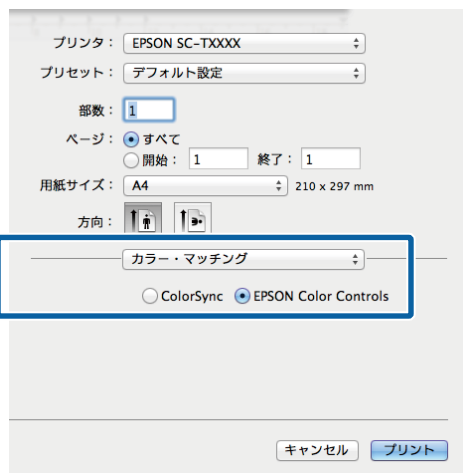
「カラーマネジメント」を選択して、「ドキュメン
ト」を選択します。「カラー処理」で「プリンタに
よるカラー管理」を選択して、「プリント」をクリッ
クします。



2 プリント画面を表示します。

🔗 [「基本的な印刷方法 \(Mac OS X\)」 58 ページ](#)

3 一覧から【カラー・マッチング】を選択し、【EPSON Color Controls】をクリックします。



参考

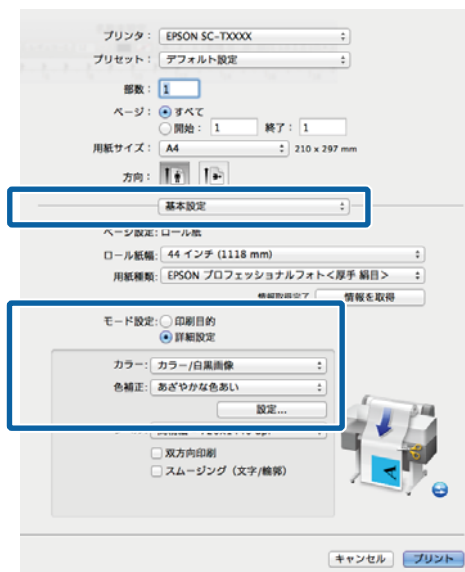
以下のアプリケーションソフトをお使いのときは、手順 1 の設定をしていないと【EPSON Color Controls】が選択できません。

- Adobe Photoshop CS3 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 1 以降
- Adobe Photoshop Elements 6 以降

4 一覧から【基本設定】を選択し、【モード設定】で【詳細設定】を選択します。

5 【色補正】で色補正方法を選択します。

さらに、微調整するときは【設定】をクリックします。



参考

Mac OS X v10.5 で、以下のアプリケーションソフトをお使いのときは、【一般 RGB に固定】のチェックを外してください。

- Adobe Photoshop CS3 以降
- Adobe Photoshop Lightroom 1 以降
- Adobe Photoshop Elements 6 以降

上記以外のソフトウェアを使うときは、チェックを付けてください。

6 各項目を設定します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。



7 その他の設定を確認して印刷を行います。

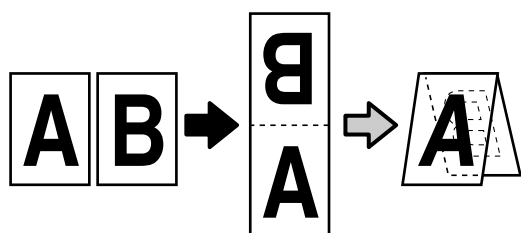
割り付け印刷/分割印刷

複数ページのデータを1枚の用紙に割り付けて印刷したり、1ページのデータを複数枚の用紙に分割して印刷できます。

割り付け印刷/分割印刷には、以下の3つの印刷方法があります。

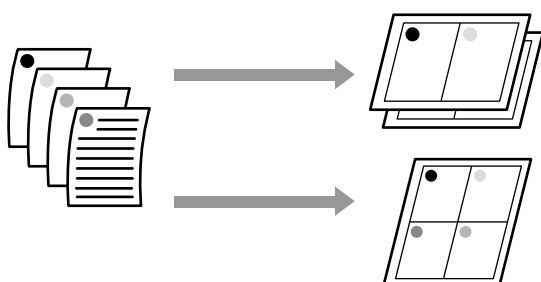
• 折り返し両面印刷（Windowsのみ）

連続した2ページのデータを1枚の用紙に印刷できます。2ページ目のデータは180°反転され、1ページ目とつながった状態で印刷されるので、折りたたむことで両面の印刷物にすることができます。



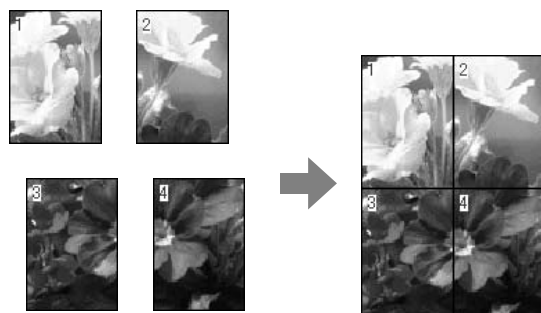
• 割り付け印刷

1枚の用紙に2ページまたは4ページの連続したデータを割り付けて印刷できます。



• 分割印刷（Windowsのみ）

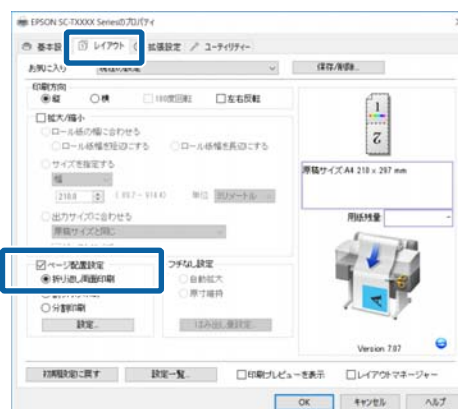
1ページのデータを複数枚の用紙に分割して印刷できます。出力紙をつなぎ合わせて、大きな印刷物（最大で16倍）にすることができます。[フチなし分割印刷]を有効にすると、出力紙の余白を切断せずにそのままつなぎ合わせることができますが、フチなし印刷時のはみ出し部分が失われるため、つなぎ目の画が少しずれることがあります。



折り返し両面印刷（Windowsのみ）

- 1 プリンタードライバーのレイアウト画面を表示し、[ページ配置設定] をチェックします。続けて[折り返し両面印刷]を選択して、[設定] ボタンをクリックします。

📖 「基本的な印刷方法（Windows）」55 ページ



- 2 折り返し両面印刷設定画面で、[とじしろ位置] と [とじしろ] を設定します。



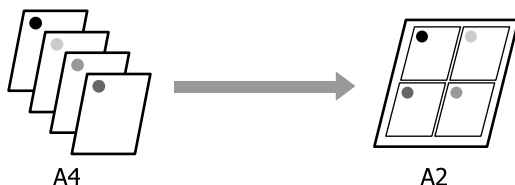
- 3 その他の設定を確認して印刷を行います。

割り付け印刷

参考

- Windows での割り付け印刷機能は、フチなし印刷時は使用できません。
- Windows では、拡大/縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。

☞ 「定形外サイズの印刷」 87 ページ



Windows での設定

- プリンタードライバーのレイアウト画面を表示し、[ページ配置設定] をチェックします。続けて [割り付け印刷] を選択して、[設定] ボタンをクリックします。

☞ 「基本的な印刷方法（Windows）」 55 ページ



- 割り付け順設定画面で、[割り付けページ数] と [割り付け順序] を設定します。

[枠を印刷] をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。

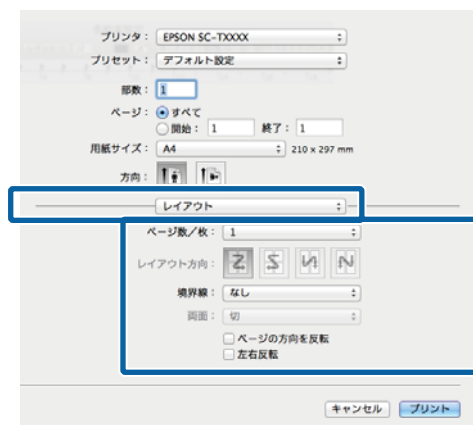


- その他の設定を確認して印刷を行います。

Mac OS X での設定

- プリント画面を表示し、一覧から [レイアウト] を選択し、割り付けるページ数などを設定します。

☞ 「基本的な印刷方法（Mac OS X）」 58 ページ



参考

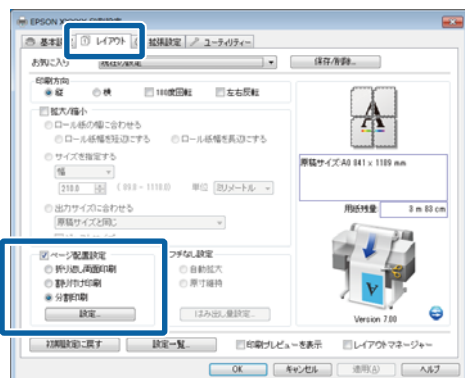
[境界線] で割り付けたページの境界に枠線を印刷できます。

- その他の設定を確認して印刷を行います。

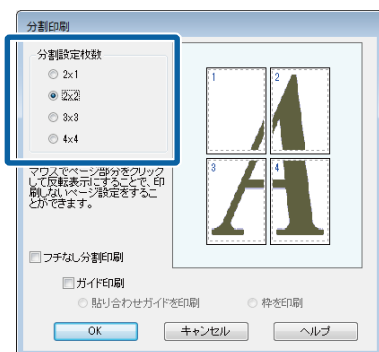
分割印刷（Windows のみ）

- 1 プリンタードライバーのレイアウト画面を表示し、[ページ配置設定] をチェックします。続けて [分割印刷] を選択して、[設定] ボタンをクリックします。

📖 「基本的な印刷方法（Windows）」 55 ページ



- 2 分割印刷画面で、[分割設定枚数] を設定します。



- 3 フチなしで分割印刷するか、フチありで分割印刷するかを選択します。

フチなし選択時

[フチなし分割印刷] にチェックを付けます。



参考

- [フチなし分割印刷] がグレーアウトしているときは、設定している用紙やサイズがフチなしに対応していません。
📖 「フチなし印刷対応用紙サイズ」 96 ページ
📖 「エプソン製専用紙一覧」 198 ページ
- [オートカット] を [四辺フチなし 1 カット] または [四辺フチなし 2 カット] に設定していると、画像の 1~2mm 内側でカットされるため、つなぎ目の画像が少しずれることがあります。

フチあり選択時

[フチなし分割印刷] のチェックを外します。



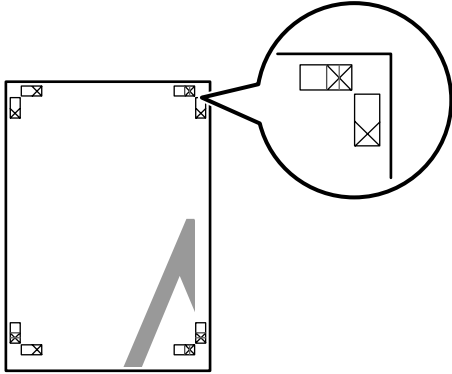
参考

貼り合わせ後の仕上がりサイズについて
[フチなし分割印刷] にチェックしていないときは [ガイド印刷] の項目が表示されます。
[枠を印刷] を選択したときとしないときの仕上がりサイズは同じになりますが、[貼り合わせガイドを印刷] を選択すると、重ね合わせ分だけ小さくなります。

- 4 その他の設定を確認して印刷を行います。

フチあり割り付け印刷時の貼り合わせ方

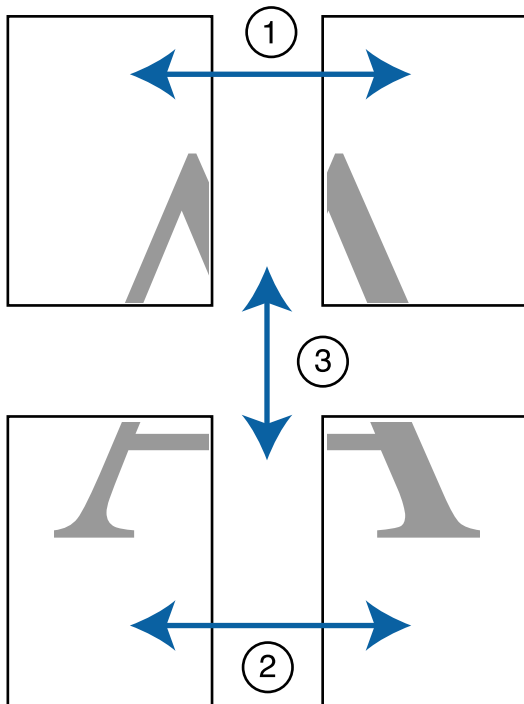
「貼り合わせガイドを印刷」を選択すると、下図のような貼り合わせガイド（×印の中心線）と切り取りガイド（×印と□印の接線）が印刷されます。



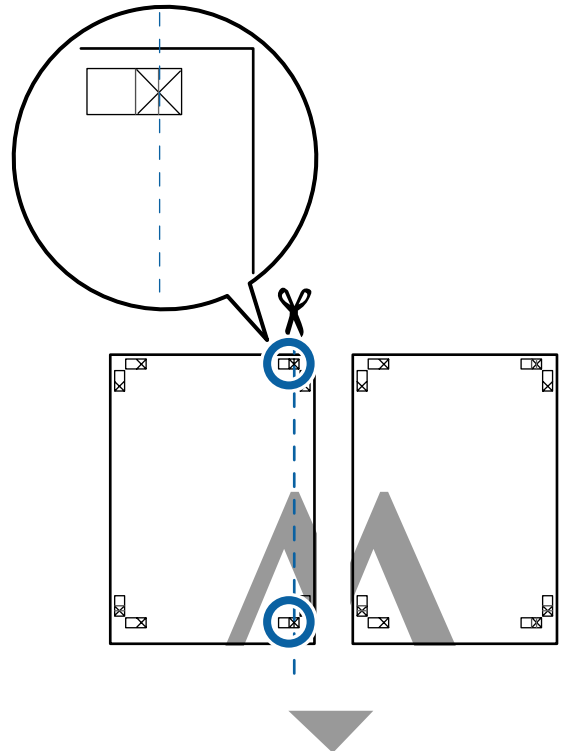
参考

カラー印刷では、貼り合わせガイドは青線で、切り取りガイドは赤線で印刷されますが、モノクロ印刷では、全て黒線になります。

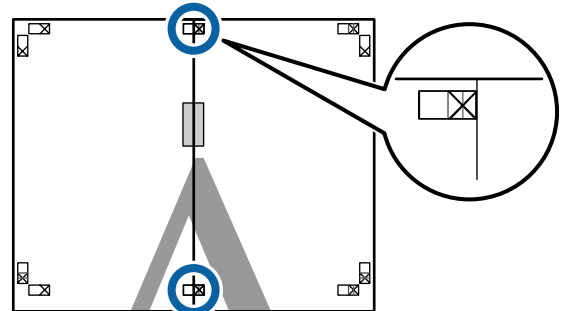
以降で、4枚を例に貼り合わせるときの手順を説明します。



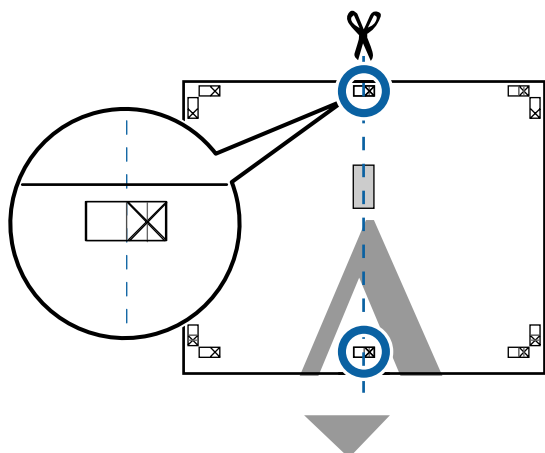
- 1 上段 2 枚の用紙を用意して、まず左側の用紙の不要部分を貼り合わせガイド（×印の中心）を結ぶ線で切り落とします。



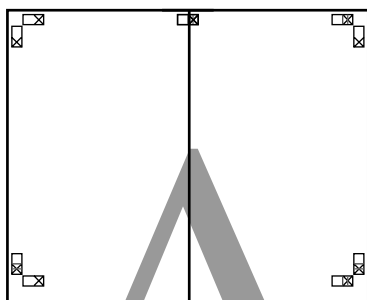
- 2 右側の用紙の上に左側の用紙を重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。



- 3** 2枚の用紙を重ねたまま、切り取りガイド（×印の左側）を結ぶ線で切断して、不要部分を取り去ります。

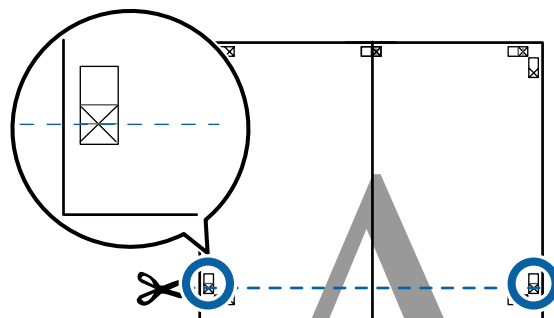


- 4** 切り離れた用紙を再度貼り合わせます。
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせます。

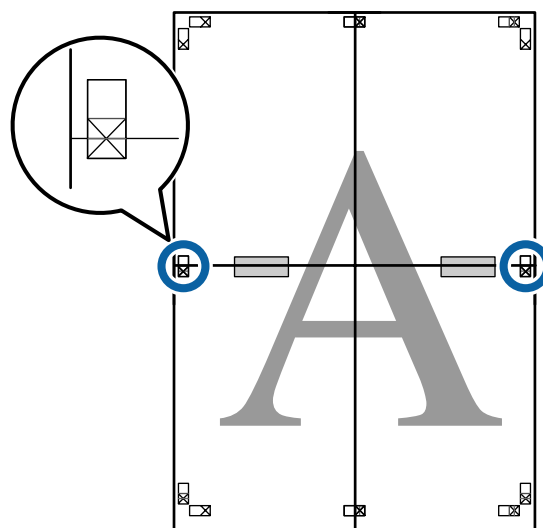


- 5** 下段の2枚の用紙も、手順1～4に従って貼り合わせます。

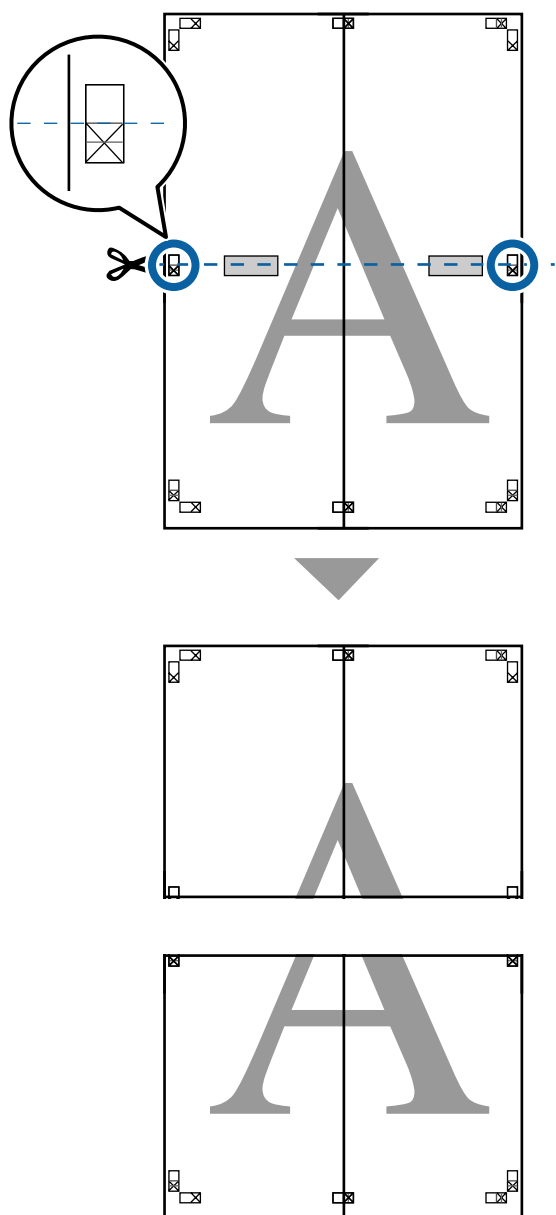
- 6** 上段の用紙の貼り合わせガイド（×印の中心）を結ぶ線で切り落とします。



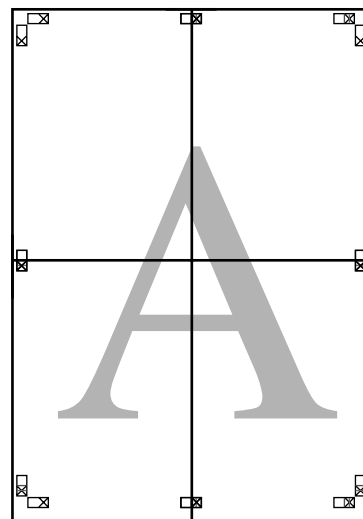
- 7** 下段の用紙の上に上段の用紙を重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。



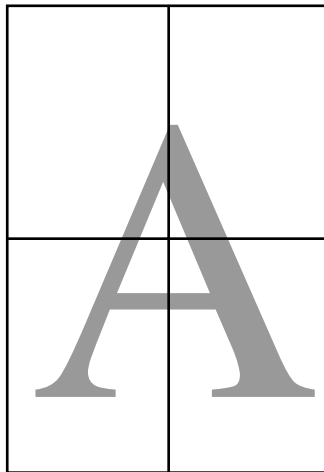
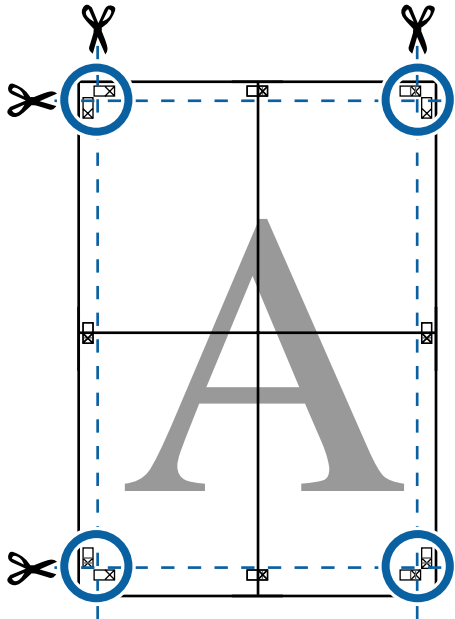
- 8** 2枚の用紙を重ねたまま、切り取りガイド（×印の上側）を結ぶ線で切断して、不要部分を取り去ります。



- 9** 上段と下段の用紙を貼り合わせます。
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。



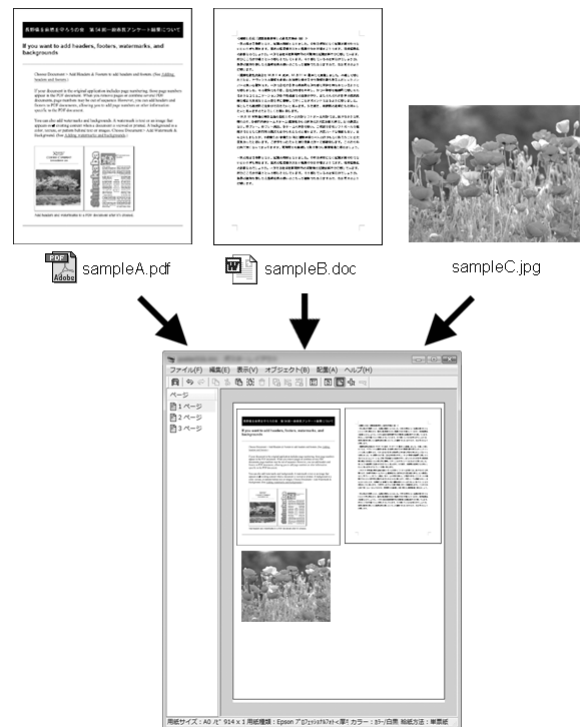
- 10 全ての用紙を貼り合わせたら、切り取りガイド（×印の内側）に合わせて余白を切り取ります。



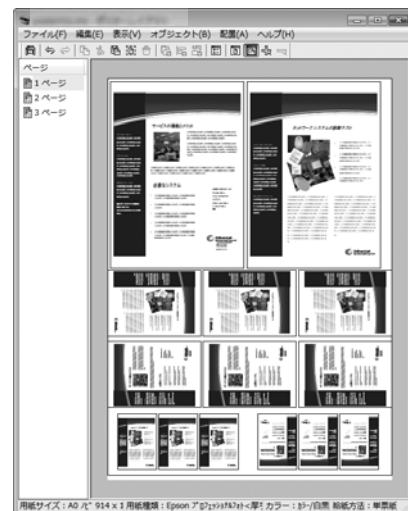
まとめて印刷（レイアウトマネージャー） （Windows のみ）

異なるアプリケーションソフトで作成した複数のデータを、自由にレイアウトして、まとめて印刷できます。また、レイアウトマネージャーを活用することで、印刷の作業効率や用紙の使用効率を上げることもできます。

複数のデータをレイアウトした例



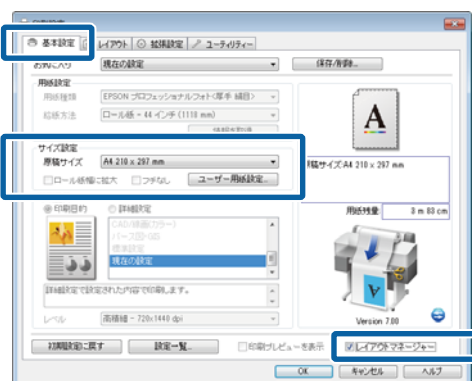
縦横自由にレイアウトした例



印刷の設定手順

- 1 印刷するファイルをアプリケーションソフトで開きます。
- 2 プリンタードライバーの基本設定画面で「レイアウトマネージャー」にチェックし、「サイズ設定」の「原稿サイズ」でアプリケーションソフトで作成した原稿サイズを設定します。

🔗「基本的な印刷方法 (Windows)」55 ページ



参考

「原稿サイズ」はレイアウトマネージャー画面上に配置されるサイズです。実際に印刷する用紙サイズは、手順 6 の画面で設定します。

- 3 「OK」をクリックして、アプリケーションソフトで印刷を行うと、レイアウトマネージャー画面が開きます。

データは印刷されず、1 ページが 1 オブジェクトとして、レイアウトマネージャー画面の用紙上に配置されます。

- 4 レイアウトマネージャー画面を開いたまま、手順 1~3 を繰り返して印刷データをすべて配置します。

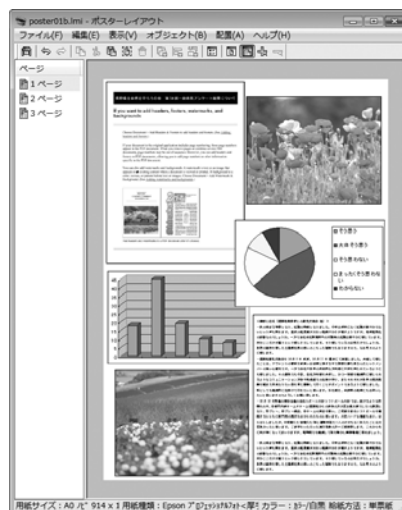
レイアウトマネージャー画面にオブジェクトが追加されます。

- 5 レイアウトマネージャー画面でオブジェクトの配置を整えます。

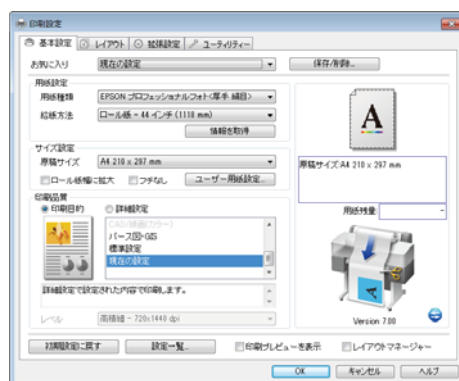
オブジェクトをドラッグして移動やサイズ変更ができるほか、ツールボタンや「オブジェクト」メニューで整列、回転ができます。

オブジェクト全体のサイズや配置は、「[ファイル]」メニューの「[環境設定]」や「[配置]」メニューで変更できます。

各機能の詳細は、レイアウトマネージャー画面のヘルプをご覧ください。



- 6 「[ファイル]」メニューの「[プロパティ]」をクリックし、プリンタードライバー画面で印刷の設定をします。



「[用紙設定]」を確認して、「[印刷品質]」を設定します。

- 7 レイアウトマネージャー画面で「[ファイル]」メニューをクリックして、「[印刷]」をクリックします。

印刷が始まります。

設定の保存と呼び出し

レイアウトマネージャー画面で配置・設定した内容はファイルとして保存できます。作業の途中で一旦終了するときはファイルに保存し、後で呼び出して作業を継続できます。

保存方法

- 1 レイアウトマネージャー画面で、[ファイル] メニューの [名前を付けて保存] の順にクリックします。
- 2 ファイル名を入力して、保存先を選択し [保存] をクリックします。
- 3 レイアウトマネージャー画面を終了します。

呼び出し方法

- 1 **Windows** タスクバーのユーティリティー呼び出しアイコン () を右クリックし、表示されたメニューで [レイアウトマネージャー] をクリックします。

レイアウトマネージャー画面が表示されます。
Windows タスクバーにユーティリティー呼び出しアイコンが表示されていないとき  [「ユーティリティー画面の概要」122 ページ](#)
- 2 レイアウトマネージャー画面で、[ファイル] メニュー- [開く] の順にクリックします。
- 3 ファイルの保存先を選択し、呼び出すファイルを開きます。

カラーマネジメント印刷

カラーマネジメントについて

同じ画像データでも、原画とディスプレイの表示、さらに本機の印刷結果で色合いが異なって見えることがあります。これは、スキャナーやデジタルカメラなどの入力機器が色を電子データとして取り込んだり、ディスプレイや本機などの出力機器が色データから実際の色に再現したりするときの特性が、それぞれで異なるために生じます。この入出力機器間で色変換するときの特性の違いをできるだけ補正する方法として、カラーマネジメントシステムがあります。カラーマネジメントシステムは、画像処理用のアプリケーションソフトのほか、Windows や Mac OS などの OS にも搭載されています。Windows には ICM、Mac OS X には ColorSync というカラーマネジメントシステムが搭載されています。

カラーマネジメントシステムでは、装置間の色合わせ（カラーマッチング）を行う方法として「プロファイル」と呼ばれる色補正情報の定義ファイルを使用します（ICC プロファイルと呼ばれることもあります）。入力側装置のプロファイルを入力プロファイル（またはソースプロファイル）、プリンター側をプリンタープロファイル（またはアウトプットプロファイル）と呼びます。本機のプリンタードライバーでは用紙種類ごとにプロファイルを用意しています。

入力装置で変換できる色の領域と出力装置で再現できる色の領域は異なっています。そのため、プロファイルを使って色合わせしても、合わせることでできない色領域が存在します。カラーマネジメントシステムでは、プロファイルの指定のほかに、色合わせができない領域の変換条件を「インテント」として指定します。インテントの名称や種類は、使用するカラーマネジメントシステムにより異なります。

入力装置と本機の間でカラーマネジメントしても、印刷結果とディスプレイの表示色を合わせることできません。ディスプレイの表示と印刷結果の色合わせするためには、入力装置とディスプレイの間でもカラーマネジメントを行う必要があります。

カラーマネジメント印刷の設定

本機のプリンタードライバーを使用したカラーマネジメント印刷には、以下の 2 通りの方法があります。お使いになるアプリケーションソフトや OS などの条件や目的に合わせて最適な方法を選んで印刷してください。

アプリケーションソフトでカラーマネジメント設定を行う

カラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトから印刷する方法です。全てのカラーマネジメント処理をアプリケーションソフトのカラーマネジメントシステムが行います。この方法は、異なる OS 環境で共通のアプリケーションソフトを使用し同様のカラーマネジメント印刷結果を得たいときにも有効です。

🔗 [「アプリケーションソフトでカラーマネジメント設定を行う」113 ページ](#)

プリンタードライバーでカラーマネジメント設定を行う

プリンタードライバーが OS のカラーマネジメントシステムを使用して、全てのカラーマネジメント処理を行います。プリンタードライバーでカラーマネジメント設定を行うには、以下の 2 通りの方法があります。

- ホスト ICM 補正（Windows）/ColorSync（Mac OS X）
カラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトから印刷するときに設定します。この方法は、同じ OS 環境で異なるアプリケーションソフトから印刷したときの印刷結果を近付けたいときにも有効です。
🔗 [「ホスト ICM 補正によるカラーマネジメント印刷（Windows）」114 ページ](#)
- 🔗 [「ColorSync によるカラーマネジメント印刷（Mac OS X）」115 ページ](#)
- ドライバー ICM 補正（Windows のみ）
カラーマネジメントに対応していないアプリケーションソフトからのカラーマネジメント印刷が可能になります。
🔗 [「ドライバー ICM 補正によるカラーマネジメント印刷（Windows のみ）」116 ページ](#)

プロファイルの設定方法

3種類のカラーマネジメント印刷は、カラーマネジメントエンジンの利用方法が異なるため、入力プロファイル、プリンタープロファイル、インテント（マッチング方法）の設定方法が異なります。下表の通り、プリンタードライバーまたはアプリケーションソフトのどちらかで設定します。

	入力プロファイルの設定	プリンタープロファイルの設定	インテントの設定
ドライバー ICM 補正 (Windows)	プリンタードライバー	プリンタードライバー	プリンタードライバー
ホスト ICM 補正 (Windows)	アプリケーションソフト	プリンタードライバー	プリンタードライバー
ColorSync (Mac OS X)	アプリケーションソフト	プリンタードライバー	アプリケーションソフト
アプリケーションソフト	アプリケーションソフト	アプリケーションソフト	アプリケーションソフト

カラーマネジメント印刷時に必要な用紙ごとのプリンタープロファイルは、本機のプリンタードライバーとともにインストールされ、プリンタードライバーの設定画面で選択できます。

設定方法の詳細は、以下を参照してください。

- ☞ 「ドライバー ICM 補正によるカラーマネジメント印刷 (Windows のみ)」 116 ページ
- ☞ 「ホスト ICM 補正によるカラーマネジメント印刷 (Windows)」 114 ページ
- ☞ 「ColorSync によるカラーマネジメント印刷 (Mac OS X)」 115 ページ
- ☞ 「アプリケーションソフトでカラーマネジメント設定を行う」 113 ページ

アプリケーションソフトでカラーマネジメント設定を行う

カラーマネジメントに対応したアプリケーションソフトを利用して印刷します。アプリケーションソフトでカラーマネジメントの設定をし、プリンタードライバーの色補正機能を無効にします。

1 アプリケーションソフトの設定をします。

Adobe Photoshop CS5 の設定例

プリント画面を開きます。

「カラーマネジメント」を選択して、「ドキュメント」を選択します。「カラー処理」で「Photoshop によるカラー管理」を選択し、「プリンタープロファイル」と「マッチング方法」を選択して、「プリント」をクリックします。



2 プリンタードライバーの設定画面 (Windows) またはプリント画面 (Mac OS X) を表示します。

続いて、プリンタードライバーの設定をします。

Windows の場合

☞ 「基本的な印刷方法 (Windows)」 55 ページ

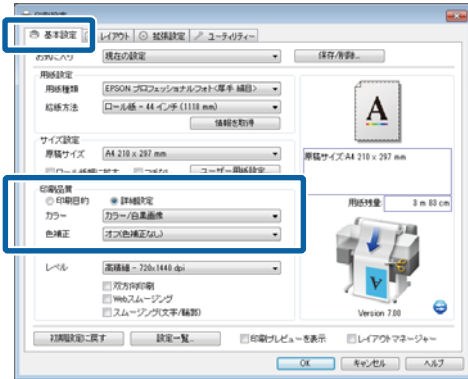
Mac OS X の場合

☞ 「基本的な印刷方法 (Mac OS X)」 58 ページ

3 色補正をオフに設定します。

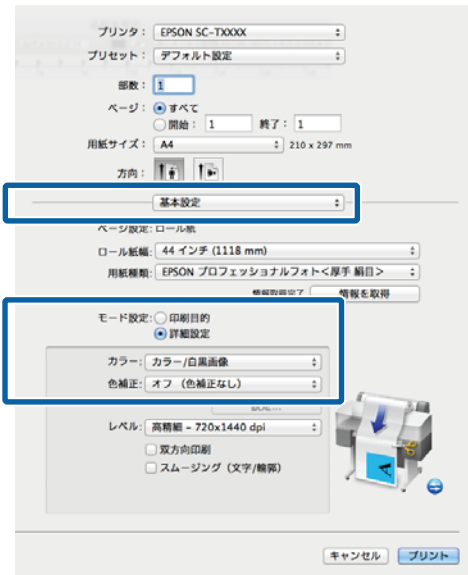
Windows の場合

基本設定画面の [印刷品質] で [詳細設定] を選択し、[色補正] で [オフ (色補正なし)] を選択します。



Mac OS X の場合

一覧から [基本設定] を選択し、[モード設定] の [詳細設定] をチェックします。さらに [色補正] で [オフ (色補正なし)] を選択します。



4 その他の設定を確認して印刷を行います。

プリンタードライバーでカラーマネジメント設定を行う

ホスト ICM 補正によるカラーマネジメント印刷 (Windows)

画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。また、アプリケーションソフトは、ICM に対応している必要があります。

1 アプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

アプリケーションソフトの種類によって、下表の通りに設定してください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

OS	カラーマネジメントの設定
Windows 10、 Windows 8.1、 Windows 8、 Windows 7、 Windows Vista	プリンタによるカラー管理
Windows XP (Service Pack2 以降かつ .NET3.0 以降)	プリンタによるカラー管理
Windows XP (上記以外)	カラーマネジメントなし

その他のアプリケーションソフトでは、[カラーマネジメントなし] に設定してください。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CS5 の設定例

プリント画面を開きます。

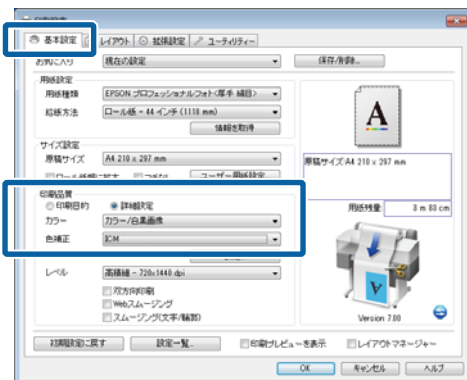
「カラーマネジメント」を選択して、「ドキュメント」を選択します。「カラー処理」で「プリンタによるカラー管理」を選択して、「プリント」をクリックします。



カラーマネジメント機能に対応していないアプリケーションソフトを使用するときは、手順2から始めてください。

- 2 プリンタードライバーの基本設定画面の「印刷品質」で「詳細設定」を選択し、「色補正」で「ICM」を選択して「設定」をクリックします。

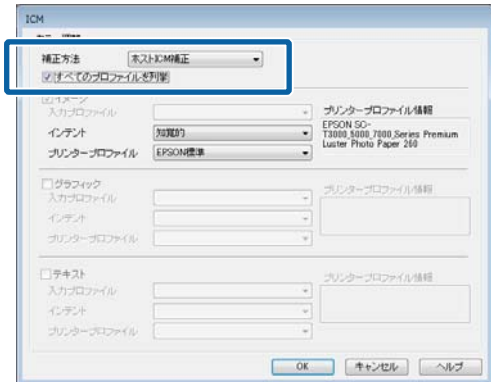
🔗「基本的な印刷方法（Windows）」55 ページ



- 3 「ホスト ICM 補正」を選択します。

基本設定画面の「用紙種類」でエプソン製専用紙を選択すると、用紙に対応したプリンタープロファイルが自動的に指定され、「プリンタープロファイル情報」の欄に表示されます。

プロファイルを変更したいときは、下段の「すべてのプロファイルを列挙」にチェックを付けます。



- 4 その他の設定を確認して印刷を行います。

ColorSync によるカラーマネジメント印刷（Mac OS X）

画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。また、アプリケーションソフトは、ColorSync に対応している必要があります。

参考

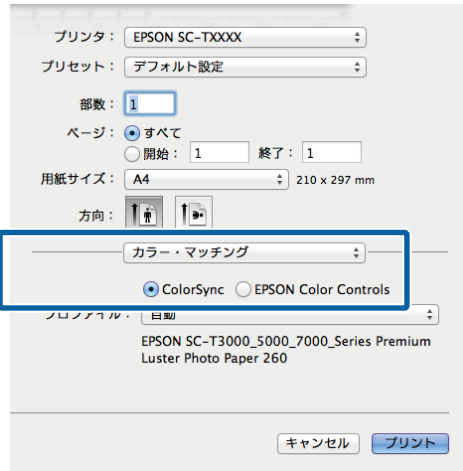
アプリケーションソフトによっては、「ColorSync」によるカラーマネジメント印刷は使用できません。

- 1 アプリケーションソフトで、カラーマネジメント機能が無効になるように設定します。

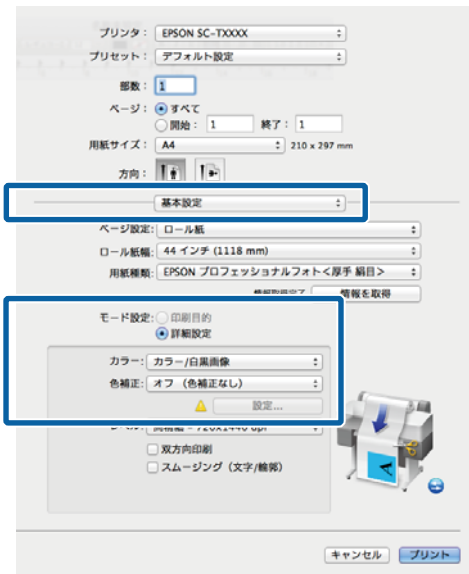
- 2 プリント画面を表示します。

🔗「基本的な印刷方法（Mac OS X）」58 ページ

- 3 一覧から【カラー・マッチング】を選択し、
【ColorSync】をクリックします。



- 4 一覧から【基本設定】を選択し、【モード設定】
の【詳細設定】をチェックします。さらに【色補
正】で【オフ（色補正なし）】を選択します。



- 5 その他の設定を確認して印刷を行います。

ドライバー ICM 補正によるカ ラーマネジメント印刷 (Windows のみ)

プリンタードライバー内部でプリンタープロファイルを使用してカラーマネジメント処理を行います。以下の 2 種類の色補正方法があります。

- ドライバー ICM 補正（簡易）
プロファイルとインテントの指定は画像データ全体で 1 種類を指定して処理します。
- ドライバー ICM 補正（詳細）
プリンタードライバーが画像データを【イメージ】、【グラフィック】、【テキスト】の 3 種類の領域に判別して、それぞれの領域で異なるプロファイルとインテントを指定して処理します。

カラーマネジメント機能を持つアプリケーション ソフトを使用するときは

プリンタードライバーの設定を行う前にアプリケーションソフトでカラー処理の方法を設定します。

アプリケーションソフトの種類によって、下表の通りに設定してください。

Adobe Photoshop CS3 以降

Adobe Photoshop Elements 6 以降

Adobe Photoshop Lightroom 1 以降

OS	カラーマネジメントの設定
Windows 10、 Windows 8.1、 Windows 8、 Windows 7、 Windows Vista	プリンタによるカラー管理
Windows XP (Service Pack2 以降 かつ .NET3.0 以降)	
Windows XP (上記以外)	カラーマネジメントなし

その他のアプリケーションソフトでは、【カラーマネジメントなし】に設定してください。

参考

各アプリケーションソフトの対応 OS は製品提供元のウェブサイトをご覧ください。

Adobe Photoshop CS5 の設定例

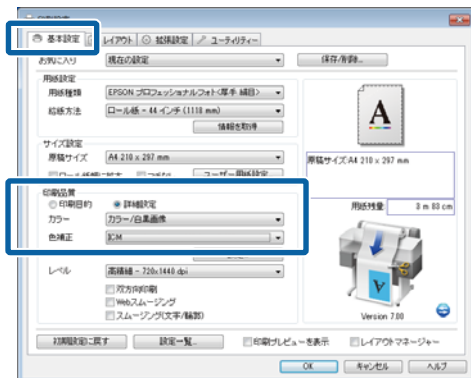
プリント画面を開きます。

「カラーマネジメント」を選択して、「ドキュメント」を選択します。「カラー処理」で「プリンタによるカラー管理」を選択して、「プリント」をクリックします。



1 プリンタードライバーの基本設定画面の「印刷品質」で「詳細設定」を選択し、「色補正」で「ICM」を選択して「設定」をクリックします。

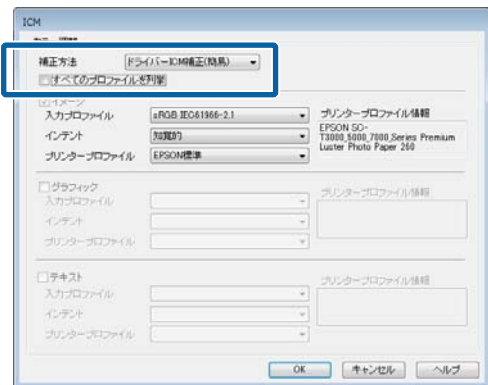
🔗「基本的な印刷方法 (Windows)」55 ページ



2 ICM 画面の「補正方法」で「ドライバー ICM 補正 (簡易)」または「ドライバー ICM 補正 (詳細)」を選択します。

「ドライバー ICM 補正 (詳細)」を選択すると、写真などのイメージデータ、グラフィックデータ、テキストデータごとにプロファイルとIntentが指定できます。

Intent	説明
彩度	彩度を保持して変換します。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用しているときに使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点 (色温度) の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用します。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。したがって、元データと印刷データの白色点 (色温度) は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。



3 その他の設定を確認して印刷を行います。

プリンタードライバーの便利な使い方 (Windows)

設定画面の表示

プリンタードライバーの設定画面は、以下の2通りの方法で表示できます。

- アプリケーションソフトから表示する
[「基本的な印刷方法 \(Windows\)」 55 ページ](#)
- スタートボタンから表示する

コントロールパネルから表示する

ノズルチェックやヘッドクリーニングなど本機のメンテナンスを行うときや、アプリケーションソフト共通の設定をするときは、以下の手順で行います。

- 1 [デバイスとプリンターの表示] または [デバイスとプリンター] を開きます。

Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7 の場合

[ハードウェアとサウンド] (または [ハードウェア]) の [デバイスとプリンターの表示] (または [デバイスとプリンター]) の順にクリックします。

Windows Vista の場合

[ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。

Windows XP の場合

[プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

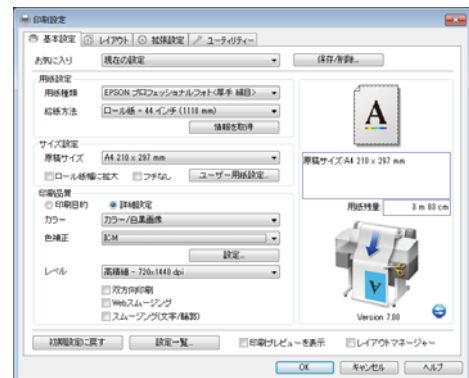
参考

Windows XP のコントロールパネルの表示を [クラシック表示] にしているときは、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

- 2 本機のプリンターアイコンを右クリックして [印刷設定] をクリックします。



プリンタードライバーの画面が表示されます。



この後、各項目を設定します。ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタードライバーを表示したときの初期設定になります。

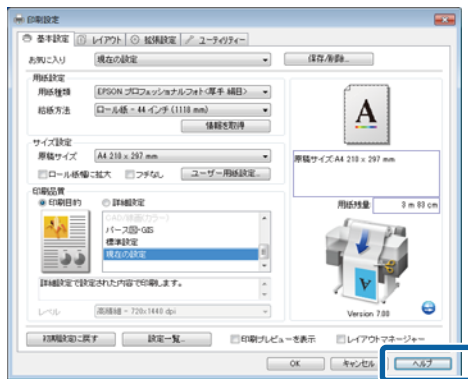
ヘルプの表示方法

プリンタードライバーヘルプは、以下の2通りの方法で表示できます。

- [ヘルプ] をクリックして表示する
- 確認したい項目上で右クリックして表示する

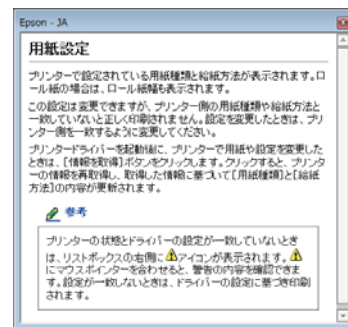
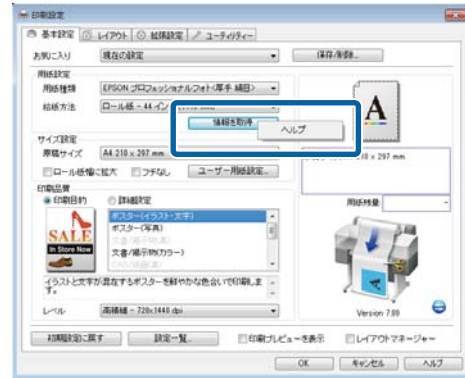
ヘルプボタンをクリックして表示する

[ヘルプ] ボタンを押すと、現在表示しているタブの概要がヘルプ画面に表示されます。



確認したい項目上で右クリックして表示する

知りたい項目上で右クリックして、[ヘルプ] をクリックします。



参考

Windows XP では、タイトルバー上の  をクリックして、知りたい項目をクリックするとヘルプが表示されます。

プリンタードライバーのカスタマイズ

印刷目的や使い勝手に合わせて、設定を保存したり各設定の表示項目を変更したりできます。

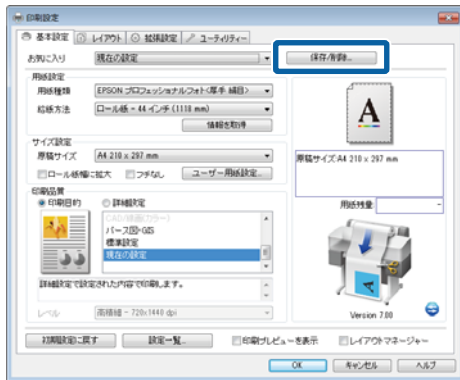
各種設定をお気に入りとして保存

プリンタードライバーの全ての印刷設定値を「お気に入り」の項目として保存できます。また「お気に入り」には、あらかじめ目的に応じた推奨の設定値も保存されています。

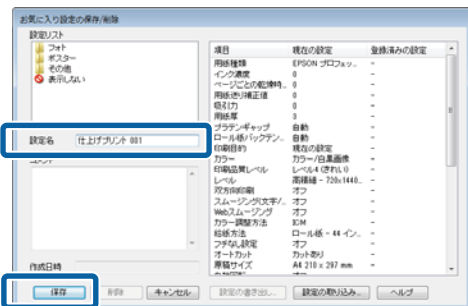
「お気に入り」に保存した設定を呼び出すことで効率良く、繰り返し同じ設定で印刷できます。

1 基本設定画面、レイアウト画面、拡張設定画面の各項目を、「お気に入り」に保存したい内容に設定します。

2 「保存/削除」をクリックします。



3 「設定名」にお好きな名称を入力し、「保存」をクリックします。



最大 100 件まで保存できます。保存した設定は「お気に入り」から呼び出すことができます。

参考

保存した設定は、「設定の書き出し」をクリックするとファイルとして保存できます。保存したファイルを別のコンピューターで「設定の取り込み」を行うと設定を共有できます。

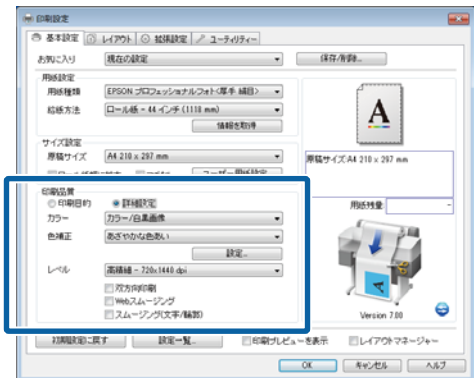
メディア種類の追加

新しく登録する用紙に合わせて、「印刷品質」と「用紙設定」を設定し、カスタムメディアとして登録します。登録したカスタムメディアは、用紙設定画面の「用紙種類」に選択候補として表示されるようになります。

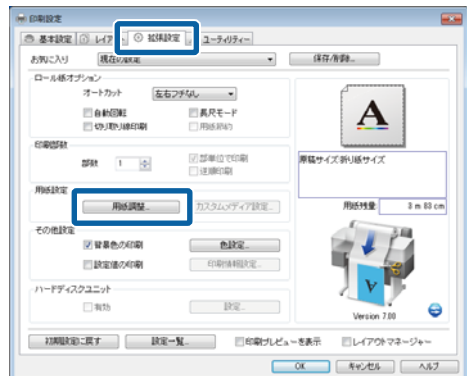
1 基本設定画面の「詳細設定」を選択し、必要な設定を行います。

参考

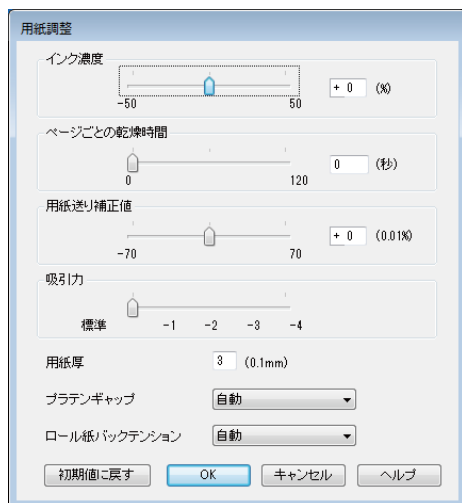
「印刷品質」で「印刷目的」を選択すると、カスタムメディアを登録することはできません。



2 拡張設定画面の「用紙調整」をクリックします。

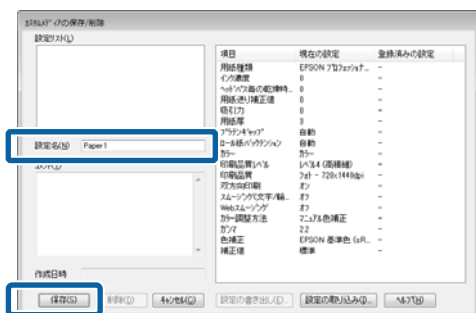


- 3** 登録する用紙に合わせて、必要な設定を行い
[OK] をクリックします。



- 4** 拡張設定画面の [カスタムメディア設定] をクリ
ックします。

- 5** [設定名] にお好きな名称を入力し、[保存] を
クリックします。



最大 100 件まで保存できます。保存した設定は [用紙種類] から呼び出すことができます。

参考

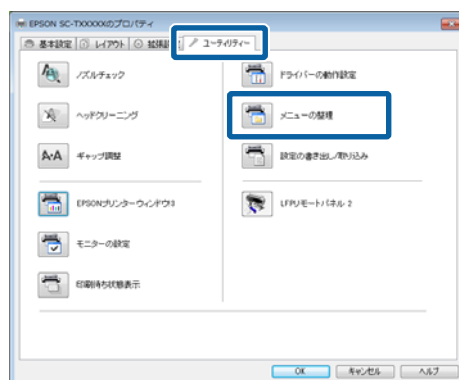
保存した設定は、[設定の書き出し] をクリックするとファイルとして保存できます。保存したファイルを別のコンピューターで [設定の取り込み] を行うと設定を共有できます。

表示項目の整理

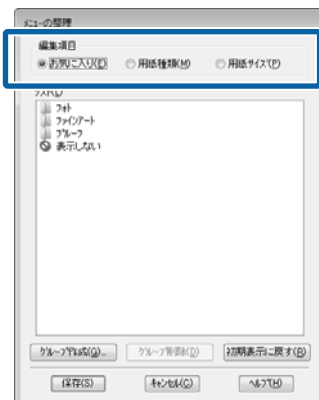
「お気に入り」、[用紙種類]、[用紙サイズ] の表示項目について、普段使うものがすぐに表示されるように以下のように整理できます。

- 不要な項目を非表示にする。
- よく使う順に並べ替える。
- グループ (フォルダー) にまとめる。

- 1** [ユーティリティ] タブ- [メニューの整理]
をクリックします。

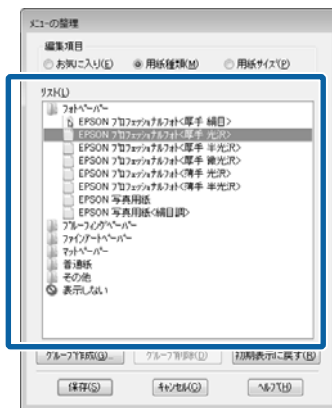


- 2** [編集項目] を選択します。



3 [リスト] の中で、表示順やグループ分けを変更します。

- 項目の移動や表示順を変更するには、選択してドラッグ&ドロップします。
- 新規のグループ（フォルダー）を作成するには、[グループ作成] をクリックします。
- グループ（フォルダー）を削除するには、[グループ削除] をクリックします。
- 使用しない項目は [表示しない] にドラッグ&ドロップします。



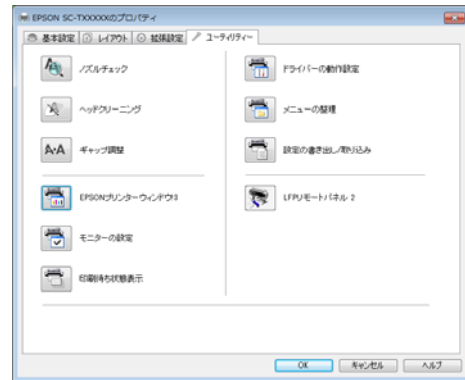
参考

[グループ削除] を実行すると、グループ（フォルダー）は削除されますが、グループ（フォルダー）内の各項目は残ります。

4 [保存] をクリックします。

ユーティリティ画面の概要

プリンタードライバーのユーティリティ画面から、以下の機能が実行できます。



ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないかを確認するためのノズルチェックパターンを印刷する機能です。印刷されたパターンがかすれたり、隙間が空いたりしているときは、ヘッドクリーニングを実行して目詰まりを解消してください。

☞ [「プリントヘッドのクリーニング」 166 ページ](#)

ヘッドクリーニング

印刷がかすれるときや、隙間が空くときに行います。プリントヘッドの表面を清掃する機能です。

☞ [「プリントヘッドのクリーニング」 166 ページ](#)

ギャップ調整

印刷結果に粒状感が出るときやピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを調整する機能です。

☞ [「印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）」 168 ページ](#)

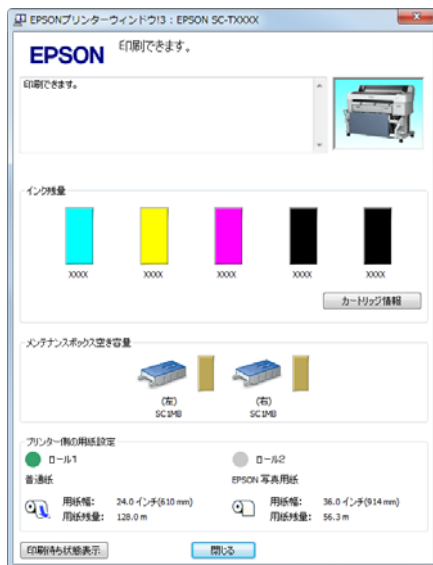
EPSON プリンターウィンドウ!3

インク残量やエラーメッセージなど本機の状態をコンピュータ画面で確認できます。SC-T7255D/SC-T5255Dでロール 1/ロール 2 にロール紙をセットしているときは、どちらが操作対象 (使用中) かも確認できます。

SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255



SC-T7255D/SC-T5255D

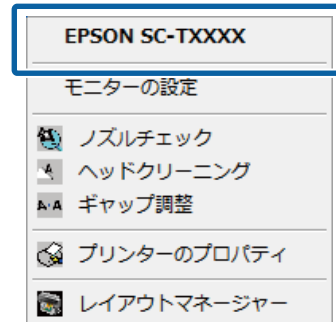


モニターの設定

EPSON プリンターウィンドウ!3 画面で通知させるエラー表示の選択やユーティリティ呼び出しアイコンのタスクバーへの登録などを行えます。

参考

モニターの設定画面で [呼び出しアイコン] にチェックを付けると、Windows タスクバーにユーティリティ呼び出しアイコンが表示されます。
このアイコンを右クリックすると、以下のメニューが表示されメンテナンス機能を実行できます。
表示されたメニューで本機名称をクリックすると、EPSON プリンターウィンドウ!3 が起動します。



印刷待ち状態表示

印刷待ちデータの一覧 (印刷キュー) 画面を表示します。
印刷待ちデータの一覧 (印刷キュー) 画面では、印刷待ちデータの情報や印刷待ちデータの削除、再印刷などが実行できます。

ドライバーの動作設定

プリンタードライバーの基本動作に関する各種機能が設定できます。

メニューの整理

[お気に入り]、[用紙種類]、[用紙サイズ] それぞれの表示項目をよく使う項目順に並べ替えるなど整理できます。
🔗 [「表示項目の整理」121 ページ](#)

設定の書き出し/取り込み

プリンタードライバーの全ての設定をファイルに保存/ファイルから取り込みます。複数のコンピュータに同一のプリンタードライバーの環境を作ることができるので、同じ設定で印刷したいときに便利です。

LFP リモートパネル 2

ユーザー用紙設定などができます。詳細は、LFP リモートパネル 2 のヘルプをご覧ください。

参考

[LFP リモートパネル 2] がグレーアウトしているときは、LFP リモートパネル 2 がインストールされていません。ソフトウェアディスクのソフトウェア一覧からインストールしてください。

プリンタードライバーの削除

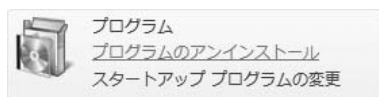
プリンタードライバーや LFP リモートパネル 2 を削除するには、次の手順で行います。

！重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- Windows 7/Windows Vista で管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

1 本機の電源を切り、インターフェイスクーブルを外します。

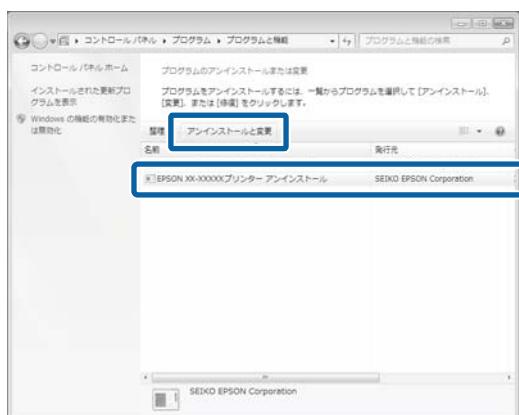
2 [コントロールパネル] の [プログラム] - [プログラムのアンインストール] をクリックします。



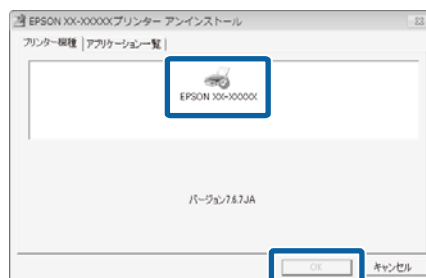
3 削除するソフトウェアを選択して [アンインストールと変更] (または [変更と削除] / [追加と削除]) をクリックします。

[EPSON SC-XXXXX プリンター アンインストール] を選択すると、プリンタードライバーと EPSON プリンターウィンドウ!3 を削除できます。

[LFP リモートパネル 2] を選択すると、LFP リモートパネル 2 を削除できます。



4 本機のアイコンをクリックして、[OK] をクリックします。



5 この後は、画面の指示に従ってください。

削除を確認するメッセージが表示されたら [[はい] をクリックします。

プリンタードライバーを再インストールするときは、コンピュータを再起動してください。

プリンタードライバーの便利な使い方 (Mac OS X)

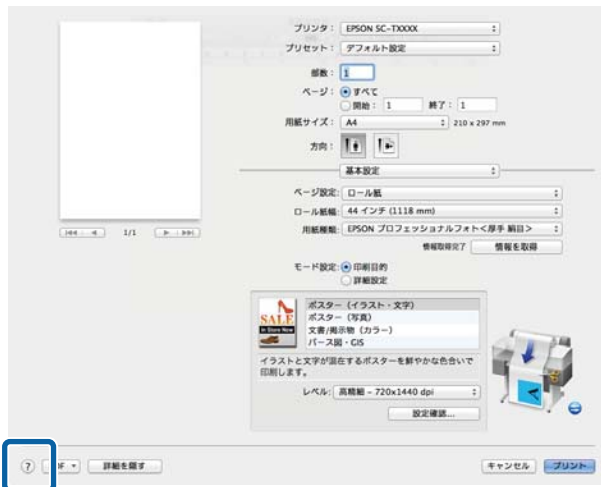
設定画面の表示

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトまたは OS のバージョンにより表示手順が異なることがあります。

📖 [「基本的な印刷方法 \(Mac OS X\)」 58 ページ](#)

ヘルプの表示方法

プリンタードライバーの設定画面の  をクリックします。



Epson Printer Utility 4 の使い方

Epson Printer Utility 4 では、ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能が実行できます。プリンタードライバーをインストールすると、自動的に一緒にインストールされます。

Epson Printer Utility 4 の起動方法

Mac OS X v10.6.x 以降

- 1 [アップル] メニュー - [システム環境設定] - [プリントとスキャン] (または [プリントとファクス]) の順にクリックします。
- 2 プリンターを選択して、[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

Mac OS X v10.5.8 の場合

- 1 [アップル] メニュー - [システム環境設定] - [プリントとファクス] の順にクリックします。
- 2 プリンターを選択して、[プリントキューを開く] - [ユーティリティ] の順にクリックします。

Epson Printer Utility 4 の機能

Epson Printer Utility 4 では、以下のメンテナンス機能を実行できます。



EPSON プリンターウィンドウ

インク残量やエラーメッセージなど本機の状態をコンピュータ画面で確認できます。SC-T7255D/SC-T5255Dでロール1/ロール2にロール紙をセットしているときは、どちらが操作対象（使用中）かも確認できます。

SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255



SC-T7255D/SC-T5255D



ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないかを確認するためのノズルチェックパターンを印刷する機能です。印刷されたパターンがかすれたり、隙間が空いたりしているときは、ヘッドクリーニングを実行して目詰まりを解消してください。

[🔗 「プリントヘッドのクリーニング」 166 ページ](#)

ヘッドクリーニング

印刷がかすれるときや、隙間が空くときに行います。プリントヘッドの表面を清掃する機能です。

[🔗 「プリントヘッドのクリーニング」 166 ページ](#)

ギャップ調整

印刷結果に粒状感が出るときやピントがずれたようになるときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを調整する機能です。

[🔗 「印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）」 168 ページ](#)

LFP リモートパネル 2

ユーザー用紙設定などができます。詳細は、LFP リモートパネル 2 のヘルプをご覧ください。

プリンタードライバーの削除

プリンタードライバーや LFP リモートパネル 2 を再インストールしたりバージョンアップするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

プリンタードライバーの削除は「Uninstaller」を使います。

入手方法

「Uninstaller」をエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

www.epson.jp/

操作手順

「Uninstaller」を入手時に手順も確認いただき、その手順に従ってください。

LFP リモートパネル 2 の削除

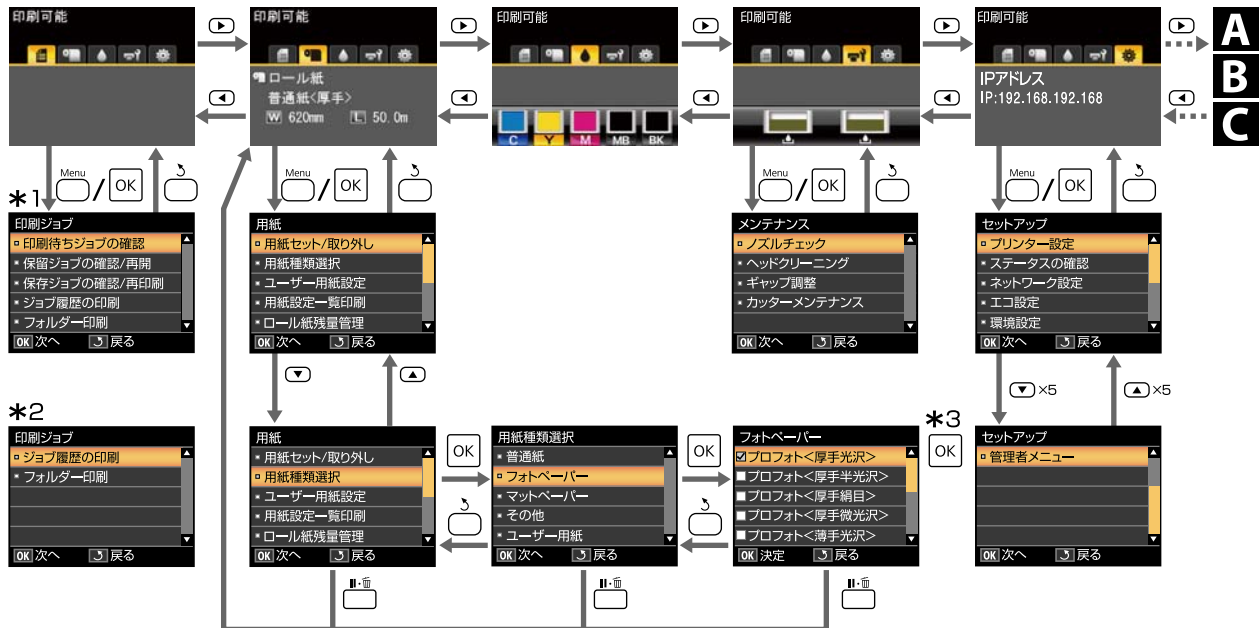
【アプリケーション】フォルダ内の【EPSON Remote Panel 2】フォルダごと、【ゴミ箱】にドラッグ&ドロップして削除します。

操作パネルのメニューの使い方

メニューの操作

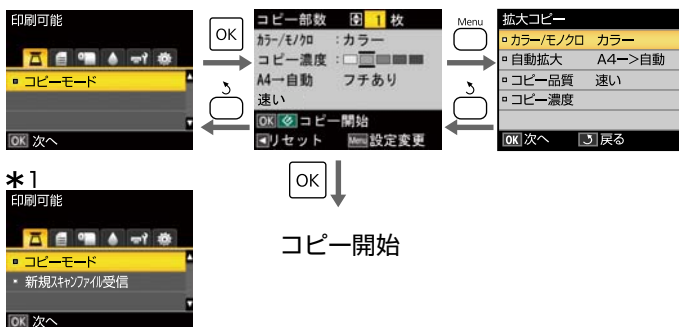
各メニューへの移行操作は、以下の通りです。

メニューの操作は、用紙メニューを例にメニューの操作を説明しています。



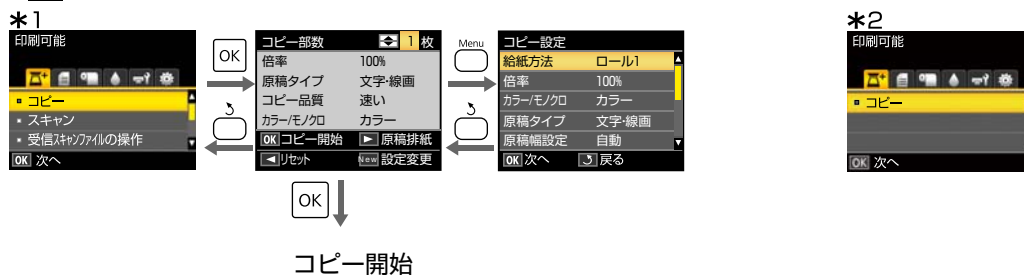
- *1 オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時
- *2 標準時（ハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット未装着時）
- *3 【OK】ボタンを押して決定した後、【↵】ボタンを押すと、メニューの上階層に戻ります。【⇧⏏】ボタンを押すとメニューが終了します。

A A3、A4 スキャナー接続時のみ表示



操作パネルのメニューの使い方

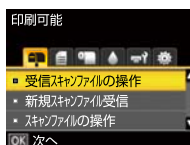
B オプションの大判複合機用スキャナー接続時



C オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時で大判複合機用スキャナー非接続時



ハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニットにスキャンファイルや受信スキャンファイルが保存されているとき。



メニュー一覧

メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

*1：SC-T7255D/SC-T5255D のみ *2：SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のみ *3：オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ *4：オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ

印刷ジョブメニュー

🔗 [「印刷ジョブメニュー」 138 ページ](#)

メニュー項目		内容
印刷待ちジョブの確認*3	XXXXXXXXXX（印刷待ちジョブ名が表示される）	印刷待ちジョブ名、ユーザー、予測開始時間、予測印刷時間、印刷可否予測が表示される
保留ジョブの確認/ 再開*2、*3	保留ジョブの確認 XXXXXXXXXX（保留ジョブ名が表示される）	保留ジョブ名、ユーザー、用紙種類、給紙方法、サイズ、保留理由が表示される
	保留ジョブ一括印刷	OK で印刷開始
保存ジョブの確認/ 再印刷*3	XXXXXXXXXX（保存ジョブ名が表示される）	サムネイルを表示 【▶】で保存ジョブ名、ユーザー、用紙長、ページ数、用紙種類、部数、給紙方法、サイズ、予測印刷時間が表示される OK で印刷/削除メニューが表示される
ジョブ履歴の印刷		OK で印刷開始
フォルダー印刷	XXXXXXXXXX（ファイル名が表示される）	ファイル名、給紙方法、印刷プレビューが表示される OK で印刷開始 （印刷プレビューによってはプレビュー表示後に印刷開始）

用紙メニュー

🔗 [「用紙メニュー」 140 ページ](#)

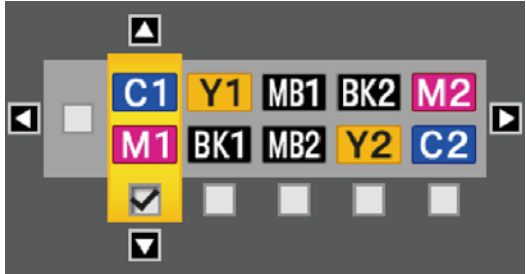
メニュー項目		内容
用紙セット/取り外し	用紙取り外し	セットされている用紙が何もないときは、表示されません
	ロール紙*2	セット方法が表示される
	ロール紙 1*1	
	ロール紙 2*1	
	単票紙（厚さ 0.8mm 以下）	
	ボード紙	
用紙種類選択	普通紙	対応するエプソン製専用紙名が表示される
	フォトペーパー	
	マットペーパー	
	その他	
	ユーザー用紙	ユーザー用紙設定名が表示される

操作パネルのメニューの使い方

メニュー項目		内容		
ユーザー用紙設定	XXXXXXXXXXXX XXXXXX（ユーザー用紙名が表示される）	参照用紙種類	普通紙	対応するエプソン製専用紙名が表示される
			フォトペーパー	
			マットペーパー	
			その他	
			非選択	非選択
		プラテンギャップ設定	狭くする、標準、広くする、より広くする	
		用紙厚検出パターン	OK で印刷開始	
		用紙送り補正	パターン	OK で印刷開始
			数値	-0.70～+0.70%
		吸着力	-4～0	
		ロール紙バックテンション	標準、高い、より高い	
		斜め給紙軽減動作	ON、OFF	
		設定名の登録	22 文字以内(半角英数字・記号)	
		設定初期化	はい、いいえ	
用紙設定一覧印刷		OK で印刷開始		
ロール紙残量管理		ON、OFF		
ロール紙残量警告		1～15m		

メンテナンスメニュー

🔗 [「メンテナンスメニュー」 143 ページ](#)

メニュー項目			内容
ノズルチェック			OK で印刷開始
ヘッドクリーニング			
ギャップ調整	自動(Uni-D)		OK で印刷・調整開始
	自動 (Bi-D)		
	手動(Uni-D)		OK で印刷開始
	手動(Bi-D)		

操作パネルのメニューの使い方

メニュー項目		内容
カッターメンテナンス	カット位置調整	-3～3mm
	交換位置に移動	OK で移動開始

✳️ セットアップメニュー

🔗 [「セットアップメニュー」 144 ページ](#)

メニュー項目			内容	
プリンター設定	ロール紙設定	自動カット	ON、OFF	
		カット動作モード	通常、静音	
		マージンリフレッシュ	ON、OFF	
		切り取り線印刷	ON、OFF	
		ロール紙余白	標準、先端 15mm/後端 15mm、先端 35mm/後端 15mm、先端 45mm/後端 15mm、四辺 3mm、四辺 15mm	
		ロール紙交換後の印刷動作	継続、打ち切り、再印刷*3	
		ロール紙自動給紙*1	ON、OFF	
		ロール切替設定*1	自動、ロール 1、ロール 2	
		ロール切替条件*1	用紙種類	種類一致、無効
			用紙長	印刷長優先、残量優先、無効
	用紙幅		余白最適、幅一致、無効	
	ジョブの印刷優先設定*3		使用中ロール優先、受付順	
	高度な設定	ロール紙バックテンション	1～5	
		こすれ軽減	ON、OFF	
		ページごとの乾燥時間	OFF～60 分	
		用紙幅検出	ON、OFF	
		斜行エラー検出	ON、OFF	
保留ジョブの保存*3		ON、OFF		
USB タイムアウト		10～600 秒		
時短カット		ON、OFF		

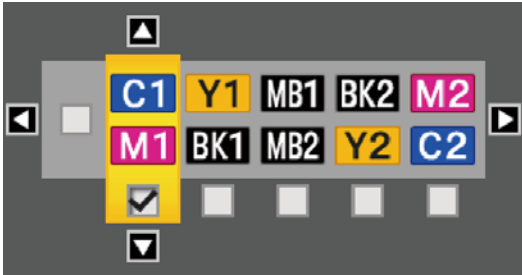
操作パネルのメニューの使い方

メニュー項目		内容			
	HP-GL/2 設定	印刷品質	速い、きれい		
		出力用紙サイズ	自動、A 系列、US-ANSI、US-ARCH、B 系列（JIS）、写真サイズ、その他、ユーザー用紙サイズ		
		余白	四辺 3mm、四辺 5mm		
		余白オプション	標準、余白を付加、余白で切り取り		
		回転	0°、90°、180°、270°		
		ミラー印刷	ON、OFF		
		パレット選択	ソフトウェア、デフォルト、パレット A、パレット B		
		パレット定義	パレット A	ペン番号	ペン幅、ペン色
			パレット B	ペン番号	ペン幅、ペン色
		線のマージ	ON、OFF		
		HDD 保存モード	印刷して保存する、印刷のみ		
	HP-GL/2 設定初期化	はい、いいえ			
設定初期化		はい、いいえ			

操作パネルのメニューの使い方

メニュー項目		内容
オプション設定*4	PS3 拡張ユニット	バージョン
		PostScript バージョン、PDF バージョン
		PS ステータスシートの印刷
		OK で印刷開始
		出力用紙サイズ
		自動、A 系列、US－ANSI、US－ARCH、B 系列（JIS）、写真サイズ、その他、ユーザー用紙サイズ
		余白オプション
		標準、余白を付加、余白で切り取り
		印刷品質
		速い、標準、きれい
		カラーモード
		カラー、モノクロ
		ドット補正
		ON、OFF
		CMYK シミュレーション
		SWOP v2、US Web Uncoated v2、US Sheetfed Coated v2、US Sheetfed Uncoated v2、Coated GRACoL 2006、SWOP Grade 3 Paper、SWOP Grade 5 Paper、Coated FOGRA27、Web Coated FOGRA28、Uncoated FOGRA29、Coated FOGRA39、Euroscale Coated v2、Euroscale Uncoated v2、JapanWebCoated (Ad)、JapanColor2001Coated 、 JapanColor2001Uncoated 、 JapanColor2002Newspaper 、 JapanColor2003WebCoated 、 EPSON_TOYO、EPSON_DIC、OFF
		RGB ソース
		sRGB、Adobe RGB (1998)、Apple RGB、ColorMatch RGB、OFF
		レンダリングインテント
		絶対的な色域を維持、相対的な色域を維持、知覚的、彩度
		黒点補正
		ON、OFF
		自動回転
		ON、OFF
		ハードディスクへのキャッシュ
		ON、OFF
		PS エラーシート
		ON、OFF
ステータスの確認	ファームウェアバージョン	HDD 保存モード
		印刷して保存する、印刷のみ
		xxxxxxx,x.xx,xxxx
		xxxxxxxm ²
	オプションの接続状態	OK で印刷開始
		接続されているオプションの名称が表示される
		総印刷面積の表示
		プリンターステータスの印刷

操作パネルのメニューの使い方

メニュー項目		内容	
ネットワーク設定	IP アドレス設定	自動	-
		パネル	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
	IPv6 設定	有効、無効	
	IPsec 設定	有効、無効	
	Pre-Shared Key 設定	20 文字以内で Key を設定（半角英数字・記号）	
	IEEE802.1X 設定	有効、無効	
	HTTPS リダイレクト設定	有効、無効	
	ネットワーク設定の印刷	OK で印刷開始	
	ネットワーク設定初期化	はい、いいえ	
エコ設定	スリープモード移行時間	5～210 分	
	電源オフタイマー	OFF、1～24 時間	
	設定初期化	はい、いいえ	
環境設定	表示言語/Language	対応言語が表示される	
	長さ単位	m、ft/in	
	アラートランプ設定	ON、OFF	
管理者メニュー	パスワード変更		パスワードを入力
	操作制限	ネットワーク設定	パスワードで管理する、パスワードで管理しない
	強力ヘッドクリーニング		
	HDD フォーマット *3	非セキュア高速 セキュア（高速） セキュア（サニタイジ ング）	確認メッセージで承諾するとフォーマットが実行されます
	プリンターモード		自動、PostScript*4、HP-GL/2
	日時設定		YY/MM/DD HH:MM
	タイムゾーン		GMT との時差を入力
	PS 情報の初期化*4		はい、いいえ
	全設定の初期化		はい、いいえ

拡大コピーメニュー

本機に A3、A4 スキャナーを接続したときに限り表示されます。

 [「拡大コピーメニュー」 160 ページ](#)

メニュー項目			内容
カラー/モノクロ			カラー、グレースケール
自動拡大	A3->自動、B4->自動、A4->自動、B5->自動、A5->自動、ハガキ->自動、KG->自動、L判->自動、A4/2->長尺（自動）		フチあり、フチなし
	その他の倍率	原稿サイズを選択	A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ、KG、L判
		出力サイズを選択	A0、B1、A1、B2、A2、A0（2枚出力）
		フチあり／なし	フチあり、フチなし
コピー品質			速い、きれい
コピー濃度			薄い～濃いを5段階で設定

大判コピー・大判スキャンメニュー

本機に、オプションの大判複合機用スキャナーを接続したときに限り表示されます。

🔗 [「大判コピー・大判スキャンメニュー」 161 ページ](#)

メニュー項目			内容
コピー設定	給紙方法		ロール紙/ロール 1*1、ロール 2*1、ロール自動*1、単票紙
	倍率	倍率設定	25～400%
		自動	
	カラー/モノクロ		カラー、グレースケール
	原稿タイプ		文字・線画、トレーシングペーパー、再生紙、青焼き、青焼き反転、ポスター・チラシ
	原稿幅設定		自動、A 系列、US-ANSI、US-ARCH、B 系列（JIS）、B 系列（ISO）、cm、inch
	コピー品質		速い、きれい
	余白オプション		余白で切り取り、余白を付加、フチなし
	濃度		-3～3 レベル
	コントラスト		-3～3 レベル
	背景除去		-3～3 レベル
	シャープネス		-3～3 レベル
スキャン設定*3	カラー/モノクロ		カラー、グレースケール、モノクロ 2 値
	原稿タイプ		文字・線画、トレーシングペーパー、再生紙、青焼き、青焼き反転、ポスター・チラシ
	原稿幅設定		自動、A 系列、US-ANSI、US-ARCH、B 系列（JIS）、B 系列（ISO）、cm、inch
	保存形式		JPEG、PDF、TIFF
	解像度		100dpi、200dpi、300dpi、360dpi、400dpi、600dpi
	圧縮率		高い、標準、低い
	濃度		-3～3 レベル
	コントラスト		-3～3 レベル
	背景除去		-3～3 レベル
	シャープネス		-3～3 レベル

メニューの説明

印刷ジョブメニュー

本機に付属のプリンタードライバーやオプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニットに付属の PS ドライバーを介さずに印刷したときは、下表の各ジョブ名や予測時間が正しく表示されないことがあります。

*1：SC-T7255D/SC-T5255D のみ *2：SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のみ *3：オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ *4：オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ

項目			内容	
印刷待ちジョブの確認*3	XXXXXXXXXX（印刷待ちジョブ名が表示される）		印刷待ちジョブ名 ユーザー 予測開始時間 予測印刷時間 印刷可否予測	選択した印刷待ちジョブの、印刷開始時間と印刷に要する時間の予測が表示されます。 また、現在の用紙残量、インク残量、メンテナンスボックスの空き容量から、印刷が滞りなく完了できるかの予測も表示されます。予測は、あくまで目安です。予測の結果、印刷不可と表示されたときも、そのまま印刷を続行することをお勧めします。 Remote Manager または LFP HDD ユーティリティでは、印刷不可の理由が確認でき、そのジョブを保留ジョブに移したり、ジョブキャンセルしたりできます。  「機能概要」65 ページ 用紙残量による印刷可否予測は、[ローラ紙残量管理] で [OFF] に設定していると、正しく予測できません。 LFP Print Plug-In for Office、EPSON CopyFactory5 から印刷を行ったときは、インク残量による印刷可否予測は行えません。 オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニットに付属の PS ドライバーから印刷を行ったときは、[予測開始時間] と [予測印刷時間] には「0 分」と表示されます。
保留ジョブの確認/再開*2、*3	保留ジョブの確認	XXXXXXXXXX XX（保留ジョブ名が表示される）	保留ジョブ名 ユーザー 用紙種類 給紙方法 サイズ 保留理由	セットアップメニューで [保留ジョブの保存] を [ON] に設定しているときに限り表示されます。 選択した保留ジョブの中断理由や印刷設定などが表示されます。 印刷設定が本機の設定と異なっているときは、以下の手順で保留ジョブを一括して印刷再開できます。 ①本機にセットされている用紙を交換するなど、印刷できる状態に整える。 ② [保留ジョブ一括印刷] を実行する
	保留ジョブ一括印刷		【OK】ボタンを押すと、保存されている保留ジョブが一括して印刷再開されます。	
保存ジョブの確認/再印刷*3	XXXXXXXXXX（保存ジョブ名が表示される）		サムネイル 保存ジョブ名 ユーザー 用紙長 ページ数 用紙種類 部数 給紙方法 サイズ 予測印刷時間	選択した保存ジョブのサムネイルが表示されます。 【▶】ボタンを押すと、最後に印刷したときの詳細情報が表示されます。 以前のサムネイル非対応の保存ジョブは、サムネイルを表示せずに詳細情報が表示されます。 確認後【OK】ボタンを押すと、印刷/削除メニューが表示されます。 〔印刷〕選択時：印刷部数の入力を求める画面が表示されます。【▲】 / 【▼】ボタンを押して、部数を入力後【OK】ボタンを押すと、予測印刷時間や印刷可否予測が表示されます。【OK】ボタンを押すと印刷が始まります。 〔削除〕選択時：確認画面が表示されます。【OK】ボタンを押すと削除されます。

操作パネルのメニューの使い方

項目	内容
ジョブ履歴の印刷	【OK】 ボタンを押すと、履歴が印刷されます。 履歴に記載されるインク使用量については、以下の点にご留意ください。 • インク使用量は簡易的な見積りのため、精度は保証しません。 • 実際のインク使用量は、以下のような要因により異なります。 使用ソフトウェア/ファームウェアバージョン/画像/印刷設定（用紙種類など）/使用頻度/設置環境（温度）/プリンターの個体差/お客様の設定や使い方 • 交換されたインクカートリッジに使用しきれずに残るインクは使用量に含まれません。 • 他のエプソン製ソフトウェアで確認したコストやインク使用量などは本記載と一致しないことがあります。
フォルダー印刷	あらかじめ設定した、ネットワーク上の共有フォルダーのファイルを選択して印刷できます。  「フォルダー印刷」 81 ページ

用紙メニュー

SC-T7255D/SC-T5255D をお使いで、[ユーザー用紙設定] で市販の用紙の印刷設定を登録するときは、以下の点にご留意ください。

同種の用紙であってもロール 1 とロール 2 の両方から印刷する際は、ロール 1 とロール 2 でそれぞれ別に設定してください。例えば、ロール 1 にセットした状態で設定したユーザー用紙設定を、ロール 2 にセットした同種の用紙に適用しても用紙経路や用紙幅など印刷条件が異なると、正しく印刷されません。

*1：SC-T7255D/SC-T5255D のみ *2：SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のみ *3：オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ *4：オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ
*はメーカー設定値です。

項目			内容	
用紙セット/取り外し			用紙取り外し	用紙がセットされていないときは、表示されません。
			ロール紙 *2	セットする用紙を選択し【OK】ボタンを押します。 以降は画面の指示に従って、セットします。 用紙がセットされている状態でセットする用紙を選択すると、画面に取り外し方が表示され、その後セット方法が表示されます。
			ロール紙 1 *1	
			ロール紙 2 *1	
			単票紙（厚さ 0.8mm 以下）	
			ボード紙	
用紙種類選択	普通紙		セットしている用紙の種類を選択します。	
	フォトペーパー			
	マットペーパー			
	その他			
	ユーザー用紙		セットしている用紙のユーザー用紙設定名を選択します。	
ユーザー用紙設定	XXXXXXXXXXXX （ユーザー用紙名が表示される）	参照用紙種類	普通紙	使用する用紙に最も近い種類を選択します。
			フォトペーパー	
			マットペーパー	
			その他	
			非選択	特定の用紙種類を指定しないときに選択します。
	ブラテンギャップ設定	狭くする	ブラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）を選択します。通常は、[標準] のまま使用します。印刷結果が擦れて汚れるときは、広げる設定に変更します。また、ギャップ調整を行ってもなお調整きれないと感じるときは [狭くする] に設定してください。	
		標準 *		
		広くする		
		より広くする		
	用紙厚検出パターン		【OK】ボタンを押すと、セットした用紙の厚みを検出するためのパターンが印刷されます。 印刷結果から一番ズレのないパターンの番号を選択します。	

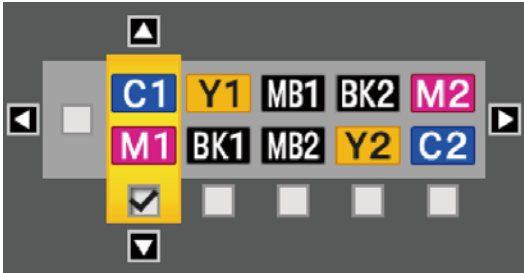
操作パネルのメニューの使い方

項目		内容		
	用紙送り補正	パターン	本設定は、ヘッドクリーニングやギャップ調整を行っても通常印刷領域（単票紙の場合は、終端から 1～2cm を除いた領域）のバンディング（水平方向に走る帯状の模様や色ムラ）が解決できないときに行います。 〔パターン〕 選択時 【OK】 ボタンを押すと、調整パターンが印刷されます。印刷された調整パターンの＋記号の距離を定規で測ります。 中央のみを測った値、もしくは右側・中央・左側の 3 箇所を測った平均値を使用してください。	
		数値		
	吸着力	-4～0 (0*)	用紙とプリントヘッドの距離を適正に保つために、用紙に合った吸着力で印刷することが大切です。薄い用紙や柔らかい用紙は吸着力が強すぎると、プリントヘッドと用紙の距離が広くなりすぎ印刷品質が低下する、または正しく用紙が送られないことがあります。そのようなときは吸着力を弱めます。設定値が小さくなるほど吸着力が弱くなります。	
		ロール紙バックテンション	標準*	印刷中に用紙にしわが発生するときは、〔高い〕や〔より高い〕を選択します。 〔より高い〕に設定すると、セットアップメニューの〔高度な設定〕の〔ロール紙バックテンション〕の設定が有効になります。
			高い	
			より高い	
		斜め給紙軽減動作	ON*	斜め給紙を軽減する動作をさせる（ON） / させない（OFF）を選択します。
	OFF			
	設定名の登録	保存するユーザー用紙設定に、半角英数字・記号 22 文字以内で名前を付けられます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。		
	設定初期化	はい	選択したユーザー用紙設定の内容をメーカー設定値に戻します。	
いいえ				
用紙設定一覧印刷		【OK】 ボタンを押すと、ユーザー用紙設定の一覧が印刷されます。		

操作パネルのメニューの使い方

項目	内容	
ロール紙残量管理	ON*	セットしたロール紙の残量を表示・記録する（[ON]） / しない（[OFF]）を選択します。[ON]を選択すると、ロール紙の長さを入力する画面が表示されます。セットしているロール紙の長さを入力すると、以降ロール紙に関する以下の管理が行われます。 • ロール紙交換時の残量管理 ロール紙を取り外す際に、ロール紙の残量、ロール紙残量警告の限界値、用紙種類を自動的にバーコード化してロール紙先端に印刷します。次回、このロール紙をセットすると自動的にバーコードが読み取られ用紙設定がされるので、何種類かのロール紙を使用する際に、効率良く交換できます。 • 印刷可否予測 用紙長さを元に印刷の可否が予測されます。
	OFF	
ロール紙残量警告	1～15m（5*）	〔ロール紙残量管理〕を〔ON〕に設定すると表示されます。 ロール紙の残量がどのくらいになったら、警告を表示するか、その値を1～15mの範囲で設定します。設定は1m単位で行えます。

メンテナンスメニュー

項目		内容	
ノズルチェック		【OK】ボタンを押すと、チェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確認し、かすれや欠けがあるときはヘッドクリーニングを行います。 🔗 「ノズルの目詰まりチェック」165 ページ	
ヘッドクリーニング		 印刷したチェックパターンで確認した、かすれや欠けがあるパターンの記号を選択します。左端のチェックボックスにチェックを付けると、全てのノズルが選択されます。 🔗 「プリントヘッドのクリーニング」166 ページ	
ギャップ調整	自動 (Uni-D)	印刷結果に粒状感やピントのズレが生じるときは、ギャップ調整を行い、印刷時のプリントヘッドのズレを調整します。[自動] は、調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的に調整します。 [手動] は、印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を入力して補正します。 🔗 「印刷位置ずれの調整 (ギャップ調整)」168 ページ	
	自動 (Bi-D)		
	手動 (Uni-D)		
	手動 (Bi-D)		
カッターメンテナンス	カット位置調整	-3～3mm	ロール紙に四辺フチなし印刷するときの先端カット位置の微調整ができます。0.2mm きざみで設定できます。
	交換位置に移動	カッター交換時にカッターを交換位置まで移動させます。【OK】ボタンを押すと、カッターが交換位置に移動します。カッターの交換は用紙を取り外した状態で行います。事前に、用紙を取り外してください。 🔗 「カッターの交換」173 ページ	

セットアップメニュー

【管理者メニュー】を選択すると管理者パスワード入力画面が表示されます。ご購入直後はパスワードは設定されていませんので、何も入力せずに【OK】ボタンを押してください。パスワード設定後は、設定したパスワードを入力してください。

*1：SC-T7255D/SC-T5255Dのみ *2：SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255のみ *3：オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ *4：オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時のみ
*はメーカー設定値です。

プリンター設定

ロール紙設定

項目	内容	
自動カット	ON*	ロール紙に1ページ印刷するごとに内蔵カッターで自動的にカットする（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。プリンタードライバーを介して印刷するときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。
	OFF	
カット動作モード	通常*	カット時の動作音を低減したいときは、[静音]に設定します。[静音]に設定すると、カット速度がゆっくりになります。
	静音	
マージンリフレッシュ	ON*	ロール紙に四辺フチなし印刷後、次回フチあり印刷をしたときに、先端に付着することがある汚れ部分を自動的にカットする（[ON]）/カットしない（[OFF]）を選択します。
	OFF	
切り取り線印刷	ON*	[自動カット]が[OFF]のときに、ロール紙に切り取り線を印刷する（[ON]）/印刷しない（[OFF]）を選択します。[自動カット]が[ON]のときや単票紙、ボード紙には印刷されません。 ただし、コンピューターで指定したロール紙幅が本機にセットしているロール紙幅よりも小さいときは、[自動カット]の設定に関わらず縦の切り取り線が印刷されます。 プリンタードライバーを介して印刷するときは、プリンタードライバーの設定が有効になります。
	OFF	
ロール紙余白	標準*	[標準]にすると、余白が先端と後端15mm、左右3mmになります。 [四辺15mm]を除く各設定値の左右の余白は3mmです。 🔗 「印刷可能領域」61ページ
	先端 15mm/ 後端 15mm	
	先端 35mm/ 後端 15mm	
	先端 45mm/ 後端 15mm	
	四辺 3mm	
	四辺 15mm	

操作パネルのメニューの使い方

項目	内容	
ロール紙交換後の印刷動作	継続	交換した後のロール紙に、残りのデータを印刷する（[継続]）/印刷しない（[打ち切り]）/初めから改めて印刷する（[再印刷]）を選択します。 [再印刷] に設定していても、以下の場合には再印刷は行われません。 • Adobe PostScript 3 拡張ユニットに付属の PS Folder を使って、パスワード付き PDF の印刷をしたとき • HP-GL/2、HP RTL をエミュレーションして印刷したとき • オプションの大判複合機用スキャナーを接続して大判コピーをしたとき • A3、A4 スキャナーを接続して拡大コピーをしたとき
	打ち切り *	
	再印刷 * ³	
ロール紙自動給紙 * ¹	ON *	通常は [ON] のままでお使いください。 市販の用紙で、コシがない、あるいは滑りやすい、カールが極端に大きいなどで自動給紙に支障が生じるときは [OFF] に設定します。本設定は、用紙を全て取り外した状態で設定してください。用紙がセットされていると設定変更できません。 [OFF] に設定している間は、ロール 2 ユニットは使用できません。
	OFF	
ロール切替設定 * ¹	自動 *	使用中のロール紙が以下の状況のとき自動でロール 1 とロール 2 を切り替えて印刷する（[自動]）/ロール 1 固定で印刷する（[ロール 1]）/ロール 2 固定で印刷する（[ロール 2]）を選択します。 • ロール紙が終了し、続けて印刷するデータがあるとき。 • ロール紙残量が足りずに印刷を完了できないと予測したとき。 • 印刷ジョブの幅に対して、印刷余白が多くなるとき。 [自動] 設定時は、「ロール切替条件」の設定に従って切り替わります。
	ロール 1	
	ロール 2	

操作パネルのメニューの使い方

項目	内容		
ロール切替条件* ¹	用紙種類	種類一致*	使用中のロール紙が終了したとき、別のロール紙に切り替えて印刷をするときの条件を以下から選択します。 • [種類一致]: 印刷ジョブで指定した用紙種類と切り替え先のロール紙の用紙種類が一致するときに限り、切り替えて印刷する。 - 切り替え先に用紙種類が違うロール紙がセットされていると、エラーが表示され印刷できません。 • [無効]: 用紙種類が違って印刷する。
		無効	
	用紙長	印刷長優先*	ロール紙残量と印刷長（印刷ジョブの1ページの長さ）を考慮して切り替え処理したいときの条件を以下から選択します。ただし、用紙メニューの [ロール紙残量管理] を [OFF] に設定していると、本設定は設定値にかかわらず無効となります。 • [印刷長優先]: ロール1、ロール2ともロール紙残量が印刷長よりも長いときは、ロール紙残量が少ない方のロール紙で印刷する。どちらかのロール紙残量が印刷長よりも短いときは、ロール紙残量が印刷長よりも長い方のロール紙で印刷する。 • [残量優先]: 印刷長を考慮せずに残量が少ない方のロール紙で印刷する。 • [無効]: ロール残量や印刷長に関わらず、使用中のロール紙で印刷する。
		残量優先	
		無効	
	用紙幅	余白最適*	ロール紙幅と印刷ジョブの幅（プリンタードライバーの [原稿サイズ] の値）を考慮し、印刷余白が少なくなるロール紙を使いたいときの切り替え条件を以下から選択します。 • [余白最適]: ロール1、ロール2のロール紙幅と印刷ジョブの幅を比較し、印刷余白が少ない方のロール紙で印刷する。 • [幅一致]: 印刷ジョブの幅と一致するロール紙幅のロール紙で印刷する。 • [無効]: ロール紙の幅や印刷ジョブの幅に関わらず、使用中のロール紙で印刷する。
		幅一致	
		無効	
	ジョブの印刷優先設定* ³	使用中ロール優先	複数の印刷待ちジョブがあるとき、現在使用中のロール紙で印刷可能なジョブを優先して印刷し、その後ロール自動切り替えを行い残りのジョブを印刷する（[使用中ロール優先]）/印刷ジョブを受信した順で印刷する（[受付順]）を選択します。[受付順] 設定時は、印刷ジョブの設定によってはロール自動切り替え動作が頻繁に行われることがあり、総合的に時間がかかることがあります。
		受付順*	

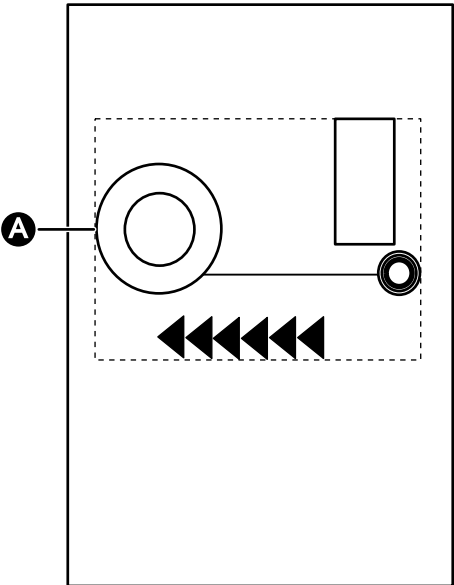
高度な設定

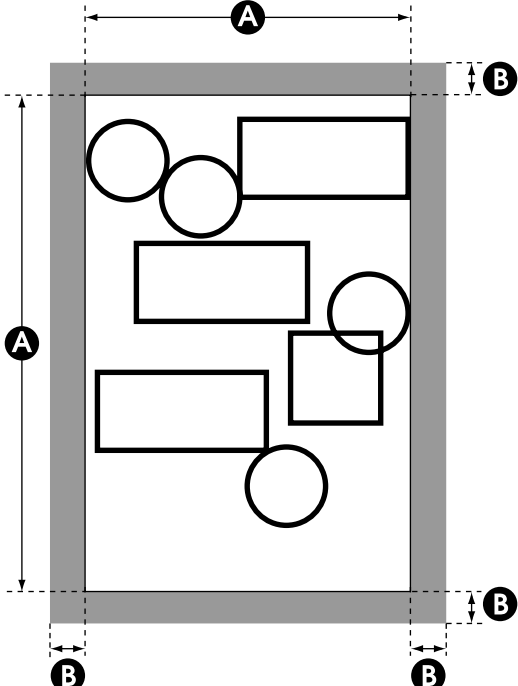
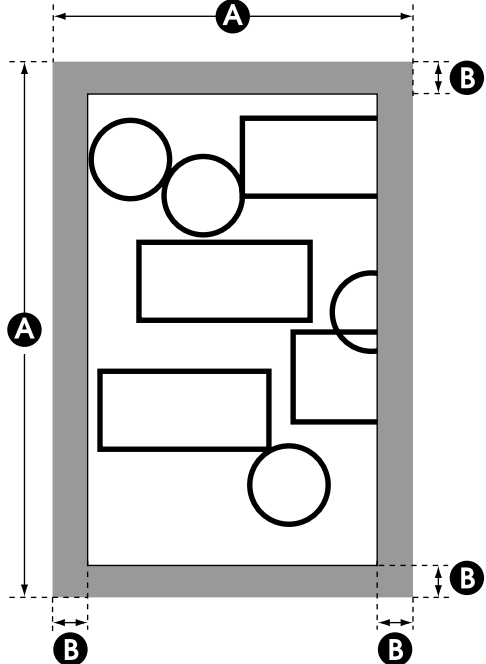
項目	内容	
ロール紙バックテンション	1～5 (3*)	用紙メニューの [ユーザー用紙設定] - [ロール紙バックテンション]、またはプリンタードライバーの [用紙調整] - [ロール紙バックテンション] で [より高い] に設定すると、本設定の値が使われます。上記 [ロール紙バックテンション] で [高い] に設定しても、印刷中に用紙にしわが発生するときは、[より高い] を選択し、本設定でバックテンションの強さを設定します。数値を大きくすると、バックテンションがより高くなります。
こすれ軽減	ON	厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。このようなときは、[ON] に設定します。用紙メニューの [ユーザー用紙設定] で設定している [プラテンギャップ設定] を一時的に変えたいときに設定します。ただし、[プラテンギャップ設定] で [より広く] に設定しているときは、本設定を [ON] にしても無効となります。
	OFF*	
ページごとの乾燥時間	OFF～60分 (OFF*)	1ページ印刷後にインクが乾燥するまで用紙送りを停止する時間を0～60分の範囲で設定します。インク濃度や用紙によっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが生じるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間は長くなります。

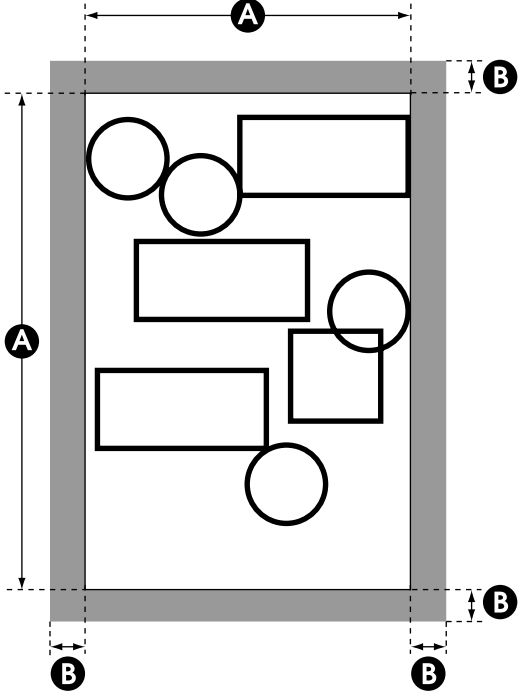
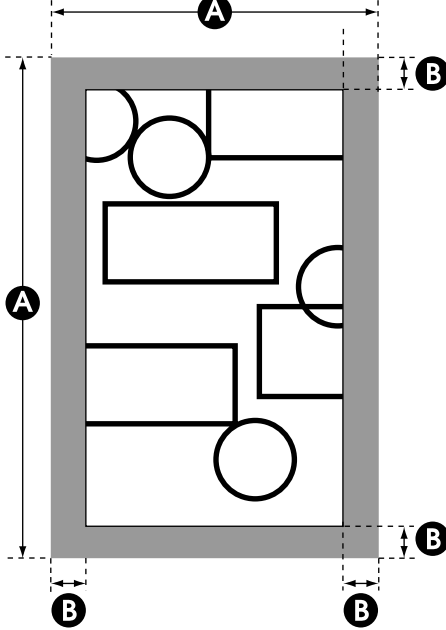
操作パネルのメニューの使い方

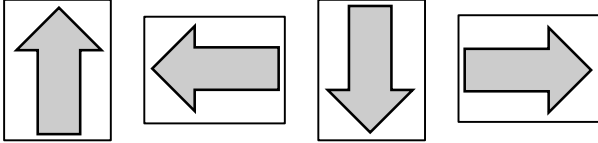
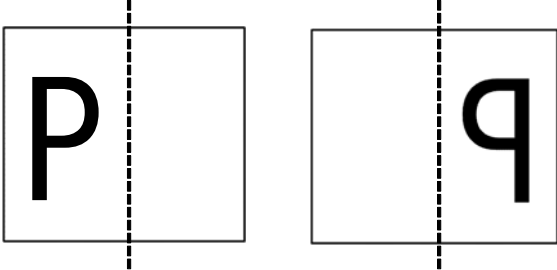
項目	内容	
用紙幅検出	ON*	用紙幅を検出する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。用紙を正しくセットしていても、用紙設定エラーが表示されるときは [OFF] に設定して印刷してみてください。ただし、[OFF] で印刷すると用紙外に印刷されることがあります。用紙外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。通常は [ON] で使用することをお勧めします。 変更した設定は、用紙をセットし直すとは有効になります。メニューの項目を変更しただけでは有効になりませんのでご注意ください。
	OFF	
斜行エラー検出	ON*	用紙が斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する（[ON]）/中止せずに続行する（[OFF]）を選択します。斜めにセットされると、用紙詰まりの原因となりますので、通常は [ON] で使用することをお勧めします。
	OFF	
保留ジョブの保存*2、*3	ON	オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着していると表示されます。用紙種類/給紙方法/出力用紙サイズ(幅)の設定が本機の設定と印刷ジョブで違っているときに、保留ジョブとして保存する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。 [OFF] にすると、給紙方法が一致しない印刷ジョブがあるとエラーが表示され、印刷が停止します。 [ON] に設定すると、エラーで印刷が停止することなく、設定が一致しない印刷ジョブはハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットに保留ジョブとして保存されます。あとで、本機にセットされている用紙を交換するなど、印刷できる状態に整えたら、印刷ジョブメニューから保留ジョブを一括して印刷再開できます。 🔗 「機能概要」65 ページ
	OFF*	
USB タイムアウト	10～600 秒（10*）	USB で本機とコンピューターを接続しているときに、印刷が途中で終了する場合は時間が長くなるように設定を変更してください。
時短カット	ON*	複数ページのジョブを印刷するときのカット動作を指定します。 [ON] にすると、次の印刷を行いながら前の印刷物の終端がカット位置に達したときにカットします。印刷とカットが並行して行われるため、印刷時間が短縮できます。 ただし、機能が有効になるのはプリンタードライバーで以下の設定をしているときです。 • [用紙種類] で普通紙/EPSON 普通紙<薄手>/EPSON 普通紙<厚手>を選択している。 • [印刷品質] の [レベル] で [速い] を選択している。 カット動作の詳細は、フチなし印刷時の [四辺フチなし 1 カット] と同様です。🔗 「ロール紙カット動作について」97 ページ [OFF] にすると、前の印刷物の終端をカット位置まで送ってカットが完了したら次の印刷を開始します。
	OFF	

HP-GL/2 設定

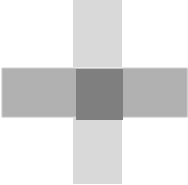
項目	内容	
印刷品質	速い	画質と印刷速度の兼ね合いで印刷品質を選択します。
	きれい*	
出力用紙サイズ	自動*	データの PS コマンドによるハードクリップ領域が基準出力サイズになります。実際の出力サイズは、[余白オプション] の設定により異なります。データに PS コマンドが含まれていないときは、印刷オブジェクトを含む最小の矩形（下図の A の領域）が基準出力サイズになります。 
	A 系 列 /US-ANSI/ US-ARCH/B 系 列 (JIS) /写真サイズ/ その他	対応する定形サイズが表示されますので、基準出力サイズを選択します。実際の出力サイズは、[余白オプション] の設定により異なります。単票紙をセットしているときは、データに PS コマンドが含まれていないときとときに限り、本設定が有効となります。PS コマンドが含まれていると、本設定は無効となり、PS コマンドによるハードクリップ領域が基準出力サイズになります。
	ユーザー用紙サイズ	定形外のサイズで出力するときに選択します。選択後、用紙幅と用紙長さを設定します。設定は、0.1mm 単位で行えます。 用紙幅 SC-T7255/SC-T7255D: 89*¹~1118mm SC-T5255/SC-T5255D: 89*¹~914mm SC-T3255: 89*¹~610mm 用紙長さ 127~4620mm 実際の出力サイズは、[余白オプション] の設定により異なります。 *1 本機で印刷できる最小用紙サイズは、用紙幅 254mm×用紙長さ 127mm です。本設定で、これより小さな値を設定したときは、不要な余白を切ってお使いください。
余白	四辺 3mm*	上下左右の余白の値を選択します。 単票紙は、設定に関わらず後端余白が 14mm になります。
	四辺 5mm	

項目	内容	
余白オプション	標準*	【出力用紙サイズ】の設定により、以下の通り余白が付加される位置が異なります。 • [自動] に設定したとき データの PS コマンドによるハードクリップ領域（下図の A の領域）の外側に、[余白] で選択した値（下図の B の領域）を付加します。  • 定形サイズや【ユーザー用紙サイズ】に設定したとき 【出力用紙サイズ】で選択したサイズ（下図の A の領域）の内側に、[余白] で選択した値（下図の B の領域）を付加し、余白を除いた領域内に納まる分だけ印刷します。 

項目	内容	
	余白を付加	【出力用紙サイズ】の設定により、以下の通り余白が付加される位置が異なります。 •【自動】に設定したとき 【標準】選択時と同様の結果になります。 •定形サイズや【ユーザー用紙サイズ】に設定したとき 【出力用紙サイズ】で選択したサイズ（下図の A の領域）の外側に、【余白】で選択した値（下図の B の領域）を付加します。実際の出力サイズは、選択したサイズ（下図の A の領域）よりも余白分大きくなります。 
	余白で切り取り	【出力用紙サイズ】の設定により、データの PS コマンドによるハードクリップ領域または【出力用紙サイズ】で選択したサイズ（下図の A の領域）の内側に【余白】で選択した値（下図の B の領域）を付加します。余白部分に印刷オブジェクトが存在するときは、切り取られて印刷されません。 

項目	内容	
回転	0°*	作図したデータの座標を反時計回りに 90°単位で回転して印刷できます。ただし、RTL で描画したオブジェクトは回転しません。 本設定と RO 命令の両方で回転が指定されたときは、両方の値の合算値分回転します。ただし、RO 命令で回転するのはオブジェクト（下図の矢印の部分）のみで、描画領域（下図の四角の部分）は回転しません。この結果、描画領域からはみ出した部分のオブジェクトは印刷されません。 0° 90° 180° 270° 
	90°	
	180°	
	270°	
ミラー印刷	ON	出力サイズの幅の中心を基準線にして、左右反転（鏡に映した状態）して印刷する（[ON]）/左右反転しないで印刷する（[OFF]）を選択します。 OFF ON  【回転】で角度を設定しているときは、回転した結果に対して左右反転しません。
	OFF*	
パレット選択	ソフトウェア*	論理ペンの色や太さが設定された以下のパレットを選択します。 • [ソフトウェア]: アプリケーションソフトで設定したペン指定に従って印刷し、本機の内蔵パレットは無視されます。 • [デフォルト]: あらかじめ設定されている本機の内蔵パレットの設定に従って印刷されます。パレットの設定内容は変更できません。内蔵パレットには、ペン幅 0.35mm で 256 色の論理ペンが設定されています。色番号に対応する色のサンプルは、付属の『Color Palette.pdf』をご覧ください。 • [パレット A] / [パレット B]: [パレット定義] で任意に設定した内蔵パレットの設定に従って印刷されます。[パレット定義] を行わないと [デフォルト] 選択時と同じ結果になります。 【デフォルト】 / 【パレット A】 / 【パレット B】 設定時は、アプリケーションソフトで設定したペン指定は無視されます。
	デフォルト	
	パレット A	
	パレット B	
パレット定義	パレット A*	16 種類の論理ペンに対して、それぞれペン幅と色を任意に設定して独自の内蔵パレットを定義できます。定義できる内蔵パレットは [パレット A] と [パレット B] の 2 種類です。定義するパレットを選択すると、続いて [ペン番号] を選択し各ペンに対して [ペン幅] と [ペン色] を定義します。色番号に対応する色のサンプルは、付属の『Color Palette.pdf』をご覧ください。 『Color Palette.pdf』は、付属のプリンタードライバーの基本設定画面の [印刷品質] で [CAD/線画 (カラー)] を選択して印刷したものをご覧ください。
	パレット B	

操作パネルのメニューの使い方

項目	内容	
線のマージ	ON	イメージ内での重なった線の交差部分をデータの MC 命令に従ってマージする（[ON]）/交差部分では、後から印刷した線を前面に出す（[OFF]）かを選択します。 ON  OFF 
	OFF*	
HDD 保存モード	印刷して保存する*	印刷ジョブをオプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットに保存するかどうかを設定します。 印刷ジョブを保存しておくと、ハードディスクからの直接再印刷や印刷ジョブの情報・状態の確認ができます。 📄 「ハードディスクドライブへの保存と再印刷（オプション）」 65 ページ 【印刷のみ】を選択すると印刷ジョブは保存されません。
	印刷のみ	
HP-GL/2 設定初期化	はい	【はい】にすると、【HP-GL/2 設定】の内容を全てメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

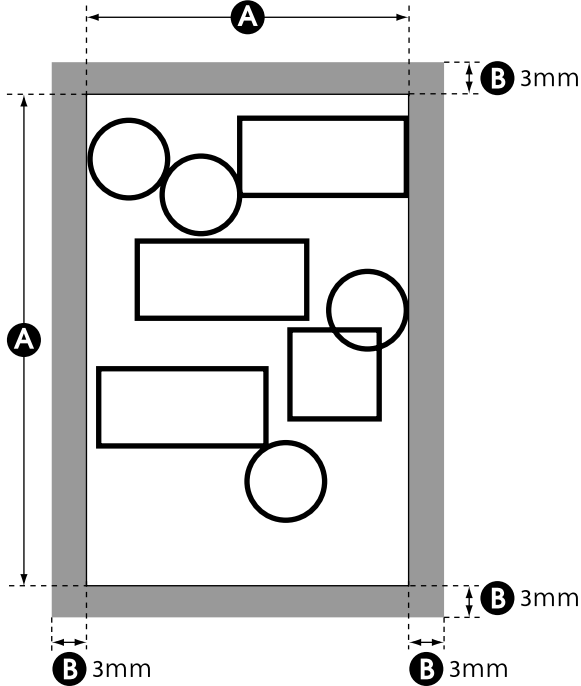
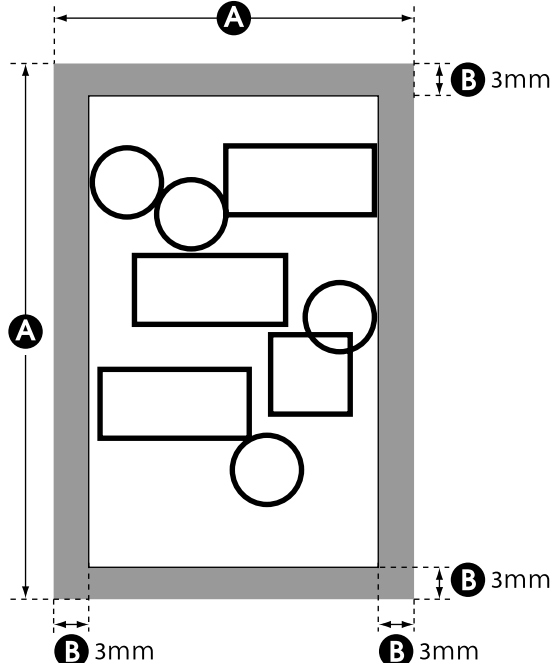
設定初期化

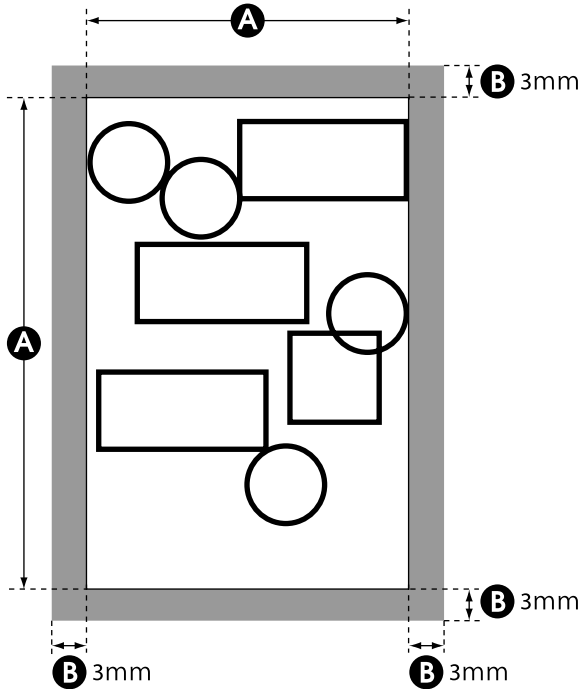
内容	
はい	【はい】にすると、【プリンター設定】の内容を全てメーカー設定値に戻します。
いいえ	

オプション設定*4

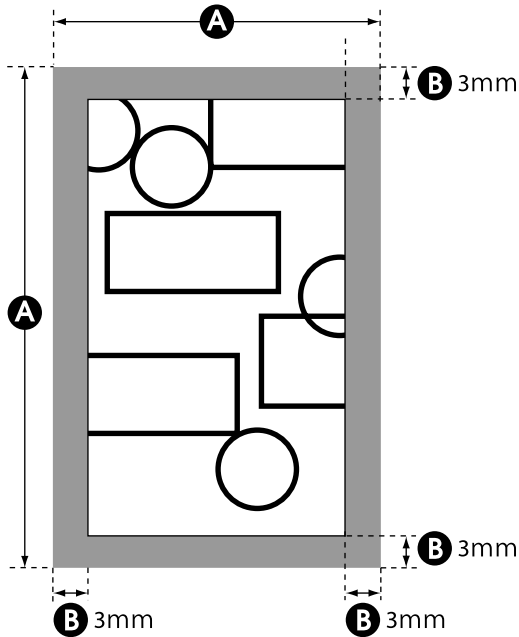
PS3 拡張ユニット

項目	内容	
バージョン	対応している PostScript のバージョンと処理可能な PDF の最新バージョンが表示されます。 PDF ファイルの文書のプロパティに表示されている PDF のバージョンが、ここに表示されたバージョン以下なら処理ができます。	
PS ステータスシートの印刷	【OK】ボタンを押すと、Adobe PostScript 3 拡張ユニットの情報が印刷されます。	
出力用紙サイズ	自動	印刷時の用紙サイズを選択します。 【自動】にすると、印刷データのサイズで印刷されます。実際の出力サイズは、余白の設定により異なります。 定形サイズや【ユーザー用紙サイズ】にすると、全て選択した用紙サイズに自動で拡大、縮小されて印刷されます。 お使いの機種によって、選択できる用紙サイズが異なります。 印刷データ作成時に、用紙サイズを A4 で作成したときの各設定の動作は以下の通りです。 【自動】に設定したとき：A4 の外側に余白が付加された用紙サイズで印刷されます。 【A4】に設定したとき：A4 を A4 の印字領域に縮小した用紙サイズで印刷されます。
	A 系列（A4*）/US-ANSI/US-ARCH/B 系列（JIS）/写真サイズ/その他	
	ユーザー用紙サイズ	

項目	内容	
余白オプション	標準*	「出力用紙サイズ」の設定により、以下の通り余白が付加される位置が異なります。 • [自動] に設定したとき 作成したときのデータサイズ（用紙サイズや画像サイズ。下図の A の領域）の外側に、3mm の余白（下図の B の領域）を付加します。  • 定形サイズや [ユーザー用紙サイズ] に設定したとき 「出力用紙サイズ」で選択したサイズ（下図の A の領域）の内側に、3mm の余白（下図の B の領域）を付加し、余白を除いた領域内に納まるように拡大/縮小して印刷します。 

項目	内容	
	余白を付加	【出力用紙サイズ】の設定により、以下の通り余白が付加される位置が異なります。 •【自動】に設定したとき 【標準】選択時と同様の結果になります。 •定形サイズや【ユーザー用紙サイズ】に設定したとき 【出力用紙サイズ】で選択したサイズ（下図の A の領域）の外側に、3mm の余白（下図の B の領域）を付加します。実際の出力サイズは、選択した出力用紙サイズ（下図の A の領域）よりも余白分大きくなります。 作成したデータサイズが出力用紙サイズに収まらないときは、縮小して印刷します。 

操作パネルのメニューの使い方

項目	内容	
	余白で切り取り	【出力用紙サイズ】の設定により、作成したときのデータサイズ（用紙サイズや画像サイズ）または【出力用紙サイズ】で選択したサイズ（下図の A の領域）の内側に 3mm の余白（下図の B の領域）を付加します。余白部分に印刷オブジェクトが存在するときは、切り取られて印刷されません。 出力用紙サイズの設定を定形サイズやユーザー用紙サイズに設定しているときは、作成したデータサイズが出力用紙サイズに収まらないときは、縮小して印刷します。ただし、縮小した結果、余白の領域にかかる印刷オブジェクトは切り取られて印刷されません。 
印刷品質	速い	画質と印刷速度の兼ね合いで印刷品質を選択します。
	標準*	
	きれい	
カラーモード	カラー*	カラー印刷するかモノクロに変換して印刷するかを選択します。本機で設定している用紙種類によっては、表示されません。SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのときは、現在使用中のロール紙の用紙種類によります。
	モノクロ	
ドット補正	ON	用紙種類が、PX マット紙ロール<薄手>と普通紙ロール<薄手>、普通紙ロールに設定されているときに限り表示されます。 SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのときは、現在使用中のロール紙の用紙種類によります。 CAD などから印刷した線に途切れや潰れがあるときは、[ON] に設定すると低減できることがあります。
	OFF*	
CMYK シミュレーション	SWOP v2/US Web Uncoated v2/US Sheetfed Coated v2/US Sheetfed Uncoatedv2/Coated GRACoL 2006/SWOP Grade 3 Paper/SWOP Grade 5 Paper/Coated FOGRA27/Web Coated FOGRA28/Uncoated FOGRA29/Coated FOGRA39/Euroscale Coated v2 */Euroscale Uncoated v2/JapanWebCoated (Ad)/JapanColor2001Coated/JapanColor2001Uncoated/JapanColor2002Newspape/JapanColor2003WebCoate/EPSON_TOYO/EPSON_DIC/OFF	
		オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷するときに、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 [OFF] に設定すると、シミュレーションしません。

操作パネルのメニューの使い方

項目	内容	
RGB ソース	sRGB	RGB データを印刷する際に、シミュレーションする RGB の色空間を選択できます。 [OFF] に設定すると、シミュレーションしません。
	Adobe RGB (1998)*	
	Apple RGB	
	ColorMatch RGB	
	OFF	
レンダリングインテント	絶対的な色域を維持	CMYK シミュレーションと RGB シミュレーションを行う際の色空間の変換方法（レンダリングインテント）を以下の 4 種から選択します。 • [絶対的な色域を維持] : 元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。色の正確さが重視されるロゴカラーの印刷などに適しています。 • [相対的な色域を維持] : 元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。 • [知覚的] : 視覚的に自然なイメージになるように変換します。写真画像に適しています。 • [彩度] : 色の正確さよりも色の鮮やかさを重視して変換します。グラフや図表など、明るい色使いが好まれるビジネスグラフィックスに適しています。
	相対的な色域を維持	
	知覚的*	
	彩度	
黒点補正	ON	広い色空間から狭い色空間に変換したとき、シャドウが潰れると感じるときは [ON] に設定してください。
	OFF*	
自動回転	ON	印刷データを自動で右に 90°回転して印刷する（[ON]）/回転せずに印刷する（[OFF]）かを選択します。
	OFF*	
ハードディスクへのキャッシュ	ON	通常は [OFF] のままお使いください。印刷中にデータ展開待ちでプリントヘッドが頻繁に停止するようなときは、[ON] にしてください。
	OFF*	
PS エラーシート	ON	印刷時に PostScript エラーが発生したり、PDF ファイルの印刷時にエラーが発生したりしたときに、エラー状態を記載したシートを印刷する（[ON]）/印刷しない（[OFF]）を選択します。
	OFF*	
HDD 保存モード	印刷して保存する*	印刷ジョブをオプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットに保存するかどうかを設定します。印刷ジョブを保存しておくと、ハードディスクからの直接再印刷や印刷ジョブの情報・状態の確認ができます。 🔗 「ハードディスクドライブへの保存と再印刷（オプション）」 65 ページ [印刷のみ] を選択すると印刷ジョブは保存されません。
	印刷のみ	

ステータスの確認

項目	内容	
ファームウェアバージョン	XXXXXXX.X.XX,XXXX	本機のファームウェアバージョンを表示します。 オプションの自動巻き取りユニットを装着していると、本機のファームウェアバージョンの下に自動巻き取りユニットのファームウェアバージョンが表示されます。 また、オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着していると、最後に Adobe PostScript 3 拡張ユニットの管理バージョンが 2 つ表示されます。
オプションの接続状態	接続され、使用可能な状態のオプションの名称が表示されます。	
総印刷面積の表示	XXXXXXm ²	総印刷面積（6 桁まで）を表示します。
プリンタステータスの印刷	【OK】ボタンを押すと、現在の本機の設定状態の一覧が印刷されます。個々の情報を一括して確認でき便利です。	

ネットワーク設定

項目	内容	
IP アドレス設定	自動*	IP アドレスの設定を DHCP を使用して行う（[自動]）/ 手動で行う（[パネル]）を選択します。[パネル] では、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定します。それぞれの値は、システム管理者にお尋ねください。
	パネル	
IPv6 設定	有効	IPv6 機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効*	
IPsec 設定	有効	IPsec 機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効*	
Pre-Shared Key 設定	Pre-Shared Key を半角英数字・記号 20 文字以内で入力します。	
IEEE802.1X 設定	有効	IEEE802.1X 機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効*	
HTTPS リダイレクト設定	有効	HTTP の HTTPS への自動リダイレクト機能を有効にするか、無効にするかを選択します。
	無効*	
ネットワーク設定の印刷	【OK】ボタンを押すと、現在の［ネットワーク設定］の一覧が印刷されます。ネットワーク設定の個々の情報を一括して確認できます。	
ネットワーク設定初期化	はい	［はい］にすると、［ネットワーク設定］の内容を全てメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

エコ設定

項目	内容	
スリープモード移行時間	5～210 分（15*）	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続いたときは、自動的にスリープモードに移行します。本設定では、スリープモードに移行するまでの時間を選択します。 🔗 「電源オフタイマーによる電源の切断」 63 ページ
電源オフタイマー	OFF*	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作が何も行われない状態が続くとき、時間を設定して自動で本機の電源を切ることができます。 電源が切れるまでの時間は、1～24 時間の範囲を 1 時間単位で設定できます。 自動で電源を切りたくないときは、[OFF] にします。
	1～24 時間	
設定初期化	はい	[はい] にすると、[エコ設定] の内容を全てメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

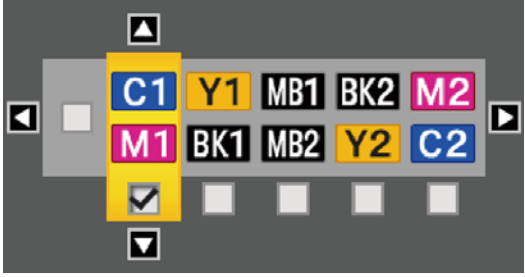
環境設定

項目	内容	
表示言語/Language	日本語*, English, French, Italian, German, Portuguese, Spanish, Dutch, Russian, Korean, Chinese	操作パネルの画面の表記言語を選択します。
長さ単位	m*	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を選択します。
	ft/in	
アラートランプ設定	ON*	エラーが発生したときに、大型アラートランプを点灯する（[ON]）/ 点灯しない（[OFF]）を設定します。
	OFF	

管理者メニュー

項目		内容	
パスワード変更		管理者パスワードを、半角英数字・記号 20 文字以内で入力します。 管理者メニュー表示時にパスワード入力が求められます。正しく入力しないと管理者メニューが表示できないため、担当以外の方が意図せず設定を変更することがなくなります。 パスワードは忘れないように管理してください。 万一、設定したパスワードを忘れたときは、エプソンサービスコールセンターにご相談ください。🔗 「お問い合わせ先」 218 ページ	
操作制限	ネットワーク設定	パスワードで管理する	操作パネルや Remote Manager から [ネットワーク設定] を実行しようとするとき、管理者パスワードの入力を求めるか、求めないかを選択します。
		パスワードで管理しない*	

操作パネルのメニューの使い方

項目		内容
強力ヘッドクリーニング		 印刷したチェックパターンで確認した、かすれや欠けがあるパターンの記号を選択します。左端のチェックボックスにチェックを付けると、全てのノズルが選択されます。
HDD フォーマット* 3	非セキュア高速	確認メッセージが表示されるので、承諾すると本機に装着しているオプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット（以降、総称してハードディスクと記載します）をフォーマットします。フォーマットは、以下の 3 種類から選択できます。 • [非セキュア高速]: ハードディスクに保存されているデータのファイル管理情報が消去されます。別のプリンターで使用していたハードディスクを本機に付け替えて使用するときにも行います。 • [セキュア（高速）]: ハードディスク全体に文字パターンをランダムに上書きします。[非セキュア高速] よりも安全にデータを消去できます。ただし、特殊なデータ復元ツールを使用した場合は、データが復元される可能性があります。 • [セキュア（サニタイジング）]: 米国国防省基準（DoD5220-22m）に準拠したアルゴリズムを使用して 00/FF/ランダムデータを上書きしチェックします。フォーマットが完了するまでの時間は最もかかりますが、最も安全にデータを消去できます。機密性の高いデータを消去するときに選択してください。 [セキュア（高速）]、[セキュア（サニタイジング）] を実行すると、Copy Manager で登録したアドレス帳の内容も全て消去されます。
	セキュア（高速）	
	セキュア（サニタイジング）	
プリンターモード	自動*	通常は [自動] のままお使いください。送られた印刷データを判別して、自動で動作モードを切り替えます。ただし、動作モードの切り替えが正しく行われずに印刷が正常に実行されないときは、使用する動作モードに設定してください。
	PostScript*4	
	HP-GL/2	
日時設定		YY/MM/DD HH:MM 内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時間は、ジョブ履歴やプリンタステータスの印刷時に使用されます。
タイムゾーン		GMT との時差を入力して地方標準時を設定します。 ここで設定した時刻は、Remote Manager のメール通知機能で本機のエラー発生時にメール送信するときの送信時刻などに使われます。
PS 情報の初期化*4		はい いいえ 【はい】にすると、Adobe PostScript 3 拡張ユニットのユーザー領域に保存されているユーザーフォントとユーザー ICC プロファイルが初期化されます。初期化すると保存されていたデータは消失します。
全設定の初期化		はい いいえ 【はい】にすると、セットアップメニューの日時設定、表示言語/Language、長さ単位を除く全ての設定をメーカー設定値に戻します。Copy Manager で登録したアドレス帳の内容も全て消去されます。

拡大コピーメニュー

拡大コピーメニューは、A3、A4 スキャナーを接続したときに限り表示されます。

対応スキャナーは、エプソンのウェブサイトでご確認ください。

www.epson.jp

* はメーカー設定値です。

項目			内容	
カラー/モノクロ			カラー*	拡大コピーをカラーで行うかグレースケールで行うかを選択します。
			グレースケール	
自動拡大	A3->自動、B4->自動、A4->自動*、 B5->自動、A5->自動、ハガキ->自動、KG->自動、L判->自動、A4/2->長尺（自動）		フチあり*	矢印の左側が原稿サイズです。原稿サイズを、本機にセットされているロール紙の幅に合わせて拡大コピーします。最大拡大サイズは 914mm（36 インチ）です。SC-T7255/SC-T7255D で 36 インチより大きなロール紙をセットしているときも 36 インチまでの拡大となります。 余白（フチ）を取らずに用紙全面に印刷するときは、 〔フチなし〕を選択します。ただし、普通紙ロールをセットしているときはフチなしが非対応のため、この項目は表示されません。 お使いのスキャナーにより、表示されるサイズが異なります。
			フチなし	
	その他の倍率	原稿サイズを選択	A3、B4、A4*、 B5、A5、ハガキ、 KG、L判	倍率を任意に指定してコピーするときの、コピー元の原稿文書のサイズを選択します。 お使いのスキャナーにより、表示されるサイズが異なります。
		出力サイズを選択	A0、B1、A1*、 B2、A2、A0（2 枚出力）	倍率を任意に指定してコピーするときの、出力サイズを選択します。 〔A0（2 枚出力）〕は SC-T3255 でのみ表示されます。 〔 A0 〕は SC-T7255/SC-T7255D/SC-T5255/SC-T5255D でのみ表示されます。
		フチあり/なし	フチあり*	余白（フチ）を取らずに用紙全面に印刷するときは、 〔フチなし〕を選択します。 普通紙ロールをセットしているときはフチなしが非対応のため、この項目は表示されません。
			フチなし	
		コピー品質		
きれい				
コピー濃度			薄い～濃いを 5 段階で設定	コピー結果の濃度を調節します。

大判コピー・大判スキャンメニュー

本機に、オプションの大判複合機用スキャナーを接続したときに限り表示されます。

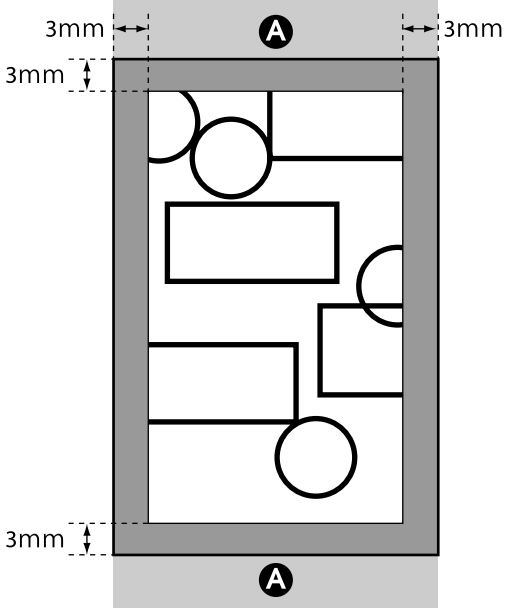
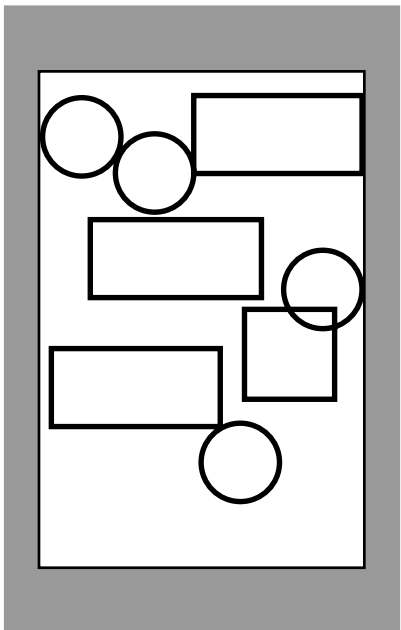
🔗 [「大判複合機用スキャナーを使った大判コピーと大判スキャン（オプション）」 69 ページ](#)

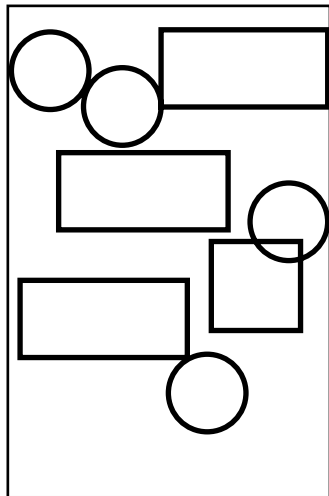
*1：SC-T7255D/SC-T5255D のみ *2：SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 のみ *3：オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時に表示される *4：オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニット装着時に表示される

*はメーカー設定値です。

コピー設定

項目		内容	
給紙方法		ロール紙（またはロール 1* 1） *	コピー印刷を行う給紙方法を選択します。 [ロール自動] を選択すると、印刷余白が少なくなる用紙幅のロールを自動で選んで印刷します。
		ロール 2*1	
		ロール自動*1	
		単票紙	
倍率	倍率設定*	25～400%（100*）	任意でコピー倍率を指定する（[倍率設定]）/セットしているロール紙幅に合わせて自動で拡大/縮小する（[自動]）かを選択します。
	自動		
カラー/モノクロ		カラー*	カラーの原稿をコピーし、カラーのまま印刷するか、グレースケールで印刷するかを選択します。
		グレースケール	
原稿タイプ		文字・線画*	セットした原稿に合わせて、種類を選択します。
		トレーシングペーパー	
		再生紙	
		青焼き	
		青焼き反転	
		ポスター・チラシ	
原稿幅設定	自動*		通常は、[自動] のまま使用します。ただし、原稿によっては、[自動] に設定していても正しく幅検出できないことがあります。このようなときは、定形サイズ等から任意に幅を指定してください。 お使いの機種によって表示されないサイズがあります。
	A 系列、US-ANSI、US-ARCH、B 系列（JIS）、B 系列（ISO）	対応するサイズが表示されます。	
	cm	20～90cm（20*）	
	inch	8～36in（8*）	
コピー品質		速い*	コピー印刷の品質を選択します。 [きれい] は品質を優先するため、印刷速度が遅くなります。 お使いの用紙によっては、メーカー設定値が [きれい] になります。
		きれい	

項目	内容	
余白オプション	余白で切り取り *	コピーで読み取った領域の内側に上下、左右とも 3mm ずつ余白を付けて印刷します。(下図参照) 余白部分に画像が存在するときは、印刷されません。 〔ロール紙余白〕を〔四辺 3mm〕以外に設定しているときは、設定している先端余白、後端余白の値から 3mm 除いた値の余白が領域の外側に付きます。 例えば、〔先端 15mm/後端 15mm〕に設定しているときは、下図の A 部分に 12mm ずつ余白が付きます。 
	余白を付加	コピーで読み取った領域の外側に〔ロール紙余白〕で設定している余白を付けて印刷します。(下図参照) 

項目	内容	
	フチなし	コピーで読み取った領域のまま印刷します。(下図参照) 「ロール紙余白」の設定は無効になります。 
濃度	-3～3 レベル (0*)	コピー濃度を設定します。－は薄く＋は濃くなります。
コントラスト	-3～3 レベル (0*)	コントラストを設定します。－は弱く＋は強くなります。
背景除去	-3～3 レベル (0*)	背景除去の調整値を設定します。色付きの原稿や薄い用紙の原稿をコピーしたとき写り込んだ背景を除去するときに設定します。－は弱く＋は強くなります。
シャープネス	-3～3 レベル (0*)	シャープネスを設定します。－は弱く＋は強くなります。

スキャン設定^{*3}

項目	内容	
カラー/モノクロ	カラー*	カラーの原稿をカラーのままスキャンするか、グレースケールやモノクロ2値に変換してスキャンするかを選択します。
	グレースケール	
	モノクロ2値	
原稿タイプ	文字・線画*	セットした原稿に合わせて、種類を選択します。
	トレーシングペーパー	
	再生紙	
	青焼き	
	青焼き反転	
	ポスター・チラシ	

操作パネルのメニューの使い方

項目		内容	
原稿幅設定	自動*		通常は、[自動] のまま使用します。ただし、原稿によっては、[自動] に設定していても正しく幅検出できないことがあります。このようなときは、定形サイズ等から任意に幅を指定してください。 お使いの機種によって表示されないサイズがあります。
	A 系列、US-ANSI、US-ARCH、B 系列 (JIS)、B 系列 (ISO)	対応するサイズが表示されます。	
	cm	20～90cm (20*)	
	inch	8～36in (8*)	
保存形式		JPEG*	スキャンした画像の保存ファイル形式を選択します。
		PDF	
		TIFF	
解像度		100dpi	スキャン時の解像度を選択します。
		200dpi	
		300dpi	
		360dpi*	
		400dpi	
		600dpi	
圧縮率		高い	スキャンした画像を保存するときの圧縮率を選択します。
		標準*	
		低い	
濃度		-3～3 レベル (0*)	スキャン濃度を選択します。－は薄く＋は濃くなります。
コントラスト		-3～3 レベル (0*)	コントラストを設定します。－は弱く＋は強くなります。
背景除去		-3～3 レベル (0*)	背景除去の調整値を設定します。色付きの原稿や薄い用紙の原稿をスキャンしたとき写り込んだ背景を除去するときに設定します。－は弱く＋は強くなります。
シャープネス		-3～3 レベル (0*)	シャープネスを設定します。－は弱く＋は強くなります。

メンテナンス

プリントヘッドの調整

印刷物に白い線が入る、印刷が汚いなど、印刷結果に問題があるときは、プリントヘッドの調整が必要です。本機には、プリントヘッドを良好な状態に保ち最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

印刷結果や状況に応じて、該当するメンテナンスを実行してください。

ノズルの目詰まりチェック

本機をしばらく使わなかったときや大切な印刷物を印刷する前には、ノズルチェックパターンを印刷しノズルの目詰まりチェックを行います。印刷されたチェックパターンを目視で確認してかすれたり、欠けたりしているときはヘッドクリーニングを実行します。

プリントヘッドのクリーニング

印刷がかすれるときや、欠けるときに行います。プリントヘッドの表面を清掃する機能です。クリーニングのレベルに応じて標準のヘッドクリーニングと強力ヘッドクリーニングの2種類があります。

☞ [「プリントヘッドのクリーニング」166 ページ](#)

通常は、標準のヘッドクリーニングを行います。標準のヘッドクリーニングを数回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されないときは、強力ヘッドクリーニングを行います。

プリントヘッド位置の調整（ギャップ調整）

罫線がずれる、または印刷結果に粒状感が出るときは、ギャップ調整を行います。ギャップ調整は、印刷時のプリントヘッドのズレを補正する機能です。

☞ [「印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）」168 ページ](#)

ノズルの目詰まりチェック

ノズルチェックはコンピューターと本機のどちらからも行えます。

コンピューターから行う

ここでは Windows を例に説明します。

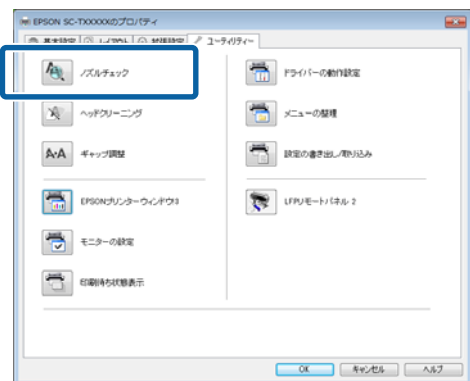
Mac OS X では、[Epson Printer Utility 4] を使用します。

☞ [「Epson Printer Utility 4 の機能」126 ページ](#)

- 1 **A4 サイズ以上の単票紙またはロール紙をセットします。**

使用する用紙に合わせて、給紙方法や用紙種類を正しく設定します。

- 2 プリンタードライバーの【プロパティ】（または【印刷設定】）- 【ユーティリティ】タブで【ノズルチェック】をクリックします。



- 3 **【印刷】をクリックします。**
ノズルチェックパターンが印刷されます。

- 4 **印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**

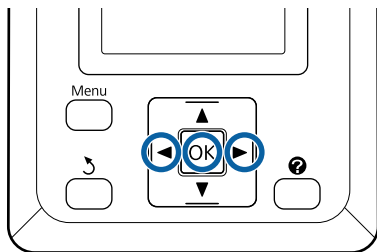
問題がないとき：[終了] をクリック

問題があるとき：[クリーニング] をクリック

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングするときは、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

本機から行う

以下の操作で使用するボタン



- 1 **A4 サイズ以上の単票紙またはロール紙をセット**します。

使用する用紙に合わせて、給紙方法や用紙種類を正しく設定します。

- 2 **印刷可能な状態であることを確認します。【A・A】**ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

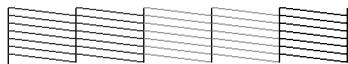
- 3 **【ノズルチェック】が選択されていることを確認し、【OK】ボタンを押します。**

確認のメッセージが表示されます。

- 4 **【OK】ボタンを押すとチェックパターンの印刷が始まります。**

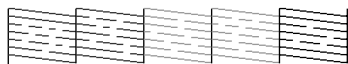
以下を参考に、印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



ノズルチェックパターンが欠けていません。

目詰まりしているときの例



ノズルチェックパターンが欠けているときは、[ヘッドクリーニング]を選択してヘッドクリーニングを行ってください。📖 [「プリントヘッドのクリーニング」166 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニング

ヘッドクリーニングはコンピューターと本機のどちらからでも行えますが、実行できる内容は以下のように異なります。

- コンピューターから行う
全てのノズルを一括してヘッドクリーニングします。
- 本機から行う
全てのノズルを一括してヘッドクリーニングするほかに、印刷したノズルチェックパターンで問題があったノズルを選択してヘッドクリーニングできます。

ヘッドクリーニングのご注意

ヘッドクリーニングを行う際は、以下の点にご留意ください。

- ヘッドクリーニングは、文字がかすれる、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は必要ありません。ヘッドクリーニングの際には、インクが消費されます。
- 全てのノズルをヘッドクリーニングすると、全色のインクが消費されます。モノクロ印刷などでブラック系のインクだけ使っているときも、カラーインクを消費します。
- 短期間にヘッドクリーニングを繰り返すと、メンテナンスボックス内のインク蒸発が少ないためメンテナンスボックスのインクがすぐにいっぱいになる可能性があります。メンテナンスボックスの空き容量が少ないときは予備を用意しておいてください。
- 連続して数回ヘッドクリーニングしても目詰まりが解消しないときは、強力ヘッドクリーニングの実行をお勧めします。
- 強力ヘッドクリーニングは、標準のヘッドクリーニングよりもインクを多く消費します。事前にインク残量を確認し、インク残量が少ないときは新しいインクカートリッジを用意してから実行してください。
- 強力ヘッドクリーニングをしても目詰まりが解消しないときは、本機の電源を切って一晩以上放置してください。時間を置くことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。それでも改善されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。

ヘッドクリーニングの方法

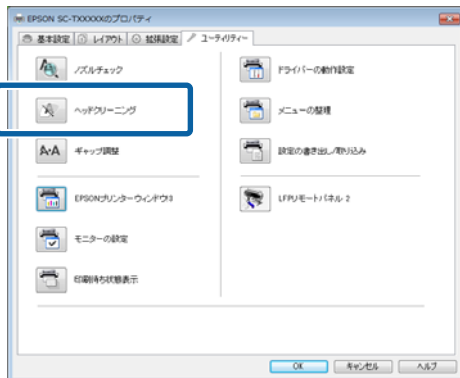
コンピューターから行う

ここでは Windows を例に説明します。

Mac OS X では、[Epson Printer Utility 4] を使用します。

🔗 [「Epson Printer Utility 4 の使い方」125 ページ](#)

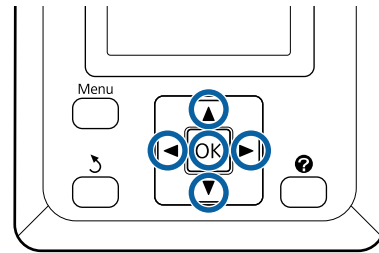
- 1 プリンタードライバーの【プロパティ】（または【印刷設定】） - 【ユーティリティ】タブで【ヘッドクリーニング】をクリックします。



- 2 【スタート】をクリックします。
ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1~10 分掛かります。
- 3 【ノズルチェックパターン】をクリックします。
印刷されたノズルチェックパターンを確認してください。
ノズルチェックパターンが欠けているときは、【クリーニング】をクリックします。

本機から行う

以下の操作で使用するボタン



- 1 印刷可能な状態であることを確認します。【A>A】ボタンを押します。
メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【ヘッドクリーニング】を選択し、【OK】ボタンを押します。
クリーニング列の選択が表示されます。
- 3 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。
【◀】 / 【▶】 ボタンを押して、チェックパターンで、かすれや欠けがあるパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【▼】 / 【▲】 ボタンを押してチェックを付けます。
ノズル列は複数チェックを付けて選択できます。
左端のチェックボックスにチェックを付けると全ノズルが選択されます。
- 4 【OK】ボタンを押すと、確認のメッセージが表示されます。【OK】ボタンを押すと、ヘッドクリーニングが開始されます。
ヘッドクリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。
- 5 チェックパターンを印刷して、目詰まりの状態を確認するときは、【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【ノズルチェック】を選択し【OK】ボタンを押します。
ノズルチェックをしないときは、【終了】を選択し【OK】を押します。

印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）

印刷結果で罫線がずれたり、粒状感が目立ったりするときは、ギャップ調整をして印刷位置のズレを調整してください。

本機は、プリントヘッドを移動しながらインク滴を飛ばして印刷します。用紙表面とプリントヘッドの間にはわずかな距離（ギャップ）があり、用紙厚や温度・湿度の変化、プリントヘッド移動時の慣性力などによって、インク滴の到達位置（印刷位置）にズレが生じます。

ギャップ調整は、コンピューターと本機のどちらからでもできますが、内容は以下のように異なります。

コンピューターから行う

自動調整（Bi-D）を行います。セットした用紙に調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、最適な調整値を本機に登録します。調整が終了するまでに約 30 分かかります。

ほぼこの調整だけで問題がなくなり、簡単に手軽にできるため、通常はこの方法をお勧めします。ただし、単票紙や自動ギャップ調整非対応の用紙でギャップ調整したいときや自動調整しても、完全に改善されないと感じるときは本機の操作パネルから手動調整をしてください。

☞ [「コンピューターから行う」169 ページ](#)

本機から行う

自動、手動のどちらかを選択して調整できます。自動調整をしても完全に改善されないと感じるときは、手動調整を行います。

• 自動調整

自動調整には、自動（Bi-D）と自動（Uni-D）の 2 種類があります。自動（Bi-D）は、コンピューターから行う自動調整と同じ調整ができます。どちらの調整も、終了するまでに約 30 分かかります。

自動調整するときは、まず [自動（Bi-D）] で調整します。

すでにコンピューターからギャップ調整を行っているときや [自動（Bi-D）] で調整した結果に満足しないときは、[自動（Uni-D）] を実行します。[自動（Uni-D）] で調整した結果に満足しないときは、[手動（Bi-D）] で調整します。

• 手動調整

単票紙や自動ギャップ調整非対応の用紙でギャップ調整したいとき、または自動調整を行っても完全に改善されないと感じるときに行ってください。

用紙に印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を入力します。調整パターンの印刷には、

4～11 分程かかります。所要時間は、セットしている用紙の幅によって異なります。

手動調整するときは、まず [手動（Bi-D）] で調整し、調整した結果に満足しないときは、[手動（Uni-D）] で調整します。

☞ [「本機から行う」169 ページ](#)

ギャップ調整時のご注意

本機にセットした用紙に合わせて調整されます。

実際に調整が必要な用紙を正しくセットして、必ず [用紙種類選択] を行ってください。

調整できる最小用紙サイズは、A4 サイズです。

☞ [「ロール紙のセットと取り外し」27 ページ](#)

☞ [「単票紙のセットと取り外し」37 ページ](#)

市販用紙で調整するときは、あらかじめユーザー用紙設定をしてください。

☞ [「エプソン製以外の用紙に印刷する前に」209 ページ](#)

ノズルが目詰まりしていない状態で実施してください。

ノズルが目詰まりしていると、正しく調整されません。チェックパターンを印刷し目視で確認して、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。

☞ [「ノズルの目詰まりチェック」165 ページ](#)

自動調整できない用紙があります。

市販用紙は、適切に自動調整できないことがあります。エプソン専用紙で適切に自動調整ができないものは、以下をご覧ください。

☞ [「エプソン製専用紙一覧」198 ページ](#)

自動調整できない用紙を使用するときは、手動調整してください。

☞ [「本機から行う」169 ページ](#)

自動調整時は、外部からの光（直射日光など）が本機内部に入らないようにしてください。

本機のセンサーで調整パターンを正しく読み取れないことがあります。本機内部に光が入らないようにしても自動調整ができないときは、手動調整してください。

☞ [「本機から行う」169 ページ](#)

コンピューターから行う

作業前に以下を必ずお読みください。

🔗 [「ギャップ調整時のご注意」 168 ページ](#)

ここでは Windows を例に説明します。

Mac OS X では、Epson Printer Utility 4 を使用します。

🔗 [「Epson Printer Utility 4 の使い方」 125 ページ](#)

1 ロール紙をセットします。

使用する用紙に合わせて、用紙種類を正しく設定します。

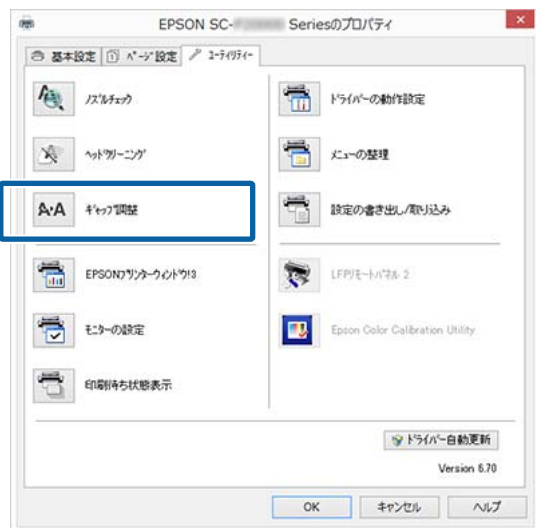
🔗 [「ロール紙のセットと取り外し」 27 ページ](#)

🔗 [「用紙設定の確認と設定変更」 43 ページ](#)

市販用紙で調整するときは、事前にユーザー用紙設定を行ってください。

🔗 [「エプソン製以外の用紙に印刷する前に」 209 ページ](#)

2 プリンタードライバーの【プロパティ】（または【印刷設定】） - 【ユーティリティ】タブで【ギャップ調整】をクリックします。



以降は、画面の指示に従ってください。

調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、最適な調整値を本機に自動で登録します。

粒状感や罫線ズレが気になった画像を印刷し直して、調整結果を確認してください。

調整結果に満足できないときは、本機から【自動 (Uni-D)】または手動調整を行ってください。

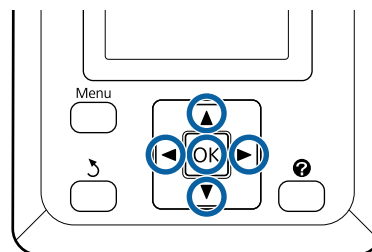
🔗 [「本機から行う」 169 ページ](#)

本機から行う

作業前に以下を必ずお読みください。

🔗 [「ギャップ調整時のご注意」 168 ページ](#)

以下の操作で使用するボタン



1 実際に調整が必要な用紙を正しくセットして、必ず【用紙種類選択】を行ってください。

🔗 [「ロール紙のセットと取り外し」 27 ページ](#)

🔗 [「単票紙のセットと取り外し」 37 ページ](#)

🔗 [「用紙設定の確認と設定変更」 43 ページ](#)

市販用紙で調整するときは、事前にユーザー用紙設定を行ってください。

🔗 [「エプソン製以外の用紙に印刷する前に」 209 ページ](#)

2 印刷可能な状態であることを確認します。【◀】 / 【▶】 ボタンを押して、 を選択し【OK】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

3 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【ギャップ調整】を選択し、【OK】 ボタンを押します。

4 目的の調整項目を選択して【OK】 ボタンを押します。

【自動】の調整を選択したときは、調整パターンを印刷しながら自動的にギャップ調整されます。調整が終了すると、印刷可能画面に戻ります。

【手動】の調整を選択したときは、手順 5 に進み調整パターンを見て調整値を設定します。

5 調整パターンが印刷されます。

手動 Bi-D の場合

2 色または 4 色×3 行が 1 ブロックの調整パターンがセットしている用紙幅に応じて、横方向に 1～5 ブロック印刷されます。各色のパターンの上に色の略号が印刷されています。

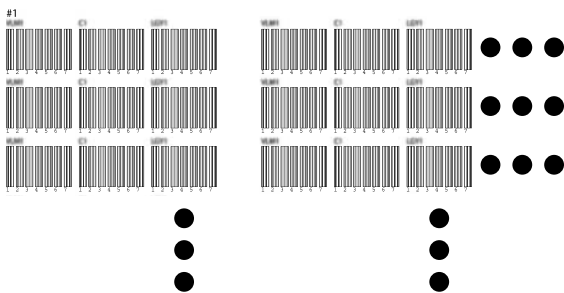
縦方向には、4 ブロック印刷され「#1」～「#4」で区分されています。

手動 Uni-D の場合

3 色×3 行が 1 ブロックの調整パターンがセットしている用紙幅に応じて、横方向に 1～5 ブロック印刷されます。各色のパターンの上に色の略号が印刷されています。

縦方向には、4 ブロック印刷され「#1」～「#4」で区分されています。

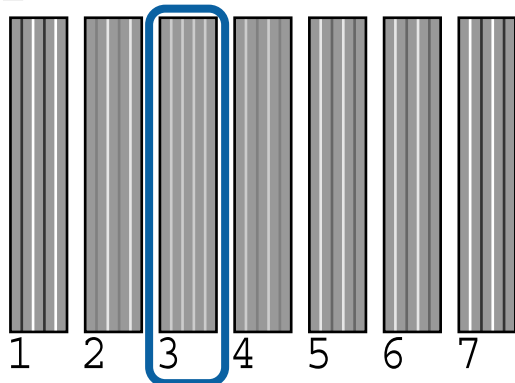
手動 Uni-D の例



6 各色のパターンで最も白いスジが見えないもの、あるいは白いスジが等間隔で入っているものを探してパターンの番号を確認します。

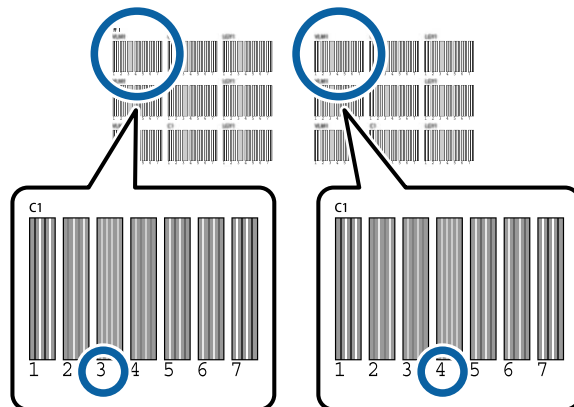
下図の場合は「3」を選びます。

C1



7 1 行ごとに同じ色のパターンを確認した結果の番号の平均値を各色で求めます。

例) 調整パターンが横方向に 2 ブロック印刷され、第 1 行目の C1 のパターンの確認結果が以下の場合



$$(3+4) / 2 = 3.5 \rightarrow 4$$

求めた値が整数でないときは、小数点第 1 位で四捨五入します。

このように、各行で各色の確認結果の番号の平均値を求めます。

8 操作パネルの画面に表示されているインク色の略号を確認し、【▼】 / 【▲】 ボタンを押して手順 7 で求めた平均値を設定し、【OK】 ボタンを押します。

9 全ての色に対して番号を設定して【OK】 ボタンを押します。

最後の色の設定が終わると、メンテナンスメニューに戻ります。

消耗品の交換

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

•回収

使用済みの消耗品（インクカートリッジ、メンテナンスボックス）は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

☞「インクカートリッジの回収」172 ページ

☞「メンテナンスボックスの回収」173 ページ

•廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。一般家庭でお使いのときは、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

インクカートリッジの交換

装着されているインクカートリッジのうち、1色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクカートリッジを使い続けると、印刷途中でインクカートリッジの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクカートリッジと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクカートリッジは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。

インクカートリッジの交換は、以降の手順で行います。

交換方法

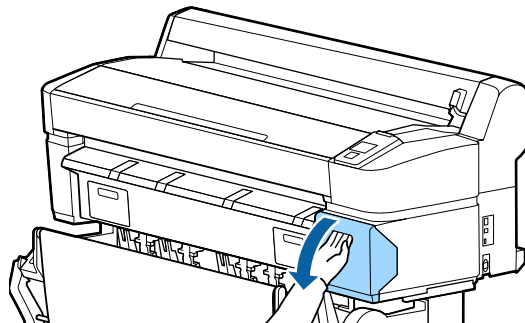
インクカートリッジは全色、同様の手順で交換できます。

！重要

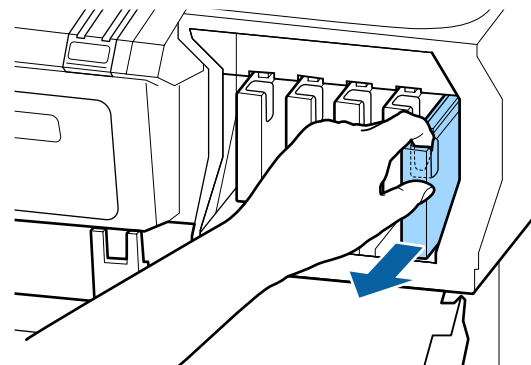
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

1 本機の電源が入っていることを確認します。

2 カートリッジカバーを開けます。



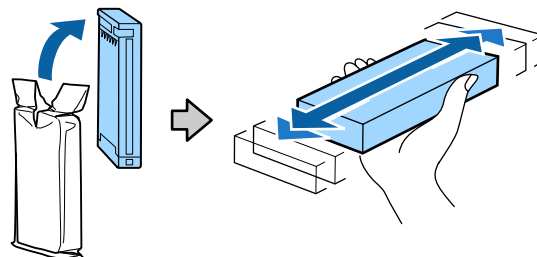
3 インクカートリッジ上部のくぼみに指をかけて、まっすぐに引き抜きます。



！重要

取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

4 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。図のように水平方向に両側約 5cm の振りで 10 秒間に 30 回程度よく振ります。

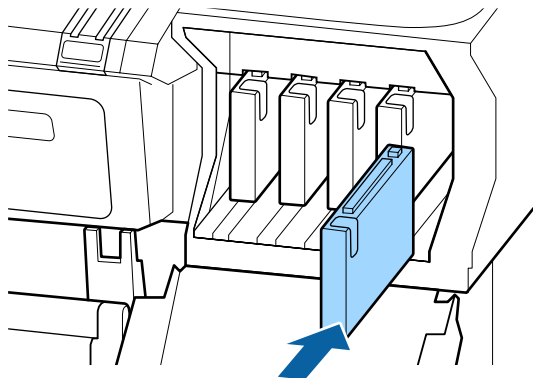


！重要

インクカートリッジ上の IC チップは触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

5 インクカートリッジの色名のラベルを手前に向けて、奥まで差し込みます。

インクカートリッジの色と本機に貼付のラベルの色を合わせてください。

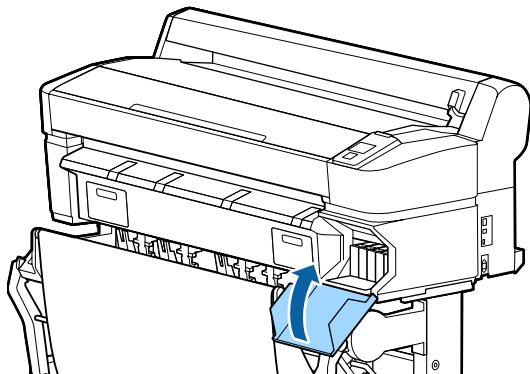


別の色のインクカートリッジも交換するときは、手順 3 ～ 5 を行います。

！重要

インクカートリッジは、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。

6 カートリッジカバーを閉めます。



！重要

良好な印刷品質を得るために、装着したインクカートリッジは、3 カ月ごとに取り出して、よく振ることをお勧めします。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。

回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/inkrecycle/

メンテナンスボックスの交換

「メンテナンスボックス空き容量不足」と表示されたら対象のメンテナンスボックスを交換してください。

本機で利用できるメンテナンスボックス

☞ 「消耗品とオプション」 196 ページ

！重要

取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。乾燥により内部のインクが固化して十分にインクを吸収できなくなります。

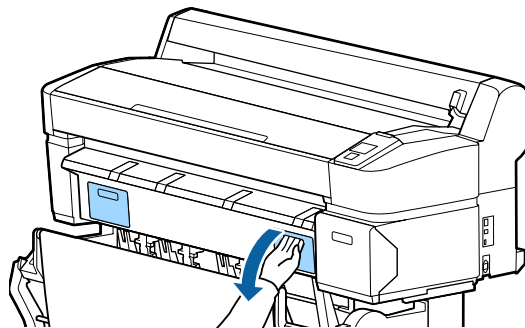
メンテナンスボックスの交換方法

お使いの機種によっては、メンテナンスボックスが左右両側にありますが、交換の手順はどちらも同じです。

！重要

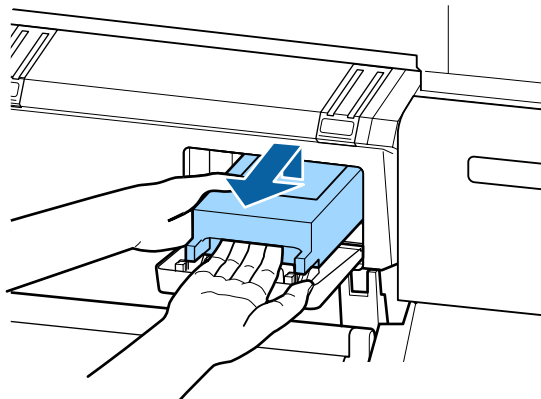
印刷中はメンテナンスボックスの交換をしないでください。廃インクが漏れることがあります。

1 メンテナンスボックスカバーを開けます。

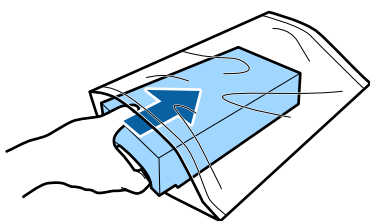


2 メンテナンスボックスを引き出します。

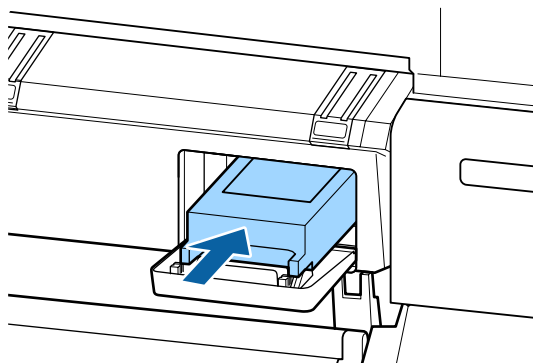
メンテナンスボックスを上を持ち上げるようにするとロックが外れますので、そのまままっすぐに引き出します。



3 新しいメンテナンスボックスに付属の透明な袋に、使用済みメンテナンスボックスを入れ必ずファスナーを閉めます。



4 新しいメンテナンスボックスを装着します。



！重要

メンテナンスボックス上の IC チップは触らないでください。
正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

5 メンテナンスボックスカバーを閉めます。

メンテナンスボックスの回収

エプソンでは環境保全活動の一環として、使用済みメンテナンスボックスのリサイクル、再資源化を行っています。使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。

回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/inkrecycle/

カッターの交換

用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したりしたら、カッターを交換してください。

本機で利用できるカッター

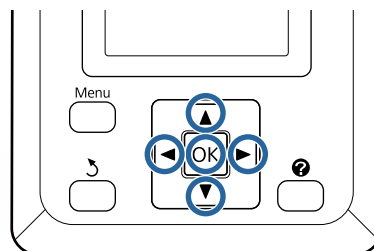
🔗 [「消耗品とオプション」196 ページ](#)

カッターの交換にはプラスドライバーを使用します。プラスドライバーを手元に用意してから交換の作業を行ってください。

！重要

- カッター刃を傷つけないようにしてください。落としたり硬い物に当てたりすると刃が欠けることがあります。
- 新品のカッターに挟まっているシートは刃の保護用です。取り除かずに交換作業をしてください。

以下の操作で使用するボタン



1 用紙がセットされているときは、取り外します。

🔗 [「ロール紙/ロール 1 の取り外し方」34 ページ](#)

🔗 [「単票紙の取り外し方」39 ページ](#)

🔗 [「ボード紙の取り外し方」42 ページ](#)

2 印刷可能な状態であることを確認します。【◀】 / 【▶】 ボタンを押して、🔍 を選択し【OK】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

3 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【カッターメンテナンス】を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【交換位置に移動】を選択し、【OK】ボタンを押します。

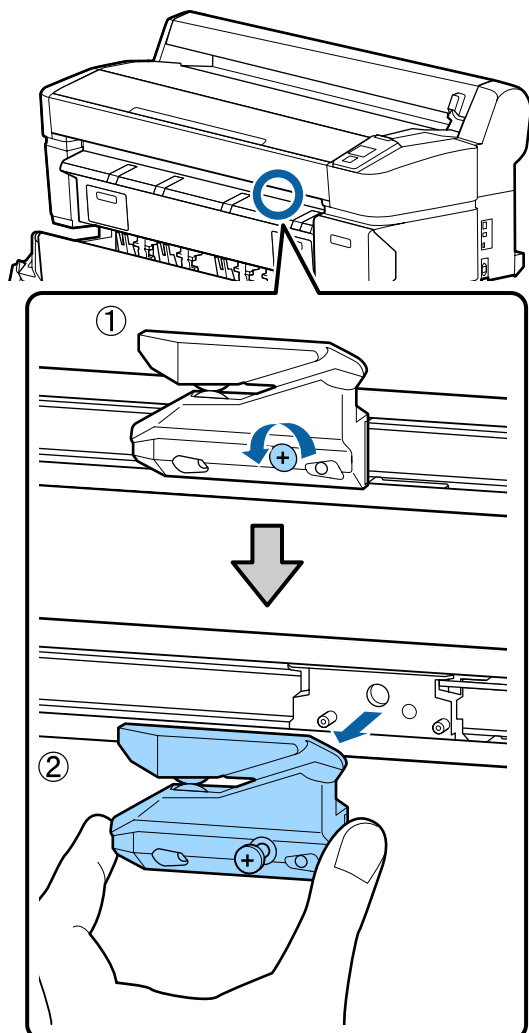
5 カッターが交換位置に移動します。

6 カッターを取り外します。

プラスドライバーで内蔵カッターを固定しているネジ1本を完全にゆるめて、カッターをまっすぐ抜き取ります。

⚠ 注意

カッターは子供の手の届く場所に保管しないでください。カッターの刃でけがをするおそれがあります。カッターを交換するときは、取り扱いに注意してください。



参考

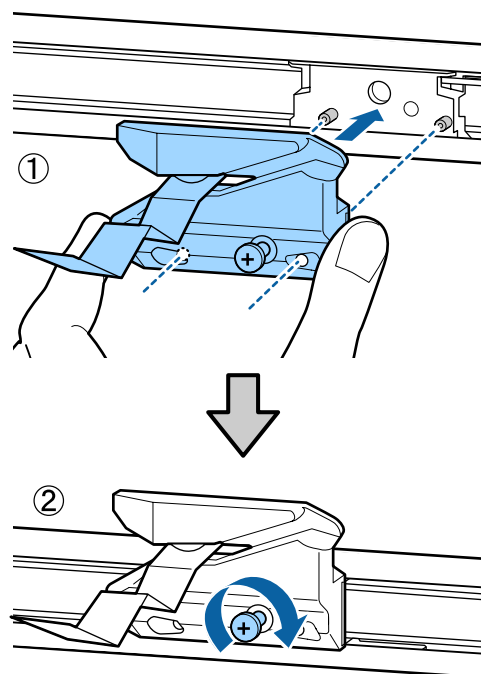
使用済みのカッターは、袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

7 新しいカッターを取り付けます。

本機側のピンとカッターの穴を合わせて差し込み、プラスドライバーで固定ネジをしっかりと締めます。

！重要

ネジはしっかり締めてください。カッターが固定されていないと、カット位置がずれたり曲がったりすることがあります。



8 交換が終了したら【OK】ボタンを押します。

カッターが元の位置に戻ります。

保護シートが自動でカッター部から外れるので取り除いてください。

操作パネルの画面に【印刷可能】と表示されたら、カッター交換の作業は終了です。

本機のお手入れ

本機をいつでも良い状態で使用できるように、定期的（1カ月に1回程度）に本機のお手入れをしてください。

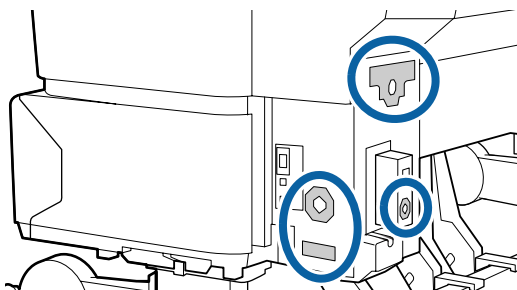
⚠ 警告

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

外装のお手入れ

- 1 本機から用紙を取り外します。
- 2 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 柔らかい布を使って、ホコリや汚れを注意深く払います。

特に背面と側面の以下の箇所はホコリがたまらないように、清掃してください。（下図は、オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着している状態です。）



汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

！重要

ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。

内部のお手入れ

汚れている部分によって、以下のように印刷した用紙に汚れが付きます。

現象に応じて対象箇所を清掃してください。

印刷面がこすれたり汚れたりするとき

加圧ローラーを清掃してください。

☞ [「ローラーの清掃方法」175 ページ](#)

印刷した用紙の裏面に汚れが付くとき

プラテンとフチなし印刷吸収パッド周縁を清掃してください。

プラテンとフチなし印刷吸収パッドの周縁は、紙粉やインクが付着して汚れます。

☞ [「プラテンとフチなし印刷吸収パッド周縁の清掃方法」176 ページ](#)

！重要

プラテンとフチなし印刷吸収パッド周縁に紙粉やホコリが付いたまま使い続けると、プリントヘッドの故障やノズルの目詰まりの原因となることがあります。

ローラーの清掃方法

以下の手順で普通紙を給排紙してローラーの汚れをふき取ります。

- 1 本機の電源を入れて、最大印刷幅のロール紙をセットします。

☞ [「ロール紙のセットと取り外し」27 ページ](#)

- 2 【↶↷】ボタンを押し、次に【▼】ボタンを押します。

【▼】ボタンを押している間、紙送りされます。用紙に汚れが付かなくなったら、ローラーの清掃は終了です。

清掃が終了したら用紙をカットします。

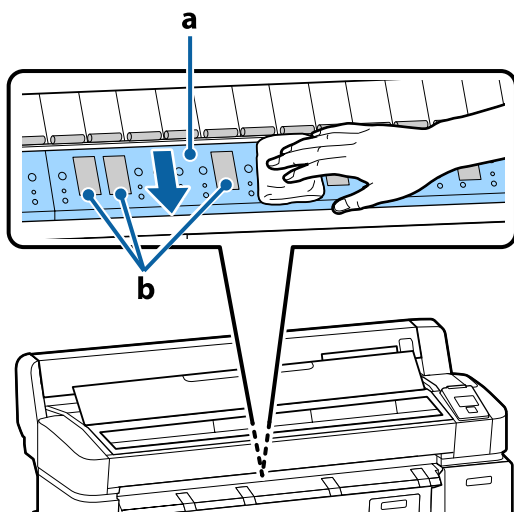
☞ [「手動カットの方法」33 ページ](#)

プラテンとフチなし印刷吸収パッド 周縁の清掃方法

- 1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。
- 3 プリンターカバーを開け、各部を清掃します。

プラテンの清掃

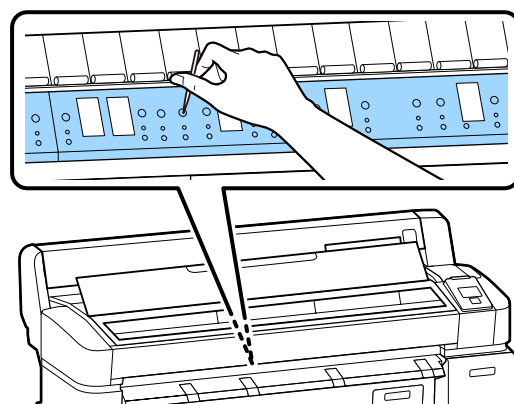
下図の a (水色) の部分を柔らかい布で丁寧に拭きます。汚れを拡散させないために、奥から手前に拭き取ります。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから拭きます。最後に乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。



！重要

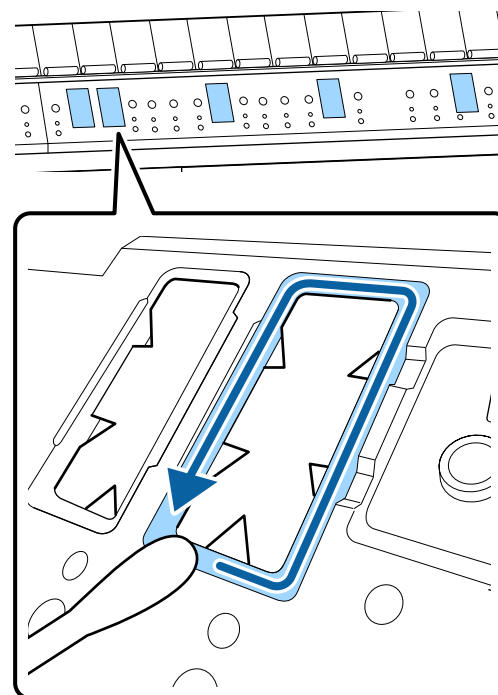
- 清掃時は、上図のローラーとフチなし印刷吸収パッド (b (灰色) の部分) には触らないでください。印刷汚れなどの原因になります。
- 本機内部のインクチューブは、故障の原因となりますので触らないでください。

樹脂部分に紙粉 (白い粉のようなもの) が詰まっているときは、つまようじなどの先の細い物で中に押し込みます。



フチなし印刷吸収パッド内側周縁の清掃

プラテンの図の b 部分の内側の周縁に紙粉やホコリが蓄積されたら、以下のように市販の綿棒で拭き取ります。



！重要

フチなし印刷吸収パッドは、強くこすらないでください。フチなし印刷吸収パッドが外れたり浮き上がったりして故障や紙詰りの原因になります。

- 4 清掃が終了したらプリンターカバーを閉めます。

大判複合機用スキャナーのお手入れ（オプション）

スキャナーのガラス面やローラーにホコリや汚れが付いていると、コピー結果やスキャン画像に不要なスジや線が付く原因となります。

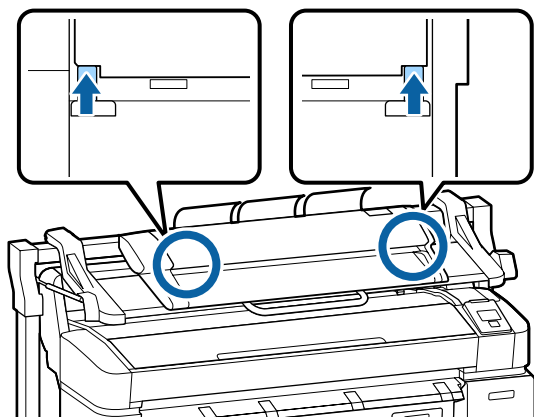
清掃しても不具合が改善されないと感じるときは、キャリブレーションを行ってください。

🔗 [「キャリブレーション」193 ページ](#)

- 1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

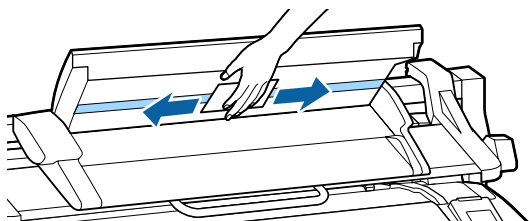
- 2 スキャナーのカバーを開けます。

カバー両端のロックレバーを押し上げると、ロックが外れてカバーが開きます。



- 3 ガラス面を清掃します。

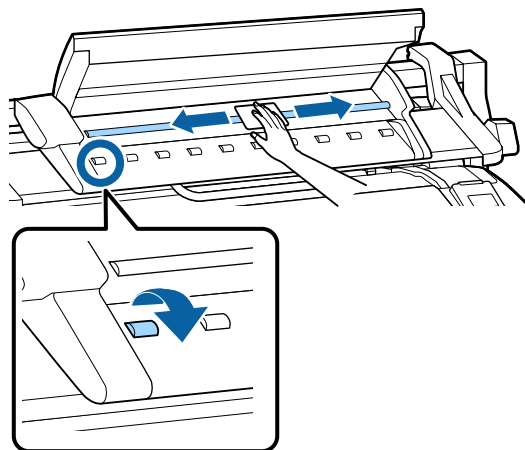
- ① 毛羽が出ないきれいな布を2枚用意します。
そのうちの1枚にガラスクリーナーを付けて、ガラス面を拭き取ります。
ガラスクリーナーは中性で、拭き跡が残らないものを使ってください。



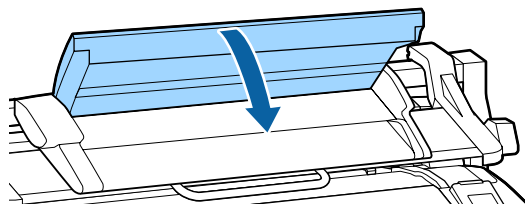
- ② もう1枚の布で、ガラスクリーナーが残らないように拭き取ります。

- 4 ガラス面直下のローラーを清掃します。

毛羽が出ないきれいな布に OA クリーナーを付けて、ローラー面を拭き取ります。手前にある給紙ローラーを回しながら、ローラーの周囲をまんべんなく拭き取ってください。



- 5 スキャナーのカバーを「カチッ」と音がするまで閉めます。



困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
インクカートリッジエラー 正しく認識できません。インクカートリッジを装着し直すか、交換してください。	インクカートリッジを装着し直してください。装着し直しても同じエラーが発生するときは、新しいインクカートリッジと交換してください（不良インクカートリッジは装着しないでください）。 🔗 「交換方法」 171 ページ
インクカートリッジエラー 正しく検出できません。インクカートリッジを装着し直すか、交換してください。	結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 🔗 「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」 20 ページ
インクカートリッジエラー 正しいインクカートリッジを装着してください。	本機で使用できる純正型番のインクカートリッジを装着してください。 🔗 「消耗品とオプション」 196 ページ 🔗 「インクカートリッジの交換」 171 ページ
インクが少なくなりました。	インクが残り少なくなりました。新しいインクカートリッジを用意してください。 🔗 「消耗品とオプション」 196 ページ
給紙失敗 ロール 1 の用紙を正しく検出できません。	対象のロール紙を取り外して、セットし直します。 再セットする前にロール紙の先端をまっすぐ水平になるようにカットしてください。ギザギザになっている部分や折れ曲がっている部分があるときは、その部分を取り除くようにカットしてください。 先端に不具合があると、自動給紙失敗の原因となります。
給紙失敗 ロール 2 の用紙を正しく検出できません。	
ファームウェア アップデート エラー アップデートに失敗しました。 電源を入れ直してください。	電源を切り、しばらくたってから電源を入れてください。 もう一度、ファームウェアをアップデートしてください。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。🔗 「お問い合わせ先」 218 ページ
コマンドエラー ドライバーの設定を確認してください。	【⏏】 ボタンを押して [ジョブキャンセル] を選択し、印刷を中断してください。本機に対応したプリンタードライバーを使用しているか確認してください。
巻取りユニットエラー 巻取りユニットの状態を確認して、プリンターの電源を入れ直してください。	電源を切り、しばらくたってから電源を入れてください。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。🔗 「お問い合わせ先」 218 ページ
巻取りユニット接続エラー 巻取りユニットのケーブルを接続し直して、電源を入れ直してください。	自動巻取りユニットの接続ケーブルを正しく接続し直してから、本機の電源を入れ直してください。 🔗 オプションの自動巻取りユニット用アタッチメントに付属の『セットアップガイド』
巻取りユニット未接続 巻取りユニットが接続されていません。未接続のままプリンターを使いますか？	自動巻取りユニットが接続されていません。自動巻取りユニットの接続ケーブルを正しく接続し直してから、[いいえ] を選択すると本機の電源が切断されます。しばらくたってから電源を入れてお使いください。 🔗 オプションの自動巻取りユニット用アタッチメントに付属の『セットアップガイド』 自動巻取りユニットを使用しないときは、[はい] を選択します。

困ったときは

メッセージ	対処方法
巻き取りエラー 自動巻き取りユニットのセンサー部に障害物がないか確認してください。	自動巻き取りユニットのセンサー部を確認して、障害物があれば取り除き【OK】ボタンを押します。 自動巻き取りユニットに取り付けた用紙がたるんでいるときは、Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを巻き取る方向に押し続けて用紙を巻き取ります。正しく用紙が取り付けられていることを確認して、Auto スイッチを元の位置に戻し、【OK】ボタンを押します。 🔗 「自動巻き取りユニットの使い方（SC-T7255 のみ）」 50 ページ
HDD 組み合わせエラー 別のプリンターで使用したハードディスクを使用するにはフォーマットが必要です。実行しますか？	別のプリンターに装着していた、オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットを本機に付け替えて使うには、装着後にハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットをフォーマットする必要があります。フォーマットしないと使用できません。
ジョブ保存不可 ハードディスクが正しく装着されているか確認してください。	【⏏】ボタンを押して「ジョブキャンセル」を選択し、印刷を中断してください。オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニットを取り外して装着し直してください。 装着し直しても再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。🔗 「お問い合わせ先」 218 ページ 本機に付属のプリンタードライバーを介して印刷するときは、拡張設定画面で「ハードディスクユニット」の設定画面を開き、「印刷のみ」を選択すると、ハードディスクユニットの状態に関わらず印刷できます。Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着し、PS ドライバーを介して印刷するときは、印刷を実行できません。
用紙カットエラー マニュアルをご覧になり、カットできなかった用紙を切り離してください。	【OK】ボタンを押してから、用紙を引き出してカットできなかった箇所を市販のはさみやカッターで切り取ります。 用紙の先端を本体の外までまっすぐに引き出します。
データサイズオーバー 印刷データのサイズが大きすぎます。 印刷データを確認してください。	オプションのハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットに保存できる 1 印刷ジョブの大きさは 100GB までです。100GB を越えるデータを印刷するときは、プリンタードライバーの拡張設定画面で「ハードディスクユニット」の設定画面を開き、「印刷のみ」を選択するか、データが 100GB 未満になるようにしてください。
ハードディスク保存不可 ハードディスクが満杯です。 これ以上、保存できません。マニュアルをご覧になり不要な印刷ジョブを削除してください。	不要な保存ジョブは Remote Manager または LFP HDD ユーティリティから削除できます。 🔗 「ハードディスクドライブへの保存と再印刷（オプション）」 65 ページ
ハードディスク起動失敗 ハードディスクユニットに異常があります。ハードディスクユニットは使用できません。	【OK】ボタンを押すとエラーを解除できます。本機に付属のプリンタードライバーを介して印刷するときは、「ハードディスク設定」で「印刷のみ」を選択すると、ハードディスクユニットの状態に関わらず印刷できます。Adobe PostScript 3 拡張ユニットを装着し、PS ドライバーを介して印刷するときは、印刷を実行できません。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。🔗 「お問い合わせ先」 218 ページ
ハードディスクチェック中	オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット（以降、総称してハードディスクと記載します）に保存されたデータのチェックをしています。チェックの結果データ修復が必要なときは、引き続き修復が行われます。最大で約 20 分かかります。 修復が終了すると、起動が完了します。 データが修復できなかったときは、ハードディスクのフォーマットメニューが表示されます。フォーマットを実行すると以降ハードディスクを使えるようになります。フォーマットしないでメニューを終了すると、ハードディスクを使わない印刷のみ実行できます。
コピー不可 出力用紙サイズを検出できないため、自動拡大コピーを実行できません。 対処方法はマニュアルをご覧ください。	セットアップメニューで「用紙幅検出」を「OFF」にしていると、本機にセットされている用紙幅を検出できないために自動拡大コピーができません。セットアップメニューの「用紙幅検出」を「ON」に変更して用紙をセットし直してください。 変更した設定は、用紙をセットし直すと有効になります。メニューの項目を変更しただけでは有効になりませんのでご注意ください。 🔗 「セットアップメニュー」 144 ページ

困ったときは

メッセージ	対処方法
スキャナーエラー 対処方法はマニュアルをご覧ください。	• A3、A4 スキャナーの輸送用固定ロックを解除して、本機とスキャナーの電源を入れ直してください。 • 数回、電源を入れ直してください。エラーが解除されたら、そのまま使えます。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。📞 「お問い合わせ先」 218 ページ
ジョブ管理数限界 保留ジョブの数が上限に達しました。	保留ジョブが 200 個に達しました。 【OK】 ボタンを押すと、[保留ジョブ一括印刷] を実行します。 📞 「機能概要」 65 ページ
用紙サイズエラー 対応していないサイズ of 用紙がセットされています。	不適切な幅の用紙をセットしました。【OK】 ボタンを押してから取り除いてください。本機で使用可能な最小用紙幅は 254mm です。254mm 以上の幅の用紙をセットしてください。 適切な幅の用紙をセットしているにもかかわらずエラーメッセージが表示されるときは、セットアップメニューの [用紙幅検出] を [OFF] にすると印刷を実行できることがあります。 変更した設定は、用紙をセットし直すと有効になります。メニューの項目を変更しただけでは有効になりませんのでご注意ください。 📞 「セットアップメニュー」 144 ページ
用紙読み取りエラー 用紙または印刷状態に問題があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	【⏏️】 ボタンを押すと、エラーが解除されます。 自動ギャップ調整時にこのエラーが表示されたときは、以下の点を確認してください。 • 対応していない用紙をセットしていませんか？ 透明や色の付いた用紙、トレーシングペーパー、自動ギャップ調整非対応の用紙、厚さが 1.0mm 以上の用紙では、正しく実行できません。 自動ギャップ調整に対応した用紙は以下をご覧ください。 📞 「エプソン製専用紙一覧」 198 ページ • 外乱光の影響を受けていませんか？ 直射日光が当たるなど外乱光を受けているときは、遮光してください。 • [プラテンギャップ設定] と [こすれ軽減] の両方ともメーカー設定値から変更していませんか？ どちらも設定をメーカー設定値に戻してください。 • ノズルが目詰まりしていませんか？ ヘッドクリーニングを行ってください。📞 「ヘッドクリーニングの方法」 167 ページ それ以外でこのエラーが表示されたときは、セットしている用紙が本機に対応しているかを確認してください。
ロール紙設定エラー 指定のロール紙は、セットされていません。 セットしてあるロール紙で印刷を継続しますか？	プリンタードライバーの [給紙方法] で、セットされていない方のロール紙を選択しています。 【OK】 ボタンを押すと、セットされている方のロール紙で強制的に印刷します。 【🔄】 ボタンを押すと、用紙をセットできます。
用紙種類エラー 用紙種類が異なるため、指定のロール紙には切り替えられません。 使用中のロール紙で印刷を継続しますか？	プリンタードライバーの [用紙種類] の設定とプリンターにセットしているロール紙の用紙種類が異なります。 【OK】 ボタンを押すと、現在使用中のロール紙に印刷します。 【🔄】 ボタンを押すと、用紙を交換できます。 用紙種類が異なってもロール紙を切り替えたいときは、セットアップメニューの [ロール切替条件] の [用紙種類] を [無効] に変更します。 📞 「セットアップメニュー」 144 ページ
用紙幅エラー 用紙幅が異なるため、指定のロール紙には切り替えられません。 使用中のロール紙で印刷を継続しますか？	プリンタードライバーの [給紙方法] の設定とプリンターにセットしているロール紙の幅が異なります。 【OK】 ボタンを押すと、現在使用中のロール紙に印刷します。 【🔄】 ボタンを押すと、用紙を交換できます。 用紙幅が異なってもロール紙を切り替えたいときは、セットアップメニューの [ロール切替条件] の [用紙幅] を [幅一致] 以外に変更します。 📞 「セットアップメニュー」 144 ページ

困ったときは

メッセージ	対処方法
用紙長エラー 用紙残量が足りないため、指定のロール紙には切り替えられません。 使用中のロール紙で印刷を継続しますか？	ロール 1 とロール 2 にセットしているロール紙の残量が、印刷長よりも短いために、ロール紙を切り替えられません。 【OK】 ボタンを押すと、現在使用中のロール紙に印刷します。 【  】 ボタンを押すと、用紙を交換できます。 ロール紙の残量が、印刷長よりも短くても印刷したいときは、セットアップメニューの [ロール切替条件] の [用紙長] を [印刷長優先] 以外に変更します。  「セットアップメニュー」 144 ページ
切り替え不可エラー ロール紙の自動切り替えはできません。 設定を確認してください。 使用中のロール紙で印刷を継続しますか？	セットアップメニューの次の設定のどちらか一方で、以下の設定になっているとロール紙の自動切り替えは行われません。 • [自動カット] を [OFF] に設定している。 • [ロール自動給紙] を [OFF] に設定している。 【OK】 ボタンを押すと、現在使用中のロール紙に印刷します。 【  】 ボタンを押すと、用紙を交換できます。 ロール紙の自動切り替えを有効にするには、上記の設定をどちらも [ON] に変更します。  「セットアップメニュー」 144 ページ
ファームウェア対応エラー PS3 拡張ユニットとプリンターのファームウェアが不整合です。 対処方法はマニュアルをご覧ください。	オプションの Adobe PostScript 3 拡張ユニットのファームウェアと本機のファームウェアのバージョンが不整合のため使用できません。 どちらも最新版のファームウェアにアップデートしてください。 最新版のファームウェアはエプソンのウェブサイト (www.epson.jp) からダウンロードできます。
インフォメーション コピー/スキャン印刷非対応の用紙がセットされているため、印刷できませんでした。 対処方法はマニュアルをご覧ください。	大判コピー/大判スキャンに対応した用紙をセットして、コピーまたはスキャンファイルの印刷をやり直してください。 大判コピー/大判スキャンに対応した用紙は、以下でご確認ください。  「エプソン製専用紙一覧」 198 ページ
インフォメーション 画像ファイルを送信できませんでした。 対処方法はマニュアルをご覧ください。	大判スキャンした画像ファイルを共有フォルダーに保存、転送しようとして、このメッセージが表示されたときは、以下をご確認ください。 • Copy Manager の共有フォルダーアドレス設定で正しく、フォルダーパスやユーザー名、パスワードを設定しているか。 • 保存、転送先のフォルダー内に同一名のファイルが存在していないか。 • 保存、転送先のフォルダーに十分な空き容量があるか。 メール送信しようとして、このメッセージが表示されたときは、正しくメール設定がされているかをネットワーク管理者にご確認ください。
インフォメーション メールを受信できません。 対処方法はマニュアルをご覧ください。	正しくメール設定がされているかをネットワーク管理者にご確認ください。
インフォメーション フォルダーが設定されていません。 Remote Manager で設定してください。	事前に Remote Manager で共有フォルダーの設定をしてからフォルダー印刷を行ってください。  「フォルダー印刷の準備」 81 ページ

メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール 部品寿命間近/部品寿命到達 XXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」218 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、サービスコールが発生します。
サービスコール XXXX 系エラー XXXX 電源を入れ直しても復帰しないときは、上記 番号をサービスコールセンターに連絡してください	サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。 • 電源コードが正しく接続されていないとき • 解除できないエラーが発生したとき サービスコールが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のサービスコールが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXX」（サービスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」218 ページ

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

- **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**

差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。

- **コンセントに問題がありませんか？**

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

自動的に電源が切れる

- **【電源オフタイマー】を有効に設定していませんか？**

自動的に電源を切りたくないときは設定を [OFF] にしてください。

🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Windows）

- **【デバイスとプリンター】 / 【プリンタ】 / 【プリンタと FAX】 フォルダーに本機のアイコンはありますか？**

- アイコンがある

プリンタードライバーはインストールされています。次項の「プリンターとコンピューターの接続に異常がある」を確認します。

- アイコンがない

プリンタードライバーが正常にインストールされていません。プリンタードライバーをインストールしてください。

- **印刷するポートの設定が使用する本機の接続先と合っていますか？**

印刷先のポートを確認します。プリンターのプロパティ画面で [ポート] タブをクリックし、[印刷するポート] を確認します。

- USB: [USB] xxx (x はポート番号を表す数字)
- ネットワーク接続: 適切な IP アドレスなど

表示がない場合はプリンタードライバーが正しくインストールされていません。プリンタードライバーを削除して、インストールし直してください。

🔗 [「プリンタードライバーの削除」124 ページ](#)

プリンタードライバーが正しくインストールされていない（Mac OS X）

- **本機がプリンターリストに追加されていますか？**

アップルメニュー - [システム環境設定] - [プリントとスキャン]（または [プリントとファクス]）の順にクリックします。

プリンター名が表示されないときは、プリンターを追加してください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

- **ケーブルが外れていませんか？**

プリンター側のポートとコンピューター側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

- **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。

🔗 [「システム条件」212 ページ](#)

- **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB コネクタに USB ケーブルを直接接続してください。

■ USB ハブが正しく認識されていますか？

コンピュータで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピュータの USB ポートを直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

■ ネットワークの設定は正しいですか？

ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

■ 本機とコンピュータを USB 接続して、印刷してみてください。

USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの設定に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。

ネットワーク環境下でソフトウェアからプリンター情報を取得できない

■ SNMPv1/v2c 設定が無効になっていませんか？

Remote Manager で SNMPv1/v2c の設定を無効にすると、SNMPv1/v2c プロトコルを使用するソフトウェアからプリンターの情報を取得できないことがあります。
(例: プリンタードライバーからインク残量を確認できない)
SNMP の設定を変更するときは、システム管理者に相談してください。

☞ [「Remote Manager の使い方」 25 ページ](#)

プリンター側でエラーが発生している

■ 操作パネルの画面のメッセージで確認します。

☞ [「操作パネル」 13 ページ](#)

☞ [「メッセージが表示されたとき」 178 ページ](#)

印刷が中断されている

■ 印刷キューのステータスが【一時停止】になっていませんか？ (Windows)

印刷途中で印刷を中断したときや何らかのトラブルで印刷が停止したときは、印刷キューのステータスが【一時停止】になります。このままの状態では印刷を実行しても印刷されません。

【デバイスとプリンター】 / 【プリンタ】 / 【プリンタと FAX】 フォルダーの本機のアイコンをダブルクリックし、プリンターが一時停止状態の場合は【プリンタ】メニューの【一時停止】をクリックしてチェックを外します。

■ 印刷のステータスが【一時停止】になっていませんか？ (Mac OS X)

ご使用のプリンターの印刷状況を確認する画面を表示して、一時停止の状態でないことをご確認ください。

① 【アップル】メニュー - 【システム環境設定】 - 【プリントとスキャン】 (または【プリントとファクス】) - 【プリントキューを開く】の順にクリックします。

② 状況が【一時停止中】と表示されているプリンターがあるときは、そのプリンターをダブルクリックします。

③ 【プリンタを再開】をクリックします。

あてはまるトラブル状態がない

■ プリンタードライバーのトラブルか、アプリケーションソフトのトラブルか判断してください。 (Windows)

プリンタードライバーから印字テストすることにより、本機とコンピュータの接続、およびプリンタードライバーの設定が正しいかどうかを確認できます。

① 本機が印刷可能状態であること (電源が入っていること)を確認し、本機に A4 サイズ以上の用紙をセットします。

② 【デバイスとプリンター】 / 【プリンタ】 / 【プリンタと FAX】 フォルダーを開きます。

③ 本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから【プロパティ】を選択します。

④ プロパティ画面で【全般】タブを選択し、【テストページの印刷】をクリックします。

しばらくすると、テストページの印刷が始まります。

・テストページが正しく印刷されたときは、本機とコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。

・テストページが正しく印刷されないときは、本書のここまでの項目を再度確認してください。

☞ [「印刷できない \(プリンターが動かない\)」 183 ページ](#)

テストページに記載されている「ドライバーバージョン」とは Windows 内部のドライバーのバージョンです。お客様がインストールされた当社のプリンタードライバーのバージョンとは異なります。

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

- **本機の動作確認をしてください。**
ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。🔗 [「ノズルの目詰まりチェック」165 ページ](#)
ノズルチェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

- **操作パネルの画面に【モーター自動調整中】というメッセージが表示されていませんか？**
内部のモーターを調整していますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷できない

- **ヘッドクリーニングをしてください。**
ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングを行ってから再度ノズルチェックパターンを印刷してください。
🔗 [「プリントヘッドのクリーニング」166 ページ](#)

- **本機を長期間使用していなかったのではありませんか？**
本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い

- **プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？**

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

🔗 [「ノズルの目詰まりチェック」165 ページ](#)

- **ギャップ調整をしましたか？**

双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。

🔗 [「印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）」168 ページ](#)

- **インクカートリッジは推奨品（当社純正品）を使用していますか？**

本機は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

- **古くなったインクカートリッジを使用していませんか？**

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限内（本機に装着後は1年以内）に使い切ることをお勧めします。

- **インクカートリッジを振りましたか？**

本機のインクカートリッジは、顔料インクを使用しています。本機に装着する前によく振ってください。また、良好な印刷品質を得るために、装着したインクカートリッジは、3カ月ごとに取り出して、よく振ることをお勧めします。

🔗 [「インクカートリッジの交換」171 ページ](#)

- **【用紙種類】の設定は正しいですか？**

プリンタードライバーの基本設定画面（Windows）/プリント画面（Mac OS X）の【用紙種類】の設定と実際の用紙種類が合っていないと印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

■ **印刷品質の低いモード（[速い] など）で印刷していませんか？**

プリンタードライバーで「印刷品質」の「詳細設定」で速度を優先した設定にしていると速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。より高品質な印刷を行うときは、「レベル」で品質を優先した設定にしてください。

■ **カラーマネジメントしていますか？**

カラーマネジメントをしてみてください。
🔗 [「カラーマネジメント印刷」112 ページ](#)

■ **ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？**

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とは、発色方法が違いため、色合いに差異が生じます。

■ **印刷中にプリンターカバーを開けませんでしたか？**

印刷中にプリンターカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はプリンターカバーを開けないでください。

■ **操作パネルの画面に「インクが少なくなりました」と表示されていませんか？**

インクが少なくなると、印刷品質に影響が出ることがあります。新しいインクカートリッジに交換することをお勧めします。インクカートリッジを交換しても色味が合わないときは、ヘッドクリーニングを数回実施してください。

他機種と色味が異なる

■ **製品の特性により機種ごとに色味が異なります。**

使用するインクやプリンタードライバー、プリンタープロファイルなどが機種ごとに異なるため、印刷結果の色味も機種ごとに異なります。プリンタードライバーで色補正方法や、ガンマの設定値を同じにすることで、色味を近づけることができます。
🔗 [「カラーマネジメント印刷」112 ページ](#)
また、正確に色味を合わせたいときは、測色器を使用するなどしてカラーマネジメントすることをお勧めします。

印刷位置がずれる/はみ出す

■ **印刷範囲を指定していますか？**

アプリケーションソフトやプリンターの設定で印刷範囲の確認をしてください。

■ **「[原稿サイズ]」の設定は正しいですか？**

セットした用紙のサイズと、プリンタードライバーの「原稿サイズ」または「用紙サイズ」が合っていないと、印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。印刷設定を確認してください。

■ **用紙が斜行していませんか？**

セットアップメニューの「斜行エラー検出」が「OFF」になっていると用紙が斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。セットアップメニューで「斜行エラー検出」を「ON」に設定してください。
🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

■ **印刷データは用紙幅に納まっていますか？**

印刷イメージが用紙幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、セットアップメニューの「用紙幅検出」が「OFF」になっていると用紙幅を超えて印刷してしまいます。セットアップメニューで「用紙幅検出」を「ON」に設定してください。
変更した設定は、用紙をセットし直すと有効になります。メニューの項目を変更しただけでは有効になりませんのでご注意ください。
🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

■ **ロール紙余白を 15mm または 35mm に設定していませんか？**

セットアップメニューの「ロール紙余白」の設定値より小さい値でアプリケーションソフトの余白設定をしているときは、「ロール紙余白」の設定値が優先されます。例えば、本機のセットアップメニューで左右余白を 15mm に設定しているときに、アプリケーションソフトで用紙幅いっぱいに作成したデータを印刷すると左右 15mm 分は印刷されません。
🔗 [「印刷可能領域」61 ページ](#)

罫線が左右にガタガタになる

■ **プリントヘッドにズレ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）**

双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。
🔗 [「印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）」168 ページ](#)

■ **市販用紙でギャップ調整後にエプソン専用紙に印刷していませんか？**

市販用紙をユーザー用紙設定したときに用紙の厚さを正しく設定していないとギャップ調整が正しく行われずにエプソン専用紙印刷時に不具合が生じることがあります。メンテナンスメニューのギャップ調整で、お使いのエプソン製専用紙を選択してギャップ調整をやり直してください。
🔗 [「印刷位置ずれの調整（ギャップ調整）」168 ページ](#)

印刷面がこすれる/汚れる

■ 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で利用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン製以外の用紙への印刷やソフトウェア RIP を使用して印刷するときの用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙のマニュアルや用紙の購入先または RIP の製造元にお問い合わせください。

■ 用紙にしわや折り目がありませんか？

古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

■ 用紙が波打ったり、反ったりしていませんか？

単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により波打ったり、反ったりしてしまい、用紙サイズを正しく認識できないことがあります。用紙を平らな状態に修正してから本機にセットするか、あるいは新しい用紙をお使いください。

■ プリントヘッドが印刷面をこすっていますか？

用紙の印刷面をこすってしまうときには、用紙メニューの【ブラテンギャップ】を【広くする】から【より広くする】の間で設定してください。
🔗 [「用紙メニュー」140 ページ](#)

■ プリントヘッドが用紙の先端をこすっていますか？

セットアップメニューの【ロール紙余白】を【先端 35/後端 15mm】に設定してください。
🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

■ 後端の余白を広げてください

用紙によっては使用環境や保存環境、印刷データの内容によって印刷面の下端がこすれて跡が残ることがあります。このようなときは、後端の余白を多めに取ってデータを作成してください。

■ プリンターの内部が汚れていませんか？

ローラーに汚れが付いた可能性があります。給排紙をして、ローラーを清掃してください。
🔗 [「内部のお手入れ」175 ページ](#)

印刷面に傷が付いているように見える

■ ロール 2 の経路にホコリが付いていませんか？

背面カバーを開けて、乾いた毛羽の出ない布でホコリを拭き取ってください。
背面カバーの開け方 🔗 [「ロール紙が詰まった」189 ページ](#)

用紙にしわが発生する

■ 一般の室温環境下で使用していますか？

エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15～25℃、湿度 40～60%）で使用してください。また、エプソン製以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙のマニュアルをご覧ください。

■ エプソン製の専用紙以外の場合、用紙調整しましたか？

エプソン製以外の用紙を使うときは、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて設定してから印刷してください。
🔗 [「エプソン製以外の用紙に印刷する前に」209 ページ](#)

印刷した用紙の裏側が汚れる

■ メニューの【用紙幅検出】を【ON】に設定してください

印刷イメージが用紙幅より大きいと、通常は印刷が停止しますが、セットアップメニューの【用紙幅検出】が【OFF】になっていると用紙幅を超えて印刷してしまうため、本機内部が汚れます。本機内部を汚さないために、セットアップメニューの【用紙幅検出】を【ON】に設定してください。
変更した設定は、用紙をセットし直すと有効になります。メニューの項目を変更しただけでは有効になりませんのでご注意ください。
🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

■ 印刷面のインクは乾いていますか？

印刷の濃さや用紙種類によっては、インクが乾きにくいことがあります。印刷面が乾いてから用紙を重ねてください。
また、プリンタードライバの【用紙調整】で【ページごとの乾燥時間】を設定すると、印字後の処理（排紙・カット）を停止させ、自然に乾燥するのを待つことができます。用紙調整画面の詳細は、プリンタードライバのヘルプをご覧ください。
🔗 [「内部のお手入れ」175 ページ](#)

■ **プラテンやフチなし印刷吸収パッドに紙粉がたまっていますか？**

紙粉やホコリを蓄積したままにすると、それらがインクを吸収して用紙の裏側を汚すことがあります。プラテンやフチなし印刷吸収パッドを確認して、紙粉やホコリを清掃してください。

🔗 [「プラテンとフチなし印刷吸収パッド周縁の清掃方法」176 ページ](#)

インクが出すぎてしまう

■ **【用紙種類】の設定は正しいですか？**

お使いの用紙とプリンタードライバーの【用紙種類】を合わせてください。用紙ごとにインクの吐出量をコントロールしているため、セットした用紙と異なる設定で印刷すると、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。

■ **【インク濃度】の設定は適切ですか？**

プリンタードライバーの【用紙調整】でインクの濃度を下げてください。用紙によって、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。用紙調整画面の詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

■ **トレーシングペーパーに印刷していますか？**

トレーシングペーパーに【モノクロ】で印刷していてインクが出すぎるときは、プリンタードライバーの【用紙調整】でインク濃度を下げると、改善されることがあります。

フチなし印刷ができない、余白が発生する

■ **アプリケーションソフト側で適切な印刷データを作成していますか？**

プリンタードライバー側だけでなく、アプリケーションソフト側でも用紙設定をしてから印刷してください。

🔗 [「フチなし印刷」95 ページ](#)

■ **用紙の設定は合っていますか？**

お使いの用紙と本機の用紙設定を合わせてください。

■ **はみ出し量を変更していますか？**

フチなし印刷のはみ出し量を調整してください。はみ出し量を【少ない】に設定していると余白が残ることがあります。

🔗 [「フチなし印刷」95 ページ](#)

■ **用紙の保管は適切でしたか？**

用紙の保管状況によっては、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。用紙の保管方法は用紙のマニュアルをご覧ください。

■ **フチなし印刷対応用紙を使用していますか？**

フチなし印刷に対応していない用紙を使用すると、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。フチなし印刷に対応している用紙を使用することをお勧めします。

■ **カッターの調整をお試しください**

ロール紙でフチなし印刷をしているのに先端に余白が出てしまうときは、【カット位置調整】をお試しください。余白が改善されることがあります。

🔗 [「メンテナンスメニュー」143 ページ](#)

給紙ミス/排紙のトラブル

給紙・排紙がうまくできない

■ 用紙のセット位置は正しいですか？

用紙を正しい位置にセットしてください。

☞ 「ロール紙アダプターの取り付け方」 27 ページ

☞ 「単票紙のセットと取り外し」 37 ページ

☞ 「ボード紙のセットと取り外し」 39 ページ

用紙が正しくセットされているときは、使用している用紙の状態を確認してください。

■ 用紙のセット方向は正しいですか？

単票紙は、縦長にセットします。正しい向きにセットしないと、用紙が認識されず、エラーが発生することがあります。

☞ 「単票紙のセットと取り外し」 37 ページ

■ 用紙にしわや折り目がありませんか？

古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

■ 用紙が湿気を含んでいませんか？

湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、エプソン製の専用紙は、使う分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んだりして正常に給紙できない原因となります。

■ 用紙が波打ったり、反ったりしていませんか？

単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により波打ったり、反ったりしてしまい、用紙サイズを正しく認識できないことがあります。用紙を平らな状態に修正してから本機にセットするか、あるいは新しい用紙をお使いください。

■ 用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で利用できる仕様の用紙か確認してください。エプソン製以外の用紙への印刷やソフトウェア RIP を使用して印刷するときの用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙のマニュアルや用紙の購入先または RIP の製造元にお問い合わせください。

■ 一般の室温環境下で使用していますか？

エプソン製の専用紙は一般の室温環境下（温度：15～25℃、湿度 40～60%）で使用してください。

■ 用紙が詰まっていますか？

本機のプリンターカバーを開け、本機に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。用紙が詰まっているときは、以降の「用紙が詰まった」をご覧ください。なり取り除いてください。

■ 吸着力が強くないですか？

排紙不良が続くときは、吸着力（給紙経路に用紙を吸着する力）を下げてみてください。☞ 「用紙メニュー」 140 ページ

排紙バスケットに収容するとき、バスケットに入らない・しわが寄る・折れる

■ インク密度の高い印刷データや室温が高めの環境で印刷していませんか？

印刷するデータや使用環境によっては、正しく排紙バスケットに収容できないことがあります。状態により、以下の対処をしてください。

- 排紙バスケット内に用紙が入らないとき：排紙された用紙を手で排紙バスケット内に軽く押し込んでください。
- 自動カット後用紙が折れる：手動カットに切り替えて、カット直後に用紙の両端を手で受けと取ってください。
- 用紙にしわが寄りうまく収容できない：排紙バスケットを収納した状態で印刷します。排紙された用紙が床と接触する前に、排紙ガイド付近で用紙両端を手で持ち、そのまま軽く持ち上げた状態で、印刷が終了するまで保持してください。

ロール紙が詰まった

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

⚠ 注意

使用中にプリンターカバーを開けたときは、注意ラベルで示す箇所に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。

1 本機の電源を切ります。

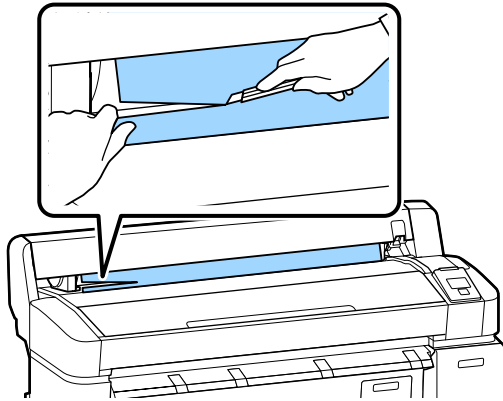
2 本機の電源を入れます。

しばらくすると、画面に「画面の指示に従って紙詰まりを解除してください。」と表示されます。

- 3** 用紙の破れたりしわになっている部分を排出するために、市販のカッターで図の通り切り取ります。

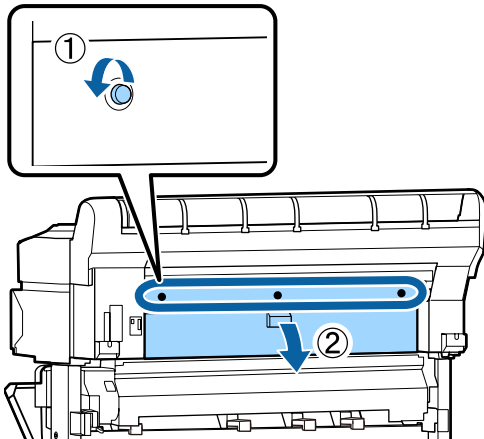
ロール紙/ロール 1 が詰まったとき

図の通り給紙口の上でカットします。

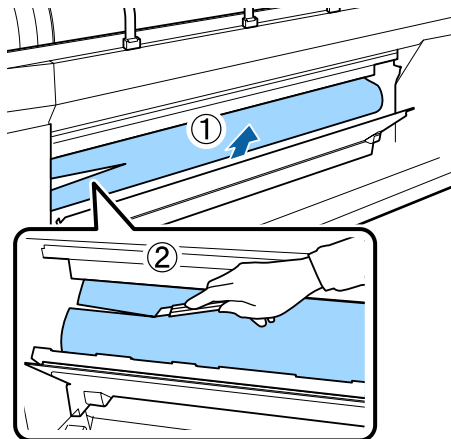


ロール 2 が詰まったとき (SC-T7255D/SC-T5255D)

- ① 背面カバーを開けます。

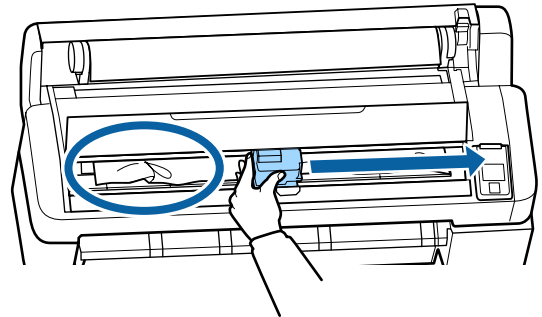


- ② 用紙を下から上に向けて引き出してカットします。



- 4** 【OK】ボタンを押します。

- 5** プリンターカバーを開けてプリントヘッドを用紙の詰まった部分と反対の方向に移動し、【OK】ボタンを押します。

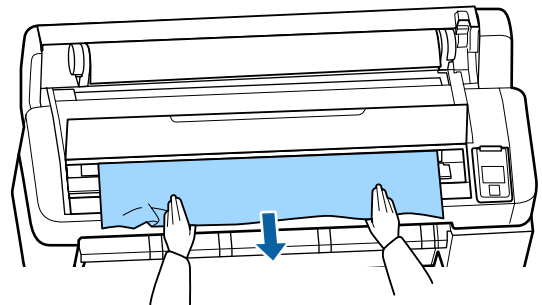


！重要

紙詰りを解除するとき以外は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドに手を触れると静電気の影響で誤動作することがあります。

- 6** 【▼】ボタンを押し続けて切り離れた用紙を全て排出します。

- 7** 排出した用紙を取り除きます。



- 8** 用紙を取り除いたら、【OK】ボタンを押します。

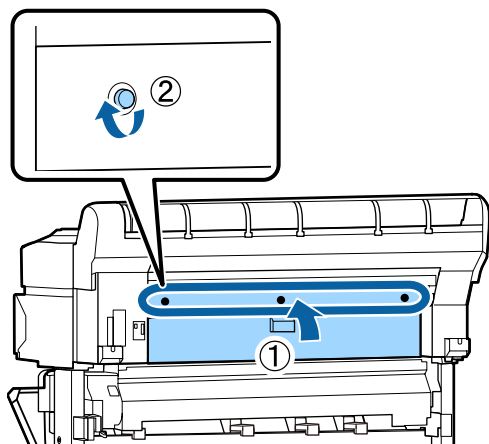
ロール紙/ロール 1 が詰まったとき

手順 10 に進みます。

ロール 2 が詰まったとき (SC-T7255D/SC-T5255D)

手順 9 に進み背面カバーを閉めます。

- 9** 背面カバーを閉めて固定ネジを 3 つとも締めます。



- 10** プリンターカバーを閉めます。

「[Q]を押して用紙をセットしてください。」と表示されたら用紙をセットし直して、印刷を再開します。

🔗 「ロール紙/ロール 1 のセット方法」 29 ページ

🔗 「ロール 2 のセット方法 (SC-T7255D/SC-T5255D のみ)」 31 ページ

！重要

ロール紙は、再セットする前に先端をまっすぐ水平になるようにカットしてください。波打ったりしわになっている部分はカットしてください。先端に不具合があると印刷品質低下や用紙詰りの原因となります。

単票紙が詰まった

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

⚠ 注意

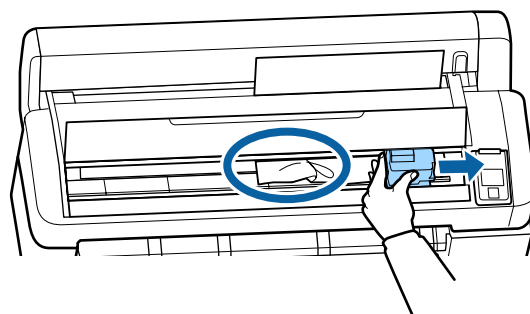
使用中にプリンターカバーを開けたときは、注意ラベルで示す箇所に触れないでください。高温になっているため、火傷のおそれがあります。

- 1** 本機の電源を切ります。

- 2** 本機の電源を入れます。

しばらくすると、画面に「画面の指示に従って紙詰まりを解除してください。」と表示されます。

- 3** プリンターカバーを開けてプリントヘッドを用紙の詰まった部分と反対の方向に移動し、【OK】ボタンを押します。

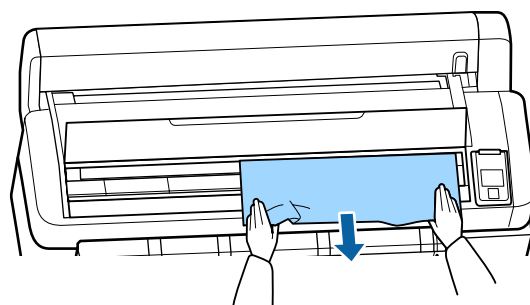


！重要

紙詰りを解除するとき以外は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドに手を触れると静電気の影響で誤動作することがあります。

- 4** 【▼】 ボタンを押し続けて用紙を全て排出します。

- 5** 排出した用紙を取り除きます。



- 6** 用紙を取り除いたら、【OK】ボタンを押します。

- 7** プリンターカバーを閉めます。

「[Q]を押して用紙をセットしてください。」と表示されたら用紙をセットし直して、印刷を再開します。

🔗 「単票紙のセットと取り外し」 37 ページ

その他

操作パネルの画面表示が消える

- **スリープモードになっていませんか？**
印刷ジョブを受信したり、操作パネルの【⏻】ボタンを押すと解除されます。スリープモードに移行する時間はセットアップメニューで変更できます。
🔗 [「セットアップメニュー」144 ページ](#)

モノクロモードで印刷、もしくは黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが早い

- **ヘッドクリーニングではカラーインクも消費されています。**
【ヘッドクリーニング】や【強力ヘッドクリーニング】で全列を選択すると、インクは全色消費されます。（モノクロモードを選択していても、ヘッドクリーニング時には全色のインクが消費されます。）
🔗 [「プリントヘッドのクリーニング」166 ページ](#)

用紙がきれいに切り取れない

- **カッターを交換してください。**
用紙がきれいに切り取れなくなったときやカット部が毛羽立つときには、カッターを交換してください。
🔗 [「カッターの交換」173 ページ](#)

本体内部が光っている

- **この状態は故障ではありません。**
プリンター内部のランプです。

管理者パスワードを忘れた

- 設定した管理者パスワードを忘れたときは、エプソンサービスコールセンターにご相談ください。
🔗 [「お問い合わせ先」218 ページ](#)

電源を入るとヘッドクリーニングが実施される

- 本機を長期間使用しなかったときは、電源を入ると良好な印刷品質を保つために、自動でヘッドクリーニングが実施されることがあります。ヘッドクリーニングが終了するまでに 10～15 分程かかります。

大判複合機用スキャナー接続時のトラブル

操作パネルの画面に大判コピー/大判スキャンタブが表示されない

- **大判複合機用スキャナーの電源スイッチが切れていませんか？**

大判複合機用スキャナーの電源スイッチを-側に倒して電源を入れ、本機の電源を入れ直してください。

- **AC アダプターがコンセントまたは大判複合機用スキャナーから抜けていませんか？**

AC アダプターのコードを接続し直して、本機の電源を入れ直してください。

- **接続ケーブルが外れていませんか？**

プリンター側と大判複合機用スキャナー側のポートに接続ケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。また、接続ケーブルが断線していないか確認してください。

原稿の幅が正しく認識されない

- **大判複合機用スキャナーのローラーやガラス面が汚れている可能性があります。**

本機の電源を切ってから、スキャナーのカバーを開け、ローラーやガラス面を掃除してください。

🔗 [「大判複合機用スキャナーのお手入れ（オプション）」177 ページ](#)

清掃をしても、原稿の幅を正しく認識できないときは、コピー設定メニューの【原稿幅設定】で原稿の幅を設定してください。

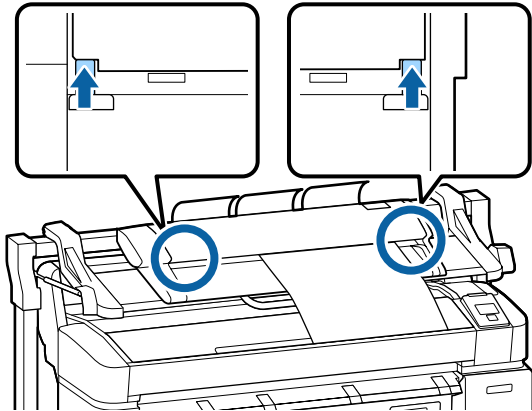
🔗 [「大判コピー・大判スキャンメニュー」161 ページ](#)

原稿が取り出せない/原稿が詰まった

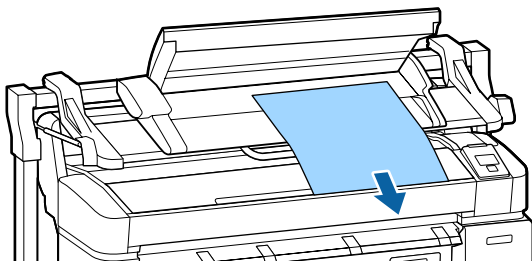
大判複合機用スキャナーのカバーを開けて原稿を取り除いてください。

原稿の取り除き方は、以下の通りです。

- 1 カバー両端のボタンを押してロックを解除します。



- 2 ロックが解除されると、自動的にカバーが開きますので、原稿を取り除きます。



コピーやスキャンした画像に黒や白の縦スジやムラが入る

- 大判複合機用スキャナーのローラーが汚れている可能性があります。

本機の電源を切ってから、スキャナーのカバーを開け、ローラーを掃除してください。

☞「大判複合機用スキャナーのお手入れ（オプション）」177 ページ

- イメージセンサーを覆っているガラスが汚れている可能性があります。

本機の電源を切ってから、スキャナーのカバーを開け、ガラスの表面を点検してください。

ガラスが汚れているときは、掃除してください。

☞「大判複合機用スキャナーのお手入れ（オプション）」177 ページ

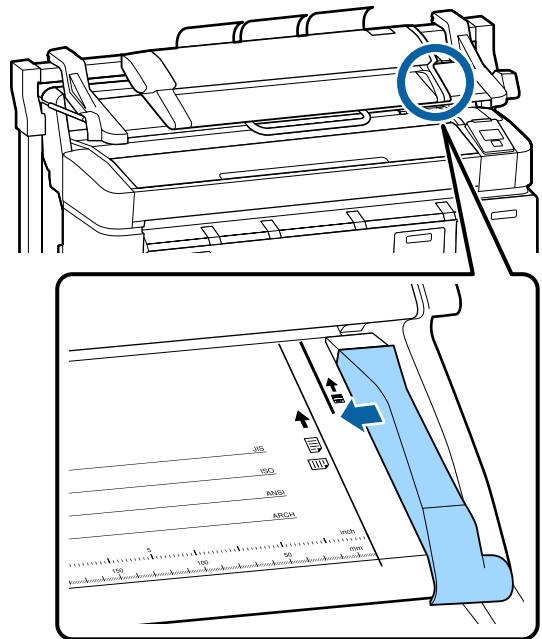
ガラス面がひどく傷ついているときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。☞「お問い合わせ先」218 ページ

キャリブレーション

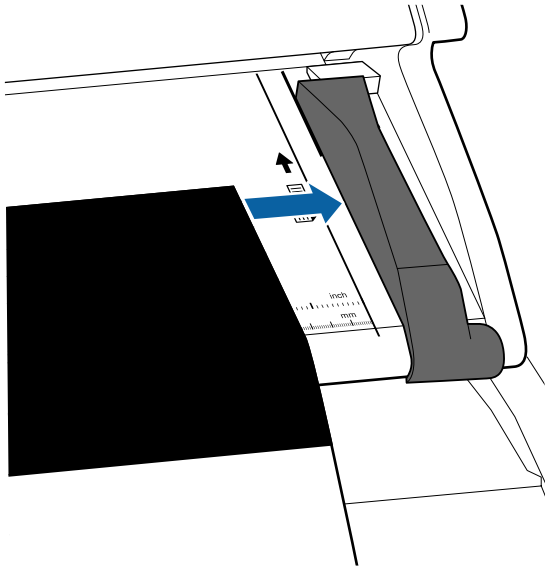
大判複合機用スキャナー内部のガラス面やローラーの清掃をしても、コピー結果やスキャン画像の水平の線がずれるときや色ムラを感じる場合は、以下の手順でキャリブレーションを行ってください。

キャリブレーションは、大判複合機用スキャナーに付属のキャリブレーションシートを使って行います。

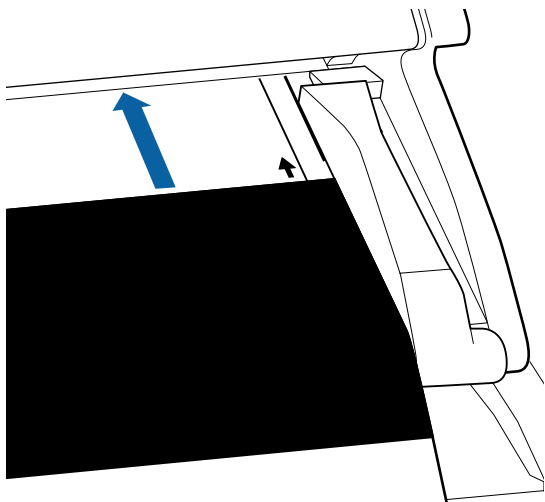
- 1 給紙ガイドをキャリブレーションシートセット位置に合わせます。



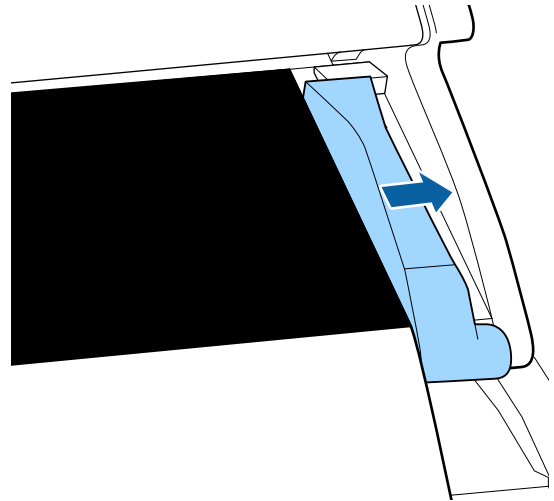
- 2 キャリブレーションシートの黒い方から給紙するように、右端を給紙ガイドに合わせます。



- 3 キャリブレーションシートの先端が、内部のローラーに触れるまで水平に挿入します。
自動的に読み取り開始位置まで給紙されます。



- 4 給紙後は、給紙ガイドを取り外します。



- 5 大判コピー/大判スキャン画面で【▼】/【▲】ボタンを押し、[スキャナーメンテナンス]を選択し【OK】ボタンを押します。

- 6 【▼】/【▲】ボタンを押して[キャリブレーション]を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 7 【OK】ボタンを押すとキャリブレーションが始まります。

！重要

キャリブレーション中は、本機の電源を切らないでください。電源を切ると、大判複合機用スキャナーが故障することがあります。

- 8 キャリブレーションが終了すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って【OK】ボタンを押すと、キャリブレーションシートが排出されます。

参考

キャリブレーションシートは、汚したり折ったりせずに保管してください。

原稿送り補正（大判複合機用スキャナー）

コピーやスキャンしたファイルの印刷結果と原稿の長さが合っていないと感じるときは、以下の手順で原稿送り補正を行います。長さの差は、印刷で使用する用紙の種類により生じることがあります。

1 大判コピー/大判スキャン画面で【▼】/【▲】ボタンを押し、[スキャナーメンテナンス]を選択し【OK】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して[原稿送り補正]を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 補正值設定画面が表示されます。【▼】/【▲】ボタンを押して目的の補正值を表示させて【OK】ボタンを押します。

補正值は以下のように割り出します。

例) 原稿の長さ：50cm、印刷結果：50.1cm のとき
 $50/50.1 \times 100 - 100 = -0.1996$ 小数点第2位で四捨五入

補正值：-0.2

4 補正值の設定が完了したら、【⏏】ボタンを押してメニューを終了します。

参考

補正した結果は、次回補正值を変更するまで有効です。

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消できることがあります。

エプソンのウェブサイトの Q&A

エプソンのウェブサイト (www.epson.jp) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

プリンタードライバーのバージョンアップ

プリンタードライバーをバージョンアップすると今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタードライバーをお使いいただくことをお勧めします。

最新のプリンタードライバーは、エプソンのウェブサイト (www.epson.jp) からダウンロードできます。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのウェブサイト (www.epson.jp) では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのウェブサイトを確認しても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

☎ [「サービス・サポートのご案内」216 ページ](#)

付録

消耗品とオプション

本機で利用できる消耗品、オプションは以下の通りです。(2014 年 1 月現在)

最新の情報は、エプソンのウェブサイト (www.epson.jp) をご覧ください。

商品名		型番	備考
エプソン製専用紙		🔗 「エプソン製専用紙一覧」 198 ページ	
インクカートリッジ (700ml)	フォトブラック	SC1BK70	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。 🔗 「インクカートリッジの交換」 171 ページ
	シアン	SC1C70	
	マゼンタ	SC1M70	
	イエロー	SC1Y70	
	マットブラック	SC1MB70	
インクカートリッジ (350ml)	フォトブラック	SC1BK35	
	シアン	SC1C35	
	マゼンタ	SC1M35	
	イエロー	SC1Y35	
	マットブラック	SC1MB35	
インクカートリッジ (110ml)	フォトブラック	SC1BK11	
	シアン	SC1C11	
	マゼンタ	SC1M11	
	イエロー	SC1Y11	
	マットブラック	SC1MB11	
メンテナンスボックス		SC1MB	メンテナンスボックスが空き容量不足になったときの交換用メンテナンスボックスです。 🔗 「メンテナンスボックスの交換」 172 ページ
ペーパーカッター替え刃		SCSPB2	🔗 「カッターの交換」 173 ページ
ロール紙アダプター		SCRPA2	製品付属のロール紙アダプターと同等品です。
ロール紙固定ホルダー		ROLLH	使用中のロール紙を保管する際に、巻きほぐれないように固定するホルダーです。 🔗 「ロール紙/ロール 1 の取り外し方」 34 ページ
USB ケーブル*		USBCB2	Hi-Speed USB/USB に対応しています。
ハードディスクユニット		SCHDU2	使い方 🔗 「ハードディスクドライブへの保存と再印刷 (オプション)」 65 ページ

商品名	型番	備考
自動巻き取りユニット	PXHARFU2	SC-T7255 用です。SC-T7255 以外のモデルには装着できません。 必ず、自動巻き取りユニット用アタッチメントとセットで使用します。自動巻き取りユニットだけではプリンターに取り付けられません。 取り付け方は、自動巻き取りユニット用アタッチメントに付属のマニュアルをご覧ください。 使い方  「自動巻き取りユニットの使い方 (SC-T7255 のみ)」 50 ページ
自動巻き取りユニット用アタッチメント	SCARFA	SC-T7255 用です。SC-T7255 以外のモデルには装着できません。自動巻き取りユニットを取り付ける際に必要な追加パーツです。
大判複合機用スキャナー (36)	SCSCAN36	SC-T7255D/SC-T5255D/SC-T7255/SC-T5255 用です。最大 914mm×30.4m までの原稿をスキャンしコピーできます。別オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニットを合わせて本機に装着するとスキャンしたデータを保存し、メール送信や共有フォルダーに転送できます。
大判複合機用スキャナー (25)	SCSCAN25	SC-T3255 用です。最大 635mm×30.4m までの原稿をスキャンしコピーできます。別オプションのハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニットを合わせて本機に装着するとスキャンしたデータを保存し、メール送信や共有フォルダーに転送できます。
大判複合機用スタンド (44)	SCSCANST44	大判複合機用スキャナーを本機上部に装着するための専用スタンドです。お使いの機種に合わせて幅をお選びください。 大判複合機用スタンド (24) は、本体用のスタンドと大判複合機用スタンド、排紙バスケットがセットになっています。
大判複合機用スタンド (36)	SCSCANST36	
大判複合機用スタンド (24)	SCSCANST24	
Adobe® PostScript® 3™ 拡張ユニット	SCPSU1	本機を PostScript プリンターとして使えるようになります。 使い方は、Adobe PostScript 3 拡張ユニットに付属のマニュアルをご覧ください。
専用スタンド (24)	SC24STD2	SC-T3255 専用です。組み立て方は『『セットアップガイド』』をご覧ください。

* USB 接続時に USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用するときは、コンピューターと直接接続している 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いの USB ハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB コネクターに USB ケーブルを直接接続してください。

使用可能な用紙

高品質な印刷結果を得るために、以下のエプソン製専用紙の使用をお勧めします。

参考

エプソン製専用紙以外の用紙に印刷するときや、ラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷するときの用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙のマニュアルをご覧ください。用紙の購入先または RIP の製造元にお問い合わせください。

エプソン製専用紙一覧

以降の表のタイトルの意味は、以下の通りです。

サイズ：用意している用紙サイズを記載しています。ロール紙の場合は、用紙幅記載しています。

フチなし：フチなし印刷の適性を記載しています。○：推奨用紙、×：不可用紙

自動ギャップ調整：ギャップ調整の【自動（Uni-D）】と【自動（Bi-D）】が実行可能かを記載しています。○：可能、×：不可

巻き取り：自動巻き取りユニット使用時の対応巻き取り方向を記載しています。「F」は Forward（外巻）、「B」は Backward（内巻）を示しています。自動巻き取りユニットは、SC-T7255 のオプションです。○：可能、×：不可

拡大コピー：A3、A4 スキャナーを接続して行う拡大コピー機能が実行可能かを記載しています。○：可能、×：不可

ロール紙

プロフェッショナルフォトペーパー＜厚手光沢＞

用紙厚：0.27mm

紙管サイズ：3 インチ

ICC プロファイル：EPSON SCT3000_5000_7000_Series Premium Glossy Photo Paper 250.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
406mm/16 インチ	○	○	○	○	×
610mm/24 インチ					○
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

プロフェッショナルフォトペーパー<厚手半光沢>

用紙厚:0.27mm

紙管サイズ:3 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Premium Semigloss Photo Paper 250.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
406mm/16 インチ	○	○	○	○	×
610mm/24 インチ					○
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

プロフェッショナルフォトペーパー<厚手絹目>

用紙厚:0.27mm

紙管サイズ:3 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Premium Luster Photo Paper 260.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー	
			F	B		
254mm/10 インチ	○	○	×	×	×	
406mm/16 インチ			○	○		
610mm/24 インチ					○	
914mm/36 インチ*1						○
1118mm/44 インチ*2						

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

プロフェッショナルフォトペーパー<厚手微光沢>

用紙厚:0.27mm

紙管サイズ:3 インチ

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series Premium Semimatte Photo Paper 260.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
406mm/16 インチ	○	○	○	○	×
610mm/24 インチ					○
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

プロフェッショナルフォトペーパー<薄手光沢>

用紙厚:0.18mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Premium Glossy Photo Paper 170.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
420mm (A2)	×	○	○	○	○
594mm (A1)	○				
610mm/24 インチ					
728mm (B1) *1					
914mm/36 インチ *1					
1118mm/44 インチ *2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

プロフェッショナルフォトペーパー<薄手半光沢>

用紙厚:0.18mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Premium Semigloss Photo Paper 170.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
420mm (A2)	×	○	○	○	○
594mm (A1)	○				
610mm/24 インチ					
728mm (B1) *1					
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

PX/MC プレミアムマット紙ロール

用紙厚:0.25mm

紙管サイズ:3 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Enhanced and Archival Matte Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
432mm/17 インチ	△	○	○	×	×
610mm/24 インチ					
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

MC 厚手マット紙ロール

用紙厚:0.21mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Doubleweight Matte Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
594mm (A1)	○	○	○*3	×	○
610mm/24 インチ					
728mm (B1) *1					
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

*3 オプションの自動巻き取りユニットに付属のテンショナーを使用すること

PX マット紙ロール<薄手>

用紙厚:0.15mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Singleweight Matte Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
420mm (A2)	×	×	○*2	×	○
515mm (B2)	○				
594mm (A1)					
728mm (B1) *1					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 オプションの自動巻き取りユニットに付属のテンショナーを使用すること

普通紙ロール＜薄手＞

用紙厚:0.08mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Standard.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
420mm (A2)	×	×	×	×	○
594mm (A1)	△				
841mm (A0) *1					
1030mm (B0) *2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

普通紙ロール＜厚手＞

用紙厚:0.11mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Standard.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
420mm (A2)	×	×	×	×	○
515mm (B2)	△				
594mm (A1)					
610mm/24 インチ					
728mm (B1) *1					
841mm (A0) *1					
914mm/36 インチ *1					
1030mm (B0) *2					
1118mm/44 インチ *2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

光沢フィルム 2 ロール

用紙厚:0135mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Glossy Film2.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
610mm/24 インチ	△	×	○	○	○
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

MC/PM クロスロール<防災>

用紙厚:0135mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series MC PM Cloth.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
610mm/24 インチ	△	×	○	○	×
1118mm/44 インチ*1					

*1 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

MC マット合成紙 2 ロール

用紙厚:0.13mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Enhanced Synthetic Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
432mm/17 インチ	△	×	○	○	×
610mm/24 インチ					
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

MC マット合成紙 2 ロール<のり付>

用紙厚:0.18mm

紙管サイズ:2 インチ

ICC プロファイル:EPSON SCT3000_5000_7000_Series Enhanced Adhesive Synthetic Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	巻き取り		拡大コピー
			F	B	
610mm/24 インチ	△	×	○	○	×
914mm/36 インチ*1					
1118mm/44 インチ*2					

*1 SC-T3255 は非対応

*2 SC-T7255/SC-T7255D のみ対応

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

単票紙

単票紙でのフチなし印刷は左右フチなしのみです。

写真用紙＜光沢＞

用紙厚:0.27mm

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series Premium Glossy Photo Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	拡大コピー＊1
A3 ノビ	△	○	×
半切	×		
A2			○

*1 単票紙をセットしてから、コピー操作をしてください。

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

写真用紙＜絹目調＞

用紙厚:0.27mm

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series Premium Semigloss Photo Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	拡大コピー*1
A3 ノビ	△	○	×
A2	×		○

*1 単票紙をセットしてから、コピー操作をしてください。

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

フォトマット紙/顔料専用

用紙厚:0.26mm

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series Enhanced and Archival Matte Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	拡大コピー
A3 ノビ	△	○	×
A2	×		

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

スーパーファイン紙

用紙厚:0.12mm

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series Photo Quality Ink Jet Paper.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	拡大コピー
A3 ノビ	△	×	×
A2	×		

△: フチなし印刷を設定して印刷できますが、用紙の伸縮によりフチができたり印刷品質が低下したりすることがあります。

両面上質普通紙

用紙厚:0.13mm

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series Standard.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	拡大コピー
A4	×	×	×
A3			

PX/MC プレミアム マットボード紙

用紙厚:1.3mm

ICC プロファイル:EPSON SC-T3000_5000_7000_Series Enhanced Matte Poster Board.icc

サイズ	フチなし	自動ギャップ調整	拡大コピー
B2	×	×	×
B1 *1			

*1 SC-T3255 は非対応

使用可能な市販用紙サイズ

本機で利用できるエプソン製以外の用紙の仕様は、以下の通りです。

！重要

- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。
- エプソン製以外の普通紙や再生紙は、以降に記載している規格に沿っていれば本機にセットして通紙できますが、印刷品質を保証するものではありません。
- エプソン製以外のその他の用紙種類は、以降に記載している規格に沿っていれば本機にセットできますが、通紙および印刷品質を保証するものではありません。

ロール紙

用紙種類	普通紙、再生紙
紙管サイズ（芯径）	2 インチ、3 インチ
ロール紙外径	150mm 以内
用紙幅	SC-T7255/SC-T7255D 254mm（10 インチ）～1118mm（44 インチ） SC-T5255/SC-T5255D 254mm（10 インチ）～914mm（36 インチ） SC-T3255 254mm（10 インチ）～610mm（24 インチ）
用紙厚	0.08～0.5mm
フチなし印刷可能な用紙幅	254mm/10 インチ 300mm/11.8 インチ A3 ノビ/329mm/13 インチ 406mm/16 インチ US C/17 インチ/432mm B2/515mm A1/594mm 610mm/24 インチ B1/728mm A0/841mm 914mm/36 インチ B0/1030mm 1118mm/44 インチ

単票紙

用紙種類	普通紙、再生紙
用紙幅	SC-T7255/SC-T7255D 210mm（A4）～1118mm（44 インチ） SC-T5255/SC-T5255D 210mm（A4）～914mm（36 インチ） SC-T3255 210mm（A4）～610mm（24 インチ）
用紙長	279.4～1580mm
用紙厚	0.08～0.8mm （ボード紙：0.8～1.5mm）
左右フチなし印刷可能な用紙幅	254mm/10 インチ 300mm/11.8 インチ A3 ノビ/329mm/13 インチ 406mm/16 インチ US C/17 インチ/432mm B2/515mm A1/594mm 610mm/24 インチ B1/728mm A0/841mm 914mm/36 インチ B0/1030mm 1118mm/44 インチ

エプソン製以外の用紙に印刷する前に

エプソン製以外の用紙を使用するときは、その用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて用紙の設定をしてから印刷します。設定は、次の方法で行えます。

- 本機の用紙メニューの「ユーザー用紙設定」を行う。
🔗 [「用紙メニュー」 140 ページ](#)
- LFP リモートパネル 2 から設定して本機に保存する
- プリンタードライバーで設定してコンピューターに保存する（Windows）
[拡張設定] タブ - [カスタムメディア設定] で設定を保存します。
🔗 [「メディア種類の追加」 120 ページ](#)
本機とプリンタードライバーの両方で、[用紙種類] でユーザー用紙を選択しているときに、プリンタードライバーを介して印刷すると、プリンタードライバーの設定が優先されます。
- プリンタードライバーで設定を変更する（Mac OS X）
拡張設定画面で用紙調整画面を開いて調整します。
詳細はプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。
詳細なユーザー用紙設定は、本機の用紙メニューの「ユーザー用紙設定」で行ってください。

参考

- 用紙の張りの度合い、インクの定着性、厚みなどの用紙の特性をあらかじめ確認してからユーザー用紙を設定してください。用紙の特性は、用紙のマニュアルや用紙の購入先でご確認ください。
- 用紙を大量に購入する際は、事前に本機でその用紙に印刷したときの仕上がり具合を確認しておくことをお勧めします。
- ユーザー用紙として設定した用紙に印刷したときに、印刷のムラが発生するときは単方向で印刷してください。単方向印刷はプリンタードライバーの「基本設定」 - 「印刷品質」（Windows） / 「モード設定」（Mac OS X） - 「詳細設定」で「双方向印刷」のチェックを外すと設定できます。
- SC-T7255D/SC-T5255D をお使いのときは、同種の用紙であってもロール 1 とロール 2 の両方から印刷する際は、ロール 1 とロール 2 でそれぞれ別に「ユーザー用紙設定」で印刷設定を登録してください。例えば、ロール 1 にセットした状態で設定したユーザー用紙設定を、ロール 2 にセットした同種の用紙に適用しても用紙経路や用紙幅など印刷条件が異なると、正しく印刷されません。

移動・輸送時のご注意

ここでは、本機を移動または輸送するときの注意事項を説明します。

移動時のご注意

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説明します。別の階や建物に移動する方法は、以下をご覧ください。

🔗 [「輸送時のご注意」 210 ページ](#)

⚠ 注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

❗ 重要

インクカートリッジを取り外さないでください。プリントヘッドノズルが乾燥することがあります。

移動の準備

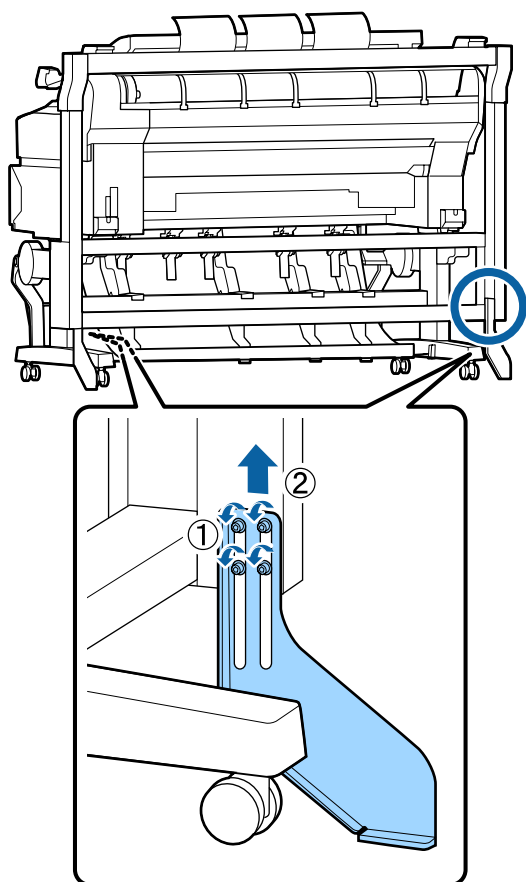
1 本機の電源が切れていることを確認します。

2 電源コードなど、全ての配線を取り外します。

3 排紙バスケットを閉じます。

オプションの自動巻き取りユニット装着時は、自動巻き取りユニットから用紙を取り外します。

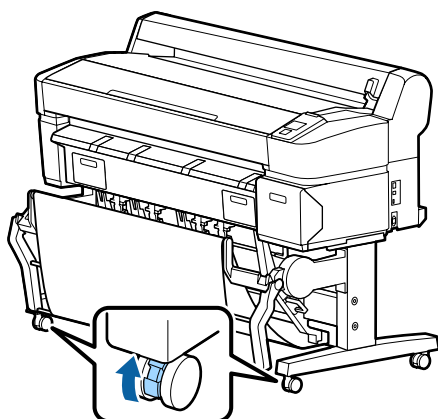
- 4** オプションの大判複合機用スタンドを装着しているときは、大判複合機用スタンドの転倒防止金具を引き上げて固定します。



！重要

転倒防止用金具が下がった状態で本機を動かすと、床が傷つくことがあります。

- 5** スタンドのロックを解除します。
左右の脚部のキャスターのロックを外します。



- 6** 本機を移動します。

！重要

専用スタンドのキャスターは、室内の平らな床を短い距離だけ移動するために使用します。輸送のためには、使用できません。

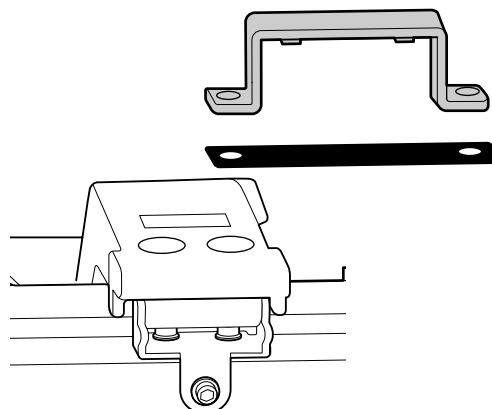
輸送時のご注意

輸送の際は、事前に以下の準備をしてください。

- 本機の電源を切り、全ての配線を外してください。
- 用紙を取り外してください。
- オプションを装着しているときは、全て取り外してください。
オプションの取り外しは、各オプションに付属の『セットアップガイド』をご覧ください。装着と逆の手順で行ってください。

！重要

大判複合機用スキャナーと大判複合機用スタンドを取り外すときは、まず大判複合機用スタンドの下図の部分に以下の金具と傷防止シートを取り付けてください。大判複合機用スキャナーは、金具を取り付けた後でスタンドから取り外してください。順番を間違えるとスタンドの故障の原因となります。



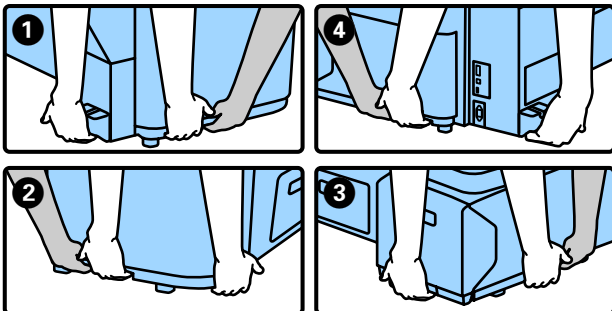
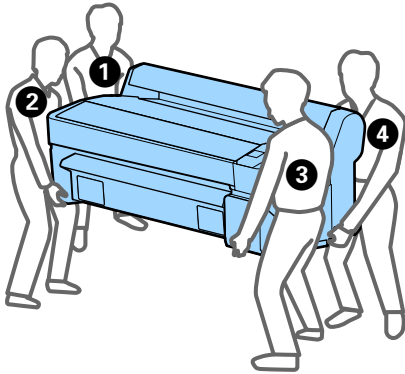
また、震動や衝撃から本機を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包してください。

⚠ 注意

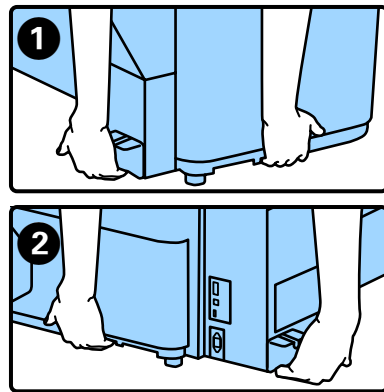
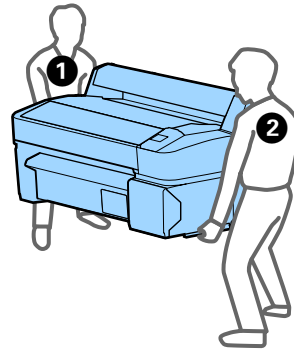
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。梱包や移動の際は SC-T3255 は 2 人以上で、SC-T7255/SC-T7255D/SC-T5255/SC-T5255D は 4 人以上で運んでください。
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
- 本製品を持ち上げる際は、以降で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
- 本製品を輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

梱包作業で本機を移動するときは、図の位置に手を掛けて持ち上げてください。

SC-T7255/SC-T7255D/SC-T5255/ SC-T5255D



SC-T3255



！重要

- 必要な部分以外は触らないでください。故障の原因となります。
- インクカートリッジを装着した状態で移動・輸送してください。インクカートリッジを取り外すと、ノズルが目詰まりして印刷できなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。

使用再開前のご注意

移動、輸送後は、使い始める前にプリントヘッドの目詰まりがないかを確認してください。

☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 165 ページ

システム条件

プリンタードライバーのシステム条件

本機に付属のプリンタードライバーをインストールし、使用するためのシステム条件は以下の通りです。最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

アドレス：www.epson.jp/support/taiou/os/

Windows

オペレーティングシステム	Windows XP/Windows XP x64 Windows Vista/Windows Vista x64 Windows 7/Windows 7 x64 Windows 8/Windows 8 x64 Windows 8.1/Windows 8.1 x64 Windows 10/Windows 10 x64 Windows Server 2003/Windows Server 2003 x64/Windows Server 2008/Windows Server 2008 x64/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012
CPU	Core 2 Duo 3.05GHz 以上
主記憶メモリー	1GB 以上の空きメモリー
ハードディスク空き容量	32GB 以上
インターフェイス	High Speed USB Ethernet 10Base-T/100Base-TX/ 1000BASE-T*
ディスプレイ解像度	SVGA (800×600) 以上の解像度

* シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5e 以上）を使用してください。

参考

インストールの際は、「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログインしてください。

Mac OS X

オペレーティングシステム	Mac OS X v10.5.8 以降
CPU	Core 2 Duo 3.05GHz 以上
主記憶メモリー	1GB 以上の空きメモリー
ハードディスク空き容量	32GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA (1280×800) 以上の解像度

インターフェイス

High-Speed USB
Ethernet 10Base-T/100Base-TX/
1000BASE-T*

* シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5e 以上）を使用してください。

Copy Manager のシステム条件

Copy Manager を使用するためのシステム条件は以下の通りです。

最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

アドレス：www.epson.jp/support/taiou/os/

タブレット端末

オペレーティングシステム	iOS 4.3 以降 Android
--------------	-----------------------

Windows

オペレーティングシステム	Windows XP/Windows XP x64 Windows Vista/Windows Vista x64 Windows 7/Windows 7 x64 Windows 8/Windows 8 x64 Windows 8.1/Windows 8.1 x64 Windows 10/Windows 10 x64 Windows Server 2003/Windows Server 2003 x64/Windows Server 2008/Windows Server 2008 x64/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012
推奨ブラウザ	Google Chrome/Safari
ディスプレイ解像度	1024x768 以上

Mac OS X

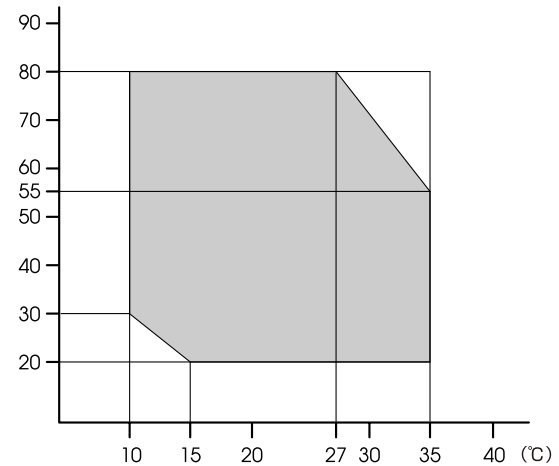
オペレーティングシステム	Mac OS X v10.5.8 以降
推奨ブラウザ	Safari
ディスプレイ解像度	1024x768 以上

仕様一覧

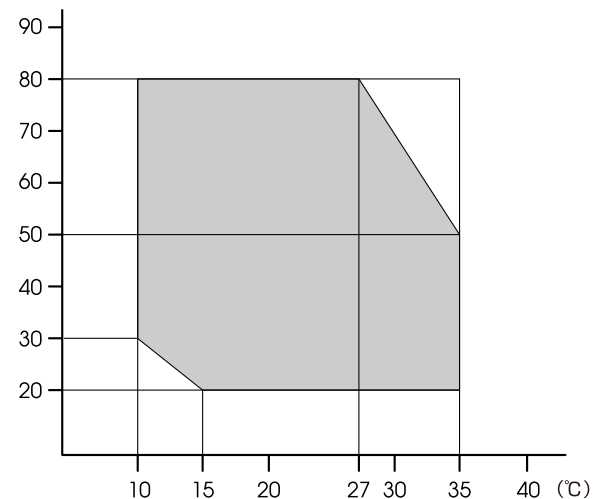
本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	ブラック:360 ノズル×2 列×2 色 (フォトブラック、マットブラック)
	カラー:360 ノズル×2 列×3 色 (イエロー、マゼンタ、シアン)
解像度 (最大)	2880×1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター (コマンドは非公開) HP-GL/2、HP RTL * ¹
紙送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリー	メイン用 1GB
ネットワーク機能	IPv4、IPv6、WSD、IPsec/アクセス制御、SSL 通信、IEEE802.1X、SNMPv1/v2c/v3 * ²
定格電圧	AC 100V
定格周波数	50/60Hz
定格電流	1.0~0.5A
消費電力	
動作時	SC-T7255:約 64W SC-T5255:約 60W SC-T3255:約 52W SC-T7255D:約 65W SC-T5255D:約 61W
レディー時	SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255 : 約 16W SC-T7255D/SC-T5255D:約 17W
スリープモード時	3.0W 以下
電源オフ時	0.5W 以下
温度	動作時:10~35℃ 保管時 (開梱前): -20~60℃ (60℃の場合 120 時間以内、40℃の場合 1 カ月以内) 保管時 (開梱後): -20~40℃ (40℃の場合 1 カ月以内)
湿度	動作時:20~80% (結露しないこと) 保管時 (開梱前):5~85% (結露しないこと) 保管時 (開梱後):5~85% (結露しないこと)

本体仕様

動作温度・湿度範囲 (ハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット非搭載時)
(%)



動作温度・湿度範囲 (ハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニット搭載時)
(%)



外形サイズ

SC-T7255:
幅 1608×奥行き 762 *³×高さ 1128mm
SC-T5255:
幅 1405×奥行き 762 *³×高さ 1128mm
SC-T3255:
幅 1050×奥行き 691×高さ 613mm
(オプションの専用スタンド (24) 装着時:幅 1050×奥行き 762 *³×高さ 1117mm)
SC-T7255D:
幅 1608×奥行き 734 *³×高さ 1128mm
SC-T5255D:
幅 1405×奥行き 734 *³×高さ 1128mm

本体仕様	
質量*4	SC-T7255:約 92kg SC-T5255:約 84kg SC-T3255:約 54kg (オプションの専用スタンド (24) 装着時:約 67kg) SC-T7255D:約 133kg SC-T5255D:約 118kg

*1 HP-GL/2, HP RTL の詳細については、エプソンのウェブサイト (www.epson.jp) をご覧ください。

*2 SNMP の設定は Remote Manager から行います。

🔗 [「Remote Manager の使い方」 25 ページ](#)

*3 排紙バスケット/大容量排紙バスケット収納時

*4 インクカートリッジ含まず

インク仕様	
形態	専用インクカートリッジ
顔料インク	ブラック:フォトブラック、マットブラック カラー:イエロー、マゼンタ、シアン
有効期限	個装箱、カートリッジに記載された期限 (常温で保管)
印刷品質保証期限	1 年 (プリンター装着後)
保管温度	梱包保管時: -20~40℃ (-20℃の場合 4 日以内、 40℃の場合 1 カ月以内) 本機装着時: -20~40℃ (-20℃の場合 4 日以内、 40℃の場合 1 カ月以内) 梱包輸送時: -20~60℃ (-20℃の場合 4 日以内、 40℃の場合 1 カ月以内、60℃の場合 72 時間以内)
カートリッジ外形寸法	700ml: 幅 40×長さ 305×高さ 110mm 350ml: 幅 40×長さ 200×高さ 110mm 110ml: 幅 25×長さ 200×高さ 110mm

! 重要

- 良好な印刷品質を得るために、装着したインクカートリッジは、3 カ月ごとに取り出して、よく振ることをお勧めします。
- インクは-20℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。凍結したときは、室温 (25℃) で 4 時間以上掛けて解凍してから使用してください (結露しないこと)。
- インクを詰め替えないでください。

大判複合機用スキャナー仕様	
読み取り幅	SCSCAN36:153~914.4mm (36 インチ) SCSCAN25:153~635.0mm (25 インチ)
原稿	
サイズ (幅)	SCSCAN36:153~965.2mm (38 インチ) SCSCAN25:153~685.8mm (27 インチ)
サイズ (長さ)	コピー時 153~4614.9mm (181.7 インチ) スキャン時 JPEG/PDF (カラー/グレイ): 153mm~16.6m (100dpi のとき) *、 153mm~4.6m (360dpi のとき) *、 153mm~2.7m (600dpi のとき) * PDF (モノクロ 2 値): 153mm~30.4m TIFF: 153mm~30.4m (最大ファイル サイズ 2GB) * 解像度によって異なります。
厚さ	0.05~1.3mm
排紙方向	前方/後方 (切り替え可能)
光学解像度	600dpi
走査方式	密着イメージセンサー方式
副走査方式	原稿移動 (シートスルー) 方式
スキャン解像度	100、200、300、360、400、600dpi
スキャンファイル形式	JPEG、PDF、TIFF
コピー解像度	
読み取り時	300dpi/600dpi* * 線画・文字、再生紙 きれいモードの場合
書き込み時	360dpi
コピー倍率	25~400%
連続コピー部数	1~99 枚
センサー	CIS
光源	デュアル LED (RGB)
定格電圧	AC 100V
定格周波数	50/60Hz
定格電流	2.5A
消費電力	

大判複合機用スキャナー仕様	
動作時	SCSCAN36:約 55W SCSCAN25:約 50W
レディー時	SCSCAN36:約 25W SCSCAN25:約 24W
スリープモード/ 電源オフ時	0.5W

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[🔗 「お問い合わせ先」 218 ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

[🔗 「困ったときは」 178 ページ](#)

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
 - エプソンサービスコールセンター
- [🔗 「お問い合わせ先」 218 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後そのつどお支払いください。

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 — スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 — トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 — エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 — エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのウェブサイトです。
 インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとして掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ epson.jp/faq/

●製品に関するご質問・ご相談先(エプソンインフォメーションセンター)

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのウェブサイトでご確認ください。 お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	電 話 番 号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白板2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 ウイングビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

*修理について詳しくは、エプソンのウェブサイト epson.jp/support/ でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・鳥取修理センター:0857-77-2202

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先

*一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのウェブサイトでご確認ください。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様の希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

050-3155-7150

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのウェブサイト epson.jp/support/ でご確認ください。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンサービスコールセンター)

050-3155-8600

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

●ショールーム *詳細はウェブサイト epson.jp/showroom/ でもご確認ください。

エプソンスクエア新宿 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階
 【開館時間】月曜日～金曜日 10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

※ご来館・デモルームのご使用には予約が必要となります。(完全予約制)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101)
 でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各〇印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support/)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン 株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(インク)2018.04

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体・ハードディスクユニット（オプション）・Adobe PostScript 3 拡張ユニット（オプション）の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

オプションの大判複合機用スキャナーを接続してお使いのときは、プリンターに宛先メールアドレスが保存されています。保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した宛先メールアドレスを消去してください。

消去方法については以下をご覧ください。

🔗 [「スキャン前の準備」71 ページ](#)

ハードディスクユニットや Adobe PostScript 3 拡張ユニットは、非セキュア高速フォーマットしただけではデータを復元できる可能性があります。

廃棄時には、セキュア（高速）/セキュア（サニタイジング）フォーマットをすることをお勧めします。より確実にデータの復元を防止するためには、ハードディスクユニットまたは Adobe PostScript 3 拡張ユニットを物理的に破壊することをお勧めします。その場合は、ハードディスクは再利用できません。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制（SC-T7255/SC-T5255/SC-T3255）

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

電波障害自主規制（SC-T7255D/SC-T5255D）

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

オープンソースソフトウェアのライセンス契約について

本製品は当社が権利を有するソフトウェアのほかにオープンソースソフトウェアを利用しています。
本製品に利用にされているオープンソースソフトウェアに関する情報は下記の通りです。

1) 当社は、4)で示すオープンソースソフトウェアを著作権者から提示されたライセンス契約の条件に従い、本製品に利用しています。

なお、本製品に含まれるオープンソースソフトウェアはその性格上、当該オープンソースソフトウェア自体の保証はありませんが、本製品の不具合（当該オープンソースソフトウェアに起因する不具合も含みます）に関する当社の保証の条件（保証書に記載）に影響はありません。

2) 当社は、本製品に含まれる GNU GPL、GNU LGPL、Apache License、および ncftp ライセンスの適用対象となるオープンソースソフトウェアについて、それぞれのライセンス契約に基づきソースコードを開示しています。当該オープンソースソフトウェアの複製、改変、頒布を希望される方は、エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。ソースコードの開示期間は、本製品の販売終了後 5 年間とさせていただきます。なお、当該オープンソースソフトウェアを複製、改変、頒布する場合はそれぞれのライセンス契約の条件に従ってください。

3) 当該オープンソースソフトウェアは現状有姿のまま提供されるものとし、如何なる種類の保証も提供されません。ここでいう保証とは、商品化、商業可能性および使用目的についての適切性ならびに第三者の権利（特許権、著作権、営業秘密を含むがこれに限定されない）を侵害していないことに関する保証をいいますが、これに限定されるものではありません。

4) 本製品に含まれるオープンソースソフトウェアは下記のとおりであり、各ライセンスの契約書全文はソフトウェアディスクの¥Manual¥Data¥JAYoss.pdf に記載されています。

GNU GPL

GNU General Public License Version 2, June 1991 またはそれ以降のバージョン適用ソフトウェアパッケージリスト:

linux-2.6.35-arm1-epson12
busybox-1.17.4
ethtool-2.6.35
e2fsprogs-1.41.14
scrub-2.4
smartmontools-5.40
WPA Supplicant 0.7.3
Shred(Coreutils v8.23)

GNU LGPL

GNU Lesser General Public License Version 2, June 1991 またはそれ以降のバージョン適用ソフトウェアパッケージリスト:

uclibc-0.9.32
libusb-1.0.8
libiConv-1.14

Apache ライセンス

Apache ライセンス 2.0 適用ソフトウェア
Bonjour

Bonjour ライセンス

Bonjour ライセンス適用ソフトウェア
Bonjour

Net-SNMP ライセンス

Net-SNMP ライセンス適用ソフトウェア:
Net-SNMP

BSD ライセンス

BSD ライセンス適用ソフトウェアパッケージリス
ト:
busybox-1.17.4
WPA Supplicant 0.7.3

Sun RPC ライセンス

Sun RPC ライセンス適用ソフトウェアパッケージリ
スト:
busybox-1.17.4

ncftp ライセンス

ncftp ライセンス適用ソフトウェアパッケージ
ncftp-3.2.4

e2fsprogs ライセンス

e2fsprogs ライセンス適用ソフトウェアパッケージ
e2fsprogs-1.41.14

MIT ライセンス

MIT ライセンス適用ソフトウェアパッケージ
jQuery v1.8.2

OpenSSL License/Original SSLeay License

OpenSSL License/Original SSLeay License 適用ソフト
ウェア:
OpenSSL toolkit

以上